

1850迄 (3058件)

- 1841年-13:00|トケラウ| |||<就任>ファカオファ統治者「Taupe」
- 1841年-12:00|ウォリス・フツナ| |||<即位>トウア(アロ)王(摂政)「Musumus」(~1844年)
- 1841年-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「トウク・アスム」(カハソハス~1843年)
- 1841年-07:00|タイ| |||<就任>ラムプーン国主(チャオ)「タマランカ」(~1843年)
- 1841年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「ハリラサ・ラマ・イッサラティハ・ティ・アノド・ウオン」(1回目~1844年)
- 1841年-07:00|カンボジア| |||サイアムが侵入しカンボジアの大部分を占領(~1844年)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>アリプラ国統治者(ラオ)「ヒンドウハット・シン」(~1871年11月没)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>カンベイ国支配者(ナワブ)「ヒセイ・フラット・カーン1世」(~18800425没)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>コンダル国統治者(タクル・サーヒブ)「ハナハ・イ・テ・ウ・アジ」(~1851年没)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>サングリ国統治者(ターケル)「ランベル・シン」旧ケル州を引き継ぎイリスの保護領として建国(~1842年没)、摂政「ラニ・カチニ」(~1846年)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>ソネール国ラジャ「ニラダール・シン・テオ」(~18910911没)、摂政「ハブ・ダルハット・ライ」(~1847年)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>バングラ国統治者(マレック)「ナフ・ハンジ」(~1902年没)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>ヒンドル国ラジャ「イシュワル・シン・マルドラージ・ジヤカデブ」(~1874年)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>ブドゥッコツタイ国摂政「ソイロハ・ナイク」(2回目~1844年)
- 1841年-05:30|インド| |||<就任>ベングラ国統治者(ターケル)「ウダ・イ・チャンド」(~19050620没)
- 1841年-05:30|インド| |||知ク国をジュバルが占領(~1843年)
- 1841年-05:00|パキスタン| |||<死去>パルティスタン国王「アムト・シャー」
- 1841年-05:00|パキスタン| |||<即位>パルティスタン国王「マムト・シャー」(~1850年没)
- 1841年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン対立摂政(カーブル)「モハマト・ザマン・カーン・モハマト・ザイ」(~1842年4月)
- 1841年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル対立首相(ワジール・イ・アザム)「アミヌ・カーン・ロカリ」(~1842年5月)
- 1841年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<就任>ロシアのカスピ海行政官「ニコライ・フョードロフ・イチ・フォン・アッシュベルグ男爵」(~1842年)
- 1841年-04:00|UAE| |||<即位>アジュマン首長「Sheikh Abdelaziz bin Rashid Al Nuaimi」(~1848年死去)
- 1841年-04:00|UAE| |||<廃位>アジュマン首長「Sheikh Humaid bin Rashid Al Nuaimi」
- 1841年-03:00|カカソタ| |||<就任>ル統統治者(オムカマ)「タビソウ・カク」(~1855年)
- 1841年-03:00|イメン| |||<即位>下ヤファ・サルタン「Ahmad ibn Ali al-Afifi」(1期目~1873年)
- 1841年-03:00|エチオピア| |||<即位>カファ帝国カフィ・アティオ「カウ・ネチョチヨ」(~1843年)
- 1841年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス軍総督「Mehmed Reshid Pasha」(~1844年)
- 1841年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Mirza Said Pasha」(~1844年)
- 1841年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマカラム国統治者(サルキン・ダマカラム)「タニム・タン・スレイマン・バキジヤト・ダリ」(1回目~1843年)
- 1841年 00:00|シエラレオネ| |||<死去>ウオンカフォン統治者「ダラ・モトウ」
- 1841年 00:00|トゴ| |||<就任>アグハ・ナンキン統治者(メト)「フェヨ」(~1842年)
- 1841年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ウオンカフォン統治者「アマラ・フェンタ・モトウ」(~1847年10月没)
- 1841年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督「ホセ・パウロ・マチャド」(~1842年)
- 1841年 00:00|モーリタニア| |||<就任>ブラクナ連合エミール「シェイムフタル・ウルド・シェイムハンマド」(~1843年)
- 1841年 04:00|バルバドス/グレナダ/セントビンセント/セントルシア/トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス・ウインドワード諸島総督「Charles Henry Darling」(~同年)⇒「Sir Charles Edward Grey」(~1846年)
- 1841年 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督「Richard Clement Moody中佐」(~1843年)
- 1841年 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ副総督代行「マシュー・テイ・ウイス」⇒副総督「カルロ・ジヨセフ・ドイル」(2回目~1846年)
- 1841年 04:00|セントクリストファー・ネイビス| |||<就任>ネイビス大統領「ジョサイア・ウェッパ・メイナード」(~1842年)
- 1841年 00:00|イギリス| |||英国「フランドン」鉄道時刻表 定期刊行創刊
- 1841年1月-03:00|サウジアラビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ヒジャーズ 総督「オスマン・パシャ」(~1846年1月)
- 1841年1月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>ネジュト 首長「アブドゥッラー2世ブン・トゥヤン」(~1843年5月)
- 1841年1月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Gurcu Mehmed Necib Pasha」(~1842. 3)
- 1841年1月-02:00|イスラエル/トルコ| |||オスマン帝国のエルサレム直接支配が復活(サンジャク)
- 1841年1月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||ダマスカスはオスマン帝国が直接統治
- 1841年1月1日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国国務院副議長兼閣僚評議会議長「トールン・ファン・グエスタカヘツル男爵ヘントリック・ジエイク」(~18480326)
- 1841年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・カール・フリートリヒ・ノイハウス」Lib(~12. 31)
- 1841年1月1日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領「フランシスコ・フェレー」(1回目~18421231)
- 1841年1月2日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Aires de Ornelas e Vasconcelos Esmeraldo Rolim de Moura」(~4. 2)
- 1841年1月2日-09:00|日本| ||天保11年12月10日<死去>初代伊東燕晋(80歳)講釈師
- 1841年1月3日-12:00|ニューゼーランド/イギリス| |||<就任>ニューゼーランド 総督「ウィリアム・ホブソン」(5. 3まで代行~18420910)
- 1841年1月4日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国最高首長「マヌエル・イグナシオ・デ・ウイヴァンコ・イトゥラルデ」反乱(~5. 20)
- 1841年1月6日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド 総督代理「Pieter Merkus」(⇒18430214総督~18440802死去)
- 1841年1月6日-09:00|日本|東京都|天保11年12月14日<死去>谷文晁(78歳、宝暦13(1763)年生)文人画家

1850迄 (3058件)

- 1841年1月7日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル暫定最高国家元首「ファン・ホセ・フェルナンデス・リンド・イ・セイヤ」(~2.22)
- 1841年1月9日 00:00|南極/イギリス/ニュージーランド| |||ロバート・アダムがイギリスのジェームズ・クーク大尉によってイギリスが領有宣言
- 1841年1月9日-09:00|日本|香川県善通寺市|天保11年12月17日|天明8年に再建した善通寺五重塔, 焼失
- 1841年1月14日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「カレル・ピーター・ラントマン」(2回目~同月)
- 1841年1月16日-09:00|日本| ||天保11年12月24日|<死去>2代藤間勘十郎(45歳)舞踊家、振付師
- 1841年1月18日-05:30|インド| |||<死去>ハンジヤブ 国マハラジャ「チャンド・カウル・クワール」
- 1841年1月18日-05:30|インド| |||<即位>ハンジヤブ 国マハラジャ「シル・シン」(~18430915没)
- 1841年1月20日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光20年12月28日|英海軍チャールズ・エリオット大佐が水坑口に上陸し香港島を占領
- 1841年1月20日-07:00|ベトナム| ||越南・明命21年12月28日|<死去>阮朝(大南)第2代皇帝「聖祖明命帝」49歳
- 1841年1月20日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光20年12月28日|中国とイギリスの間で川鼻仮条約が結ばれるが、清朝はこれを否認
- 1841年1月22日 04:00|パラグアイ| |||<就任>パラグアイ暫定理事会議長「ファン・ホセ・メイヤ」(~2.9)
- 1841年1月22日-09:00|日本|東京都|天保11年12月30日|国学者平田篤胤が、著作を禁止され江戸からの退去を命じられる
- 1841年1月23日-09:00|日本| ||天保12年1月|<出版>葛飾北斎と葵岡北溪「花の十文」
- 1841年1月23日-09:00|日本| ||天保12年1月|<出版>竹原春泉「絵本百物語」
- 1841年1月23日-09:00|日本| ||天保12年1月|<出版>八島五岳「俳諧画譜」
- 1841年1月23日 00:00|イギリス/中国| ||旧暦1月|清朝が川鼻仮条約を破棄し、イギリスに対して宣戦布告
- 1841年1月26日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光21年1月4日|<就任>初代香港行政官「チャールズ・エリオット」(~18410812)
- 1841年1月28日-13:00|テキサス/アメリカ| ||フアカフオは、USSビークでウィリアム・ヘンリー・ハドソン米司令官が訪れ、ホウデイツ島と名付けられた(ヒゲーターのサニエル・ハウデイツにちなんで)
- 1841年2月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督代行「ジョージ・マレー」(~1841年2月)
- 1841年2月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Santiago Mendez de Vigo」(~18440311)
- 1841年2月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ルカス・ヨハネス・マイヤー」
- 1841年2月1日 11:00|米領テキサス/アメリカ| |||スウェインズ 島をアメリカの捕鯨船ビークに乗ったウィリアム・H・ハドソン大尉が再発見し、スウェインズ 島と名付けた
- 1841年2月1日-09:00|日本| ||天保12年1月10日|<死去>2代菅野序遊(58歳)浄瑠璃三味線方
- 1841年2月2日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヤコブ・ニコラス・ボショフ」(1回目)
- 1841年2月2日 06:00|エルサルバドル| |||サンサルバドル, 独立を宣言し暫定政府を樹立/国名をエルサルバドルと改称
- 1841年2月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ジュリー・J・ウェッセル」
- 1841年2月3日-09:00|日本| ||天保12年1月12日|<死去>10代西村善五郎(72歳)陶工
- 1841年2月4日-09:00|日本|東京都墨田区|天保12年1月13日|<大相撲>天保12年1月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西関脇)鰐石, 6勝0敗1預3休
- 1841年2月5日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「サミュエル・ハリソン(カナダ 東部)」 「ウィリアム・ヘンリー・ドレイパー(1回目)(カナダ 西部)」(~6.14)
- 1841年2月5日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州総督「シデナム男爵チャールズ・エドワード・ブーレット・トムソン」(~9.19没)
- 1841年2月9日 04:00|パラグアイ| |||<就任>パラグアイ陸軍総司令官「マリアノ・ロケ・アロンゾ・ロメロ」(~3.14)
- 1841年2月10日 06:00|カナダ/イギリス| |||上下カナダが統一し、連合カナダ植民地が発足
- 1841年2月11日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ネッティ《歌劇「アテリア」》
- 1841年2月12日-09:00|日本| ||天保12年1月21日|<死去>伏見宮貞敬親王(67歳)皇族
- 1841年2月13日-02:00|エジプト/トルコ| |||ムハンマド、ロンドン5カ国条約を受諾、オスマン朝がエジプト総督の世襲制を承認/第二次トルコ・エジプト戦争終結
- 1841年2月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン総督「ルイス・アルテイサバル」
- 1841年2月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「マルセリノ・デ・オラーレクンベリ」(~18430617)
- 1841年2月14日-07:00|ベトナム| ||越南・紹治1年1月23日|<即位>阮朝(大南)第3代皇帝「憲祖紹治帝」(~18471104死去40歳)紹治と改元
- 1841年2月22日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||クレタ島でオスマンに対し反乱(~同年)
- 1841年2月22日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「ラビコネリ侯爵・アリエール公爵トーマス・ロベール・ブジョー」(~18470927)
- 1841年2月22日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国暫定大統領「ファン・ホセ・フェルナンデス・リンド・イ・セイヤ」(~18420201)
- 1841年2月27日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「ジョージ・グレイトーン」(1回目~同年)
- 1841年2月27日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年閏1月7日|<死去>徳川家斉(69歳、安永2(1773)1005生)江戸幕府第11代将軍
- 1841年3月 00:00|イギリス/オーストラリア| |||南オーストラリア、ケリン・オズモンドで銀・鉛鉱石発見
- 1841年3月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国第9代大統領「ウィリアム・ヘンリー・ハリソン」ホイッグ 党(~4.4死去)
- 1841年3月4日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役「パブロ・サンチェス・デ・フイトラゴ・サントバル・イ・バ

1850迄 (3058件)

ナヴェント (~18430401)

1841年3月7日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ビラリア伯 ジェロニモ・バルデス・イ・シエラ」 (~18430913)

1841年3月7日-09:00|日本|長崎県平戸市|天保12年閏1月15日|<交替>肥前平戸藩61700石「松浦熙」隠居⇒長男「松浦曜」が継ぐ(⇒安政5(1858)年6月26日、死去)

1841年3月8日-02:00|フィンランド| |||<就任>フィンランド 大公国国務大臣(サントペルブルク)「アレクサンダー・グラーフ・アムフェルト」(18410317まで代行~18760108没)

1841年3月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「ルートヴィヒ・グスタフ・フォン・テューレ」(~18480319)

1841年3月10日 00:00|イギリス| |||<死去>15代ロズ伯「ジョージ・ウィリアム・イヴリン・レスリー」

1841年3月10日 00:00|イギリス| |||<就任>16代ロズ伯「ジョージ・ウィリアム・イヴリン・レスリー」先代の息子(~18590102死去)

1841年3月12日-09:00|日本|岡山県新見市|天保12年閏1月20日|<交替>備中新見藩18000石「関成煥」隠居⇒養子「関長道」が継ぐ(⇒安政5(1858)年8月13日、死去)

1841年3月14日 04:00|パラグアイ| |||<就任>パラグアイ共和国領事「カルロス・アントニオ・ロペス・インスフラン/マリア・ノ・ロケ・アロンゾ・ロメロ」(~18440313)

1841年3月15日-09:00|日本|兵庫県たつの市|天保12年閏1月23日|<死去>播磨龍野藩51000石「脇坂安董」(75歳)元寺社奉行・老中⇒長男「脇坂安宅」が継ぐ(⇒文久2(1862)年4月、隠居)

1841年3月16日 07:00|メキシコ| |||コカが独立宣言(コカ共和国~18480714)

1841年3月18日 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリブ諸島州総司令官兼市民知事「Miguel de Araoz」(~18420415)

1841年3月20日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ上級国家元首「トマス・セルモン・デル・カメン・デ・エレラ・イ・ペレス・ダビラ」(~18410611)

1841年3月23日 00:00|イギリス/中国| ||旧曆2月|イギリス軍艦が虎門砲台を占領

1841年3月24日-02:00|エジプト| |||エジプト総督ムハマト・アリー(72)が、オスマン帝国との間の協定に調印し、シリアの放棄などを承認

1841年3月27日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「カンティド・セルゲ・アラウジョ・ウヴァイナ」(~18430120)

1841年3月29日-09:00|日本|京都府京都市|天保12年2月7日|<死去>鷹司政熙(81歳)元関白、左大臣

1841年3月31日-01:00|ドイツ| |||シューマンの「交響曲第1番「春」」がライプツィヒのゲウアンハウスで初演

1841年3月31日-09:00|日本|熊本県人吉市|天保12年2月9日|人吉藩領一円の農民1万人が、商品作物への徴税・椎茸山入山禁止などに反対して特権商人宅などを打ち壊す(茸山騒動)

1841年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・ベルツィ」

1841年4月1日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガア| |||<就任>ヌエバ・グラナダ共和国大統領代行「トミンゴ・カセド・イ・サンス・デ・サンタマリア」(2回目~5.2)

1841年4月1日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ブルック・ファーム共同体設立

1841年4月2日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Domingos Olavo Correia de Azevedo」(~18460614)

1841年4月4日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ合衆国第9代大統領「ウィリアム・ヘンリー・ハリソン」68歳(誕生17730209)

1841年4月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国第10代大統領「ジョン・タイラー」51.ホイッグ党.副大統領から昇格(~18450303)

1841年4月5日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年2月14日|<解任>老中「脇坂安董」

1841年4月6日-02:00|トルコ| |||オスマントルコ領のバルカンでニシュ反乱が始まる

1841年4月7日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「J・オアヒム・ヨハネス・ヘトリス・ブリンズロー」(3度目~同月)

1841年4月10日 06:00|アメリカ| |||ホレス・グリーリー(30)が、ニューヨークトリビューン紙を創刊

1841年4月13日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー内閣長官「ノット 男爵 ジャン・バプティスト」(~18450730)

1841年4月15日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン第8代総督「コリン・キャンベル」(~18470419)

1841年4月15日-05:30|インド| |||<就任>プロウツクタイ国ラジャ「ベイリー・リージェント」(~1841年12月)

1841年4月17日-02:00|ブルガリア| |||ブルガリア西部で農民が蜂起

1841年4月21日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライハツ州知事「ヨーゼフ・フライヘル・フォン・ヴァインガルトン」(~18470709)

1841年4月23日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<死去>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ジョン・ジエミー卿」

1841年4月23日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ジョン・カー」(~9.3)

1841年4月23日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「ジョン・カー」(~9.3)

1841年4月25日-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス保護領マヨット代表「ピエール・パソ」(~18430613)

1841年4月25日-03:00|マヨット/フランス| |||マヨットはフランスに併合(マヨット保護領/18430613、併合批准/1878年までノビエに從属、その後18960330までレユニオンに從属)

1841年4月27日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「ヘンリー・ベネット」(~12.9死去)

1841年4月29日-01:00|チェンニヤ| |||チェニスが奴隷制度の廃止に関する宣言

1841年5月-01:00|ホーランド/ドイツ| |||<就任>ホースナ大公国総督「Adolf Heinrich von Arnim-Boitzenburg」(~18480628)

1841年5月2日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガア| |||<就任>ヌエバ・グラナダ共和国大統領「アドロ・アルカンターラ・ヘラン・ザルトウア」(~18450401)

1850迄 (3058件)

- 1841年5月3日-12:00|ニュージーランド/イギリス| |||ニュージーランドがイギリス植民地であることが正式に宣言される(首都はオークランド)
- 1841年5月5日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー総督「セヴェリン・レーベンス・カルト」(~18560517)
- 1841年5月7日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州暫定総督「ジョアン・ダ・コスタ・ザビエル」(~18430216)
- 1841年5月9日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天保12年3月19日|<死去>美濃大垣藩10万石「戸田氏庸」(62歳)⇒5月7日、長男「戸田氏正」が継ぐ(⇒安政3(1856)年10月25日、隠居)
- 1841年5月10日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Joaquin Maria Ferrer」進歩党(~20日)
- 1841年5月14日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年3月24日|<就任>老中「堀田正篤」(~1843年閏9月8日)
- 1841年5月15日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>南オーストラリア植民地総督「ジョージ・グレイ」(~18451025)
- 1841年5月18日-09:00|日本|大分県大分市|天保12年3月28日|<死去>豊後府内藩22200石「松平近信」(38歳)⇒7月、養子「松平近説」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1841年5月19日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「ジャン・バティスト・モンタニエ・ラ・ロウ」(~18420506)
- 1841年5月20日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Antonio Gonzalez y Gonzalez」進歩党(~18420617)
- 1841年5月21日-08:00|中国/イギリス| ||清の道光21年4月|清朝の崑山がイギリス軍と広州和約に調印
- 1841年5月24日-09:30|オーストラリア| |||ガス照明、シネーで初めて用いられる
- 1841年5月26日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョージ・カードウ」(~11.7)
- 1841年5月30日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光21年4月10日|アヘン戦争で広州を占領したイギリス軍が和義の成立で撤兵途中、平英団と称する武装民兵に包囲され攻撃される
- 1841年5月31日 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領ガサ副総督代行「トマス・ルイス・イングラム」(2回目~18430401)
- 1841年6月6日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア総督「Guillaume Basile Charmasson de Puylaval」(~18430311)
- 1841年6月6日-09:00|日本|千葉県木更津市|天保12年4月17日|<減封>上総貝淵藩18000石「林忠英」失策の責任で8000石召し上げ⇒1万石(⇒7月、強制隠居)
- 1841年6月8日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ムフタ・エミン・ラウフ・パシャ」(3期目~18411204)
- 1841年6月9日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第12代首相「ジョアキン・アントニオ・デ・アギアル・エリバロ」(1期目~18420207)
- 1841年6月10日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国暫定首長「セバステアン・デ・アグレダ」(⇒7.1大統領代行~7.9)
- 1841年6月10日 04:00|ボリビア/ペルー| |||ボリビア併合をねらうペルーのガマは5千4百名の兵を率い侵入、ペラスコ、ガマラの攻撃を撃退出来ず辞任
- 1841年6月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「趙寅永」(~18441102)
- 1841年6月11日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領「トマス・セ・ラモン・デル・カルメン・デ・エレラ・イ・ペレス・ダ・ビラ」(~12.31)
- 1841年6月13日 06:00|カタール| |||キングストンで初の連合カタール植民地議会が開会
- 1841年6月14日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヤコブ・ニコラス・ボショフ」(2度目~10月)
- 1841年6月14日 06:00|カタール/イギリス| |||<就任>イギリス領カタール州共同首相「チャールズ・リチャード・オグデン」「ウィリアム・ヘンリー・ドレイパー」(2回目)(カタール西部) (~18420914)
- 1841年6月14日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<死去>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「Evan John Murray MacGregor」
- 1841年6月14日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官代理「John Braithwaite Skeete」(5期目~29日)
- 1841年6月15日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Jean Baptiste Marie Augustin Gourbeyre」(~18450607死去)
- 1841年6月16日-09:00|日本|埼玉県行田市|天保12年4月27日|<死去>武蔵忍藩10万石「松平忠彦」(37歳)⇒5月9日、弟「松平忠国」が継ぐ(⇒文久3(1863)年4月1日、隠居)
- 1841年6月18日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>東インド諸島(トランバル)デンマーク領総督「キューバーン」(クリスチャン・ティームロト) (~9.15)
- 1841年6月19日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督「トーマス・アブラハム・ホッピ」(~18470801)
- 1841年6月19日 00:00|イギリス/中国| ||清の道光21年5月|広州郊外の三元里で民衆によるイギリス軍への抵抗事件が発生
- 1841年6月22日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光21年5月4日|<就任>香港行政官代理「アレクサンダー・ロバート・ジョンソン」(~18420201)
- 1841年6月24日-09:00|日本| ||天保12年5月6日|<死去>森徹山(67歳)絵師
- 1841年6月25日-09:00|日本| ||天保12年5月7日|<死去>久米栄左衛門(久米通賢)(62歳)発明家、暦学者、測量家、洋学者/伊能忠敬よりも早く日本初の実測地図を作った人物
- 1841年6月27日-09:00|日本|群馬県高崎市|天保12年5月9日|<死去>上野吉井藩1万石「松平信敬」(43歳)⇒7月6日、養子「松平信任」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年5月10日、死去)
- 1841年6月28日-01:00|フランス| |||<初演>アドルフ・アダン《バレ音楽「ジゼル」》
- 1841年6月29日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官代理「チャールズ・ヘンリー・Darling」(~18420222)
- 1841年7月 00:00|セネガル| |||<就任>ファタト・ロ統治者統治者(アルマ・ミ)「ママトゥ・ウ・ビラン・ワン」(1回目~1843年8月)

1850迄 (3058件)

- 1841年7月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督代行「ウィリアム・コルト・ウェル」(~1842年)
- 1841年7月3日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年5月15日|<解任>大老「井伊直亮」
- 1841年7月4日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天保12年5月16日|<死去>因幡鳥取藩32万石「池田齊訓」(22歳)⇒養子「池田慶行」が継ぐ(⇒嘉永1年6月13日(18480713)死去)
- 1841年7月5日 05:00|コロンビア| |||<就任>新グラタ大統領代理「ファン・デ・テ・イオスランサス」サンタンデル党、急進自由党(~18420519)
- 1841年7月5日 00:00|イギリス| |||イギリスのトマス・クックが世界初の旅行会社を設立
- 1841年7月6日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「アレクサンドロス・ニコラウ・マゴロコラトス」(2度目~8.22)
- 1841年7月7日-09:30|オーストラリア| |||エアが、アテレードからメルボルンへのオーストラリア大陸横断に成功
- 1841年7月9日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領代行「マリアノ・エンリケ・カルボ・ケイジャル」(2回目~9.22)
- 1841年7月11日-09:00|日本|鹿児島県熊毛郡屋久島町|天保12年5月23日|口永良部島、噴火により村落焼亡、犠牲者多数
- 1841年7月13日 00:00|ヨーロッパ/イギリス/トルコ| |||ヨーロッパ列強とオスマン帝国の間でロンドン協定が結ばれ、黒海と地中海を結ぶボスポラス・ダーダネルス両海峡の軍艦通行禁止が取り決められる
- 1841年7月17日-09:00|日本|東京都|天保12年5月29日|<死去>俳人・大梅居(70歳)
- 1841年7月18日-09:00|日本|東京都|天保12年6月|鯖江藩、江戸邸内に御稽古所を移転して惜陰堂と改称
- 1841年7月18日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天保12年6月1日|日本初の写真撮影/長崎の御用商人・上野俊之丞が薩摩藩主の島津斉彬を撮影
- 1841年7月20日-09:00|日本|静岡県掛川市|天保12年6月3日|<交替>遠江掛川藩5万石「太田資始」隠居⇒長男「太田資功」が継ぐ(⇒文久2(1862)年正月14日、36歳で死去)
- 1841年7月20日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年6月3日|<解任>老中「太田資始」
- 1841年7月27日-09:00|日本| ||天保12年6月10日|<死去>滝亭鯉丈(不明)戯作者
- 1841年7月30日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年6月13日|<就任>老中「真田幸貫」(~弘化1年5月13日)
- 1841年8月 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領「Edward Dacres Baynes」(1期目~1846.8)
- 1841年8月 06:00|コカガア| |||イギリス、サンフランシスコの港サン・ファン・デル・ヌルテを一時占領/コスタリカ国境までいたる東海岸全域をミスキト保護国に含め、支配に乗り出す
- 1841年8月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナール共和国人民代表評議会議長「ヨアヒム・ヨハネス・ベトルス・フリンズロー」(4度目)
- 1841年8月6日-01:00|フランス| |||ルイ・ナポレオンのクーデターが起こる
- 1841年8月6日-09:00|日本|茨城県笠間市|天保12年6月20日|<死去>常陸笠間藩8万石「牧野貞勝」(18歳)⇒甥「牧野貞久」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年3月29日、死去)
- 1841年8月8日-09:00|日本|東京都|天保12年6月22日|水野忠邦の改革により7代目団十郎江戸追放
- 1841年8月8日-09:00|日本|三重県桑名市|天保12年6月22日|<死去>伊勢桑名藩113000石「松平定和」(30歳)⇒長男「松平定猷」が継ぐ(⇒安政6年8月22日(18590918)死去)
- 1841年8月10日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天保12年6月24日|<死去>池田仲雅(62歳)前鳥取東館新田藩主
- 1841年8月12日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光21年6月26日|<就任>第2代香港行政官「サー・ヘンリー・ポットインジャー」(⇒18430626初代総督~18440508)
- 1841年8月13日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、独立国庫法、撤廃される
- 1841年8月15日-01:00|ルクセンブルグ| |||ルクセンブルグで欽定憲法が制定
- 1841年8月15日-09:00|日本|長崎県平戸市|天保12年6月29日|<死去>松浦清(松浦静山)(82歳)前肥前平戸藩主
- 1841年8月16日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ケインズバラ伯「チャールズ・ネル」(~18660610死去)
- 1841年8月17日-09:00|日本|千葉県木更津市|天保12年7月|<交替>上総貝淵藩1万石「林忠英」強制隠居⇒次男「林忠旭」が嗣ぐ(⇒嘉永3(1850)年11月、上総請西藩1万石に陣屋移転)
- 1841年8月19日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、第2次破産法成立
- 1841年8月20日-09:00|日本|熊本県|天保12年7月4日|<死去>細川利愛(54歳)前肥後熊本新田藩主
- 1841年8月22日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ王国首相、国王オthon1世が兼務(~18430915、無血クーデターにより絶対君主制終焉)
- 1841年8月23日-05:30|インド| |||<就任>シャイナ国ラジャ「タハット・シン」(~1850年9月没)
- 1841年8月28日-09:00|日本|埼玉県川越市|天保12年7月12日|<加増>武蔵国川越藩15万石「松平齊典」+2万石⇒17万石(⇒嘉永3(1850)年1月20日、死去)
- 1841年8月30日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第31代首相「サー・ロバート・ピール」保守党(2期目~18460629)
- 1841年8月31日-05:30|インド| |||<死去>キヤンガル国マハラジャ「モーム・シン」
- 1841年8月31日-05:30|インド| |||<即位>キヤンガル国マハラジャ「プリグヴァイ・シン」(~18791225没)
- 1841年9月-05:00|カザフスタン| |||ロシアとコカンドの支配に対するカザフスタンの反乱が主に中部シユズで発生(~1847年4月)
- 1841年9月-04:00|ジョージア| |||<就任>スヴァミア公「コンスタンチン」(~1858年没/1857年11月からロシアの捕虜)、摂政「テゴルカン」(~1843年没)
- 1841年9月1日-09:30|オーストラリア| |||ポートフィリップ貯蓄銀行設立
- 1841年9月3日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ウィリアム・ファーガソン」(1期目~18420131)
- 1841年9月3日 00:00|カンピア/カナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「ウィリアム・ファーカ

1850迄 (3058件)

「ッ」(1回目~18420131)

- 1841年9月3日 00:00|バリア/アメリカ| |||<就任>バリア連邦総督「ジョセフ・ジェンキンス・ロバーツ」(18420301まで代行~18480103)
- 1841年9月4日-02:00|ババノ| |||ババノでマジュリス設立に関するオスマン朝の勅令
- 1841年9月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、タイラー大統領、公有地に関する先買権法に署名
- 1841年9月7日-09:00|日本|島根県浜田市|天保12年7月22日|<死去>松平康任(63歳)元石見浜田藩主、元寺社奉行・大坂城代・京都所司代・老中首座
- 1841年9月9日-09:00|日本|宮城県仙台市|天保12年7月24日|<死去>陸奥仙台藩62万石「伊達斉邦」(25歳)⇒養子「伊達慶邦」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年、全領土没収)
- 1841年9月10日 00:00|イギリス| |||<死去>2代マームズベリー伯「ジェイムズ・エドワード・ハリス」
- 1841年9月10日 00:00|イギリス| |||<就任>3代マームズベリー伯「ジェイムズ・ハワード・ハリス」(~18890517死去)
- 1841年9月14日-09:00|日本| ||天保12年7月29日|<死去>4代中村重助(35歳)歌舞伎役者
- 1841年9月15日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「グレイ伯爵トマス・フィリップ・ロビンソン・デ・グレイ」(~18440726)
- 1841年9月15日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光21年8月|イギリス軍が浙江の定海・鎮海・寧波等を占領
- 1841年9月15日-09:00|日本| ||天保12年8月1日|口永良部島で噴火/村落焼亡し死者多数
- 1841年9月15日-09:00|日本|茨城県水戸市|天保12年8月1日|水戸藩が、藩校弘道館を創設
- 1841年9月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天保12年8月3日|<死去>近江宮川藩13000石「堀田正義」(26歳)⇒9月25日、養子「堀田正誠」が継ぐ(⇒文久3(1863)年5月12日、40歳で死去)
- 1841年9月18日 04:00|刊| |||<就任>刊共和国大統領「マヌエル・ブルネス・フリート」(~18510918)
- 1841年9月19日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ連合植民地総督代行「リチャーズ・ダウンス・ジャクソン卿」(1回目~18420112)
- 1841年9月22日-09:00|日本|東京都|天保12年8月8日|<死去>11代長谷川勘兵衛(61歳)歌舞伎大道具方
- 1841年9月23日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「フランシスコ・ハビエル・エケベリア」(~10.1)
- 1841年9月24日-08:00|マレーシア/ブルネイ/イギリス| |||<就任>サラワ総督「ジェームズ・ブルック」ブルネイ国王から与えられた(~18420818)
- 1841年9月25日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事代行「チャールズ・チェスター卿」(1期目~18420509)
- 1841年9月27日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「ホセ・マリア・デ・ボリビア・アン・イ・セグーロ」(18440815まで暫定~18471223)
- 1841年9月28日-05:30|インド| |||<就任>アフマド・ガール国ラジャ「タト・シン」(~18431029)
- 1841年9月28日-09:00|日本|福島県福島市|天保12年8月14日|<死去>板倉勝俊(54歳)前陸奥福島藩主
- 1841年9月29日-08:00|中国| |||<即位>ダライ・ラマ「11世ゲドゥン・ギヤツォ」(~18560131死去)
- 1841年10月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国皇帝「サレ・テソゲル・ゲブレ・メサイ」(3度目~1845年)
- 1841年10月-03:00|エチオピア| |||<退位>エチオピア帝国皇帝「ヨハネス3世テケレ・キヨルキス」
- 1841年10月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「サイド・メフメド」(~1842年5月)
- 1841年10月-01:00|スペイン| |||クリスタイネの訴えに呼応して、パンフローナで反乱。まもなく鎮圧される
- 1841年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シローモ・ゴジ」「フランチェスコ・グイ・ディ・ジャンジ」
- 1841年10月2日-01:00|モコ| |||<死去>モコ公「オル5世(オル・グ・リマルデイ)」
- 1841年10月2日-01:00|モコ| |||<即位>モコ大公「フロスタン1世」(~18560620没)
- 1841年10月4日-09:00|日本| ||天保12年8月20日|<完成>曲亭馬琴(滝沢馬琴)「南総里見八犬伝」28年の歳月をかけた9集98巻106冊からなる
- 1841年10月8日 06:00|ニカラガ| |||<即位>モキート王「ア・ホルド・アレクサンダー・マクト・ナルド」(摂政委員会委員長)」(~18430504)
- 1841年10月10日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国暫定大統領「アントニオ・ロペス・デ・サンタ・デ・ペレス・デ・レボン・アンナ」(2回目~18440201)
- 1841年10月15日-04:00|レニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Charles Louis Joseph Bazoche」(~18460604)
- 1841年10月15日-09:00|日本|住友金属鉱山|天保12年9月|大坂の住友、伊予別子銅山の職人を派遣し、野尻銅山を再開
- 1841年10月16日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>東インド諸島(トランケバル)デンマーク領総督(ギョバーン)「ピーター・ハンセン」(~18451107)
- 1841年10月21日 00:00|イギリス| |||<死去>10代ヒュム伯「アレクサンダー・ヒュム」
- 1841年10月21日 00:00|イギリス| |||<就任>11代ヒュム伯「コスバトリック・アレクサンダー・ヒュム」(~18810704退任)
- 1841年10月22日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ボンタレガタ民政知事「Antonio Augusto de Melo e Castro」(~18421026)
- 1841年10月24日-05:30|インド| |||マラーティー語の新聞「フラーカ」が創刊
- 1841年10月28日 00:00|イギリス/イラン| |||イランがイギリスと通商条約を締結
- 1841年10月30日 00:00|イギリス| |||ロンドン塔で火災が起る
- 1841年10月30日 05:00|エクトル/スペイン| |||スペインがエクトルの独立を承認
- 1841年11月-05:30|インド| |||<就任>ジャブア国ラジャ「コハル・シン」(~1895年没)
- 1841年11月-01:00|フランス| |||ルイ・ナポレオン国民投票により皇帝に選出される
- 1841年11月1日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天保12年9月18日|<死去>京極高有(67歳)前但馬豊岡藩主

1850迄 (3058件)

- 1841年11月2日 00:00|イギリス/アフガニスタン| |||アフガニスタンのガールで、イギリスに対して反乱を起こしたアフガン人がインド公使のアレクサンダー・バーンスを殺害
- 1841年11月4日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「トパル・ケッット・ムフメド・パシャ」(2期目~18420830)
- 1841年11月4日-01:00|ドイツ| |||アウグスト・ハインリッヒ・ホマンが、「ドイツ賛歌」を発表
- 1841年11月4日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天保12年9月21日|<交替>大和小泉藩11129石「片桐貞信」隠居⇒長男「片桐貞中」が継ぐ(⇒天保14(1843)年8月21日、17歳で死去)
- 1841年11月4日-09:00|日本|山口県下関市|天保12年9月21日|<交替>長門長府藩5万石「毛利元義」隠居⇒三男「毛利元運」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年閏2月27日、死去)
- 1841年11月9日-01:00|フランス/スイス| |||ストラズブルとバーゼル間に初めての越境鉄道が完成
- 1841年11月9日 00:00|イギリス| |||<就任>ロスシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・コンウォール公・25代キャリック伯「アルハート・エドワード」・チェスター伯・ダブリン伯(~19010122連合王国国王エドワード7世として即位)
- 1841年11月9日 05:00|バハマ/アメリカ| |||(ケオール号事件)(7日~)ヴァージニア州ハンプトン・ローズから135人の奴隷を乗せてニューオーリンズに向けて出港したケオール号船内で奴隷が反乱を起こし、船の針路を英領バハマのナッソーに向けるように要求、この日船はナッソーに到着し、奴隷達はバハマに上陸、反乱を主導して逮捕された者達を除いて、111人の奴隷が解放された
- 1841年11月14日 00:00|イギリス| |||<死去>11代キャカデーイン伯・7代エリクソン伯「トマス・ブルース」
- 1841年11月14日 00:00|イギリス| |||<就任>12代キャカデーイン伯・8代エリクソン伯「ジェームズ・ブルース」(~18631120死去)
- 1841年11月18日 04:00|ポルビア/ペルー| |||ホセ・バシビリア・イ・セグロラが率いるポルビア軍4千百名が、ラマス郊外インカビにガマ軍を迎え撃ち、撃破する。ガマ、闘いに敗れ戦死
- 1841年11月18日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「マニエル・メネンデス・イ・コザベル」(1回目~18420816)
- 1841年11月19日-03:00|日本|東京都中央区|天保12年10月7日|江戸で大火/暁七半時(6時)、堺町より出火、中村座、市村座焼失/堀江六軒町、元大坂町、新和泉橋、新乗物町其の外類焼
- 1841年11月21日-09:00|日本| |||天保12年10月9日|<死去>賀茂季鷹(88歳)上賀茂神社祠官、歌人
- 1841年11月23日-09:00|日本|愛知県田原市|天保12年10月11日|<死去>渡辺華山。蚕社の獄で蟄居となったが、自身のことと藩に迷惑がかかることを憂慮して切腹(49歳、1793年9月16日生)三河田原藩家老、画家
- 1841年12月3日-05:30|インド| |||<就任>ファルカン国摂政「サヒブジ・ハイ・バヤ・サーヒブ」(~18531117没)
- 1841年12月6日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《交響曲第4番ニ短調Op. 120》
- 1841年12月6日-09:00|日本|鹿児島県|天保12年10月24日|<死去>島津斉宣(69歳)前薩摩藩主
- 1841年12月7日-05:30|インド| |||<就任>ファルカン国統治者(ナイク)「マドジ・ラオ・ジャン・ラオ・ニク・ニルカ4世」(~18600326)
- 1841年12月9日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<死去>アセンション島司令官「ヘンリー・ベネット」
- 1841年12月9日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官代理「ウイリアム・リー」(2期目~18420726)
- 1841年12月13日 06:00|アメリカ| |||<就任>テキサス共和国大統領「Samuel "Sam" Houston」(2期目~18441209)
- 1841年12月14日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ大統領「ホセ・ペナンシオ・ロペス・レケナ」(18420225まで代行~18420514)
- 1841年12月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント伯「ジョン・フェイン」
- 1841年12月15日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント伯「ジョン・フェイン」先代の子(~18591016死去)
- 1841年12月16日-09:00|日本|東京都墨田区|天保12年11月4日|<大相撲>天保12年11月場所[江戸本所回向院](8日間)幕内優勝:(西関脇)鰐石, 8戦全勝
- 1841年12月18日-09:00|日本|東京都|天保12年11月6日|幕府が、神事祭礼での芝居・見世物などの興行を禁止
- 1841年12月22日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ミシシッピ級外輪フリゲイト「ミシシッピ」(3220t, フライデーアイア海軍工廠で建造)
- 1841年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ネッティ《歌劇「マリア・パテ・イッラ」》
- 1841年12月31日 05:00|パナマ/コロンビア| |||エレ政権は列強の支持を得られないまま1年で崩壊。パナマ、三度の独立運動に敗れコロンビア共和国の州の一つとして編入
- 1842年-12:00|ウオリス・フツナ| |||<即位>ガウガ王「Petelo Keletaona」(~1851年)
- 1842年-11:00|ミクロネシア| |||<死去>モル国王「ワタク」
- 1842年-11:00|ミクロネシア| |||<即位>モル国王「ラウ」(~1843年没)
- 1842年-08:00|フィリピン| |||<死去>スール王国スルタン「ジャマル・キラム1世」
- 1842年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「ムハンマド・Fazlul Kahir bin Sultan ジャマル・キラム」(~18620924死去)
- 1842年-08:00|インドネシア| |||<即位>パマカン君主「Pangeran Aria Suriokusumo」(~1853年)
- 1842年-08:00|インドネシア| |||<即位>リアウリガ・スルタン「Mahmud4世」(~1857年)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>ヴァンカナル国統治者(ラージ・サーヒブ)「ハネシジ・ジャワラシジ」(~18810612没)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>オルカ国ラージャ「サジャン・シン2世」(~1848年)、摂政「ラニ・ラリ」(~1848年)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>カンパラ国ラージャ「クンジャ・ヒハリ・シン・ブラルバル・ライ」(~1867年)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>サリ国ラージャ「ヒントウパット・シン」(~1871年没)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>サンガリ国統治者(ターケル)「ジャガット・シン」(~1876年没)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>シロン支配者(シム)「シンク・マニク」「ハジヤール・シン」(~1853年)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>ジャイトプル国ラージャ「ケット・シン」(~1849年没)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>チャンデリ国ラージャ「マルダ・シン」(~18580314)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>ナルグント国統治者(ラオ)「ハスカラオ2世「ハハ・サーヒブ」」(~18580603没)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>ハガット国統治者(ラ)「ヒジエ・シン」(~1849年1月没)
- 1842年-05:30|インド| |||<就任>ハジ統治者(ラ)「ハハト・カル・シン」(~1875年没)

1850迄 (3058件)

- 1842年-05:30|インド | |||<就任>パタラ国統治者(タール・ラナ)「サルタルシンジ・フ・ラタフ・シンジ」(~1879年没)
- 1842年-05:30|インド | |||<就任>ハラバ 国支配者(ラウト)「ゴピナート・ビルハ -マンラージ」(~1869年)
- 1842年-05:30|インド | |||<就任>ハルデオ国統治者(ショーベ)「シェオ・プラサト」(~1865年没)
- 1842年-05:30|インド | |||<就任>ムハンマトガール国支配者(ナワブ)「ハーフイズ・コリ・カーン」バローダとクルワイの一部から建国(~1896年没)
- 1842年-05:30|インド | |||<就任>ラサク国統治者(タークル)「サルタンシンジ・カラシンジ」(~不明)⇒「ウァジ・エンジ・サルタンシンジ」(~1879年没)
- 1842年-05:30|インド | |||<就任>ランプル国ラジヤ「ヘスタル・バジユラタル・ナレント・ラ・マハト」(~1899年)
- 1842年-05:30|インド | |||<即位>ラタック国王(フォス・キヤル・チェン・ホ)「ジグズ・マッド・ラナム・ケル」(2回目~18420917)
- 1842年-05:30|インド/イギリス | |||<就任>タン国(14州)がイギリスの保護下に置かれる
- 1842年-05:00|ウズベキスタン/ガフスタン/キルギス/タジキスタン | |||<死去>コーカト・ハン国ハン「ムハンマト・アリー・ハン」ブハラ・アミール国により処刑される
- 1842年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン | |||<死去>ヒヴァ・ハン国イナク朝ハン「アッラーフ・クリ・ハト・ウル」
- 1842年-05:00|キルギス | |||<就任>キルギス汗国カーン「オモン・カーン」建国(~1854年没)
- 1842年-05:00|パキスタン | |||<就任>キルギット国統治者「カリム・カーン」(~1844年没)
- 1842年-05:00|ウズベキスタン/ガフスタン/キルギス/タジキスタン | |||<即位>コーカト・ハン国ハン「シェールアリー・ハン」アリー・ハンの息子(~1845年死去)
- 1842年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン | |||<即位>ヒヴァ・ハン国イナク朝ハン「ムハンマト・ラヒム・クリ」(~18460130死去)
- 1842年-05:00|パキスタン | |||<就任>キルギット国をシー教徒(ハンジヤブ国)が占領(~1847年)
- 1842年-04:30|アフガニスタン | |||<死去>アフガニスタン大王(ハト・シャー・ヘラート)「カムラン・シャー」
- 1842年-04:30|アフガニスタン | |||<就任>アフガニスタン対立摂政大臣(ヘラート)「ヤール・モハマト・カーン・アリコザイ」(~18510601没)
- 1842年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア | |||<就任>ロシアのカスピ海行政官「アボロン・アレクセイウーイチ・イワノフ」(~18440928)
- 1842年-03:00|エチオピア | |||<死去>ムリ・スルタン国スルタン「ラマナカ」
- 1842年-03:00|イラク/トルコ | |||<就任>ハスラのムッサラフ「ムスタファ・アガ」(~1843年)
- 1842年-03:00|ソマリア | |||<即位>マジニティーン・スルタン「Suldaan Yuusuf "Bah-Yaaquub" (Yuusuf 1世)」(~1844年)
- 1842年-03:00|エチオピア | |||<即位>ムリ・スルタン国スルタン「ラタカ・シヨハ・ステイ」(1回目~1865年)、摂政「ロハオ」(~18490526)「チアデ・イニ」(~1847年)
- 1842年-02:00|モザンビーク | |||<就任>サクル首長「ハサン・ムサ・ムクセテイ」(~1862年)
- 1842年-01:00|ベナン | |||<死去>アラダのフォン王国国王「カソウ」
- 1842年-01:00|リビア/トルコ | |||<死去>オスマン帝国フェザン・スルタン「サイフ・アン・ナシル・アブト・アル・ジヤリル・イブン・ラッド」
- 1842年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン | |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「アントリュ2世」
- 1842年-01:00|アルバニア/トルコ | |||<就任>イシュコラのプリシ「レサ・ハシヤ」(~1843年)
- 1842年-01:00|ニジェール | |||<就任>マラティ国統治者(サルキン・カツイナ)「ビニ・タン・アグワラキ」(~1847年)
- 1842年-01:00|ベナン | |||<即位>アラダのフォン王国国王「カソウ・シンジエ・アジヤトノ・クヘウイ」(~1885年没)
- 1842年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン | |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ヘンリー3世」(~1857年1月)
- 1842年-01:00|ニジェール | |||<即位>ソングアイ帝国皇帝「フー・ミ・ゴダ・マ・ゴミ」(~1845年)
- 1842年-01:00|カメルーン | |||<即位>マンタラ・スルタン国スルタン「フカラ・ア・ナルハナ」(~1895年)
- 1842年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<死去>ラ・コメラ伯「Antonio Belvis de Moncada y Alvarez de Toledo」
- 1842年 00:00|トゴ | |||<就任>アガハ・ナンキン統治者(ホソウ)「アテ・イグリ」(~1860年)
- 1842年 00:00|セントヘレナ/イギリス | |||<就任>イギリス領セントヘレナ第2代総督「大佐Hamelin Trelawney」
- 1842年 00:00|シエラレオネ | |||<就任>シエンジ首長「トマス・ジョージ・クハ・カーカー1世」(~1849年)
- 1842年 00:00|セネガル | |||<就任>ハウル統治者(ティーン)「マリク・クンバ・ジヤリン・スジャ・ファル」⇒「メサ・テンデ・ジョール・サンバ・ファル」(~1854年)
- 1842年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル | |||<就任>ビサウ総督「アロイス・ダ・ローラ・ジ・エザスキ」(1回目~同年)⇒「アントニオ・タバレス・ダ・ベイガ・サントス」(~1843年)
- 1842年 00:00|モリタニア | |||<就任>ブラクナ連合エミール「ムハンマト・アル・ラジヤル・ウルド・ムフタル」(~1851年)
- 1842年 00:00|シエラレオネ | |||<就任>ボンペイ首長「キャンライ・ハ・カーカー」(~1857年没)
- 1842年 00:00|シエラレオネ | |||<就任>モリア統治者(アルマニ)「モーラ・アリファ」
- 1842年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>ラ・コメラ伯「Jose Alvarez de las Asturias Bohorquez y Belvis de Moncada」(~18520218死去)
- 1842年 04:00|アンゴラ/イギリス | |||<就任>イギリス領アンゴラ主任判事「Richard Challenger」(~1846年)
- 1842年 04:00|セントルシア/イギリス | |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「ジョージ・グレイトン」(2度目~1843年)
- 1842年 04:00|セントクリストファー・ネイビス | |||<就任>ネイビス大統領「ラルフ・ブラシ・クレック・ホーン」(~3.7没)
- 1842年 05:00|ケイマン諸島/イギリス | |||<就任>イギリス領ケイマン諸島主任判事「ジェームズ・Goe "the Younger"」(~1855年)
- 1842年 05:00|パナマ | |||<就任>パナマ大統領「ミゲル・ケリア・ヒメス」(~同年)⇒「J.ビクトリア・イ・エチャリア」(~同年)
- 1842年 10:00|ポリネシア | |||<就任>タイオハエ統治者「Loi Vakamo2世」⇒「Charles Te Moana」(~18630912死去)
- 1842年1月-01:00|ドイツ | |||<初演>フェリックス・メンデルズゾーン「厳格な変奏曲ニ短調Op. 54」18410604作曲
- 1842年1月1日-01:00|スイス | |||<就任>スイス連合国会議長「カール・フリードリヒ・ツツヤルナ」Lib(2期目~12.31)
- 1842年1月1日-01:00|ルクセンブルク/オランダ | |||<就任>ルクセンブルク総督「カスパー・ル・テオトル・イクナスト・ラ・フォンテーヌ」(6.15まで代行~18480731)
- 1842年1月1日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス | |||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島主任判事「Fletcher Christian2世」(~18421231)

1850迄 (3058件)

- 1842年1月2日-09:00|日本|東京都千代田区|天保12年11月21日|徳川家祥(家定)、鷹司任子(有姫)と結婚
- 1842年1月3日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「ウィリアム・スティヴリー」(~11.21)
- 1842年1月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヤコブ・ニコラス・ボショフ」(3度目~同月)
- 1842年1月3日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント副総督「リチャード・ド・ハティ卿」(~1844年)
- 1842年1月5日-09:00|日本|千葉県成田市|天保12年11月24日|<交替>下総高岡藩1万石「井上正瀧」隠居⇒長男「井上正域」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年9月13日、死去)
- 1842年1月6日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ハルムント・トロニー」(~18460503死去)
- 1842年1月6日 00:00|イギリス/アフガニスタン| |||アフガニスタンに侵攻していたイギリス軍が、首都カバルから撤退途中に、アフガニスタン軍の奇襲を受けて全滅
- 1842年1月7日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジヨアキーノ・ロッシーニ《スターバト・マテル》
- 1842年1月10日-09:00|日本|東京都|天保12年11月29日|幕府、天保の改革の一環として、豪侈に当たる大型凧の製作・販売を禁止
- 1842年1月11日-08:00|中国| ||清・道光21年12月|湖北で鐘仁傑らのひきいる天地会の反乱がおこる
- 1842年1月12日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州総督「チャールズ・バゴー卿」(~18430519没)
- 1842年1月14日-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>ロシア領エストニア総督「ヨハン・クリストフ・エンゲルブレヒト・フォン・グリュネヴァルト」(~18590103)
- 1842年1月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヨハネス・ヘントリック・ブルーワー」
- 1842年1月22日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォークランド諸島副総督「Richard Clement Moody」(⇒18431128総督~18480706)
- 1842年1月24日-09:00|日本|東京都|天保12年12月13日|問屋株仲間を解散/物価引下げのため、組合や仲間組織を解体し流通市場での商品取引を自由にした
- 1842年1月25日-09:00|日本|東京都|天保12年12月14日|<死去>画家・谷文晁/78
- 1842年1月29日 00:00|イギリス| |||<死去>初代クリューランド公「ウィリアム・グエイン」
- 1842年1月29日 00:00|イギリス| |||<就任>2代クリューランド公「ヘンリー・グエイン」(~18640118死去)
- 1842年1月30日 00:00|ガンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「ジョージ・マックオナルド」(~18440501)
- 1842年1月31日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ジョージ・マクオナルド」(~18440501)
- 1842年2月 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ副総督「ジョン・マクフェイル」(2回目~1843年)
- 1842年2月1日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領代行「ルイス・エスコステコ・マリ」(~4.14)
- 1842年2月7日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第13代首相「ペドロ・テ・スザ・ホリスティン」(2期目~9日)
- 1842年2月9日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第14代首相「トマ・伯爵Antonio Bernardo da Costa Cabral」(~18460520)
- 1842年2月9日-09:00|日本|東京都|天保12年12月29日|富突興行で門前茶屋などが札を売ることを禁止
- 1842年2月9日-09:00|日本|東京都|天保12年12月29日|幕府が人情本を取り締まり、版木などを没収
- 1842年2月10日-09:00|日本|兵庫県明石市|天保13年|<加増>播磨明石藩6万石「松平齊宣」⇒8万石(⇒天保15年5月10日(18440625)、死去)
- 1842年2月10日 00:00|ポルトガル| |||憲章党のテレイトとコスタ・カラルによるクーデターが成功。親英路線をとる
- 1842年2月19日-05:00|パキスタン| |||パキスタン・ジャラバード、ペシャワールで地震、死者500
- 1842年2月19日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヨアヒム・ヨハネス・ペトルス・プリンスロー」(5度目~同月)
- 1842年2月20日-09:00|日本|東京都台東区|天保13年1月11日|江戸の三芝居、森田座・中村座・市村座を浅草に移す
- 1842年2月21日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国総司令官「アントン・ヴァイルヘルムス・ヤコブ・プレトリウス」(2度目~8.9)
- 1842年2月21日 04:00|アンティグア・バブーバータ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「チャールズ・オーガスタス・フィッツロイ卿」(~1845年)
- 1842年2月22日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「チャールズ・Edward Grey卿」(~18461209)
- 1842年2月23日-09:30|オーストラリア| |||メルボルンの最初の劇場、ロイヤル・パヴァリアン・サロン、後のシアター・ロイヤル、オープン
- 1842年2月26日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「モルケ・ティル・エスペ・伯爵オットー・ヨアヒム」(~3.30)
- 1842年2月28日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド総督(イギリス東インド会社)「エルボロ男爵エドワード・ロー」(~18440615)
- 1842年2月28日-09:00|日本|静岡県沼津市|天保13年1月19日|<死去>駿河沼津藩5万石「水野忠義」(51歳)⇒次男「水野忠武」が継ぐ(⇒天保15(1844)年7月10日、死去)
- 1842年3月-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダットのワリス「ケルク・メフメド・キブ・パシャ」(~1849年6月)
- 1842年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Laz Ali Riza Pasha」(~1845年)
- 1842年3月 00:00|ポルトガル| |||1826年憲章復活
- 1842年3月1日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアン・シュガー・会社設立/後の植民地製糖会社
- 1842年3月2日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|天保13年1月21日|<交替>河内狭山藩11000石「北条氏喬」隠居⇒養子「北条氏久」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年3月24日、隠居)
- 1842年3月3日-01:00|ドイツ| |||メンデルソーンの交響曲第3番「スコットランド」が、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスで初演
- 1842年3月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル民政知事「Antonio Jose Vieira Santa Rita」(1期目~1

1850迄 (3058件)

8460822)

- 1842年3月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェーリントン大公「ハール・フリートリヒ」
- 1842年3月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェーリントン大公「フリートリヒ・フランツ2世」ハール・フリートリヒの息子(〜18830415死去)
- 1842年3月7日 04:00|セントクリストファー=ネビス| |||<就任>ネビス大統領「ローレンス・グレアム」(〜1844年)
- 1842年3月9日-01:00|イタリア| |||<初演>ジューゼッペ・フォルトゥーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「ナブッコ(ナブコ・ノブル)」》
- 1842年3月10日-09:00|日本|千葉県市原市|天保13年1月29日|<死去>上総鶴牧藩15000石「水野忠実」(51歳)⇒次男「水野忠順」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1842年3月11日-09:00|日本|岡山県岡山市|天保13年1月30日|<死去>備前岡山藩31万5千石「池田斉敏」(32歳)⇒養子「池田慶政」が継ぐ(⇒文久3(1863)年2月8日、隠居)
- 1842年3月14日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「マティス・ヘントリック・マレ」
- 1842年3月14日-09:00|日本| ||天保13年2月3日|<死去>初代奈河篤助(79歳)歌舞伎作者、一向宗の僧
- 1842年3月15日-09:00|日本|東京都墨田区|天保13年2月4日|<大相撲>天保13年2月場所「江戸本所回向院」(10日間)幕内優勝:(東関脇)湖東山,7勝0敗1分2休
- 1842年3月16日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯「ハート・エドワード・ハワード」
- 1842年3月16日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯「ヘンリー・チャールズ・ハワード」先代の子(〜18560218死去)
- 1842年3月16日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ペーージャ公「ジョアン」(〜18611227死去)ポルトガル女王マリア2世の息子
- 1842年3月20日 00:00|イギリス| |||<死去>4代マルクス・フィールド伯「ジョージ・ハーカー」
- 1842年3月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代マスター伯「ジョージ・オーガスタス・フレデリック・フィッツクラレンス」
- 1842年3月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代マスター伯「ウィリアム・ジョージ・フィッツクラレンス」(〜19010430死去)
- 1842年3月20日 00:00|イギリス| |||<就任>5代マルクス・フィールド伯「トマス・ハーカー」(〜18500331死去)
- 1842年3月23日-01:00|フランス| |||<死去>フランス写実主義の作家スタンダール,パリの街頭で脳卒中の発作を起こし/59歳(誕生:17830123)王政復古期のフランスを舞台にした「赤と黒の作者」
- 1842年3月23日-09:00|日本|東京都|天保13年2月12日|幕府が、市中の寄席を15軒に制限
- 1842年3月26日-09:00|日本|新潟県新発田市|天保13年2月15日|新発田藩校講堂長屋から出火し、講堂・学寮・槍稽古所・医学館前長屋などを焼失
- 1842年3月28日-09:00|日本|岡山県岡山市|天保13年2月17日|<死去>板倉勝喜(78歳)前備中庭瀬藩主
- 1842年3月30日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「セーフ・グロフ・テレキ・シェキ」(〜18481018)
- 1842年3月30日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「ホル・クリスチャン・シュテマン」(〜18480322)
- 1842年3月30日 06:00|アメリカ| |||アメリカ,1842年関税法成立
- 1842年3月30日 06:00|アメリカ| |||クウフオード・ロンク、米ジョージア州で初めてジエチルエテル麻酔を用いて手術を行う
- 1842年3月31日 04:00|BES諸島/シント=マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||<就任>オランダ領西インド諸島総督代行「フィリップ・ト・カンター」(2度目〜11.15)
- 1842年4月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<死去>コーカンド(フェルガナ)ハン「ムハンマド・アリー・ハン」ブハラ=アミール国により処刑される
- 1842年4月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||コーカンド(フェルガナ)はブハラに併合(〜6月)
- 1842年4月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ルイス・サビエル・ブレッサン・レイテ」(〜18430710没)
- 1842年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「トメニコ・マリア・ベルツァビ」「ピエール・マテオ・ベルティ」
- 1842年4月5日-04:30|アフガニスタン| |||<死去>アフガニスタン王(カーブル)「シージャール=アル=ムルク=シャー」暗殺され、アフガニスタンの旧王朝断絶
- 1842年4月5日-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン王(カーブル)「ファス・ジヤン=シャー」(〜10.12)
- 1842年4月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「ヤコブス=ニコラス=ボショフ」(4度目)
- 1842年4月11日-09:00|日本| ||天保13年3月|物価引き下げ令発布、あらゆる業種の株仲間の解散を命じる
- 1842年4月11日-09:00|日本| ||天保13年3月|「南総里見八犬伝」完結
- 1842年4月11日-09:00|日本|東京都|天保13年3月|富くじ禁止
- 1842年4月12日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ共和国最高責任者「ルイス=フランシスコ=モラサン=ケタ」(7.15まで暫定〜9.14)
- 1842年4月14日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領「ファン=ルイス=グスマン」(9.20まで代行〜18440201)
- 1842年4月15日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>カリヤ諸島総司令官代理「Fausto del Hoyo y Sanchez」(1期目〜7.14)
- 1842年4月15日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州暫定市民知事「Tomas Diaz Bermudo」(〜同年)
- 1842年4月17日-09:00|日本|東京都|天保13年3月7日|<江戸牛込天保13年通寺町の大火>江戸城北の要地焦土と化す
- 1842年4月19日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天保13年3月9日|<交替>丹波柏原藩2万石「織田信古」隠居⇒養子「織田信貞」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年12月18日、死去)
- 1842年4月19日-09:00|日本|山形県米沢市|天保13年3月9日|<交替>米沢新田藩1万石「上杉勝義」隠居⇒甥「上杉勝道」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1842年4月23日-09:00|日本|岡山県岡山市|天保13年3月13日|<死去>成田蒼きゆう(82歳)俳人
- 1842年4月25日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「P. R. オット」(1回目)
- 1842年4月25日-09:00|日本|東京都|天保13年3月15日|江戸、男が女師匠に入門することが禁じられる
- 1842年4月27日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督代行「統治評議会=アントニオ=ラマリオ=ダ=サ/アントニオ

1850迄 (3058件)

- ・セ・デ・メロ・ソウト・マイール・テレス/アントニオ・ジ・ヨアン・デ・アタイデ (2度目)/セ・ダ・コスタ・カンポス(2度目)/カエターノ・デ・スザ・エ・ウ・アスコ  
フェロス(2度目) (~9. 19)
- 1842年4月27日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヨアヒム・ヨハネス・ベートルス・ブリンスロー」(6  
回目~同月)
- 1842年4月28日-09:00|日本| ||天保13年3月18日|吉原以外の売女が禁止され、20か所の料理茶屋が取り払われ、  
酌取女が吉原に入れられる
- 1842年5月-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン対立摂政(カンダハール)「サファダル・ジヤン・ハーン・サドザイ」⇒「コハンディル・カーン・  
モハトザイ」(~1855年8月没)
- 1842年5月1日 10:00|ポリネシア| |||<設立>フランス保護領タタ
- 1842年5月1日 10:00|ポリネシア/フランス| |||マルサス諸島の首長はフランスにポリネシアの主権を譲渡(他の島々は1900年に併  
合)
- 1842年5月5日-01:00|ドイツ| |||(~8日)ハンブルクで大火が起こり、大きな被害が出る。死者51名、中心市街地の半分  
を焼失
- 1842年5月7日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ポール・パジヨール・デ・ヌーティエール」(~18430205)
- 1842年5月7日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍フリゲイト「コングレス」(1867t, ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1842年5月8日-01:00|フランス| |||鉄道「パリーヴェルサユ線」のムートン(パリの南西)で脱線転覆事故が起こり、死者100人  
を超える多数の犠牲者を出す
- 1842年5月8日 05:00|ハイチ/ドミニカ共和国| |||ドミニカ、ハイチで地震M7. 7、死者4500人
- 1842年5月9日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「ヘンリー・ジョージ・マクラウト卿」(2期目~6. 29)
- 1842年5月14日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ大統領「マリアノ・リベラ・パズ」(2回目~18441214)
- 1842年5月17日-05:30|インド| |||<就任>アワド 国王「ジャハド・シャー・エ・アワド、シャー・エ・ザマン」「ナセル・アト=ダウラ・アムジヤト・アリ・ソ  
ラ・ジャヤ・シャー」(~18470213没)
- 1842年5月17日-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「アジズ・パシャ」(~1843年)
- 1842年5月17日 03:00|アラビア| |||サンハ州のヨカハで、共和主義者の反乱が起こる
- 1842年5月19日-01:00|イタリア| |||<初演>カエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「シヤモニーのリンダ」》
- 1842年5月19日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントフィアコ 総督「エドウィン・キンカーディン伯爵」ジェームズ・フルス」(~18460  
525)
- 1842年5月19日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「チャールズ・ロジャース・ネビット」(1回目~18430327)
- 1842年5月21日-09:00|日本|静岡県|天保13年4月12日|江川太郎左衛門が葦山屋敷(静岡県)で乾パンを製造<日本で  
始めてパンを製造>
- 1842年5月23日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天保13年4月14日|<交替>出羽庄内藩14万石「酒井忠器」隠居⇒長男「酒  
井忠堯」が継ぐ(⇒文久元(1861)年8月6日、隠居)
- 1842年5月24日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールト=コースト総督代行「バルンハルト・ヨハン・クリスチャン・ウィルケンス」(~  
8. 26)
- 1842年5月25日-09:00|日本|香川県高松市|天保13年4月16日|<死去>讃岐高松藩12万石「松平頼恕」(45歳)⇒5月24  
日、養子「松平頼胤」が継ぐ(⇒文久元(1861)年7月8日、隠居)
- 1842年5月26日-09:00|日本|栃木県栃木市|天保13年4月17日|<移封>上総五井藩1万石「有馬氏郁」⇒下野吹上藩1  
万石(⇒文久2(1862)年10月17日、死去)
- 1842年5月31日-01:00|ドイツ| |||マイヤーがエネルギー保存の法則を発表
- 1842年6月-08:00|マレーシア| |||<即位>ケタ=スルタン国スルタン「アフマド・タジユティン・ハリム・シャー2世」(2回目~18450103死去)
- 1842年6月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>コカンド(フェルガナ)ハン「Sayyid Muhammad Shir`Ali Kh  
an」(~1845. 5死去)
- 1842年6月-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル首相(ワジール・イ・アサム)「モハト・アケル・カーン」(~9月)
- 1842年6月 03:00|ウグアイ| |||ジュゼッペ・ガリバルディのイタリア人部隊、リベラに雇われ、ウグアイへの併合をはかり侵攻。  
半年後に敗退
- 1842年6月 03:00|アルゼンチン/ウグアイ| |||ロサに反対するサンタフェとコリエントスの両州は、アルゼンチンからの分離を宣言
- 1842年6月 04:00|ガイアナ| |||ジョージタウンがガイアナの首都として指定される
- 1842年6月2日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヘルマナス・ステファナス・ロンバート」(第1回  
)
- 1842年6月9日-09:00|日本| ||天保13年5月|物価引下令
- 1842年6月9日-09:00|日本|東京都|天保13年5月|寺社境内での、浄瑠璃禁止
- 1842年6月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヨアヒム・ヨハネス・ベートルス・ブリンスロー」(  
第7回)
- 1842年6月10日 00:00|イギリス| |||<死去>2代アーン伯「アラーム・クライトン」
- 1842年6月10日 00:00|イギリス| |||<就任>3代アーン伯「ジョン・クライトン」(~18851003死去)
- 1842年6月11日-01:00|フランス| |||フランスで、鉄道建設法が成立
- 1842年6月13日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヘルマナス・ステファナス・ロンバート」(第2  
回)
- 1842年6月13日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光22年5月5日|<就任>香港行政官代理「アレクサンダー・ロバート・ジョンソン」(~1  
2. 2)
- 1842年6月15日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヤコブス・ニコラス・ホッソフ」(第5回)
- 1842年6月16日-01:00|クアチア| |||<就任>クアチア=パン「フェリツ・グロウ・ハラ」(~1845年11月)

1850迄 (3058件)

- 1842年6月16日 00:00|イギリス/中国| |||イギリス軍が上海を攻略
- 1842年6月17日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Jose Ramon Rodil y Campillo」進歩党(~18430509)
- 1842年6月19日-09:00|日本|青森県八戸市|天保13年5月11日|<交替>陸奥八戸藩2万石「南部信真」隠居⇒養子「南部信順」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1842年6月19日-09:00|日本|三重県鳥羽市|天保13年5月11日|<交替>志摩鳥羽藩3万石「稲垣長剛」隠居⇒長男「稲垣長明」が継ぐ(⇒慶応2年9月29日(18661106)、死去)
- 1842年6月23日-09:00|日本| ||天保13年5月15日|<死去>鈴木牧之(73歳)商人、随筆家
- 1842年6月23日-09:00|日本|東京都|天保13年5月15日|幕府、市中遊客の弓射、婦女子の矢拾いを禁止
- 1842年6月29日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「フランス・フー」(~8.8)
- 1842年6月30日 00:00|イギリス| |||<死去>レスター伯「トマス・ケック」
- 1842年6月30日 00:00|イギリス| |||<就任>レスター伯「トマス・ケック」(~19090124死去)
- 1842年7月1日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官「Hubert Eleonore Napoleon Philibert Philippe Alfred Guichon de Grandpont」(~14日)
- 1842年7月7日-09:00|日本|長崎県対馬市|天保13年5月29日|<死去>対馬府中藩22800石「宗義章」(26歳)⇒弟「宗義和」が継ぐ(⇒文久2(1862)年12月25日、隠居)
- 1842年7月8日 01:00|カーホベルグ/ホルトガル| |||<就任>カーホベルグ 総督「ハースト子爵フランス・コテ・パウル・ハースト」(~1845年)
- 1842年7月10日 03:00|ブラジル| |||ミナス州のバルバセマで共和主義者の蜂起、市の権力を掌握
- 1842年7月11日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島州暫定市民知事「Epifanio Mancha」(~18430320)
- 1842年7月11日-09:00|日本|東京都|天保13年6月4日|幕府、風俗取締りとして人情本など好色本の出版を禁止/歌舞伎役者、遊女、女芸者の錦絵、合巻発売禁止、役者の贅沢禁止
- 1842年7月12日-09:00|日本|東京都|天保13年6月5日|<死去>初代林家正蔵(63歳)落語家(1806年初代三笑亭、可楽に入門、楽我→可龍→笑三→正三)
- 1842年7月14日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島州総司令官「Jaime Carbo」(~18430802)
- 1842年7月14日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官「Joseph Alphonse Desrousseaux」(~18450703)
- 1842年7月15日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ワリス(総督)「ムフメド・エミン・パシャ」(~18470422)
- 1842年7月24日 00:00|イギリス/中国| |||アヘン戦争で清が降伏した結果、南京条約が締結され、清が5港を開き香港をイギリスに譲る
- 1842年7月26日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「トマス・ヒート・ドワイヤー」(~18440418)
- 1842年7月30日 00:00|イギリス/オーストラリア| |||イギリス議会、南オーストラリア政府法を制定/既存システムを廃止/公選制議会の設置を容認
- 1842年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Yozgatli Mehemet Vecihi Pasha」(~1845.1)
- 1842年8月 06:00|アメリカ| |||ウェバスター - アッシュバートン条約締結、メイン州の国境が北に移動
- 1842年8月1日-09:30|オーストラリア| |||『シドニー・ヘラルド』、『シドニー・モーニング・ヘラルド』に名称変更
- 1842年8月2日-09:00|日本|東京都|天保13年6月26日|歌舞伎の看板スターで妾を3人持ち豪華な自邸を持つ7代目市川團十郎が奢侈により江戸を追放される/幕府が身分不相応と判断したため
- 1842年8月6日-09:00|日本| ||天保13年7月|旅役者、出稼ぎ規制
- 1842年8月6日-09:00|日本|茨城県水戸市|天保13年7月1日|水戸藩第9代藩主徳川齊昭公が偕楽園作庭
- 1842年8月7日 03:00|ブラジル| |||リオにブラジル法律家協会(OAB)が設立される
- 1842年8月7日-09:00|日本| ||天保13年7月2日|<死去>観世清長(33歳)能楽師
- 1842年8月8日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヘルマス・ステファナス・ロンバート」(第3回~10月)
- 1842年8月8日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「チャールズ・フィスター卿」(2期目~18430503)
- 1842年8月9日 06:00|アメリカ/イギリス/カナダ| |||ワシントンで、アメリカとイギリスの間のウェバスター - アッシュバートン条約が結ばれ、メイン州とカナダとの国境が定まる
- 1842年8月9日-09:00|日本| ||天保13年7月4日|京都・大坂・江戸の三都以外での芝居・興行が禁止される
- 1842年8月10日 00:00|イギリス| |||イギリスで保護鉱山法が制定、鉱山や炭坑で女性と10歳未満の児童が働くことが禁じられる
- 1842年8月14日-05:30|インド| |||<就任>ウダipur 国統治者(マハラ)「サラフ・シン」(~18611116没)
- 1842年8月14日 06:00|アメリカ| |||フロリダのインディアン部のセミノール族が合衆国と和平を結び、第2次セミノール戦争が終結
- 1842年8月14日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光22年7月9日|アヘン戦争、清がイギリスに降伏
- 1842年8月16日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国最高首長「ファン・クリストモ・トリコ・ゴンサレス」(~10.19)
- 1842年8月18日-08:00|マレーシア/ブルネイ| |||<即位>サラワク・ラジャ「ジェームズ・ブルック」(~18680611死去)
- 1842年8月20日 03:00|ブラジル| |||ミナスに出動したカサス、サンタ・ルイザで共和派を撃破
- 1842年8月20日 06:00|アメリカ| |||アメリカ上院、ウェバスター - アッシュバートン条約批准
- 1842年8月24日-09:00|日本|東京都|天保13年7月19日|<死去>柳亭種彦(60歳)戯作者
- 1842年8月25日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天保13年7月20日|<交替>山城淀藩102000石「稲葉正守」隠居⇒養子「稲葉正誼」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年10月22日、22歳で死去)
- 1842年8月26日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「エドヴァルト・ジェームス・アーノルド・カースト

1850迄 (3058件)

ンセン) (1回目~18440315)

- 1842年8月26日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、会計年度の開始が1月1日から7月1日に変更
- 1842年8月26日-09:00|日本|島根県安来市|天保13年7月21日|<死去>松平直方(64歳)前出雲母里藩主
- 1842年8月28日-09:00|日本| ||天保13年7月23日|幕府が、異国船打払令を改め薪水給与令に戻し、薪・水・食料の供給を許可する/アヘン戦争での清国の敗北が原因
- 1842年8月29日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光22年7月24日|アヘン戦争で清が降伏した結果、南京条約が締結され、清が5港を開き香港をイギリスに譲る
- 1842年8月30日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メフメト・エミン・ラウフ・パシヤ(4期目~18460928)
- 1842年8月30日 06:00|アメリカ| |||タイラー大統領、1842年の関税法に署名
- 1842年9月-09:30|オーストラリア| |||南オーストラリア、カンタで銅の鉱脈発見
- 1842年9月 10:00|ポルトガル/フランス| |||<就任>マタ統治者「Maheono」(~1880. 4死去)
- 1842年9月2日-09:00|日本|島根県浜田市|天保13年7月28日|<死去>石見浜田藩61000石「松平武揚」(16歳)⇒従兄「松平武成」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年9月20日、23歳で死去)
- 1842年9月8日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国臨時行政委員長「ヴラド・トロニウイッチ」(2度目⇒11. 7、首席大臣~18430620)
- 1842年9月8日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公代官「ヴラド・トロニウイッチ」(~11. 7)
- 1842年9月9日 10:00|ポルトガル/フランス| |||フランス太平洋艦隊司令官デュプレティエール、タヒチ島の女王マリア4世に対し、タヒチをフランスの「保護領」とする「条約」を締結させる/「タヒチ」がフランス領となる
- 1842年9月10日-12:00|ニュージーランド/イギリス| |||<就任>ニュージーランド 総督代行「ウィリアム・ショートランド」(~18431226)
- 1842年9月11日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ最高責任者「アントニオ・ルイス・ピント・スラス(連合プロテスタント最高司令官)」(~27日)
- 1842年9月14日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公「アレクサンダー・カラジョルジエウイッチ」(~18581223、退任)
- 1842年9月14日-01:00|セルビア| |||<退任>セルビア公「ミハイロ・オブレノウイッチ3世」護憲党のクーデターが起こる(ウチチの乱)
- 1842年9月15日 06:00|エルサルバドル/ホンジュラス/ニカラガア| |||ニカラガア、エルサルバドル、ホンジュラス3国、チンテガ協定を結び連邦制度を復活/ニカラガアとホンジュラスの紛争により短期で崩壊
- 1842年9月15日 06:00|コスタリカ/グアテマラ| |||モラサン、コスタリカ軍を組織してグアテマラに進攻するが敗北、カルタゴに追い詰められたあと捕えられ、サセルで銃殺
- 1842年9月17日-05:30|イギリス| |||チャットとシーク教徒の間のチュシユル条約により、ラダックはジャム州に編入され、ジャム州がミール州(名目上の自治権を伴って)を引き継がれた
- 1842年9月19日-05:30|イギリス/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領イギリス総督「アンタス伯爵フランシスコ・ザビエル・ダ・シルバ・ペレイラ」(~18430425)
- 1842年9月24日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス領カナリア島管理人「Daniel de Lisle Brock」
- 1842年9月24日-09:00|日本| ||天保13年8月20日|滝沢馬琴が長編小説「南総里見八犬伝」98巻完成
- 1842年9月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェルズリー侯・2代モントン伯「リチャード・ウェルズリー」ウェルズリー侯爵位廃絶
- 1842年9月26日 00:00|イギリス| |||<就任>3代モントン伯「ウィリアム・ウェルズリー・ホール」(~18450222死去)
- 1842年9月26日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ロバート・ボールドウィン(カナダ西部/1回目)」|「ルイ・イット・ラフォンテーヌ(カナダ東部/1回目)」(~18431126)
- 1842年9月27日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ暫定最高責任者「セルマリア・アルファロ・サモラ」(1回目~18441129)
- 1842年10月-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル首相(ワジール・イ・アザム)「コラム・モハメド・カーン・バミザイ/カーン・シリフ・カーン・ジャワンシャー」(~12月)
- 1842年10月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>キュー(ビサウ配下)総督「アントニオ・ド・スサントス・チャベス」(~1844年)
- 1842年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ゴジ」|「トメック・アントニオ・バルロツティ」
- 1842年10月2日 00:00|イギリス| |||<死去>8代フェーズ伯「ワントン・シャーリー」
- 1842年10月2日 00:00|イギリス| |||<就任>9代フェーズ伯「ワントン・セウォリス・シャーリー」(~18590313死去)
- 1842年10月4日-09:00|日本| ||天保13年9月|地代・店賃引き下げ令
- 1842年10月5日-01:00|チェコ| |||チェコ・ブルネで初のビルサーベール「ビルサール・ウルケル」製造
- 1842年10月9日-09:00|日本|東京都|天保13年9月6日|江戸府内での旅役者の興行が禁止
- 1842年10月12日-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン王(カーブル)「シャール・シャー」(~1843年4月)
- 1842年10月19日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「ファン・フランシスコ・デ・ウイタル・ラ・ホス」(~18430316)
- 1842年10月20日-01:00|ドイツ| |||初演>ゲイルヘルム・リヒルト・ワーグナー《歌劇「リエンツィ、最後の護民官」》
- 1842年10月20日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||米海軍、メキシコ領カリフォルニアのモンテレー占領
- 1842年10月20日-09:00|日本| ||天保13年9月17日|<死去>閑院宮愛仁親王(25歳)皇族
- 1842年10月20日-09:00|日本|大分県中津市|天保13年9月17日|<死去>豊前中津藩10万石「奥平昌猷」(30歳)⇒養子「奥平昌服」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年5月6日、隠居)
- 1842年10月24日-09:00|日本| ||天保13年9月21日|<死去>亜元(70歳)浄土真宗の僧、歌人
- 1842年10月26日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントレガダ民政知事「Francisco Afonso da Costa Chaves e Melo」(~18440417)
- 1842年10月26日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ニコラス・ブラボ」(~18430303)
- 1842年10月31日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「サー・ロバート・トマス・ウィルソン」(~18481121)
- 1842年10月31日-09:00|日本| ||天保13年9月28日|天文方の渋川景佑らの天保暦を採用
- 1842年11月1日-12:00|ニュージーランド| |||チャタム島、バウンティ島、アンティポデス島、オークランド諸島とキャンベル島がニュージーランドに併合される

1850迄 (3058件)

- 1842年11月3日-09:00|日本|学習院|天保13年10月|この月、京都に学習所設立
- 1842年11月4日-12:00|ウリス・ツナ/フランス| ||ウリスは、Uveaの王とフランスの軍艦L' Embuscadeのメット大尉によってフランスの保護領であると宣言された
- 1842年11月4日-09:00|日本|長崎県長崎市|天保13年10月2日|高島秋帆が鳥居耀蔵のでっちあげた謀反と密貿易の嫌疑で長崎奉行「伊沢政義」に逮捕・投獄される
- 1842年11月6日-09:00|日本|東京都台東区|天保13年10月4日|中村座(旧猿若座)、市村座、森田座は浅草猿若町に移され開場
- 1842年11月7日-09:00|日本|東京都墨田区|天保13年10月5日|<大相撲>天保13年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東大関)鰐石, 5勝1敗2分3休
- 1842年11月9日-09:00|日本|埼玉県深谷市|天保13年10月7日|<死去>武蔵岡部藩20250石「安部信古」(28歳)⇒12月25日、長男「安部信宝」が継ぐ(⇒文久3(1863)年4月10日、死去)
- 1842年11月12日-09:00|日本|滋賀県|天保13年10月10日|近江・野洲・栗太郡の農民四万余人、大規模一揆を起こす
- 1842年11月14日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「エハート・フレリック・ポトギーター」
- 1842年11月15日 04:00|BES諸島/セント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| ||<就任>オランダ領西インド諸島総督「ハート・ジョーン・エリア」(~18450716)
- 1842年11月18日-05:30|インド| ||<即位>コルハール国マハラジャ「シヴァージー-6世チャトラパティ」(~19460928没)
- 1842年11月21日-04:00|モリシヤス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地モリシヤス総督・最高司令官「サー・ウィリアム・メイナート・コム」(~18490608)
- 1842年11月23日-01:00|ナイジェリア| ||<死去>ソコ帝国スルタン「Abubakar 1世Atiku」
- 1842年11月23日 06:00|アメリカ| ||<退役>アメリカ海軍外輪フリゲイト「フルトン」(1011t)ニュー・ヨークで外輪スルーフ(1200t)に改装
- 1842年11月23日-09:00|日本|千葉県長生郡一宮町|天保13年10月21日|<交替>上総一宮藩13000石「加納久儔」隠居⇒長男「加納久徴」が継ぐ(⇒元治元(1864)年3月22日、死去)
- 1842年11月26日 06:00|アメリカ| ||米国インディアナ州にカトリック教会創設の名門私立大学「ノートルダム大学」開学
- 1842年11月27日-04:00|ロシア| ||<初演>ミハイル・イヴァノヴィチ・グリンカ《歌劇「ルスランとリュドミーラ」》
- 1842年11月28日 00:00|チャネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Jean Guille」(~18450603死去)
- 1842年11月30日-01:00|ナイジェリア| ||<即位>ソコ帝国スルタン「Ali Babba bin Bello」(~18591021死去)
- 1842年12月-04:30|アフガニスタン| ||<就任>カブール首相(ワジール・イ・アザム)「モハマト・アクバル・カーン」(~1848年)
- 1842年12月-01:00|スペイン| ||バルセロナでクリスチヤン派の反乱。南部でファン・Primy・Prats大佐の反乱
- 1842年12月4日-09:00|日本| ||天保13年11月3日|<死去>2代松永鉄五郎(不明)長唄唄方
- 1842年12月6日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|天保13年11月5日|天王寺村で年貢増徴を契機に庄屋宅が襲撃される
- 1842年12月7日 00:00|イギリス| ||ロンドンのかー街バザールに世界初の屋内人口リク「アイス・フロア」開設。氷ではなくソーダ・クリスル製だった
- 1842年12月7日 06:00|アメリカ| ||ニュー・ヨーク交響楽団、最初のコンサート開催
- 1842年12月7日-08:00|中国| ||清・道光22年11月6日|広州民衆によるイギリス商館焼き討ち事件
- 1842年12月12日-09:00|日本|広島県呉市|天保13年11月11日|安芸郡海田市火災。町家329軒(竈数345軒)を焼く
- 1842年12月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヘルマナス・ステファナス・ロンバート」(第4回)
- 1842年12月17日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天保13年11月16日|<交替>美濃国岩村藩2万石「松平乗美」隠居⇒次男「松平乗喬」が継ぐ(⇒安政2(1855)年7月26日、死去)
- 1842年12月17日-09:00|日本|東京都千代田区|天保13年11月16日|幕府が、九段坂に天文台を設置
- 1842年12月19日 00:00|イギリス| ||英国の文豪チャールズ・ディケンズ 作中編小説「クリスマス・キャロル」出版
- 1842年12月19日 06:00|アメリカ| ||合衆国がハワイの独立を承認
- 1842年12月19日-09:00|日本|大阪府高槻市|天保13年11月18日|<交替>摂津高槻藩36000石「永井直与」隠居⇒次男「永井直輝」が継ぐ(⇒文久元(1861)年9月25日、隠居)
- 1842年12月20日-05:00|パキスタン| ||<就任>カイルパール国ミール「アリ・モト・カーン1世」(~18940402没)
- 1842年12月25日 07:00|メキシコ/アメリカ| ||テキサス過激派、メキシコに対する報復攻撃に失敗
- 1842年12月27日-09:00|日本|三重県桑名市|天保13年11月26日|<死去>伊勢長島藩2万石「増山正寧」(58歳)⇒婿養子「増山正修」が継ぐ(⇒明治2(1869)年1月18日、死去)
- 1842年12月31日-09:00|日本| ||天保13年11月30日|墮胎取締令が出される
- 1843年-11:00|ミカドネア| ||<死去>モル国王「ラウワ」
- 1843年-11:00|ミカドネア| ||<即位>モル国王「ノジュー」(~1845年没)
- 1843年-08:00|モンゴル| ||<就任>化身ラマルブ「サンチュルティムジグメド」(ジエフツタンパ6世) (~1848年没)
- 1843年-08:00|マレーシア| ||<就任>レンバウ統治者(ウンダール・アケルンバウ)「タトウク・セア・ラジャ・アクヒル」(~1871年)
- 1843年-08:00|インドネシア| ||<即位>フルン・クワフン君主「Sultan Sepuh9世 Raja Syamsuddin」(~1853年)
- 1843年-08:00|インドネシア/オランダ| ||オランダ直轄領(パトナム理事州)になり、パテン王国は滅亡
- 1843年-07:00|タイ| ||<即位>色陀蘇丹王朝ラジャ「Tunku Muhammad Akib ibni al-Marhum Tunku Bisnu」(~1876年)
- 1843年-07:00|タイ| ||<即位>ラムフーン国主「チャランカー」(~1871年)
- 1843年-05:30|インド| ||<就任>ケワイル国統治者(マハラジャ・シンディヤ)「タタ・カシワラー」(反乱中~1844年1月)
- 1843年-05:30|インド| ||<就任>タック国統治者(タークル・サーヒブ)「ランジット・シン」(~1877年没)

- 1843年-05:30|インド| |||<就任>ハネウ国統治者(ジョーベ)「ラム・フ・ラサド」(~1855年)
- 1843年-05:30|インド| |||<就任>マルポール国統治者(ラル)「ティップ・シンジ1世」(~不明)
- 1843年-05:00|パキスタン| |||<就任>タマル統治者(ミール)「ジャハンナット・カーン」(~18581106没)
- 1843年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムッサラフ「ヘーラム・アガ」(~1845年)
- 1843年-03:00|エチオピア| |||<即位>カファ帝国アティオ「ケイ・シェロヨ」(~1868年)
- 1843年-03:00|スーダン| |||<即位>タリ国王(ウスター)「ナシル・ワラト・アビ・ハクル」(~1864年)
- 1843年-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ総督「ハトリック・ステュアート」(~1847. 10)
- 1843年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「オスマン・マザール・パシャ」(~1854年)
- 1843年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマラム国統治者(サルキン・ダマラム)「イラム・タン・サレマン」(2回目~1851年)
- 1843年-01:00|リビア/トルコ| |||フェザーンはオスマン帝国(フィザン・サンジャク)に組み込まれた
- 1843年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督「アントニオ・ホセ・トレス」(~同年)⇒「ホセ・マリア・コエリヨ」(~1844年)
- 1843年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド 検査官「Hans Peter Christian Moller」(~1845年死去)
- 1843年 04:00|フォーランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォーランド 諸島総督「Richard Clement Moody中佐」(~1848年)
- 1843年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領「アンセルモ・ピネラ」(~1845年)
- 1843年1月1日-05:45|ネパール| |||<就任>ネパール王国摂政「カンチャ・マハニ・ラーシヤ・ラクシュミ・デーヴィ」(~1846年11月)
- 1843年1月1日-02:00|ルマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ゲオルグ・D・イミトリー・ビヘスク」(~18480613)
- 1843年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ルドルフ・ラティマン」Con(~12. 31)
- 1843年1月1日 06:00|ホジューラ| |||<就任>ホジューラ共和国大統領代行「閣僚評議会:ファン・モリス/ホセ・ジュリアン・テルロ/カスト・ホセ・アルバラド」(1回目~2. 23)
- 1843年1月1日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ビトケアン諸島主任判事「マシュー・McCoy」(1期目~12. 31)
- 1843年1月2日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナール共和国人民代表評議会議長「アントニアス・テオド・ロス・スハイ」(~同月)
- 1843年1月2日-01:00|ドイツ| |||<初演>ウィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー《歌劇「さまよえるオランダ人」》
- 1843年1月3日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「ドン・パスクワレ」》
- 1843年1月3日-08:00|中国| ||清・道光22年12月3日|魏源が、世界情勢の解説書の「海国図志」50巻を完成
- 1843年1月6日-09:00|日本|東京都台東区|天保13年12月6日|河原崎座(木挽町)も猿若町に移転命ぜられる
- 1843年1月8日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《ピアノ五重奏曲変ホ長調Op. 44》《弦楽四重奏曲第1番イ短調Op. 41-1》《弦楽四重奏曲第2番ホ長調Op. 41-2》
- 1843年1月13日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天保13年12月13日|<交替>三河吉田藩7万石「松平信順」隠居⇒嫡男「松平信宝」が継ぐ(⇒天保15年10月17日(18441126)死去)
- 1843年1月19日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナール共和国人民代表評議会議長「ヨハネス・ステファヌス・マリッツ」(2度目~2月)
- 1843年1月20日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・アントニオ・ダ・シルバ・マヤ」(2回目~18440202)
- 1843年1月20日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「サント・ミケレ・イ・ロハ・ケイホ」(~28日)PC
- 1843年1月24日-09:00|日本|静岡県下田市|天保13年12月24日|下田奉行を再設
- 1843年1月24日-09:00|日本|東京都大田区|天保13年12月24日|武蔵羽田奉行を新設
- 1843年1月24日-09:00|日本|新潟県新発田市|天保13年12月24日|<死去>越後三日市藩1万石「柳沢里顕」(34歳)⇒翌年2月16日、長男「柳沢泰孝」が継ぐ(⇒安政3(1856)年2月12日、死去)
- 1843年1月27日 05:00|ハイチ| |||<建国>ハイチ共和国(~18460301)
- 1843年1月27日 05:00|ハイチ| |||南部の黒人ジャル・リビエール・エラル、独裁と腐敗、経済停滞に抗議し反ホワイ蜂起を開始
- 1843年1月28日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「カルロス・ゾウ・レッテ」PC(2期目~18470120)
- 1843年1月30日-09:00|日本| ||天保14年|<刊行>栗原柳庵「刀剣図考」「甲冑図式」「鎧色一覧」
- 1843年1月30日-09:00|日本| ||天保14年|<刊行>三国街道の道中案内書「諸業高名録」
- 1843年1月30日 00:00|イギリス/中国| ||旧暦|上海でイギリスのジャードン・マセソン商会が恰和洋行を設立
- 1843年1月30日-09:00|日本| ||天保14年1月|<出版>葛飾北斎「北斎画苑」
- 1843年1月30日-09:00|日本|東京都台東区|天保14年1月|<初演>「乗合船東方萬歳」[詞・三代目櫻田治助、曲・四代目岸沢式佐]市村座
- 1843年1月31日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タリアのロシア総督「Viktor Yakovlevich Roslavets」(~18450203)
- 1843年2月 04:00|トミカ共和国/ハイチ| |||<就任>ハイチ軍サント・ミンゴ 司令官「チャールズ・リバーニャート」⇒「レオ・ヘラルド」(~18440227)
- 1843年2月1日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「アントニー・クラーク」(~1844年)
- 1843年2月2日-05:30|インド| |||<即位>ビカネール国マハラジャ「サドウル・シン」(~19490330)
- 1843年2月5日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Leandro Jose da Costa」(2期目~3. 2)
- 1843年2月6日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「ルイ・エドゥアール・ブエ」(~18440131)
- 1843年2月7日-05:30|インド| |||<死去>ケワリエル国統治者(マハラジャ・シンデイア)「ジヤンゴラオ2世シンデイア」
- 1843年2月7日-05:30|インド| |||<即位>ケワリエル国統治者(マハラジャ・シンデイア)「ジヤンゴラオ・シンデイア」(~18860620没)、摂政「マハラニ・タラハイ」(~18440113)
- 1843年2月8日 04:00|英領ヴァージン諸島/米領ヴァージン諸島/アンティグア・バーブーダ/セントクリストファー・ネイビス/アンギラ/モントセラト| |||リーワード 諸島で地震(M7. 8) 死者5000人
- 1843年2月10日-09:00|日本|東京都台東区|天保14年1月12日|幕府浅草に非人寄場を新設

1850迄 (3058件)

- 1843年2月11日-01:00|イタリ| |||<初演>ジュゼッペ・フォルツァーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「十字軍のロンバルディア人」》
- 1843年2月12日-05:00|パキスタン/イギリス/インド| |||イギリスはインド国・ミルール国を消滅させ、その領土は最終的にイギリス領インドに編入
- 1843年2月13日 05:00|ハイチ| |||<退任>ハイチ共和国終身大統領「ジャン・ピエール・ボイヤ」ジャマカを経由しフランスに亡命
- 1843年2月14日-09:00|日本|愛媛県今治市|天保14年1月16日|<死去>松平定剛(73歳)前伊予今治藩主
- 1843年2月16日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州総督「ロドリゴ・ルファノ・デ・アブレウ リマ」(~18470513)
- 1843年2月16日 03:00|ウルクアイ| |||<就任>ウルクアイ東方共和国大統領代理「マヌエル・オリベ」(2期目~18511008)PN
- 1843年2月16日 03:00|ウルクアイ| |||オリベ軍、アルペンチンからウルクアイ領内に侵入、首都に迫る/ケラ・グランデ(大戦争)の開始
- 1843年2月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「パウル・ヘルマナス・ジーツマン」
- 1843年2月23日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||スペインがフェルナンド・ポーに対する主権を取り戻す
- 1843年2月23日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領「フランシスコ フェレーラ」(2回目~18441231)
- 1843年2月23日-09:00|日本|東京都墨田区|天保14年1月25日|<大相撲>天保14年1月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西関脇)岩見潟,5勝0敗1分4休/前場所で天津風より改名
- 1843年2月25日 10:00|ハワイ/イギリス| |||<就任>ハワイ諸島王国暫定委員会委員長「Lord George Paulet」イギリス司令官(~7.31)
- 1843年2月25日 10:00|ハワイ| |||<就任>ハワイ諸島王国摂政「Kekauluohi」(~7.31)
- 1843年2月26日-09:00|日本| ||天保14年1月28日|<死去>長谷川雪旦(66歳)画家
- 1843年3月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「イブラヒム・エム・ハシャ」(1回目~1845年2月)
- 1843年3月1日 03:00|ウルクアイ| |||<就任>ウルクアイ東方共和国大統領代理「ホアキン・アラス・デ・ロントロ」コロラト党(~18520216)
- 1843年3月2日-03:00|マダガスカル/フランス/マヨット| |||マダガスカルのセントマリー島はマヨットに従属
- 1843年3月2日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Jose Maria Marques」(1期目~18460501)
- 1843年3月4日-01:00|フランス| |||ジャン=バティスト・アレクサンドル・ボラン、アドルフ・ジヨアンヌ、エドゥアル・シャルトン、ジャン=ジャック=ジュリアン・デュボシェの4人、挿絵入り週刊新聞「リュストリオン」を創刊/フランス初の本版画による挿し絵を掲載し、週1回土曜日に発行(~19440819の「5292-5293合併号」で廃刊)
- 1843年3月4日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アントニオ・ロペス・サンタ・アナ」(~10.4).メキシコ共和国政治組織基本法(憲法)制定.大統領の権限が強化され事実上の独裁制に移行
- 1843年3月5日 03:00|ブラジル/ウルクアイ| |||フアラホス共和国とウルクアイのリベラ大統領、相互防衛条約を結ぶ
- 1843年3月6日 00:00|カナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地コールド=コースト副総督「ヘンリー・ワースリー=ヒル」(~18450308)
- 1843年3月7日-09:00|日本| ||天保14年2月7日|西南に彗星出現
- 1843年3月9日-09:00|日本|京都府亀岡市|天保14年2月9日|<交替>丹波亀山藩5万石「松平信豪」隠居⇒養子「松平信義」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年1月、隠居)
- 1843年3月11日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア総督「Marie Jean-Francois Layrle」(~18451020)
- 1843年3月13日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「ヨハネス・ステファナス・マリッツ」(3回目~4月)
- 1843年3月14日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国暫定国務長官「アントレ・ビリエ」(~17日)
- 1843年3月15日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||ベంగా領土(コリスコ [マンジ]、エロベイ グランデ 島、エロベイ チョ島を含む)に対する主権が、条約によりスペインに割譲された
- 1843年3月16日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「フスト・フィゲロア=イストラダ」(1回目~20日)ケチターによる
- 1843年3月16日-09:00|日本|広島県広島市|天保14年2月16日|広島仁保島の大河・丹那・日宇那住民600人余、天満町沖の西新開に押しかけ騒動に及ぶ
- 1843年3月17日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「ポルト=フランス暫定人民委員会(代替自治体):オーギュスト=ブルアル/J.-B. コーティ/P.-H. ジャントン/タレ/メルレ/オーギュスト=ルイ=シャルル=エミール=ナウ/ルイ=リラヴオワ」(~19日)
- 1843年3月18日 00:00|イギリス| |||<死去>5代マンチェスター公「ウィリアム・モンタギュー」
- 1843年3月18日 00:00|イギリス| |||<就任>6代マンチェスター公「ジョージ・モンタギュー」(~18550818死去)
- 1843年3月19日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「ジャン=ジョゼフ=デュトネ=ミル(ポルト=フランス人民委員会委員長)」(~21日)
- 1843年3月20日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州市民知事「Pedro Mariano Ramirez」(~8.3)
- 1843年3月20日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国最高監督「マヌエル・イグナシオ=デ=ビバenco=エ=イトゥアルテ」(~18440617)
- 1843年3月21日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「リヴィエールのシャルル=エラル長老」(1回目~4.4)
- 1843年3月25日-03:00|マダガスカル/フランス/マヨット| |||ノシベ 島はマヨットに従属
- 1843年3月25日 00:00|イギリス| |||英国テムズ川底にブルル親子のシールド工法で「テムズトンネル」開通
- 1843年3月27日 00:00|イギリス| |||<死去>2代アバ=ガウエ=伯「ヘンリー=ケイル」
- 1843年3月27日 00:00|イギリス| |||<就任>3代アバ=ガウエ=伯「ジョン=ケイル」(~18450412死去)
- 1843年3月27日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「フランシス=コックハ=ン卿」(2回目~18440613)
- 1843年3月29日-07:00|南シ海/イギリス| |||イギリスの捕鯨船長リチャード=スワトリーが、現在スワトリー島とラットリーフとして知られているものを発見

1850迄 (3058件)

- 1843年3月31日-09:00|日本| ||天保14年3月|人返し令、出される
- 1843年4月-04:30|アフガニスタン| ||<即位>アフガニスタン(カブール)エミール「ト・ストモハマト・カン」(2回目~18630609)
- 1843年4月-03:00|ハレーン| ||<就任>ハレーン支配者(ハキム)「シェイク・ムハンマド・イブン・ハリファ・アル・ハリファ」(2回目~18680906)
- 1843年4月-02:00|レバノン| ||レバノンでトルズ派とキリスト教徒による分割統治が成立
- 1843年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルベリ」  
「マリノ・マルベリ」
- 1843年4月1日 00:00|ガンビア/イギリス| ||<就任>イギリス領バサスト副総督「ヘンリー・フ라우ド・シーグラム」(~6.24)
- 1843年4月1日 06:00|ニカラグア| ||<就任>ニカラグア独立共和国最高取締役代行「ファン・テ・デ・イオス・オスコ」(~5.31)
- 1843年4月4日 05:00|ハイチ| ||<就任>ハイチ共和国大統領「臨時政府:ジャン=クリストム・アンペール/ジャン=オギュスト・ウオルテル(7.22まで)/ジャン=ジャック・ルイ・フィリップ・ケリエ/グイクトリン・ノラスク・セクレティエ/リウ・イエールのシャルル・エラル長老(17日から審議議長を担当)/ラザール(8.19から)」(~18440104)
- 1843年4月6日-09:00|日本|高知県高知市|天保14年3月7日|<交替>土佐藩20万2600石「山内豊資」隠居⇒嫡男「山内豊熙」が継ぐ(~嘉永1年7月10日(18480808)、死去)
- 1843年4月8日 00:00|イギリス| ||<死去>5代ホープトン伯「ジョン・ホープ」
- 1843年4月8日 00:00|イギリス| ||<就任>6代ホープトン伯「ジョン・アレクザンダー・ホープ」先代の息子(~18730401死去)
- 1843年4月9日-05:30|インド| ||<就任>トランカトドラ国統治者(ラージ・サヒーブ)「ランマルシム・アマルシム」(~18691028没)
- 1843年4月13日 03:00|ブラジル| ||奴隷運搬船「Progresso」号、奴隷400人を乗せブラジルに向かう途中、嵐にあい座礁、54人が死亡
- 1843年4月16日-09:00|日本|福島県白河市|天保14年3月17日|<死去>阿部正篤(43歳)前陸奥白河藩主
- 1843年4月17日-12:00|ニュージーランド| ||ニュージーランド南島で第1次アングロ・マオリ戦争が勃発
- 1843年4月17日 10:00|ホリネア/フランス| ||<就任>フランス領地アニア知事兼ソシエ諸島国王弁務官「Armand Joseph Bruat」(~1847年)
- 1843年4月17日 10:00|ホリネア/フランス| ||ホリネアはオセアニアのフランス領
- 1843年4月21日 00:00|イギリス| ||<死去>セックス公・インヴァネス伯「オーガスタス・フレデリック」断絶
- 1843年4月25日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「ホアキン・モラン・ガルス・パルハ」(~18440520)
- 1843年4月25日-09:00|日本|北海道|天保14年3月26日|釧路・根室で地震/津波があり、全体で死者46
- 1843年4月26日-09:00|日本| ||天保14年3月27日|<死去>香川景樹(76歳)歌人
- 1843年5月-03:00|サジアビア| ||<就任>ネジュト首長「ファイサル1世イブン・トウキヤ」(2度目~18651202死去)
- 1843年5月3日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード知事ヘンリー・ジョージ・マクラウト卿」(3期目~18460429)
- 1843年5月4日 06:00|ニカラグア| ||<就任>モスキート摂政「フリンズ・ウェリントン・ローリー・ロビンソン/ジョンソン(1843年まで)」(~18450417)
- 1843年5月4日-09:00|日本|山口県下関市|天保14年4月5日|<死去>毛利元義(59歳)前長門長府藩主
- 1843年5月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||南アフリカのボア人の国ナールがイギリスの植民地になる
- 1843年5月6日-09:00|日本| ||天保14年4月7日|<死去>巻菱湖(67歳)書家
- 1843年5月7日-09:00|日本| ||天保14年4月8日|<死去>高久靄崖(48歳)画家
- 1843年5月9日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Joaquin Maria Lopez」進歩党(~19日)
- 1843年5月9日-01:00|フランス| ||パリとフランス中部の都市オルアン、パリとフランス西部セヌ川河口の都市ルーアンを結ぶ鉄道が開通/フランス鉄道初の幹線「西部鉄道」
- 1843年5月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ナール植民地特別委員「ヘンリー・クエテ」(~18440531)
- 1843年5月15日 00:00|イギリス| ||<死去>コグエンリー伯「ジョージ・ウィリアム・コグエンリー」
- 1843年5月15日 00:00|イギリス| ||<就任>コグエンリー伯「ジョージ・ウィリアム・コグエンリー」(~19300313死去)
- 1843年5月16日-02:00|南アフリカ| ||世界初の電報サービス・イギリスで開始
- 1843年5月16日-01:00|アルジェリア| ||アマル公(21)率いるフランス軍が、アルジェリアのアラビア人首長アブド・アルカーデイル(35)の一族を皆殺しに/アルカーデイルはモロッコに逃れる
- 1843年5月16日 00:00|イギリス| ||英国のパテント〜スワ間で初の電報業務開始
- 1843年5月17日 00:00|イギリス/ブラジル| ||27年の英伯条約、期限を終える。その後再調印は行われず。ブラジルはアルヘス・ブランコ関税法により税率を15%から60%に引き上げる
- 1843年5月19日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Alvaro Gomez Becerra」進歩党(~7.23)
- 1843年5月19日 06:00|カタラ/イギリス| ||<就任>イギリス領カタラ州総督代行「リチャーズ・ダウンス・ジャクソン卿」(2回目~30日)
- 1843年5月22日 06:00|アメリカ| ||アメリカ人開拓民1000人が、オレゴン地方に向けてミズーリ州を出発/大量移民の始まりになる
- 1843年5月23日-09:00|日本|群馬県沼田市|天保14年4月24日|<死去>土岐頼功(44歳)前上野沼田藩主
- 1843年5月25日-09:00|日本| ||天保14年4月26日|<死去>松村景文(65歳)絵師
- 1843年5月26日 03:00|ブラジル| ||ファラホス軍、PoncheVerdeの戦いで敗北
- 1843年5月30日 06:00|カタラ/イギリス| ||<就任>イギリス領カタラ州総督「チャールズ・テオフィラス・メカーフ」(~18451126)
- 1843年5月31日 06:00|ニカラグア| ||<就任>ニカラグア独立共和国最高取締役「マヌエル・ペレス」(~18441104)
- 1843年5月31日-09:00|日本|滋賀県東近江市|天保14年5月3日|<死去>稲垣定成(60歳)前近江山上藩主
- 1843年6月-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス| ||<就任>イギリス領海峡植民地総督代行「エドモント・オーガスタス・ブランテル」(~8.27)
- 1843年6月5日-01:00|イタリヤ| ||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「マリア・ティ・ロアン」》
- 1843年6月6日 04:00|トミカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領トミカ副総督代行「デュガルト・スチュワート・レイトロー」(~1845年)
- 1843年6月8日-01:00|フランス/リュエオン/南極| ||リュエオンの知事は、フランスのアムステルダム島とセントポールを併合(正式には18430

1850迄 (3058件)

701から)

- 1843年6月9日-09:00|日本|福岡県北九州市|天保14年5月12日|<死去>豊前小倉藩15万石「小笠原忠固」(74歳)⇒9月3日、次男「小笠原忠徹」が継ぐ(⇒安政3年5月12日(18560614)、死去)
- 1843年6月10日 06:00|ベリス/イギリス| ||<就任>ベリス 居留地管理者(ジャマイカの知事に従属)「チャールズ・セント・ジョン・ファンコート」(1回目~1851年)
- 1843年6月13日-03:00|ヨット/フランス| ||<就任>フランス保護領ヨット上席司令官「ピエール・パソ」(1回目~18440311)
- 1843年6月13日 07:00|メキシコ/アメリカ| ||テキサス共和国、メキシコとの休戦を宣言
- 1843年6月15日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ヘンリー・Balneavis」(~7. 13)
- 1843年6月15日 06:00|アメリカ| ||<死去>アメリカ合衆国第11代大統領「ホーク」47歳(誕生17951102)
- 1843年6月17日-08:00|フィリピン/スペイン| ||<就任>スペイン領フィリピン総督「フランシスコ・デ・パウラ・アルカラ・デ・ラ・トレ」(~18440716)
- 1843年6月18日-01:00|ガボン/フランス| ||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「ギユマン」⇒「アントワーヌ・ド・ウオサン」(~1844年)
- 1843年6月19日-09:00|日本|山形県新庄市|天保14年5月22日|<死去>出羽新庄藩68200石「戸沢正令」(31歳)⇒7月19日、長男「戸沢正実」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月2日、15000石を加増され83200石)
- 1843年6月20日-01:00|セルビア| ||<就任>セルビア公国首席大臣「アレクサンコヴィッチ」(1回目⇒10. 6、代行~11. 29)
- 1843年6月23日 02:00|英領SG・SS諸島/イギリス| ||サウスジョージア・サウスサントイッチ諸島はフォーケント諸島植民地に従属
- 1843年6月24日 00:00|カンビア/イギリス| ||<就任>イギリス王領カンビア総督「ヘンリー・フアト・シーグラム」(~8. 26)
- 1843年6月25日 00:00|コートジボワール/フランス| ||<就任>アシニー(ジョイングイル砦)民間司令官「シナ・ティエンヌ・ジャン・ラバド(遠征隊長)」(~7. 29)
- 1843年6月26日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光23年5月29日|<就任>初代香港総督「サー・ヘンリー・ポティンジャー」香港政府が正式に発足(~18440508)
- 1843年6月28日 00:00|イギリス/中国| ||旧暦6月|清朝とイギリスの五口通商章程が公布
- 1843年6月28日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年6月1日|江戸城最寄一円の上知令を出す/江戸周辺10里四方を幕領とする
- 1843年7月6日-01:00|ドイツ| ||<初演>グイヘルム・リヒルト・ワグナー《使徒の愛餐》
- 1843年7月6日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天保14年6月9日|幕府が庄内藩など5藩に普請役を命じ、鳥居耀蔵らに管理させ印旛沼開拓に着手
- 1843年7月6日-09:00|日本|兵庫県三田市|天保14年6月9日|<交替>摂津三田藩36000石「九鬼隆国」隠居⇒長男「九鬼隆徳」が継ぐ(⇒嘉永7(1854)年1月20日、隠居)
- 1843年7月7日-08:00|中国| ||清・道光23年6月10日|洪秀全がキリスト教系の宗教結社、拝上帝会を創設
- 1843年7月10日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「政府評議会:カルロス・アウグスト・フランコ・ホアキン・アントニオ・デ・カルヴァリョ・メセス/ルイス・ゴメス・リベロ/アリオオテ・アベ・ド・ガリアノ」
- 1843年7月11日 00:00|イギリス| ||<死去>2代マンズフィールド 女伯「ルーザ・マレー」
- 1843年7月11日 00:00|イギリス| ||<就任>4代マンズフィールド 伯「ウィリアム・デ・ウイット・マレー」(~18980801死去)
- 1843年7月11日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年6月14日|<再任>老中「水野忠邦」しかし1年足らずで失脚
- 1843年7月12日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保14年6月15日|大坂城最寄一円の上知令を出す
- 1843年7月13日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「バトリック・Stuart卿」(~18471218)
- 1843年7月14日-09:00|日本|新潟県新潟市|天保14年6月17日|幕府が、新潟を直轄地とし、新潟奉行を置く
- 1843年7月21日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天保14年6月24日|<交替>伊予吉田藩3万石「伊達宗翰」隠居⇒養子「伊達宗孝」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年7月23日、隠居)
- 1843年7月23日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Joaquin Maria Lopez」進歩党(~11. 20)
- 1843年7月23日-01:00|スペイン| ||中道派レモン・マライ・ナルバエス将軍に率いられる反乱、パレンシアで発生
- 1843年7月26日-09:00|日本| ||天保14年6月29日|看板に金銀箔や蒔絵、メッキなどの使用が、贅沢・華美として禁止
- 1843年7月27日-09:00|日本|大阪府|天保14年7月|摂津で上知反対一揆
- 1843年7月27日-09:00|日本| ||天保14年7月|<出版>松川半山「絵本狂歌笑草」
- 1843年7月27日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光23年7月1日|広州が再び開港し、イギリスとの貿易が復活
- 1843年7月29日 00:00|イギリス| ||<死去>ドセット公「チャールズ・サックウイル＝ジャメイン」廃絶
- 1843年7月29日 00:00|コートジボワール/フランス| ||<就任>アシニー(ジョイングイル砦)民間司令官「ルイ・レオン・テオドール・デュフォル・ド・モンルイ」(~1844年)
- 1843年7月30日-01:00|スペイン| ||ナルバエス将軍の部隊、マドリドを占領。エスパルロは英国に亡命
- 1843年8月 00:00|セネガル| ||<就任>ファクトロ統治者「アルマニ」「ママトウ・マムトゥ・ジャ」(~10月)
- 1843年8月1日-09:30|オーストラリア| ||オーストラリアのニュー・サウスウェルズで最初の議会が開催
- 1843年8月2日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州総司令官代理「Fausto del Hoyo y Sanchez」(2期目~10. 2)
- 1843年8月3日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州市民知事「Fausto del Hoyo」(~9. 15)
- 1843年8月7日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ナール植民地人民代表評議会議長「アントニアス・テオドロス・スハイ」(2回目)
- 1843年8月8日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ナール植民地人民代表評議会議長「ヨハネス・ステファニス・マリッツ」(4回目~9月)
- 1843年8月15日-01:00|デนมาร์ク| ||デนมาร์ク・コペンハーゲンにフレデリクス公園開園<世界で最古のアミューズメントパーク>
- 1843年8月17日 00:00|コートジボワール/フランス| ||<就任>グランバッサム(ヌムル砦)民間司令官「シャルル・マリー・フィリップ・ド・ケルハレル」

1850迄 (3058件)

ト(遠征司令官) (~9. 28)

- 1843年8月21日 00:00|イギリス| |||イギリスの物理学者ジュールが英国科学振興協会大会で熱の仕事当量測定の研究報告
- 1843年8月26日 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガンビア総督代行「トマス・ルイス・イングラム」(3回目~18440407)
- 1843年8月26日 06:00|アメリカ| |||ミシシッピ級外輪フリゲイト「ミズーリ」(3220t, ニュー・ヨーク海軍工廠で建造)シブラルタルにて事故により焼却
- 1843年8月27日-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地総督「ウイリアム・ジョン・バタワース」(~18550321)
- 1843年8月31日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||イギリス軍がピートルマリツツルを再占領
- 1843年8月31日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|天保14年8月7日|<交替>遠江横須賀藩35000石「西尾忠固」隠居⇒養子「西尾忠受」が継ぐ(⇒文久元(1861)年7月26日、死去)
- 1843年9月-09:30|オーストラリア| |||トマス・サクリフ・モート、シドニーに羊毛仲買会社設立
- 1843年9月2日 00:00|イギリス| |||イギリスで経済誌「エコノミスト」が創刊される
- 1843年9月3日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国暫定最高統治評議会議長「トミンゴ・ニエト・マルケス」(~18440217)
- 1843年9月4日-05:30|インド| |||<死去>ジョージ・ポル国マハラジャ「マン・シン」
- 1843年9月5日-01:00|オーストラリア| |||ドップラー効果の実験/蒸気機関車の上でトランペットを吹いて、音の変化を確認
- 1843年9月9日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍フリゲイト「プリントン」(1046t, フィテールフィア海軍工廠で建造)
- 1843年9月11日-09:00|日本| ||天保14年8月18日|<死去>3代浜村蔵六(53歳)篆刻家
- 1843年9月13日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官代行「フランシスコ・ハビエル・デ・ウゾ・イ・ラミス・テ・ラド」(~10. 20)
- 1843年9月13日-09:00|日本|順天堂大学|天保14年8月20日|蘭医佐藤泰然が江戸から佐倉へ移り、病院・学塾の名称を「順天堂」と改める
- 1843年9月14日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天保14年8月21日|<死去>大和小泉藩11129石「片桐貞中」(17歳)⇒弟の「片桐貞照」が継ぐ(⇒文久2(1862)年5月24日、24歳で死去)
- 1843年9月14日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|天保14年8月21日|<交替>日向高鍋藩27000石「秋月種任」隠居⇒長男「秋月種殷」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1843年9月15日-05:30|インド| |||<死去>ハンジヤブ国マハラジャ「シル・シン」
- 1843年9月15日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「アント・レアス・ペトルー・メタキス」(~18440228)
- 1843年9月15日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャでケータ、オトン王が臨時政府を承認(憲法制定により、立憲君主制に移行)
- 1843年9月15日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州知事「Jose Martinez y Martin」(~10. 3)
- 1843年9月17日-05:30|インド| |||<即位>ハンジヤブ国マハラジャ「タリッパ・シン」(~18490222)、摂政「マハラニ・ジント・カウル」(~1846年12月)
- 1843年9月19日-01:00|フランス| |||<死去>フランス物理学者ガスパール・コリオリ
- 1843年9月20日-01:00|フランス| |||パリに「パリ・オルアン鉄道」の「オステルリッツ駅」(13区)が開業
- 1843年9月28日 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>グランバッサム(ヌール砦)民間司令官「レオン・ベツソン」(~1844年)
- 1843年10月-02:00|ルーマニア| |||ワキアで秘密結社「フラティア」が結成
- 1843年10月 00:00|セネガル| |||<就任>アタト・ロ統治者統治者(アルマニ)「マドゥ・ヒラン・ワーン」(2回目~12月)
- 1843年10月1日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Gregorio Santa Maria」(~18480404死去)
- 1843年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロドゲ・イコ・ベルツィ」 「ヒアジ・オマルテリ」
- 1843年10月2日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州総司令官「Fermin de Salcedo」(~1847. 4)
- 1843年10月3日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州知事「Trino Gonzalez de Quijano」(~18440116)
- 1843年10月4日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「ジョセフ・バレンティン・ライムント・カリソ・ボカゲイ・ゾ」(18440201まで代行その後暫定~18440604)
- 1843年10月6日-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「Ahmad Pasha Manikli」(~1845年)
- 1843年10月6日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣「アレクサ・シミッチ」(1回目~18441011)
- 1843年10月6日-09:00|日本|島根県安来市|天保14年9月13日|<交替>出雲母里藩1万石「松平直興」隠居⇒婿養子「松平直温」が継ぐ(⇒安政3(1856)年9月21日、死去)
- 1843年10月7日 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||ブラジル、パラグアイとの間に通商条約締結。国境紛争を終結
- 1843年10月7日-09:00|日本| ||天保14年9月14日|幕府が、江戸周辺10里四方の上知(豊かな土地と幕府領を交換)、下総国印旛郡内と新潟の上知につづいて、大坂周辺の上知を命じる/この命令は反対が強く実現できず
- 1843年10月8日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光23年8月15日|中国、虎門塞で、清がイギリスを最惠国待遇とする追加条約に調印
- 1843年10月9日 00:00|アイルランド| |||アイルランドの数学者ウイリアム・ハミルトンは、この日散歩中に「四元数」についてひらめいた/応用数学に展開
- 1843年10月9日-09:00|日本| ||天保14年9月16日|<死去>6代伊藤宗看(76歳)将棋棋士/十世名人
- 1843年10月13日-09:00|日本|京都府南丹市|天保14年9月20日|<交替>丹波園部藩24000石「小出英発」隠居⇒婿養子「小出英教」が継ぐ(⇒安政2(1855)年10月10日、死去)

1850迄 (3058件)

- 1843年10月14日-05:30|インド | |||<即位>ジョージ・ポープル国マハラジャ「タクト・シン」(~18730213没)、摂政「マハニ・キ・ハ・イ」(~1856年)
- 1843年10月14日-01:00|ドイツ | |||メンデルズーンのオペラ「真夏の夜の夢」がホツタム新宮殿で初演
- 1843年10月15日 06:00|アメリカ | |||<就役>アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「サウアン」(1726t, ニュー・ヨーク海軍工廠で建造)
- 1843年10月20日 05:00|キューバ/スペイン | |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ルサ伯ロドリゴ・オト・ル・イ・ジョリス」(~18480220)
- 1843年10月24日-05:30|インド | |||<死去>インダール国統治者(マハラジャ・ルカ)「ハリ・ラオ・ルカ-9世」
- 1843年10月24日-05:30|インド | |||<即位>インダール国統治者(マハラジャ・ルカ)「カンテ・ラオ2世ルカ-10世」(~18440217没)、摂政「マハニ・ゴータマ・ハ・イ」(~18440217)
- 1843年10月24日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天保14年閏9月2日|高野山で落雷により大火災
- 1843年10月29日-09:00|日本 | ||天保14年閏9月7日|上知令撤回
- 1843年10月30日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>イギリス領ナタール植民地人民代表評議会議長「P. R. オット」(3回目)
- 1843年11月-09:30|オーストラリア | |||ジョン・リドリー、南オーストラリア、収穫脱穀機を発明
- 1843年11月 00:00|イギリス | |||イギリスのハンコックがゴムの加硫工程技術を開発、特許取得
- 1843年11月 06:00|アメリカ | |||<就役>アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「カンパ・ランド」(1726t, チャールズ・タウン海軍工廠で建造⇒1855年, スループに改装)
- 1843年11月2日-09:00|日本|秋田県秋田市|天保14年閏9月11日|<死去>国学者・神道家・思想家・医者, 平田篤胤/68歳(誕生: 安永5(1776)0824)
- 1843年11月2日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年閏9月11日|<就任>老中「阿部正弘」(~安政4年6月27日)
- 1843年11月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年閏9月13日|<解任>老中「水野忠邦」
- 1843年11月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年閏9月13日|<解任>老中「堀田正睦」
- 1843年11月5日-01:00|フランス/ホリネシア | |||フランスが、死地の領有を宣言
- 1843年11月5日 05:00|キューバ | |||マタンサスにおいて自由黒人を中心に黒人奴隷と一部白人をまじえ、奴隷制廃止と人種差別の撤廃をめざす蜂起
- 1843年11月8日-01:00|スペイン | |||イサベル2世(13)は成人を宣言し、親政を開始
- 1843年11月8日 10:00|ホリネシア/フランス | |||<就任>ツエテ諸島死地特定フランス司令官「Hippolyte Foucher d'Aubigny」(~18450116)
- 1843年11月12日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年閏9月21日|<解任>老中「間部詮勝」
- 1843年11月12日-09:00|日本|兵庫県加東市|天保14年閏9月21日|<死去>丹羽氏福(82歳)前播磨三草藩主
- 1843年11月13日-01:00|イタリヤ | |||<初演>ガエターノ・ド・ニエッティ《歌劇「ドン・セハステイアン(ポルトガル王)」》
- 1843年11月17日-08:00|中国 | ||清・道光23年9月26日|清が、上海を開港
- 1843年11月20日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Salustiano Olozaga[進歩党](~18431205)
- 1843年11月22日-09:00|日本 | ||天保14年10月|<再版>歌川国安「四十八手最手鏡」(浮世絵)
- 1843年11月22日-09:00|日本 | ||天保14年10月|<出版>歌川国貞「相撲取組図画」
- 1843年11月22日-09:00|日本|徳島県徳島市|天保14年10月|<交替>阿波徳島藩25万7千石「蜂須賀齊昌」隠居⇒養子「蜂須賀齊裕」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年1月6日、死去)
- 1843年11月26日 06:00|カナダ/イギリス | |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「トミニク・テリ」(~12.12)
- 1843年11月28日-05:45|ネパール | |||<就任>ネパール首相「マダバル・シン・タバ」(~18450517没)
- 1843年11月28日 00:00|イギリス/フランス/アメリカ | |||イギリスとフランスがハワイの独立を承認
- 1843年11月29日 00:00|イギリス | |||<死去>ウインチェスター侯「チャールズ・インゴルス・ビー・ホーレット」
- 1843年11月29日 00:00|イギリス | |||<就任>ウインチェスター侯「ジョン・ホーレット」(~18870704死去)
- 1843年12月 00:00|シエラレオネ | |||CMSカクラー・スクール開校
- 1843年12月 00:00|シエラレオネ | |||アク(ヨルバ)人と休人(エボ)人の間で住民抗争発生
- 1843年12月 00:00|ガンビア/シエラレオネ | |||ガンビアがシエラレオネ植民地から分離
- 1843年12月1日 06:00|アメリカ | |||<就役>アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「ラリタン」(1726t, フィラデルフィア海軍工廠で建造)
- 1843年12月1日-09:00|日本/イギリス|沖縄県八重山郡|天保14年10月10日|イギリス船サラン号、八重山に上陸し測量を強行
- 1843年12月4日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>イギリス領ナタール植民地人民代表評議会議長「ハ・カス・ヘルマス・ジエツマン」(2度目~1844年1月)
- 1843年12月5日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Luis Gonzalez-Bravo」穏和党(~18440503)
- 1843年12月6日-09:00|日本|東京都墨田区|天保14年10月15日|<大相撲>天保14年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前2)小柳, 7勝0敗1分2休
- 1843年12月8日 00:00|イギリス | |||<死去>8代フランス伯「ヘンリー・ウインザー」廃絶
- 1843年12月12日-01:00|オランダ | |||<死去>ネーデルラント王国初代国王「ウィルム1世」[17720824生](享年71)
- 1843年12月12日 06:00|カナダ/イギリス | |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ウィリアム・ヘンリー・ドレイパー」(3回目/カナダ西部)「デニス・ベンジャミン・ヒガ」(カナダ東部) (~18460617)
- 1843年12月13日 00:00|イギリス/レソト | |||イギリスによりレソト承認
- 1843年12月15日 07:00|メキシコ | |||ユカタンはメキシコに再編
- 1843年12月15日 12:00|日本|長崎県長崎市|天保14年10月24日|21時頃、長崎出来鍛冶屋町の新兵衛生宅裏小屋より出火/今鍛冶屋町、今籠町、油屋町、今石灰町、新石灰町、長崎村高野平郷に延焼、長さ6丁、幅1丁半ほど、562戸が焼失、土蔵5棟、南光寺、良泉院、宝輪寺、快行院、清水寺などが焼失
- 1843年12月23日-09:00|日本|京都府京都市|天保14年11月3日|<就任>京都所司代「酒井忠義」(⇒1850(嘉永3年7月

1850迄 (3058件)

28日))

- 1843年12月23日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年11月3日|<就任>老中「戸田忠温」(~嘉永4年7月26日)
- 1843年12月23日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年11月3日|<就任>老中「牧野忠雅」(~安政4年9月10日)
- 1843年12月26日-12:00|ニュー-ラント/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ニュー-ラント 総督「ロバート・フィッツロイ」(~18451118)
- 1844年-12:00|ウオリス・ツナ| |||<即位>トゥア(アロ)王「Filipo Meitala」(~1862年死去)
- 1844年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Moh. Pulalun Kiram」(~1862年)
- 1844年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア女王「アンメイ」(2回目~1845年)
- 1844年-05:30|インド| |||<就任>チャンパ 国ラジャ「シュリ・シン」(~18701003没)
- 1844年-05:30|インド| |||<就任>ティグリア国ラジャ「ハリハル・クシャトリア・ヒルハル・チャムハ・ティ・シン・マハ・トラ」(~18860408没)
- 1844年-05:30|インド| |||<就任>ハリサワン国統治者(ターケル)「ガンガラム・シン・テオ」(~1863年)
- 1844年-05:30|インド| |||<就任>マニポール国ラジャ「ノビン(フリテン)」
- 1844年-05:30|インド| |||<就任>マンガル国統治者(ラナ)「シヨダ・シン」(~同年没)
- 1844年-05:30|インド| |||<就任>ラーゼコット国統治者(タクル・サーヒブ)「メフラムジ 4世スラジ」(~18621108没)
- 1844年-05:30|インド/イギリス| |||マライ国はイギリス保護領
- 1844年-05:00|パキスタン| |||<死去>ギルギット国統治者「カリム・カーン」
- 1844年-05:00|パキスタン| |||<死去>ナガル国ミル・タム「カリム・カーン」
- 1844年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「モハマト・カーン2世」(~1847年)
- 1844年-05:00|パキスタン| |||<就任>ナガル国ミル・タム「ジャファル・ザ・ハト・カーン」(1回目~1891年)
- 1844年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アンカイ汗国ハ「ガザンファル・カーン」(1回目~1845年)
- 1844年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||イリスで親イマート派反乱、ロシアによってイリス・スルタン国廃止
- 1844年-03:00|ソマリア| |||<即位>マジニティン・スルタン「Suldaan Maxamuud Suldaan Cismaan Maxamuud」(~1860年)
- 1844年-01:00|ベナン| |||<就任>アグウェのウエ国統治者「ケントン1世」(~1846年)
- 1844年-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「ジャン=マリ・ミレー」
- 1844年-01:00|ベナン| |||<就任>サグィ・フエタ 国統治者「テジ」(~1857年)
- 1844年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Francisco de Paula Warleta」(~同年)⇒暫定総督「Juan Prim y Prats」(~同年)⇒暫定総督「Antonio Marui」(~同年)⇒総督「Antonio Ordenez」(~1848年)
- 1844年 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>アシニー(シヨイング・イル砦)民間司令官「ホウエイ」(~1845年頃)
- 1844年 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>グランバッサム(ヌル砦)民間司令官「シヨセフ・ペレグリン」(~1845年没)
- 1844年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督「アロイス・ダ・ロウ・ジエザスキー」(2回目~1845年)
- 1844年 04:00|ブルートリコ/スペイン| |||<就任>ビエクス島知事「Francisco Sainz」(~1851年)
- 1844年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「コンスタンチン・ジークワート=ミュラー」Con(~12. 31)
- 1844年1月1日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島主任判事「Thursday October Christian II」(1期目~12. 31)
- 1844年1月4日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「リグイエールのシャル・エラル長老」(2回目~5. 3追放)/ドミニカのハイチ人自由党員とドミニカ人を弾圧
- 1844年1月5日-05:30|インド| |||<就任>パルワガル国統治者(マハラット)「タルハット・シン」(~18640330没)
- 1844年1月6日-09:00|日本| ||天保14年11月17日|<死去>世継寂窓(不明)画家
- 1844年1月8日-09:00|日本|山口県岩国市|天保14年11月19日|<死去>周防岩国藩6万石「吉川経章」(50歳)⇒翌年1月14日、長男「吉川経幹」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年3月20日、39歳で死去)
- 1844年1月10日-03:00|イェメン| |||<死去>ラーシー朝イマム「アルハディム・ハンマド」
- 1844年1月10日-03:00|イェメン| |||<復位>ラーシー朝イマム「アルマンスール・アリ2世」(2期目~1845. 12)
- 1844年1月12日-01:00|イタリア| |||イタリアで革命派蜂起。以下、イタリア各地で独立運動激化
- 1844年1月13日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ヘイスティングズ侯・3代モイラ伯・2代ロンドン伯「ジョージ・オーガスタス・フランス・ロンドン=ヘイスティングズ」
- 1844年1月13日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ヘイスティングズ侯・4代モイラ伯・3代ロンドン伯「ポーリン・レジナルド・セルロ・ロンドン=ヘイスティングズ」先代の息子(~18510217死去)
- 1844年1月16日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島市民知事「Miguel Diaz」(~18470420)
- 1844年1月16日 10:00|ポリアニア/フランス| |||マアラバはフランス保護領
- 1844年1月18日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ネッティ《歌劇「カテリナ・コルナロ」》
- 1844年1月28日-09:00|日本|福岡県北九州市|天保14年12月9日|<交替>小倉新田藩(篠崎屋敷)1万石「小笠原貞哲」隠居⇒次男「小笠原貞謙」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年正月4日、25歳で死去)
- 1844年1月29日-01:00|トイツイ| |||<死去>ザケン=コブルク=コータ公「エルスト1世」
- 1844年1月29日-01:00|トイツイ| |||<即位>ザケン=コブルク=コータ公「エルスト2世」(~18930822死去)
- 1844年1月31日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督代理「Mariano Chaves」(~4. 10)
- 1844年2月 00:00|セネガル| |||<就任>ファクトール統治者統治者(アルマーニ)「ママトウ・ヒラン・ワーン」(3回目~6月)
- 1844年2月1日-01:00|フランス| |||フランスがアラブ 局を創設
- 1844年2月1日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「オーギュスト=ラザール・ラホレル」(~7. 24)
- 1844年2月1日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領代行「フェルミン・パラシオス」(1回目~7日)
- 1844年2月2日-05:30|インド| |||<就任>パンスワラ国統治者(マハラリ)「ラクシュマン・シン」(~19050429没)、摂政「シヤハマト・アリハン」(~1856年)
- 1844年2月2日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国首席大臣「マカエ子爵シヨセフ・カルロス・テ・アルメイダ・トリス」(~18460502)

1850迄 (3058件)

- 1844年2月3日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ヘスペラ伯「フレデリック・ホッソル」  
1844年2月3日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ヘスペラ伯「ジョン・ウィリアム・ホッソル」(~18470516死去)  
1844年2月5日-09:00|日本|大分県臼杵市|天保14年11月|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉幾通」(29歳)⇒養子「稲葉観通」が継ぐ(⇒文久2(1862)年間8月4日、24歳で死去)  
1844年2月7日-11:30|ノースフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノースフォーク島管理者「Joseph Childs」(~18460805)  
1844年2月7日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「フリオ・ホセ・ダ・シルバ・ウエイラ」(~18480822)  
1844年2月7日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領「フランシスコ・マレヒン・ブラスミス」(~18450215)  
1844年2月8日-05:30|インド| |||<就任>マニール国ラジャ「ナラ・シン」(~18500411)  
1844年2月9日-09:00|日本|東京都墨田区|天保14年12月21日|<死去>画人、英一珪(80余歳)  
1844年2月10日-09:00|日本|東京都千代田区|天保14年12月22日|<就任>老中格「堀親宝」(~弘化2年4月29日)  
1844年2月10日-09:00|日本| ||天保14年12月22日|徳川氏の歴史をまとめた「徳川実紀」の編集が終わる/原題は「御実紀」で、1542年から1787年までの245年間、全517冊  
1844年2月11日-09:00|日本|愛媛県今治市|天保14年12月23日|松山藩領越智郡岡村大火167軒を焼失  
1844年2月11日-09:00|日本|東京都|天保14年12月23日|<死去>為永春水(54歳)戯作者  
1844年2月13日-09:00|日本|福島県いわき市|天保14年12月25日|<死去>安藤信義(59歳)前陸奥磐城平藩主  
1844年2月14日-09:00|日本|長野県飯田市|天保14年12月26日|<加増>信濃飯田藩2万石「堀親しげ」+7000石⇒27000石(⇒弘化3(1846)年、隠居)  
1844年2月17日-05:30|インド| |||<死去>インダール国統治者(マハラジャ・ホカ)「カンテ・ラオ2世ホカ」10世  
1844年2月18日-09:00|日本| ||天保15年|<刊行>栗原柳庵「鑿工譜略」「鞍鎧図式」  
1844年2月18日-09:00|日本|岡山県総社市|天保15年|備中国分寺五重塔完成  
1844年2月18日-09:00|日本|北海道岩内郡岩内町|天保15年|朝日温泉開湯  
1844年2月18日-09:00|日本| ||天保15年1月|<出版>一勇斎国芳「滑稽絵姿合」  
1844年2月18日-09:00|日本| ||天保15年1月|<出版>松川半山「阿弥陀経和訓図会」  
1844年2月18日-09:00|日本| ||天保15年1月1日|渋川景佑らが西洋天文学の成果を取り入れて完成させた太陰太陽暦「天保暦」採用  
1844年2月21日 05:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー共和国大統領「モン・カステーリヤ・イ・マルサド」(8.31まで暫定最高統治評議会議長~12.10)  
1844年2月27日 04:00|ドミニカ共和国/ハイチ| |||独立派、首都で蜂起。首都のオマ要塞を奇襲により攻略/ハイチ軍は算を乱して逃走  
1844年2月28日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「コンスタンティノス・ミハイル・カリス」(1回目~4.11)  
1844年2月28日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国暫定理事会議長「フランシスコ・デル・ロサリオ・サンチェス」(~3.1)  
1844年2月28日-09:00|日本| ||天保15年1月11日|<死去>菅井梅閑。井戸に投身自殺(61歳)画家  
1844年2月29日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍フリゲイト「プリントン」(1046t)ウァージニア州Alexandriaにて304mm砲「ヒースメーカ」の暴発により損傷、視察に乗艦していたジョン・タイラー大統領一行約20名が死傷(大統領は無事)  
1844年3月-01:00|フランス| |||テュム・ペール「三銃士」新聞に連載(~7月)  
1844年3月 06:00|エルサルバドル/カタマラ/ニカラガ/ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連合連邦評議会議長「ジョン・ホセ・ムセノ・エルナンデス・キート・イ・セラヤ(ホンジュラス)」(~29日)  
1844年3月1日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国中央理事会議長「トマス・ホセ・バティスタ・イ・ブリアス」(~6.5)  
1844年3月1日 04:00|ドミニカ共和国/ハイチ| |||ハイチからサント・ミンゴ独立、ドミニカ共和国を宣言  
1844年3月4日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ナール植民地人民代表評議会議長「P・R・オットー」(第4回)  
1844年3月5日 06:00|カタール| |||カタールで「トロント・グローブ」紙が創刊  
1844年3月6日 00:00|カナダ/イギリス| |||コロンビアがイギリスの主権下におかれる  
1844年3月8日-01:00|スウェーデン/ルウェー| |||<死去>スウェーデン王国国王「カール14世ヨハン」兼ルウェー王「カール3世ヨハン」80歳(誕生17640128)  
1844年3月8日-01:00|スウェーデン/ルウェー| |||<即位>ルウェー・スウェーデン王「オスカル1世」(~18590708死去60歳)  
1844年3月9日-05:30|インド| |||<即位>コンダール国マハラジャ「ホーラジ・バグワツインジ」(~19480215)  
1844年3月9日-01:00|イタリア| |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ウエルティ《歌劇「エルナーニ」》  
1844年3月11日-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス保護領マヨット上席司令官「ポール・シャルル・ラング」(~6.17没)  
1844年3月11日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Rafael Aristegui y Velez」(~18471214)  
1844年3月13日-09:00|日本| ||天保15年1月25日|<死去>初代宝山左衛門(不明)歌舞伎囃子方  
1844年3月14日 04:00|パラグアイ| |||<就任>パラグアイ共和国大統領「カルロス・アントニオ・ロペス・インスラン」(~18620910)  
1844年3月16日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャ新憲法が公布される  
1844年3月16日-09:00|日本|東京都墨田区|天保15年1月28日|<大相撲>天保15年1月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前2)荒馬,6勝1敗3休  
1844年3月18日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「ヘレグリン・メイトランド 卿」(~18470127)  
1844年3月18日-01:00|ドイツ| |||ベルリンで革命勃発  
1844年3月18日-01:00|イタリア| |||ミラノで叛乱  
1844年3月18日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領コロンビア総督代行「トマス・エドワード・ジュリアス・エリクセン」(~7.5)  
1844年3月19日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ロンドン伯「ウィリアム・ラウザー」  
1844年3月19日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ロンドン伯「ウィリアム・ラウザー」(~18720304死去)  
1844年3月20日 13:00|日本|新潟県上越市|天保15年2月2日|<越後今町(上越市)天保15年の大火>夜四つ時(22時

1850迄 (3058件)

- ごろ)に新坂井町の市之助方から出火/激しい風にあおられ炎は荒川(関川の下流域)を超えて福島橋あたりまで延焼し対岸の村々まで焼いた/被害は町家1203軒,寺7か所,そのほか神社,土蔵,廻船や川船も焼失/夜九つ時(午前0時ごろ)に雪解けの水のため荒川が満水して焦土の町中に浸水
- 1844年3月20日 14:00|日本|新潟県上越市|天保15年2月2日|<天保15年奥州二本松領大風災害>二本松藩領の安達郡,安積郡,信夫郡では夜半亥の下刻(23時ごろ)から翌3日の酉の刻(18時ごろ)まで激しい風が吹き二本松城内の住居,門などが大破/城の表門,長屋2か所が倒潰,城内の倒木や折木546本/倒潰した侍屋敷73軒,同足軽屋敷292軒,領内の町家1460軒,寺社25か所,倒木・折木2万4500本に及び麦作が大損害を負った
- 1844年3月23日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ロレンソ・ゲルマック・ポッロ」(~18450906)
- 1844年3月24日-01:00|オーストリア/イタリヤ| ||<就任>サルデーニャ,オーストリアに宣戦.フランス,サルデーニャへの軍事支援を表明しオーストリア政府を牽制
- 1844年3月24日 12:00|日本|新潟県上越市|天保15年2月6日|<越後今町(上越市)天保15年の大火>夜五つ半(21時ごろ)砂山地内安楽町の亥三郎の後家(未亡人)ちか方から出火,今町では焼け残った85軒が全焼,塩屋新田と砂山村で63軒など合計148軒を焼いた
- 1844年3月26日-09:00|日本|山口県下関市|天保15年2月8日|下関奉行所を廃止
- 1844年3月28日-01:00|スペイン| ||<就任>スペインで治安警察隊創設
- 1844年3月29日 06:00|エルサルバドル/グアテマラ/ニカラガ/ホンジュラス| ||<就任>中央アメリカ連邦最高代表「ホセ・フル・チャモ・ペレス(ニカラガ)」(~12.1)
- 1844年4月-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国ウイーン・ワリス(総督)「シルケイ・ムスタファ・ヌリ・パシャ」(~1845年2月)
- 1844年4月 05:00|ハイチ| ||南部のPiquetで元将校アカーの率いるArmeeSouffranteが反乱
- 1844年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・ベネデット・ベルツィ」[「ピエトロ・リギ」]
- 1844年4月9日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>ウインブルク=ポトジェフストルム司令官・総督「アンドリース・ハントリック・ポトギーター」(2度目~18460608)
- 1844年4月9日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスタード議長「J. D. van Coller」
- 1844年4月9日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||ウインブルク=ポトジェフストルムに共同体が設立される
- 1844年4月9日 06:00|ニカラガ/イギリス| ||イギリスのモスク保護領再建(ジャマイカ知事の下で)
- 1844年4月11日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「アレクサンドロス・ニコラウ・マウロコラトス」(3回目~8.18)
- 1844年4月12日 06:00|アメリカ| ||アメリカ,テキサス併合条約調印
- 1844年4月13日-01:00|イタリヤ| ||シチリア独立宣言
- 1844年4月13日 06:00|アメリカ/メキシコ| ||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督代理「Felipe Sena」(~29日)
- 1844年4月13日-09:00|日本|東京都|天保15年2月26日|<死去>北方探検家・間宮林蔵(65歳)江戸で
- 1844年4月17日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポントデルガダ民政知事「Antonio Vicente Peixoto」(~18460530)
- 1844年4月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>アセンション島司令官代理「トマス・チャールズ・コットン・ムア」(~5.18)
- 1844年4月19日-09:00|日本| ||天保15年3月2日|<死去>松平信順(52歳)前三河吉田藩主,元寺社奉行・大坂城代・京都所司代・老中
- 1844年4月20日-09:00|日本|群馬県前橋市|天保15年3月3日|円如坊日満,上野太胡本応寺を中興
- 1844年4月26日 04:00|セントビンセント/イギリス| ||<就任>イギリス領セントビンセント副総督代行「ウィリアム・ジョン・スター」(~18451011)
- 1844年4月28日-09:00|日本/フランス|沖縄県那覇市|天保15年3月11日|フランス船アルケール号,那覇に入港し通商を求める
- 1844年4月29日 06:00|アメリカ/メキシコ| ||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Mariano Martinez de Lejanza」(~1845年)
- 1844年5月1日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ウィリアム・ファーガソン」(2期目~18451227)
- 1844年5月1日 00:00|ガンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「ウィリアム・ファーガソン」(2度目~18451227)
- 1844年5月1日 06:00|アメリカ| ||アメリカ,ワシントン・アナーリス間で初めて電信が実用化される
- 1844年5月3日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Ramon Maria Narvaez」穏和党(~18460211)
- 1844年5月3日 05:00|ハイチ| ||<解任>ハイチ共和国大統領「リグイエールのシャル・エラル長老」ムラトの反乱グループにより追放
- 1844年5月3日 05:00|ハイチ| ||<就任>ハイチ共和国大統領「ジャン・ジャック・ルイ・フィリップ・ゲリエ」(~18450415在任中死去)
- 1844年5月4日-01:00|スペイン| ||<就任>サルバエス,各地の反乱を平定.実権を掌握
- 1844年5月8日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光24年3月21日|<就任>第2代香港総督「サー・ジョン・フランシス・デビズ」(~18480321)
- 1844年5月12日-03:30|イラン| ||イランのアリー・モハンマドがバブ教をおこす
- 1844年5月12日-03:30|イラン| ||イラン西部,カジャンで地震M6.4,死者1500人
- 1844年5月14日-09:00|日本|岡山県倉敷市|天保15年3月27日|<死去>池田政範(49歳)前備中生坂藩主
- 1844年5月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>アセンション島司令官「ジョン・フレザー」(~10.11)
- 1844年5月19日-09:00|日本|福岡県久留米市|天保15年4月3日|<死去>筑後久留米藩21万石「有馬頼徳」(48歳)⇒四男「有馬頼永」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年7月3日,死去)
- 1844年5月20日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「ホセ・フェレイラ・ペスターナ」(1回目~18510115)
- 1844年5月24日 06:00|アメリカ| ||ワシントンとポルティモア間40マイルの電信回線が敷設され,世界初の長距離通信が行なわれる
- 1844年5月27日-01:00|ドイツ| ||<初演>フェリックス・メンデルソーン《劇音楽「夏の夜の夢」

1850迄 (3058件)

- 1844年5月31日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||ナール植民地はケープ植民地に(ナール地区として)併合(~18451204)
- 1844年6月-05:30|インド| |||<死去>コチン国統治者(マハラジャ・ガンガダラ・コウイラティ・カリカ)「ラマヴァルマ12世」
- 1844年6月-05:30|インド| |||<即位>コチン国統治者(マハラジャ・ガンガダラ・コウイラティ・カリカ)「ラマヴァルマ13世」(~1851年7月没)
- 1844年6月-01:00|ドイツ| |||ドイツのシュレージエンで職工一揆がおこる
- 1844年6月 00:00|セネガル| |||<就任>ファクトロ統治者統治者(アルマニ)「バーバリー」(3回目~1846年2月)
- 1844年6月4日 00:00|アイスランド| |||北半球の寒冷地帯に棲息していたオウミガラスが絶滅
- 1844年6月4日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アントニオ・ロペス・デ・サンタ・イ・ペレス・デ・レブロン・アンナ」(3回目~18450521/18450115交戦軍に捕らえられた)
- 1844年6月5日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国中央理事会議長「ルネ・マリア・カミロ・フェレル」(~9日)
- 1844年6月6日 00:00|イギリス| |||イギリスで工場法が制定され、繊維工場で働く女性と13歳から18歳の年少労働者の1日12時間以上の労働が禁止される
- 1844年6月6日 00:00|イギリス| |||ロンドンでジョージ・ウリアムスらが世界初のキリスト教青年会YMCAが創立
- 1844年6月6日-09:00|日本| |||天保15年4月21日|鶏市という闘鶏が禁止
- 1844年6月9日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国中央理事会議長「フランシスコ・デル・ロサリオ・サンチェス」(~7. 13)
- 1844年6月13日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「チャールズ・ロジャース・ベケット」(2回目~20日)
- 1844年6月13日-09:00|日本|山形県|天保15年4月28日|田川・飽海・由利郡の幕府領73か村の農民が、庄内藩預地への編入に反対して強訴する/実力行使によって引き継ぎが延期される
- 1844年6月15日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド総督代行(イギリス東インド会社)「ウィリアム・ウィルバート・フォース・バート」(~7. 23)
- 1844年6月15日 06:00|アメリカ| |||アメリカの発明家チャールズ・グット・イヤ、ゴム強化の加硫について特許取得
- 1844年6月17日-03:00|マヨット/フランス| |||<死去>フランス保護領マヨット上席司令官「ポール・シャルル・ラング」
- 1844年6月17日-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス保護領マヨット上席司令官代行「シャルル・ルイ・ティホー」(~10. 22)
- 1844年6月17日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「トミンゴ・エリアス・イ・カバホ(政治・軍事長官)」(1回目~8. 10)
- 1844年6月20日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「ジョージ・ヘンリー・エヌト・マシュー」(1回目~18470417)
- 1844年6月21日-09:00|日本|福岡県北九州市|天保15年5月6日|<交替>常陸水戸藩35万石「徳川斉昭」強制隠居⇒嫡男「徳川慶篤」が継ぐ(⇒慶応4年4月5日(18680427)、死去)
- 1844年6月25日-09:00|日本|東京都千代田区|天保15年5月10日|江戸城本丸が炎上
- 1844年6月25日-09:00|日本|兵庫県明石市|天保15年5月10日|<死去>播磨明石藩8万石「松平齊宣」(20歳)⇒7月17日、養子「松平慶憲」が継ぐ(⇒明治2(1869)年2月8日、隠居)
- 1844年6月26日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、タイラー大統領、ジュリア・ガーターと再婚
- 1844年6月27日-05:30|インド| |||<即位>イングランド国統治者(マハラジャ・カカ)「トクジ・ラオ2世(カカ-11世)」(~18860617没)、摂政「マラニ・サヒバ・クリシュナ・バイ」(~1849年9月没)
- 1844年6月27日 06:00|アメリカ| |||末日聖徒イエス・キリスト教会の教祖ジョセフ・スミス、暴徒に殺害される
- 1844年6月28日-09:00|日本|東京都千代田区|天保15年5月13日|<解任>老中「真田幸貫」
- 1844年7月3日-08:00|中国/アメリカ| |||清・道光24年5月18日|清朝とアメリカが望厦修好通商条約を結ぶ
- 1844年7月3日 00:00|アイスランド| |||オウミガラス、アイスランド沖のエルティ岩礁で最後のつがい生体が殺され絶滅
- 1844年7月5日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴートランド=コスタ総督代行「ジョージ・ラテロット」(~10. 9)
- 1844年7月9日-09:00|日本|東京都大田区|天保15年5月24日|幕府が、羽田奉行を廃止
- 1844年7月11日-09:30|オーストラリア| |||『オーストラリアン』の所有者たち、『ホクスバリー・クリア』を創刊/オーストラリア最初の新聞のチェイン
- 1844年7月12日 04:00|ドミニカ共和国| |||自由選挙に反対するサンタ、サント・ミンゴを占拠/ドミニカ共和国の支配者となることを宣言/メジャが、ついでウアルテ、サンチェスが投獄され、国外追放になる
- 1844年7月12日-09:00|日本| |||天保15年5月27日|<死去>2代吉田辰五郎(不明)人形浄瑠璃の人形遣い
- 1844年7月13日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国中央理事会議長(兼最高責任者)「ペドロ・サンタ・ファミリアス」(~11. 13)
- 1844年7月15日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「アーサー・ウェルズリー・トレンス」(~1848年)
- 1844年7月16日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「ナルソ・クラベリア」(~18491226)
- 1844年7月19日 00:00|イギリス| |||イギリスで、銀行特許状法(ピール銀行法)が制定されイングランド銀行、銀行券発行の独占権取得
- 1844年7月22日-01:00|ドイツ| |||<初演>グイヘルム・リヒャルト・ワーグナー《序曲「ファウスト」》
- 1844年7月22日 05:00|ペルー| |||カルメン・アルトのたたかいで、カスティヤの率いる護憲軍がVivancoに勝利. ヒバコンは国外亡命
- 1844年7月23日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド総督(イギリス東インド会社)「ハーディング伯爵ヘンリー・ハーディング」(~18480112)
- 1844年7月24日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天保15年6月10日|幕府、印旛沼開墾工事を中止
- 1844年7月25日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ピエール・モリス・トマス」(~18451211)
- 1844年7月26日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ヘイツベリー男爵ウィリアム・ア・コート」(~18460711)
- 1844年7月27日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの化学者・物理学者ジョン・ドナルドソン(17660906~)化学元素に記号を使って表示した
- 1844年8月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー(ビサウ配下)総督「ルネ・サビエル・ド・クラト」(1回目~1846年)

1850迄 (3058件)

- 1844年8月1日-01:00|ドイツ| |||ドイツ、ベルリン動物園開園  
1844年8月2日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ領東インド総督「Pieter Merkus」  
1844年8月2日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督代理「Jan Cornelis van Reijnst」(~18450930)  
1844年8月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天保15年6月21日|<再任>老中首座「水野忠邦」(~弘化2年2月22日)  
1844年8月5日-09:00|日本|千葉県富津市|天保15年6月22日|<死去>保科正徳(70歳)前上総飯野藩主  
1844年8月7日 00:00|ギリシア/イギリス| |||<就任>イギリス王領ギリシア総督代行「ジョン・アイルズ・マンテル」(~12. 9)  
1844年8月9日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督代行「ヨン・ヨソソ」(~18450520)  
1844年8月9日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「エドヴァルト・ジェームス・アールト・カステンセン」(2回目~18470410)  
1844年8月10日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「マヌエル・メンデス・イ・ゴサベル」(2回目~11日)  
1844年8月11日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「フスト・フィゲロア・イ・エストラダ」(2回目~10. 7)クーデターによる  
1844年8月12日-09:00|日本|東京都中央区|天保15年6月29日|江戸伝馬町の獄舎炎上、高野長英脱獄  
1844年8月14日 00:00|モロッコ/フランス/イタリア| |||アルジェリアの国境地帯のイスリ川の戦いで、フランス軍がモロッコ軍に大勝利を収める  
1844年8月15日-09:00|日本/オランダ|長崎県長崎市|天保15年7月2日|オランダ軍艦バレンバン[使節コブス]長崎に来り国書を幕府に呈し日本の開国を勧む  
1844年8月16日-08:00|中国/アメリカ| |||米清ワシントン条約-カシンガ条約、中国、米に南京条約に対する最恵国待遇  
1844年8月18日-02:00|ギリシア| |||<就任>ギリシア首相(閣僚理事会議長)「イオニス・ニコウ・コレティス」(2回目~18470912在任中に死去)  
1844年8月19日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《アンダンテと変奏》  
1844年8月23日-09:00|日本|静岡県沼津市|天保15年7月10日|<死去>駿河沼津藩5万石「水野忠武」(21歳)⇒弟「水野忠良」が継ぐ(⇒安政5(1858)年5月3日、死去)  
1844年8月29日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天保15年7月16日|<交替>伊予宇和島藩10万石「伊達宗紀」隠居⇒養子「伊達宗城」が継ぐ(⇒安政5(1857)年11月23日、隠居)  
1844年9月-09:30|オーストラリア| |||園芸、植物学、科学振興のためのロイヤル・ソサエティ、ヴァンデームスランドで設立/イングリッド以外で設立された最初のロイヤル・ソサエティ  
1844年9月-01:00|北マドニア/トルコ| |||<就任>ウスケヴ・ワリス(知事)兼マスティル・ワリス(総督)「オスマン・パシャ」(~1845年8月)  
1844年9月10日 00:00|モロッコ/フランス| |||タンジール条約が結ばれ、モロッコとフランスの戦争が終結  
1844年9月10日-09:00|日本|東京都|天保15年7月28日|<死去>俳師・田喜庵(谷川)護物(73歳)  
1844年9月12日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ホセ・ホアキン・アントニオ・フロレンシオ・デ・エレラ・イ・リカルトス」(~21日)  
1844年9月17日-09:00|日本| |||天保15年8月6日|<死去>蹄齋北馬(75歳)浮世絵師  
1844年9月21日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ホセ・パレンティン・ライムント・カリソ・ホガティョ」(~12. 7)  
1844年9月27日-09:00|日本|東京都|天保15年8月16日|<死去>浮世絵師・蹄齋(有阪)北馬(74歳)  
1844年9月28日-04:00|アルバニヤ/ロシア| |||<就任>ロシアのカスピ海行政官「ヴァンゲル男爵アレクサンドル・エフスタフイェヴィチ」(~1846年)  
1844年9月28日 00:00|ギリシア| |||<死去>4代グレートブリテン公「ジョージ・ヘンリー・フィッツロイ」  
1844年9月28日 00:00|ギリシア| |||<就任>5代グレートブリテン公「ヘンリー・フィッツロイ」(~18630326死去)  
1844年9月29日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||ノーフォーク島はVan Diemen's Land(タスマニア)の一部(~18561031)  
1844年10月-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「アフメド・パシャ・アル=マニリ」(~1846年)  
1844年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・ゾーリ」マリノ・ベルティ  
1844年10月6日-01:00|フランス| |||ウィーンで革命発生  
1844年10月7日 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||ブラジル、パラグアイの間に通商条約締結. 国境紛争を終結し、河川の通行権の相互保障で合意  
1844年10月7日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「マヌエル・メンデス・イ・ゴサベル」(3回目~18450420)  
1844年10月11日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣「アヴラム・ペトロエヴィッチ」(3回目~18520422)  
1844年10月11日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「アーサー・フレミング・モレル」(~18470118)  
1844年10月12日-09:00|日本| |||天保15年9月|<死去>武田秀平(73歳)陶工  
1844年10月22日-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス保護領マヨット上席司令官代行「オーギュスト・ブラン」(~1846年1月)  
1844年10月22日 00:00|ギリシア| |||<就任>初代エルトボロー伯「エドワード・ロウ」(~18711222死去廃絶)  
1844年10月24日-01:00|フランス/中国| |||清・道光24年9月13日|中国とフランスとの間に、中国にとって決して有利とはいえない修好通商条約(黄埔条約)が締結される  
1844年11月 00:00|ギリシア/ブラジル| |||ブラジル側の主張が認められ、1827年の対英不平等条約が破棄される  
1844年11月1日-09:00|日本| |||天保15年9月21日|<死去>8代木村庄之助(不明)大相撲立行司  
1844年11月2日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「権敦仁」(~18480812)  
1844年11月3日-01:00|イタリア| |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「2人のフォスカリ」》  
1844年11月4日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役代行「エミリアーノ・マドリ」(~18450124)  
1844年11月9日-05:30|インド| |||<就任>マंगアル国統治者(ラナ)「ジット・シン」(~1892年没)  
1844年11月10日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ海軍スループ「ホーツマス」(1022t, ホーツマス海軍工廠で建造)  
1844年11月11日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア・ヘルツェゴビナ総督「オスマン・ヌリ・パシャ」(~18451101)

1850迄 (3058件)

- 1844年11月11日-08:00|中国| ||清・道光24年10月2日|開港地でのキリスト教に対する禁令が緩和される
- 1844年11月12日 06:00|アメリカ| ||民主党のジェームズ・ポーク(49)が、第11代大統領に選出される
- 1844年11月13日 04:00|ドミニカ共和国| ||<就任>ドミニカ共和国大統領「ペドロ・サンタ・ファミリア」(1回目~18480804)
- 1844年11月14日 03:00|ブラジル| ||ポロンゴスの戦い。アルマス将軍の率いる帝国軍に敗れたファリスは、壊滅的打撃を受ける
- 1844年11月16日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド総督「ルイ・フジョル」(~18491116)
- 1844年11月16日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|天保15年10月7日|<交替>近江仁正寺藩17000石「市橋長富」隠居→養子「市橋長和(長義)」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1844年11月19日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天保15年10月10日|<死去>播磨姫路藩15万石「酒井忠学」(37歳)⇒12月27日、従甥「酒井忠宝」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年8月10日)
- 1844年11月21日-09:00|日本|東京都千代田区|天保15年10月12日|<解任>老中「土井利位」
- 1844年11月22日-09:00|日本|新潟県長岡市|天保15年10月13日|<越後長岡天保15年の大火「俊治火事」>夜半九つ時過ぎ(午前0時過ぎごろ)同心町に住む町同心・伊佐俊治方から出火、四つ時(10時ごろ)領内の村々から動員された火消隊が、神田坂内小路の3、4軒上に消し口をつくり鎮火させた/被害は、家老宅3軒、奉行宅3軒、家中の侍屋敷40軒余、足軽屋敷6、70軒、町同心屋敷22軒、町宅給人(給料生活の侍)、又者(家臣の配下)の家数軒、町家およそ1170軒余、城門3か所、役所など3か所、寺社10か所
- 1844年11月26日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天保15年10月17日|<死去>三河吉田藩7万石「松平信宝」(21歳)⇒12月29日、養子「松平信璋」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年7月27日、死去)
- 1844年11月29日 06:00|コスタリカ| ||<就任>コスタリカ自由国最高責任者「フランシスコ・マリア・オレアムノ・ホネージャ」(~18460607)
- 1844年12月 06:00|コスタリカ| ||<就任>コスタリカ自由国最高責任者代行「ホセ・ラファエル・モヤ・ムリリョ」(~18450430)
- 1844年12月2日 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「Pierre Louis Aime Mathieu」(~1848.3)
- 1844年12月5日-09:00|日本|東京都墨田区|天保15年10月26日|<大相撲>天保15年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関)秀の山,8勝0敗2休/3日目から岩見湯より改名
- 1844年12月9日-05:30|インド| ||<就任>ポールランド支配者(ナワ・ベガム)「リタン・シャー・ジャハン・ベガム」(1回目~18600430)、摂政「ファウザル・モハマト・カン」(~18470103没)
- 1844年12月9日 00:00|ガンビア/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガンビア総督「チャールズ・フィッツジェラルド」(~18470418)
- 1844年12月9日 06:00|アメリカ| ||<就任>テキサス共和国大統領「Anson Jones」(~18460219)
- 1844年12月10日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天保15年11月|川村修就,新潟奉行所内の武術稽古所を建て直し,学問所(後に観光館と称する)とする
- 1844年12月12日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍スloop「ジェームズ・タウン」(1150t,ゴスポート造船所で建造)
- 1844年12月14日 06:00|グアテマラ| ||<就任>グアテマラ大統領「ホセ・ラファエル・カラ・トルシオス」(1回目~18480816)
- 1844年12月15日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領「ホセ・ホアキン・アントニオ・フロンシオ・デ・エレラ・イ・リカルトス」(1回目、18450916まで暫定~18451230)
- 1844年12月16日 06:00|ニカラガア| ||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役代行「シルベストル・セルバ・ササ」(~18450120)
- 1844年12月21日 00:00|イギリス| ||ロッチェール先駆者協同組合、英国ランカシャーに店舗開設。生活共同組合の先駆
- 1844年12月30日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アングラ・ド・エロイス民政知事「Nicolau Anastacio de Bettencourt」(1期目~18460601)
- 1845年-11:00|ミクロネシア| ||<死去>モル国王「ノシユア」
- 1845年-11:00|ミクロネシア| ||<即位>モル国王「レムシヨル」(~1869年没)
- 1845年-07:00|タイ| ||<即位>パタニ王「スルタン・パヤ・ロンク・ムハンマド」(~1856年)
- 1845年-05:30|インド| ||<就任>シハ国ラジャラム・シン」(~1849年)
- 1845年-05:30|インド| ||<就任>タスハラ国ラジャ「マトウスタン・デ・オ・ハニ」(~1861年)
- 1845年-05:30|インド| ||<就任>チュイカタン国統治者(マハト)「ラクシュマン・ダス」(~1887年12月)
- 1845年-05:30|インド| ||<就任>トール国統治者(タル・サーヒブ)「ジェインシ2世・フプタムシ」(~1886年没)
- 1845年-05:30|インド| ||<就任>ミラジ・ジュニア国統治者(ヲ)「ラクシュマン・ヲ1世アンナ・サーヒブ」(~1876年没)
- 1845年-05:30|インド| ||<即位>ジャワール国統治者(マハラジ・ラナ)「プリシガ・イ・シン」(~18750829没)
- 1845年-05:30|インド| ||<即位>ヲ国統治者(ヲナ)「サダルシンジ・ジャラムシンジ」(~1868年)
- 1845年-05:30|インド| ||ハドラー国はジャンムーに併合
- 1845年-05:00|カザフスタン| ||<就任>キルギス内陸部汗国摂政「アテイル(暫定総督)」(~1858年1月没)
- 1845年-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| ||<即位>コカト(フェルガナ)対立ハン「Sarimsak Khan」(~1846年)
- 1845年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>アンカイ汗国ハン「ス・フィー・カーン」(1回目)⇒「ガザンファル・カーン」(2回目~1847年)
- 1845年-04:30|アフガニスタン| ||<復位>バークザイ朝アミール「トースト・ムハンマド・ハーン」(~18630609死去)
- 1845年-04:00|UAE| ||<死去>アブ・ダビ统治者「Sheikh Khalifa ibn Shakhbut Al Nahayan」
- 1845年-04:00|UAE| ||<即位>アブ・ダビ统治者「Sheikh Sultan ibn Shakhbut Al Nahayan」(~7月死去)
- 1845年-03:00|スーダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スーダン総督「Khalid Khusraw Pasha」(~1850年)
- 1845年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>ハスラのムテッカリフ「イブラヒム・エフエンディ」(~1846年)
- 1845年-03:00|カンタ| ||<就任>ブガブラ统治者(オムカマ)「キマリケ1世ガブラ・ナムケウエリ」(?)
- 1845年-03:00|カンタ| ||<就任>ブクアンガ・キ统治者(オムカマ)「ンギレビ・サ・ガヤ」
- 1845年-03:00|カンタ| ||<就任>ブコノ统治者(オムカマ)「カブセラ」
- 1845年-03:00|カンタ| ||<就任>ブザヤ统治者(オムカマ)「ムサヤ・ケワノチヨ」(~1875年頃)
- 1845年-03:00|カンタ| ||<就任>ブシ统治者(オムカマ)「ハシノ1世」

1850迄 (3058件)

- 1845年-03:00|ウガンダ | |||<就任>ブジンバ 統治者(オムカマ)「ソベ」
- 1845年-03:00|エチピア | |||<即位>エチピア 帝国皇帝「ヨハネス3世テレキヨキス」(2度目~同年)⇒「サレ・デンゲル・ゲブレ・メイヤ」(4度目~1850年)
- 1845年-03:00|イェメン | |||<即位>マフリ-国サルタン「Taw`ari ibn `Ali Afrar al-Mahri」(~?)
- 1845年-02:00|シリア-アラブ /トルコ | |||<就任>ダマスカス軍総督「Mehmed Namiq Pasha」(~1846年)
- 1845年-02:00|モザンビーク | |||<就任>マニカ統治者(マンボ)「ムサ・マティヤ・タシ」(~1865年)
- 1845年-01:00|ガボン/フランス | |||<就任>ガボン-ギニア湾入植地司令官「アントレ・フ・リセット」(1回目~1846年)
- 1845年-01:00|ベナン | |||<就任>サヘ 統治者「オバ・オワ」(~1852年)
- 1845年-01:00|ニジェール | |||<即位>ソンガイ 帝国国王(アスカ)「コイ・ハバ」(~1864年)
- 1845年-01:00|カメルーン | |||<即位>レイブ・ハ・スルタン国サルタン「ヤミア・ブ・ハ・ソジダ」(2回目~1850年)
- 1845年 00:00|コートジボワール/フランス | |||<就任>グラナッサム(ヌルル砦) 民間司令官「シルベール・ジャン・ハティスト・コンジャール」(~18460703没)
- 1845年 00:00|トゴ | |||<就任>コトコリ 統治者(オウロエツ)「アコリコ」(~1865年頃)
- 1845年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル | |||<就任>ビサウ総督「ジョアキン・デ・アセベト・アルボム」(~1847年)
- 1845年 02:00|グリーンランド /デンマーク | |||<死去>北グリーンランド 検査官「Hans Peter Christian Moller」
- 1845年 02:00|グリーンランド /デンマーク | |||<就任>北グリーンランド 検査官「Nicolai Zimmer」(~1846年)
- 1845年 04:00|アンティグア-バブーダ /イギリス | |||<就任>アンティグア 総督「チャールズ・ソートン・カニガム」(~1847年)
- 1845年 04:00|セントクリストファー-ネイビス | |||<就任>ネイビス 大統領「ウィロビー・ショートランド」(~1853年)
- 1845年 05:00|パナマ | |||<就任>パナマ 大統領「ホセ・オバルデ・イ・オラエラ」(1回目)⇒「トマス・デ・エレウ」(3回目~1846年)
- 1845年1月1日-01:00|スイス | |||<就任>スイス 連合国会議長「ヨハン・ハインリッヒ・エマニュエル・ムンツ」Con(~4. 3)
- 1845年1月1日 06:00|ロシア | |||<就任>ロシア 共和国大統領代行「閣僚会議:カストル・ホセ・アルバート」(2回目)/コロト・チャベス」(~8日)
- 1845年1月1日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス | |||<就任>イギリス領ビトケアン諸島主任判事「アサー・Quintal2世」(1期目~18461231)
- 1845年1月2日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天保15年11月24日|<死去>秋田孝季(59歳)前陸奥三春藩主
- 1845年1月3日-08:00|マレーシア | |||<死去>ケダ・スルタン国サルタン「アハマト・タジュテ・イン・ハリム・シャー2世」
- 1845年1月3日-08:00|マレーシア | |||<即位>ケダ・スルタン国サルタン「トゥアック・ザイナル・ラシド・ムアッザム・シャー1世・イブニ・アル=マルフム・スルタン・アハマト・タジュテ・イン・ハリム・シャー」(~18540313没)
- 1845年1月6日-09:30|オーストラリア | |||ジョン・スキナー・フラウト、オーストラリア最初の美術展覧会をホートで組織
- 1845年1月7日-09:00|日本 | |||天保15年11月29日|<死去>初代山村舞扇斎(64歳)振付師
- 1845年1月8日 06:00|ロシア | |||<就任>ロシア 共和国大統領「コロト・チャベス」(~18461231)
- 1845年1月9日-09:00|日本 | |||弘化1年12月2日|「弘化」に改元
- 1845年1月14日 04:00|トミカ国/イギリス | |||<就任>イギリス領トミカ副総督「ジョージ・マクナルド」(~1851年)
- 1845年1月20日 06:00|ニカラガ | |||<就任>ニカラガ 独立共和国最高取締役代行「マヌエル・アントニオ・プラス・サエンス」(~4. 4)
- 1845年1月25日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天保15年12月18日|<死去>大岡忠烈(78歳)前武蔵岩槻藩主
- 1845年1月31日-09:00|日本|東京都|弘化1年12月24日|寄席が自由化され、その後一年間で営業60余軒から700余軒に増加
- 1845年2月-02:00|シリア-アラブ /トルコ | |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Dellalzade Osman Pasha」(~1846. 6)
- 1845年2月-02:00|キプロス/トルコ | |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「ハチ・メスルル・アガ」(~6月)
- 1845年2月-02:00|ブルガリア/トルコ | |||<就任>オスマン帝国ウイェン・ワリス(総督)「メフメト・ハイレ・イン・パシャ」(~1846年10月)
- 1845年2月3日-02:00|ウクライナ/ロシア | |||<就任>タウリアのロシア総督「Vladimir Ivanovich Pestel」(~18541123)
- 1845年2月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保14年12月28日|<就任>大坂城代「松平和泉守乗全」(~弘化2. 3. 18)
- 1845年2月4日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化1年12月28日|<就任>老中「青山忠良」(~嘉永1年9月3日)
- 1845年2月7日-09:00|日本|長崎県壱岐市|弘化2年|亀丘城を再築
- 1845年2月7日-09:00|日本|長野県須坂市|弘化2年|<交替>信濃須坂藩10053石「堀直格」隠居⇒長男「堀直武」が継ぐ(⇒文久元(1861)年11月6日、隠居)
- 1845年2月7日-09:00|日本|山口大学|弘化2年1月|山口講堂を山口講習堂と改称
- 1845年2月8日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス | |||<就任>トリニダード 知事代行「E. C. アーチャー」(~7. 2)
- 1845年2月9日-01:00|イタリア | |||革命によりローマ共和国成立。マツィーニ、三頭執政官の一人に就任(~6. 29)
- 1845年2月13日 00:00|イギリス | |||<死去>初代エフィンガム伯「ケネス・ハワード」
- 1845年2月13日 00:00|イギリス | |||<就任>2代エフィンガム伯「ヘンリー・ハワード」(~18890205死去)
- 1845年2月15日-01:00|イタリア | |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「ジヤヌ・ダルク」》
- 1845年2月15日 06:00|エルサルバドル | |||<死去>エルサルバドル 共和国大統領「フランスコ・マレシオン」暗殺される
- 1845年2月15日 06:00|エルサルバドル | |||<就任>エルサルバドル 共和国大統領「ホアキン・エウラシウス・グスマン・ウガルテ・アルバート」(1回目~18460201)
- 1845年2月15日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|弘化2年1月9日|幕府、浦賀に砲台を構築
- 1845年2月17日 00:00|イギリス | |||<死去>初代ウェストミンスター侯・2代グロウナー伯「ロバート・グロウナー」
- 1845年2月17日 00:00|イギリス | |||<就任>2代ウェストミンスター侯「リチャード・グロウナー」先代の息子(~18691031死去)
- 1845年2月19日 05:00|コンヒア | |||<噴火>コンヒア、ネバト・デル・ルイス火山、土石流・洪水で犠牲者1, 000名
- 1845年2月22日 00:00|イギリス | |||<死去>3代モントン伯「ウィリアム・ウェルズリー・ホール」
- 1845年2月22日 00:00|イギリス | |||<就任>4代モントン伯「ウィリアム・ホール=ティルニ=ロンク=ウェルズリー」(~18570701死去)
- 1845年2月22日-09:00|日本|福井県福井市|弘化2年1月16日|乾風のため海上の漁船転覆、福井藩領内の漁師35人

1850迄 (3058件)

行方不明

- 1845年2月28日 03:00|ブラジル | ||リオ・グランデ・ド・スル州がブラジルへ再編
- 1845年3月 05:00|エクトル | ||グアキルの実業家グイエン・ラン・トの率いる武装勢力がフランスを追放し、臨時政府を樹立
- 1845年3月1日 06:00|アメリカ | ||テキサス併合の合同決議案が成立し、アメリカがテキサスを併合
- 1845年3月2日-09:00|日本|東京都港区|弘化2年1月24日|<青山火事>江戸・青山の同心伊藤専蔵宅から出火し、青山から麻布、白金、高輪へと延焼する大火災に
- 1845年3月3日 06:00|アメリカ | ||<加盟>フロリダ準州⇒アメリカ合衆国フロリダ州 (27番目)
- 1845年3月3日 06:00|アメリカ | ||アメリカ、郵便法成立
- 1845年3月4日 06:00|アメリカ | ||<就任>アメリカ合衆国第11代大統領「ジェームズ・ノックス・ポーク」民主党 (~18490303)
- 1845年3月4日-09:00|日本|東京都|弘化2年1月26日|東京初のマッチ工場が開設
- 1845年3月6日 05:00|エクトル | ||エクトル共和国「三月革命」が成立。ル・ボキーン・テ・ホルム 元副大統領らの率いる自由党系武装勢力が、フランス大統領を追放し臨時政府を樹立
- 1845年3月7日 05:00|エクトル | ||<就任>エクトル国臨時政府長官「ル・ボキーン・テ・ホルム」 (~12. 8)
- 1845年3月8日-02:00|南アフリカ/イギリス | ||トランソヴァニア(後のハンガリー共和国)にイギリス人入植
- 1845年3月8日 00:00|カナダ/イギリス | ||<就任>イギリス領西アフリカ植民地「ゴルト」=ゴルト副総督代行「ジェームズ・リリー」 (~18460415)
- 1845年3月11日-12:00|ニュージーランド | ||ニュージーランドで、マオリ族がイギリス人の植民地支配に抵抗してコロレカを奇襲し、多くのイギリス人を殺す
- 1845年3月12日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|弘化2年2月5日|<交替>近江水口藩25000石「加藤明邦」隠居⇒次男「加藤明軌」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年2月29日、隠居)
- 1845年3月13日-01:00|ドイツ | ||<初演>フェリックス・メンデルソーン《ヴァイオリン協奏曲 短調 Op. 64》18440916作曲
- 1845年3月13日 00:00|イギリス | ||<死去>イギリスの化学者「ジョン・ダニエル(17900312~)」 「ダニエル電池」
- 1845年3月22日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化2年2月15日|<就任>老中「松平乗全」 (~安政2年8月4日)
- 1845年3月28日 07:00|メキシコ/アメリカ | ||メキシコ政府、米国との国交断絶
- 1845年3月29日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化2年2月22日|<解任>老中「水野忠邦」
- 1845年4月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスト・ボネリ」 「フランチスコ・ウァッリ」
- 1845年4月1日 05:00|コロンビア/パナマ/エクトル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラグア | ||<就任>ヌエバ・グラタ共和国大統領「トマス・フリアーノ・イグナシオ・マリア・デ・モスケラ・フィゲロア・イ・アルボレ・サラザール」 (1回目~18490401)
- 1845年4月3日-01:00|スイス | ||<就任>スイス連合国会議長「ヨナス・ファラー」Rad (~12. 31)
- 1845年4月4日 06:00|ニカラグア | ||<就任>ニカラグア独立共和国最高取締役「ル・レオン・サントバル」 (~18470401)
- 1845年4月4日-09:00|日本|京都府京都市|弘化2年2月28日|<死去>有栖川宮韶仁親王 (62歳) 皇族
- 1845年4月4日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化2年2月28日|前年焼けた江戸城本丸が落成
- 1845年4月8日-09:00|日本 | ||弘化2年3月2日|<死去>4代西川扇蔵 (49歳) 舞踊家
- 1845年4月10日-09:00|日本|東京都江東区|弘化2年3月4日|江戸深川三十三間堂通矢「六十間堂百射」、大久保雅之助 (14歳) 80本 (総矢数100本中) を記録
- 1845年4月12日 00:00|イギリス | ||<死去>3代ハノーヴァーエー伯「ジョン・ネイル」
- 1845年4月12日 00:00|イギリス | ||<就任>4代ハノーヴァーエー伯「ウィリアム・ネイル」 (~18680817死去)
- 1845年4月15日 05:00|ハイチ | ||<死去>ハイチ共和国大統領「ジャン・ジャック・ルイ・フィリップ・ケリエ」在任11カ月で病死
- 1845年4月15日 05:00|ハイチ | ||<就任>ハイチ共和国大統領「国務長官評議会: ジャック・シルヴァン・ヒロリット/ジェラン(評議会議長)/アレクシス・ポブラン・アルドゥアン/ジャン・M. ホールギ・アン・レオン・テトル」 (~5. 3)
- 1845年4月17日 06:00|ニカラグア | ||<即位>モキート王「ジョージ4世ウグーストウス・フレデリック」 (~18610921)
- 1845年4月18日-09:00|日本/アメリカ|神奈川県横須賀市|弘化2年3月12日|アメリカ船マンハッタン号、漂流民を乗せ浦賀に入港し通商を求める
- 1845年4月20日 05:00|ペルー | ||<就任>ペルー共和国大統領「ラモン・カスティリャ・イ・マルサド」 (1回目~18510420)
- 1845年4月22日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化2年3月16日|<大相撲>弘化2年3月場所[江戸本所回向院] (10日間) 幕内優勝: (西大関) 秀の山, 6勝0敗2分2休
- 1845年4月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|弘化2年3月18日|<就任>大坂城代「松平伊賀守忠優」 (~嘉永1. 10. 18)
- 1845年4月24日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化2年3月18日|<就任>老中「戸田忠温」 (~1851年7月26日)
- 1845年4月25日-09:00|日本 | ||弘化2年3月19日|<死去>大関増業 (65歳) 前下野黒羽藩主
- 1845年5月-09:30|オーストラリア | ||南オーストラリアのバウで銅鉱脈発見
- 1845年5月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン | ||<死去>コカンド・ハン国ハン「シェールアリー・ハン」
- 1845年5月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン | ||<即位>コカンド (フェルガナ)ハン「ムラト・ベク・ハン」 (~1845. 6死去)
- 1845年5月 00:00|イギリス | ||エンゲルが「イギリスにおける労働者階級の状態」を刊
- 1845年5月-08:00|中国 | ||中国・広東省で劇場火災。死者1600名以上
- 1845年5月1日 06:00|コスタリカ | ||<就任>コスタリカ自由国最高責任者代行「ラファエル・ルイス・ル・デ・ガシエロス・イ・アルバラド」 (~18460607)
- 1845年5月1日 06:00|アメリカ/メキシコ | ||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督代理「Jose Chavez y Castillo」 (~11. 16)
- 1845年5月3日 05:00|ハイチ | ||<就任>ハイチ共和国大統領「ジャン＝ルイ・ミシェル・ピエロ」 (~18460301)
- 1845年5月6日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|弘化2年4月1日|<加増>武蔵岩槻藩2万石「大岡忠固」+3000石⇒23000石(⇒嘉永5(1852)年6月20日、死去)

1850迄 (3058件)

- 1845年5月6日-09:00|日本|東京都|弘化2年4月1日|<死去>7代岩井半四郎(42歳)歌舞伎役者
- 1845年5月13日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの化学者ダニエル/54歳(誕生17900522)ダニエル電池を発明
- 1845年5月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヴァルテック侯「ゲオルク2世」
- 1845年5月15日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァルテック侯「ゲオルク・ヴァクトル」(~18930512死去)
- 1845年5月19日 00:00|イギリス| |||ジョン・フランクリンが北西航路の探検に出发
- 1845年5月23日-01:00|スペイン| |||スペイン、超保守的な憲法を制定
- 1845年5月24日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア総督「フィリップ・ヨーゼフ・ルトルフ・グラーフ・フォン・シュターティオン＝ヴァルトハウゼン」(~18471123)
- 1845年5月25日-09:00|日本|山形県酒田市|弘化2年4月20日|<酒田弘化2年の大火「甘鯛火事」>酒田淡路小路の“甘鯛”と呼ばれた家から出火、片町から上下内町、給人町、新町、上袋小路、稲荷小路、本町と炎はなめ、山椒小路、御宿小路、利右衛門小路、染屋小路へと延び、また秋田町から六間小路、出町、荒町、船場町、獵師町、台町など酒田の中心街920戸が焼けた/そのほか土蔵191棟が焼け、米6500俵、穀類700俵が灰となった/寺は十全堂、静照寺、運昌坊、鳳泉坊が焼失
- 1845年5月31日-02:00|バハマ| |||バハマでキリスト教徒とトルス派が平和協定を締結
- 1845年6月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| |||<死去>ゴカント(フェルガナ)ハン「ムラト・ベク・ハン」
- 1845年6月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| |||<即位>ゴカント(フェルガナ)ハン「ムハンマド・フダヤール・ハン」(1期目~1858年)、摂政「Musulman Qul」(~1852.10死去)
- 1845年6月3日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化2年4月29日|<解任>老中格「堀親宝」
- 1845年6月4日-09:00|日本|東京都|弘化2年4月30日|<死去>沢田名垂(71歳)国学者、歌人、会津藩士
- 1845年6月5日-05:30|インド| |||<就任>シャープラ国統治者(ラジャピラジ)「ジャガット・シン」(~18530623没)、摂政「ラニ・カンカトイ」
- 1845年6月5日-09:00|日本|北海道|弘化2年5月|(~6月)東蝦夷地ツナイ・ミツイにて疱瘡流行.18人死亡
- 1845年6月7日 04:00|カートループ/フランス| |||<死去>カートループ知事「Jean Baptiste Marie Augustin Gourbeyre」
- 1845年6月7日 04:00|カートループ/フランス| |||<就任>カートループ暫定知事「Joseph Athanase Varlet」(~10.31)
- 1845年6月8日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ合衆国第7代大統領ジャクソン/78歳(誕生17670315)
- 1845年6月10日 10:00|ハワイ| |||<就任>ハワイ諸島王国首相「John Kaleipahala Young2世」(1期目~18530905)
- 1845年6月12日-09:00|日本|千葉県木更津市|弘化2年5月8日|<死去>林忠英(81歳)前上総貝淵藩主、若年寄
- 1845年6月26日 01:00|カホベルテ/ホルトガル| |||<就任>カホベルテ総督「セ・ミゲル・デ・ノロニャ」(~1847年)
- 1845年6月28日 00:00|チャンル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Peter Stafford Carey」(~1883.5)
- 1845年7月-04:00|UAE| |||<死去>アブダビ首長「Sheikh Sultan bin Shakhbut Al Nahyan」
- 1845年7月-04:00|UAE| |||<即位>アブダビ首長「Sheikh Isa bin Khalid al-Falahi」(~9月死去)
- 1845年7月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「ハッ・テルハス・アガ」(~1846年7月)
- 1845年7月2日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事「ハンリー・ジョージ・マクラウド卿」(4期目~18460421)
- 1845年7月3日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官「Joseph Marie Fidele Delecluse」(~18491014)
- 1845年7月7日-08:00|台湾| |||大風で長崎村、山里村、淵村の3か村の家屋倒壊356戸、水死4人、破船55隻
- 1845年7月10日 00:00|マン島/イギリス| |||<死去>マン島副知事「John Ready」
- 1845年7月10日-09:00|日本|東京都|弘化2年6月6日|<死去>5代市川團蔵(58歳)歌舞伎役者
- 1845年7月15日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ダンモア伯「アレクサンダー・エドワード・マレイ」
- 1845年7月15日 00:00|イギリス| |||<就任>7代ダンモア伯「チャールズ・アドルフ・マレイ」先代の息子(~19070827死去)
- 1845年7月15日-09:00|日本|福島県相馬市|弘化2年6月11日|<死去>相馬益胤(50歳)前陸奥相馬中村藩主
- 1845年7月16日 04:00|BES諸島/セント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||<就任>オランダ領西インド諸島総督代行「フィリップ・スト・カンター」(3回目~10.13)
- 1845年7月17日 00:00|イギリス| |||<死去>2代グレイ伯「チャールズ・グレイ」
- 1845年7月17日 00:00|イギリス| |||<就任>3代グレイ伯「ハンリー・ジョージ・グレイ」先代の長男(~18941009死去)
- 1845年7月26日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|弘化2年6月22日|宇和島藩、大砲鋳造場完成
- 1845年7月30日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー内閣長官「ジャン・シルヴァン・ファン・ド・ワイア」(~18460331)
- 1845年8月-01:00|北マケドニア/トルコ| |||<就任>ウスケフ・ワリス(知事)兼マナスティル・ワリス(総督)「メフメト・セリム・パシャ・エネステ・ハセキ」(~1848年3月)
- 1845年8月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスタード議長「キャスパー・ヤン・ヘントリック・クルーガー」(第1回)
- 1845年8月1日-09:00|日本|三重県三重郡菟野町|弘化2年6月28日|<死去>土方義苗(68歳)前伊勢菟野藩主
- 1845年8月4日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||イギリスのバーク(帆船)「カタラ(802t)」が嵐に遭い、オーストラリア・バス海峡のキング島南西で岩に乗り上げて沈没、400人が死亡
- 1845年8月4日-09:30|オーストラリア| |||メルボルンへ向かったカタラ号370人の乗客と46人の船員を乗せ、キング・アイランド付近で沈没/9人以外の全員が死亡
- 1845年8月6日-04:00|ロシア| |||ロシア帝国地理学協会が設立、シベリアや中央アジアの探検を開始
- 1845年8月6日-09:00|日本/イギリス|長崎県長崎市|弘化2年7月4日|イギリス海軍の調査船サマソ号、長崎伊予島沖に来航.測量許可と薪水を求める.薪水を与えて出港を命じる→7.8出帆港
- 1845年8月7日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化2年7月5日|幕府が海防掛を設置し、老中阿部正弘・牧野忠雄らを任命

1850迄 (3058件)

- 1845年8月8日-09:00|日本|愛知県名古屋市|弘化2年7月6日|<死去>尾張藩61万9500石「徳川齊荘」(36歳)⇒8月25日、婿養子「徳川慶臧」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年4月7日、死去)
- 1845年8月9日 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島副知事「Charles Hope」(~1860.7)
- 1845年8月10日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|弘化2年7月8日|<死去>伊達宗翰(50歳)前伊予吉田藩主
- 1845年8月12日-01:00|イタリア| ||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「アルツィラ」》
- 1845年8月13日-09:00|日本| ||弘化2年7月11日|<死去>岡本豊彦(73歳)画家
- 1845年8月28日 06:00|アメリカ| ||米国で世界初の科学雑誌「サイエンティフィック・アメリカン」創刊
- 1845年8月29日-09:00|日本|山口県下関市|弘化2年7月27日|<死去>長門清末藩1万石「毛利元世」(50歳)⇒養子「毛利元承」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年7月11日、死去)
- 1845年8月30日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|弘化2年7月28日|<交替>肥前蓮池藩52625石「鍋島直与」隠居⇒長男「鍋島直紀」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月25日、版籍奉還)
- 1845年8月31日-09:00|日本|茨城県下妻市|弘化2年7月29日|<死去>常陸下妻藩1万石「井上正健」(29歳)⇒9月21日、養子「井上正誠」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年6月28日、死去)
- 1845年9月-05:45|ネパール| ||<就任>ネパール首相「ファテ・ジャン・チャウリヤ」(2回目~18460914)
- 1845年9月-04:00|UAE| ||<死去>アブ・ダビビ 首長「Sheikh Isa bin Khalid al-Falahi」
- 1845年9月-04:00|UAE| ||<即位>アブ・ダビビ 首長「Sheikh Dhiyab2世bin Isa al-Falahi」(~12月死去)
- 1845年9月 03:00|ウルグアイ| ||ウルグアイの部隊はインディア・ムエルタのたたかいに圧勝/敗れたリベラはブラジル亡命
- 1845年9月 06:00|アメリカ| ||最初の野球チーム、ニコラス・マッカーズが創設される。アレキサンダー・カートライトがルールを整備
- 1845年9月1日-01:00|アルジェリア/フランス| ||<就任>フランス領アルジェリア総督代行「ルイ・ジュシュオー・ド・ラモリシエール」(~18470706)
- 1845年9月6日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ペドロ・アレクサンドル・リーノ・ケニヤ」(~18480817)
- 1845年9月7日-01:00|イタリア| ||ガリバルディ軍、ナポリを占領
- 1845年9月12日 00:00|イギリス| ||<死去>3代ダウンシャー侯「アーサー・フランテール・サンス・トランブル・ヒル」
- 1845年9月12日 00:00|イギリス| ||<就任>4代ダウンシャー侯「アーサー・ウィルズ・フランテール・サンス・トランブル・ウィンザー・ヒル」(~18680806死去)
- 1845年9月13日 00:00|イギリス| ||ファラデーがファラデー効果と反磁性を発見
- 1845年9月15日-01:00|イタリア| ||<就任>聖ヨハネ騎士団グランド・マスター副官「フィリップ・ゲラフ・フォン・コロレト・メルス・ウント・ヴァルトゼー」(~18641009没)
- 1845年9月19日-09:00|日本| ||弘化2年8月18日|<死去>六人部節香(不明)医者、歌人
- 1845年9月20日-01:00|フランス| ||フランスの銀行家ジェームス・ド・ロフルト(ロスチャイルド)、ジャン＝アンリ・オットینگァー、エドワード・ブラントラにより、フランスの鉄道会社「北部鉄道」設立
- 1845年9月21日-09:00|日本|岐阜県恵那市|弘化2年8月20日|<死去>松平乗美(55歳)前美濃岩村藩主
- 1845年9月26日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスタード 議長「キャスパー・ヤン・ヘントリック・クルガー」(第2回~10.8)
- 1845年9月29日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣代行「マヌエル・アルベス・ホイト」(1回目~18460502)
- 1845年9月30日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド 総督「Jan Jacob Rochussen」(~18510512)
- 1845年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ドメニコ・マリア・ベッソッピ」 「ピエール・マッテオ・ベッティ」
- 1845年10月1日 00:00|イギリス| ||<死去>3代スペンサー伯「ジョン・チャールズ・スペンサー」
- 1845年10月1日 00:00|イギリス| ||<就任>4代スペンサー伯「フレデリック・スペンサー」先代の弟(~18571227死去)
- 1845年10月2日-03:00|タンザニア/イギリス| ||ザンジバルの سلطانが、奴隷禁止条約のハートン条約をイギリスと締結
- 1845年10月2日-09:00|日本|群馬県館林市|弘化2年9月2日|<転封>出羽山形藩6万石「秋元志朝」⇒上野館林6万石/次に礼朝が嗣ぐ(~明治4年)
- 1845年10月2日-09:00|日本|静岡県浜松市|弘化2年9月2日|<交替>遠江浜松藩7万石「水野忠邦」政治責任強制隠居⇒長男「水野忠精」が継ぐ(⇒11月晦日、出羽山形藩5万石へ減移封)
- 1845年10月2日-09:00|日本|長野県飯田市|弘化2年9月2日|<交替>信濃飯田藩27000石「堀親しげ」し水野忠邦に連座隠居⇒次男「堀親義」が継ぐ(17000石に減封⇒元治元(1864)年12月、2000石減封され15000石)
- 1845年10月5日-09:00|日本|京都府綾部市|弘化2年9月5日|<交替>丹波山家藩1万石「谷衛昉」隠居⇒養子「谷衛弼」が継ぐ(⇒安政2(1855)年11月25日、34歳で死去)
- 1845年10月10日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国海軍士官学校開校
- 1845年10月11日-05:30|インド/イギリス/デンマーク| ||デンマーク領インドのフレデリックスナゴールがイギリスに売却される
- 1845年10月11日 04:00|セントビンセント/イギリス| ||<就任>イギリス領セントビンセント副総督「ジョン・キャンベル」(~1853年没)
- 1845年10月11日-09:00|日本| ||弘化2年9月11日|<死去>2代浅尾工左衛門(60歳)歌舞伎役者
- 1845年10月13日 04:00|BES諸島/シント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| ||<就任>オランダ領西インド 諸島総督「ライネ・フレデリック男爵ファン・レーダース」(⇒18480127、オランダ領ガイアナ総督~18520301)
- 1845年10月19日-01:00|ドイツ| ||<初演>初演「ヴィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー」《歌劇「タンホイザー」(とヴァルトブルクの歌合戦)》
- 1845年10月20日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ暫定総督「Jean-Baptiste Armand Bertrand Cadeot」(~18460217)
- 1845年10月20日-09:00|日本|広島県山県郡安芸太田町|弘化2年9月20日|山県郡太田筋の農民1500人余、扱苧売買取引趣法の撤回を求め、騒動(太田騒動)を起こす
- 1845年10月21日-01:00|イタリア| ||ローマ、トスカ、シチリア、南部イタリアによる連邦制共和国樹立。ジュゼッペ・マッツィーニ暫定大統領に指名される(第一次イタリア独立戦争終息)
- 1845年10月24日-05:30|インド| ||<就任>ジャシュフル国ジャ「フラタップ・ナヤン・シン・デ・オ・バ・ハード・ウル」(~1900年没)

1850迄 (3058件)

- 1845年10月25日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>南オーストラリア植民地総督「フレッドリック・ローブ」(~18480802)
- 1845年10月29日 04:00|キューソー/オランダ| |||<就任>オランダ 植民地キューソー知事「Rutgers Hermanus Esser」(~18480520)
- 1845年10月29日 04:00|BES諸島/キューソー/アルバ/シント・マルテン| |||サバ 島、スリナム植民地、セント・ユスティウス島植民地、シント・マルテンは、キューソーとの従属関係から分離
- 1845年10月31日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Jean-Francois Layrle」(~18480605)
- 1845年11月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Haci Kutahyalı Ali Pasha」(~1846.3)
- 1845年11月-01:00|クワチア| |||<就任>クワチア・バン代行「ジュージ・ハウリク」(~18480323)
- 1845年11月1日-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア・ヘルツェゴビナ総督「ハジ・カミル・パシャ」(~18470604)
- 1845年11月2日-09:00|日本|東京都|弘化2年10月3日|元御金改役・商人、後藤三右衛門、驕奢などを理由に死罪
- 1845年11月7日-05:30|インド/イギリス/デンマーク| |||デンマーク領インドのトランケバルと残りのデンマーク領インド 資産をイギリス領インドの一部としてイギリスに売却
- 1845年11月14日-13:00|トンガ| |||<死去>トンガ 主長(トウイ・カノホ・オ)「シヨサイ・トホウ」
- 1845年11月16日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Manuel Armijo」(3期目~1846.8)
- 1845年11月17日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ウェルラム伯「ジェームズ・ウォルター・グリムストン」
- 1845年11月17日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ウェルラム伯「ジェームズ・ウォルター・グリムストン」(~18950727死去)
- 1845年11月17日-09:00|日本|東京都江東区|弘化2年10月18日|江戸深川三十三間堂通矢「四十間堂百射」、吉野政一(10歳)が100本(総矢数100中)を記録。完全記録
- 1845年11月18日-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ 主長(トウイ・カノホ・オ)「シヤオン・タウアアハウ・マカアア」(⇒12.4「シヤオン・マアカア・ンギニン・ギニオラウ・タウアアハウ・トホウ」~18751104)
- 1845年11月18日-12:00|ニュー・ラント/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ニュー・ラント 総督「ジョージ・ケレイ」(~18540103)
- 1845年11月19日-09:00|日本|山形県鶴岡市|弘化2年10月20日|<交替>出羽松山藩2500石「酒井忠方」隠居⇒長男「酒井忠良」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、2500石を召し上げられて22500石)
- 1845年11月21日-09:00|日本|長野県松本市|弘化2年10月22日|<交替>信濃松本藩6万石「松平光庸」隠居⇒次男「松平光則」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1845年11月25日-09:00|日本|茨城県行方市|弘化2年10月26日|<死去>常陸麻生藩1万石「新庄直計」(59歳)⇒五男「新庄直彪」が継ぐ(⇒慶応元(1865)年7月4日、急死)
- 1845年11月26日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州総督「キャサート伯爵チャールズ・マレー・キャサート」(18460424まで代行~18470130)
- 1845年11月29日-09:00|日本|東京都|弘化2年11月|<襲名>9代横綱「秀ノ山雷五郎」(~嘉永3年3月)
- 1845年11月29日-08:00|中国/イギリス| |||上海, 英国租界成立
- 1845年11月29日-08:00|中国| ||清・道光25年11月1日|「上海土地章程」が締結される/租界が形成されることになる
- 1845年12月-05:30|インド| |||イスマイル派イマームのアガ・ハーンがボヘイに亡命
- 1845年12月-04:00|UAE| |||<死去>アブ・ダビ 首長「Sheikh Dhiyab 2世 bin Isa al-Falahi」
- 1845年12月-04:00|UAE| |||<即位>アブ・ダビ 首長「Sheikh Saeed bin Tahnun Al Nahyan」(~1855年)
- 1845年12月-03:00|エリトリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国マッサラ総督「ロスタム・アガ」(~1847年)
- 1845年12月-03:00|エメン| |||<即位>ラッシー朝イマーム「Muzaffar ad-Din ムハマト 5世」(~1848年)
- 1845年12月 04:00|ドミニカ共和国/ハイチ| |||ハイチ, 陸上および海上からドミニカ再占領を図るが断念
- 1845年12月4日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ナタール州特別委員「マーティン・マス・ウェスト」(~18490801)
- 1845年12月4日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||ケープ 植民地ナタール地区はイギリス領ナタール州となる
- 1845年12月4日 03:00|アルゼンチン/パラグアイ| |||パラグアイがアルゼンチンに宣戦布告
- 1845年12月5日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化2年11月7日|<大相撲>弘化2年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前1)友綱, 6勝0敗1預3休
- 1845年12月8日 05:00|エクトル| |||<就任>エクトル 国大統領「ビセンテ・ラモン・ロカ」(~18491015)
- 1845年12月11日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート 議長「ヨハネス・ゲルハルト・ウス・ステファヌス・ブロンホルスト」(1回目)
- 1845年12月11日-01:00|スイス| |||スイスで保守的な7カントンが分離同盟を結成
- 1845年12月12日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「フランソワ・マリー・シャル・オリグイ」(~18460320)
- 1845年12月13日 00:00|イギリス/インド| |||イギリスが、シク王国に宣戦布告/第1次シク戦争が始まる
- 1845年12月14日-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王「アントゥオン」(2度目~18601019)
- 1845年12月19日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|弘化2年11月21日|<鹿児島弘化2年の大火>夜半、坂上町より出火/上(城下町の北東側)では町口まで全部焼き、下(同南西側)では豎馬場の一部を残すのみでほとんど灰とした/新築地も一部を残すだけだった/城下1035軒の家屋が被災、名頭(町の長)家315軒、借屋家(借家住まいの町民の家)683軒、社家(神官の屋敷)37軒/そのほか土屋敷(侍やしき)2軒、土蔵25軒、板倉(木造倉庫)9軒、堂社(寺院、神社)4軒が被災
- 1845年12月23日-05:30|インド| |||<即位>パティアル国統治者(マハラジャ・エラジガン)「ナンドラ・シン」(~18621113没)
- 1845年12月26日-09:00|日本|東京都|弘化2年11月28日|<死去>田川鳳朗(84歳)俳人
- 1845年12月27日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ノーマン・ウィリアム・マクトナルド」(1期目~18480407)
- 1845年12月27日 00:00|ガボン/カメルーン/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「ノーマン・ウィリアム・マクトナルド」(1度目、18480408まで代行~18480407)
- 1845年12月28日-09:00|日本|群馬県館林市|弘化2年11月30日|<移封>出羽山形藩6万石「秋元志朝」⇒上野館林藩6

1850迄 (3058件)

- 万石 (⇒元治元 (1864) 年10月27日、隠居)  
1845年12月28日-09:00|日本|静岡県浜松市|弘化2年11月30日|<移封>上野館林藩6万石「井上正春」⇒遠江浜松藩6万石 (⇒弘化4年2月12日 (18470328)、死去)  
1845年12月28日-09:00|日本|山形県山形市|弘化2年11月30日|<減移封>遠江浜松藩7万石「水野忠精」⇒出羽山形藩5万石 (⇒慶応2 (1866) 年9月29日、隠居)  
1845年12月29日 06:00|アメリカ| |||<加盟>テキサス共和国⇒アメリカ合衆国テキサス州 (28番目)  
1845年12月30日 07:00|メキシコ| |||メキシコで政変。穏健派とみられたヘラ大統領が武闘派のハレデスに追放されハレデスはそのまま大統領  
1845年12月31日-09:30|オーストラリア| |||小説『ラル・ラスレー』出版/作者は四人ジェームズ・タッカーと言われる  
1846年-13:00|トカラ| |||<就任>ファカフオ統治者「Havaiki1世」(~1852年)  
1846年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンハス国スルタン「Abu Bakar Taj ud-din2世」(~1854年)  
1846年-07:00|タイ| |||<就任>ランナー国主(チャオ)「マホララテ・シュ・ラジ・ヤホ・テ・インドラ」(~18541114)  
1846年-05:30|インド| |||<就任>ガウリル国統治者(サルダール・サウ)「ラジ・タル・ルト・ラ・フ・ラタフ」(~1877年)  
1846年-05:30|インド| |||<就任>ジャヤサルミル国統治者(マハラル)「ランジット・シン」(~1864年5月没)、摂政「サルダール・マル・フ・ロト」  
1846年-05:30|インド| |||<就任>タルチャー国ラジャ「タヤニティ・ヒラハール・ハリヤンタン」(~1873年没)  
1846年-05:30|インド| |||<就任>ヒート国統治者(ティワン)「ヒルテ・シャー」(~1859年没)  
1846年-05:30|インド| |||<就任>モルガイ国統治者(タル・サーヒブ)「ラウジ2世フ・リテイラージ」(~18700217没)  
1846年-05:30|インド| |||<就任>ラージガル国支配者(ラウット)「タール・コック・シン」(~1847年11月)  
1846年-05:30|インド/イギリス| |||<就任>スウェーデン、マデイ国はイギリスの保護領  
1846年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<就任>シマハラ県軍事総督および民事行政官「ウランゲル男爵アレクサンドル・エフスタイェウ・イチ」(~1850年)  
1846年-03:00|ペラルシ/ロシア| |||<就任>ウイテフスク、モキリョフ、スモレンスクのロシア総督「アントン・ミハイロウ・イチ・ゴリツィン王子」(~18530610)  
1846年-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「ハーリト・フスラウハ・シャ」(~1850年)  
1846年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッサリフ「ハーシド・アガ」(~1847年)  
1846年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ウリス「Kirimli Musa Sefveti Pasha」(~1848.3)  
1846年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ホロニヤ・ベッサラビア総督代理「Pavel Ivanovich Fyodorov」(~1854.11)  
1846年-01:00|ベナン| |||<就任>アグウェのウエ国統治者「ハント・トナ」(~1858年)  
1846年-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「ウジエヌ・ルイ・ユグ・メ」⇒「クレマン・グロジャン」⇒「ジャン・カリス」(~1847年)  
1846年-01:00|フランス| |||<就任>モンモンシー公「アンヌ4世ルイ」(~1862年)  
1846年-01:00|チャド| |||<即位>バギルミ王国スルタン「Abdul Qadir2世 al-Mahdi, Mbangi」(~1858年)  
1846年-01:00|カメルーン| |||<即位>マルア・スルタン国スルタン「ハマ・サーリ」(~1896年)  
1846年 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>アシニー(シヨイング・イル砦)民間司令官「テッサ」  
1846年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ第3代総督「少将Sir Patrick Ross」  
1846年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー(ビサウ配下)総督「オノリオ・ペレイラ・バレット」(2回目~1848年)  
1846年 00:00|セネガル| |||<就任>サアリ統治者(ファンカマ)「キンティ・サンハラ・ジヤロ」(~1854年)  
1846年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド検査官「Christian Soren Marcus Olrik」(~1866年)  
1846年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ主任判事「ロバート・William Pickwool」(~1862年死去)  
1846年 04:00|バルバドス/グレナダ/セントビンセント/セントルシア/トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス・ウインドワード諸島総督「William Reid」(~1848年)  
1846年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領「マヌエル・ケタ」⇒「ルチア・マリヤ・バリカ」  
1846年1月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>オスマン帝国ヒジャーズ総督「メフメド・シェリフ・ハシヤ」(~1848年9月)  
1846年1月-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス保護領マヨット上席司令官「ピエール・パソ」(2回目~1849年8月)  
1846年1月 05:00|ハイチ| |||ムラートによる事実上の奴隷制に反対する農民の反乱、ルイス・ニコラスの指揮の下、内戦に発展  
1846年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・ウルリッヒ・ゼンダー」Rad (~12.31)  
1846年1月1日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《ピアノ協奏曲イ短調Op. 54》18450731作曲  
1846年1月2日-01:00|アルジェリア/フランス| |||アルジェリアで、アブド・アルカーデイル(38)の反乱がフランス軍に鎮圧される  
1846年1月2日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「セルマリアノ・エヒファン・パレズ・イ・アリガ」(4日まで総司令官、その後暫定~8.4)  
1846年1月2日 11:00|日本|東京都中央区|弘化2年12月5日|暮六ツ時(20時頃)より、新吉原京町式丁目川津屋鉄五郎宅より出火致し、廊中残らず大紋迄焼失、五十間道少々残る  
1846年1月4日-09:00|日本|神奈川県厚木市|弘化2年12月7日|<交替>相模荻野山中藩13000石「大久保教孝」隠居⇒三男「大久保教義」が継ぐ(⇒明治2 (1869) 年6月23日、版籍奉還)  
1846年1月8日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ケラングイル伯「ケラングイル・ルソンゴア」  
1846年1月8日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ケラングイル伯「ケラングイル・ジョージ・ルソンゴア」(~18910331死去)  
1846年1月10日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの作家・モリスティエンヌ・ピグエール・ト・セナンケル(1770-、75歳)/作品に「ペステラ」となった「オペルマン」(1804年)など  
1846年1月12日-09:00|日本|大阪大学|弘化2年12月15日|「適塾」瓦町から過書町に移転し塾を拡張  
1846年1月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロワラー」(第1回~22日)  
1846年1月21日-01:00|イタリア| |||<死去>モンテ・レツジョ公「フランチェスコ4世」66歳

1850迄 (3058件)

- 1846年1月21日-01:00|イタリヤ| |||<即位>モナ・レージョ公「フランチェスコ5世」(~18590611退位、サルデーニャ王国に併合され滅亡~18751120死去)
- 1846年1月21日 00:00|イギリス| |||イギリス最初の日刊大衆紙のロンドン・デ일리・ニューズ紙が発行される
- 1846年1月22日-09:00|日本| ||弘化2年12月25日<死去>原羊遊斎(77歳) 蒔絵師
- 1846年1月27日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>西オーストラリア植民地総督「アントニー・クラーク」(~18470211)
- 1846年1月27日-05:45|ネーデルラント| |||ネーデルラントでクレーター、宰相が家による1世紀に渡る専制支配時代へ
- 1846年1月27日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「アンドリース・ハントリック・ポトギーター」(第1回)
- 1846年1月27日-09:00|日本| ||弘化3年1月<出版>歌川芳虎「絵本大将揃」
- 1846年1月27日-09:00|日本| ||弘化3年1月<出版>玉蘭斎貞秀「歳時記図会」
- 1846年1月27日-09:00|日本| ||弘化3年1月<出版>松川半山「御迎船人形図会」
- 1846年1月30日-05:30|インド| |||<即位>レウ国マハラジャ「マルタンド・シン」(~19480404)
- 1846年1月30日-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<死去>ヒヴァハン国ナク朝ハン「ムハンマド・ラヒム・クリ」
- 1846年1月30日-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァハン国ナク朝ハン「アブルカースィー・ムハンマド・アミン・バハドール」(~1855. 3死去)
- 1846年2月1日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領代行「フェルミン・ハラシオス・ウリョア」(2回目~21日)
- 1846年2月3日-05:30|インド| |||<即位>シロ国統治者(マハラジャ「テラジャ・マハラオ」)「テジャラム・シン」(~19490105)、摂政「マラニ・クリシュナ・クマール・アハ」(~19490105)
- 1846年2月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ブリガム・ヤングに率いられた末日聖徒イエスキリスト教会徒の移住開始
- 1846年2月10日-01:00|ポーランド| |||クラク共和国で、愛国的なポーランド貴族が反オーストリアを旗印に蜂起
- 1846年2月10日 07:00|日本| 東京都| 弘化3年1月15日| (~16日)<江戸弘化3年の大火「小石川火事」>七つ時ごろ(16時ごろ)、小石川片町北の武家屋敷から出火、本郷丸山、本妙寺菊阪のあたりから本郷弓町、元町まで、また本郷通りから湯島通り春木町あたりまで進み、神田明神門前、旅籠町、仲町のあたりまで灰にした/炎は駿河台へ飛び火し、小川町、東西神田町一円を焼失/今川橋から日本橋方面へ伸びた炎は、本町、石町、室町、大伝馬町をひと舐めにし、小田原町、小船町、堀江町、小網町から茅場町、八丁堀、浜町まで焼き尽くして永代橋際に至る/また飛んで霊巖島、築地、鉄砲州、佃島から南八丁堀まで達し、翌日昼九つ(午前12時過ぎ)炭町の竹河岸で鎮火/大名家29軒、旗本、御家人913軒、寺院5か所、神社2か所、町家1万9650軒ほどが全焼
- 1846年2月11日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Manuel Pando」穏和党(~3. 16)
- 1846年2月14日-08:00|インドネシア| |||インドネシア・スマタラ、地震、死者多数
- 1846年2月17日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア総督「Andre Aime Pariset」(2期目~18500516)
- 1846年2月21日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領「ユゼフ・アン・アギラール・ゴンサレス・パトリス」(~18480201)
- 1846年2月21日-09:00|日本| 京都府京都市| 弘化3年1月26日| <死去>仁孝天皇(47歳、寛政12(1800)0221生)120代天皇
- 1846年2月22日-05:30|インド/イギリス| |||イギリス東インド会社が、ラホールを占拠
- 1846年2月28日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヨハネス・ゲルハルト・ウス・ステファナス・ブロンクホルスト」(第2回)
- 1846年3月1日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「ジャン・バティスト・リジェ」(~18470227)クレーターにより権力を掌握
- 1846年3月4日 00:00|ポルトガル| |||農婦マリア・ダ・フォンテに率いられた反憲章党(九月党)の反乱
- 1846年3月5日-09:00|日本| ||弘化3年2月8日<死去>岡田半江(65歳) 画家
- 1846年3月6日-09:00|日本| 島根県鹿足郡津和野町| 弘化3年2月9日<死去>亀井茲方(30歳) 前石見津和野藩主
- 1846年3月9日-05:30|インド/イギリス| |||カンガラ国はイギリス領インド(パルシヤブ州の一部、19480415からヒマチャル・プラデッシュ州)に併合
- 1846年3月9日-05:30|インド/イギリス| |||チャンバ国はイギリス保護領/パルシヤブ国はイギリス保護領(ホル州として)
- 1846年3月9日-05:30|インド/イギリス| |||ホル条約が締結され、第1次シンド戦争がイギリス軍の勝利で終結
- 1846年3月10日-09:00|日本| 京都府京都市| 弘化3年2月13日| <踐祚>121代「孝明天皇」/弘化4年9月23日即位式(~18661225)
- 1846年3月15日-05:30|インド| |||<就任>ジヤム・カシミール国(イギリスの保護領~19470814)ラジャ「クラブ・シン」イギリス政府からジヤム-統治者にカシミールを割譲し創設(~11. 9)
- 1846年3月16日-05:30|インド/イギリス| |||<制定>イギリス保護領ジヤム・カシミール州(~19470814)
- 1846年3月16日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Ramon Maria Narvaez」穏和党(~4. 5)
- 1846年3月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロウラー」(第2回~19日)
- 1846年3月17日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「アッテラ」》
- 1846年3月21日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ルイ=アントワーヌ・フーベ」(~8. 29)
- 1846年3月22日 08:00|日本| 長崎県長崎市| 弘化3年2月25日| 夕、長崎日見村網場名より出火。120戸が焼失
- 1846年3月23日-09:00|日本| 愛媛県西条市| 弘化3年2月26日| <死去>小松藩朱子学者「近藤篤山」
- 1846年3月25日-09:00|日本| ||弘化3年2月28日| <死去>石崎融思(79歳) 画家
- 1846年3月28日 06:00|アメリカ| |||米軍、リオグランデ川近郊にテキサス要塞建設
- 1846年3月29日-09:00|日本| ||弘化3年3月3日| 鎌田玄台正澄執刀、服部正忠図録「解剖図」成る
- 1846年3月29日-09:00|日本| 群馬県沼田市| 弘化3年3月3日| 綾戸道の兒子岩穴道の切り開きが成功
- 1846年3月31日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー内閣長官「テウト・メイランド伯爵ハルテルミーン・ネトール」(2回目~18470812)

1850迄 (3058件)

- 1846年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリップ・ベルツィ」 「フィリップ・フィリッピ」
- 1846年4月5日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Francisco Javier Isturiz」 穏和党 (~18470128)
- 1846年4月8日-05:30|インド | |||<就任>マレコト国支配者(ナワブ)「マフフ・アリ・カン・ハート・ウル・スベ・カン」 (~18571125没)
- 1846年4月13日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「アント・リース・ヘントリック・ポトギーター」 (第2回~20日)
- 1846年4月13日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化3年3月18日|<大相撲>弘化3年3月場所[江戸本所回向院] (10日間) 幕内優勝: (西小結) 荒馬, 4勝0敗6休
- 1846年4月15日-05:30|インド | |||<就任>ファリットコト国ラジャ「ハール・シン」 (~1849年4月)
- 1846年4月15日 00:00|ガーナ/イギリス | |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地コールドコースト副総督「ウィリアム・ウニエット」 (1回目~18490131)
- 1846年4月19日 00:00|イギリス | |||<死去>18代エドワード「ウィリアム・ジョージ・ヘイ」
- 1846年4月19日 00:00|イギリス | |||<就任>19代エドワード「ウィリアム・ヘイ」 (~18911203死去)
- 1846年4月19日-09:00|日本|長野県|弘化3年3月24日|信州で地震/家屋倒壊火災多数/飯山で死者多数
- 1846年4月19日-09:00|日本|福岡県柳川市|弘化3年3月24日|<死去>筑後柳河藩104200石「立花鑑備」 (20歳) =>養子「立花鑑寛」が継ぐ(=>明治2 (1869) 年6月24日、 版籍奉還)
- 1846年4月20日 00:00|ポルトガル | |||ポルトガルでマリア・ダ・フォンテの乱がはじまる
- 1846年4月21日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス | |||<就任>トリニダード 知事代行「ニコラス・R・ブライアン」 (~22日)
- 1846年4月22日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス | |||<就任>トリニダード 知事「ハリス男爵ジョージ・フランシス・ロバート・ハリス」 (1回目~18530211)
- 1846年4月24日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||メキシコ軍、リオ・グランデ川の渡河渡河/ソントン大尉の率いる騎兵隊を襲撃, アメリカ騎兵14名が殺害され残りは捕虜になる
- 1846年4月26日-09:00|日本 | |||弘化3年4月|<出版>一勇齋国芳「一勇画譜」
- 1846年5月1日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル | |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「政府評議会」 (~18470126)
- 1846年5月2日 03:00|ブラジル | |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ジョアキン・マルセリノ・デ・フレイタス」 (~18470522)
- 1846年5月2日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||テイラー軍、ラ・カサ・デ・ラ・パルマでメキシコ軍を撃破. メキシコ軍はマテロスに撤退
- 1846年5月2日-09:00|日本|静岡県富士宮市|弘化3年4月7日|重須本門寺庫裡再建
- 1846年5月3日 00:00|セントヘレナ/イギリス | |||<死去>イギリス領セントヘレナ総督「ハーマン・トロローニ」
- 1846年5月4日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート 暫定議長「アント・リース・ヘントリック・ポトギーター」 (第3回)
- 1846年5月4日 00:00|セントヘレナ/イギリス | |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督代理「ジョージ・フレイザー」 (~7. 18)
- 1846年5月5日-01:00|デンマーク | |||デンマークで「農民の友の会」が設立
- 1846年5月8日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||アメリカ軍とメキシコ軍が、テキサ州南東部のパルマで衝突し、アメリカ・メキシコ戦争が始まる
- 1846年5月9日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||レカ・デ・ラ・パルマの戦い/アメリカ合衆国軍のザカリー・テイラー将軍が、撤退するマリアノ・アリスタ将軍のメキシコ軍と交戦, アメリカ軍が勝利
- 1846年5月13日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||合衆国議会がメキシコに宣戦布告
- 1846年5月15日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート 議長「アント・リース・ヘントリック・ポトギーター」 (4回目~16日)
- 1846年5月18日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||アメリカ軍テイラー、マテロスを占領
- 1846年5月18日-09:00|日本|東京都|弘化3年4月23日|<死去>俳師, 小菘庵確嶺
- 1846年5月20日 00:00|ポルトガル | |||<就任>ポルトガル王国第15代首相「ペドロ・テ・スザ・ホルスタイン」 (3期目~10. 6)
- 1846年5月20日 06:00|ベリーズ/イギリス | |||<就任>ベリーズ 居留地管理者(ジャマイカの知事に従属) 代行「ジョージ・バーケル」 (1回目~9. 18)
- 1846年5月23日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||メキシコがアメリカに宣戦布告
- 1846年5月25日 05:00|ジャマイカ/イギリス | |||<就任>英領ジャマイカ 総督代行「ジョージ・ヘンリー・フレデリック・バークレ」 (~12. 21)
- 1846年5月26日 00:00|イギリス | |||ピール首相が提案していた、穀物法を廃止する法案が成立/イギリスは保護貿易から自由貿易へと移行
- 1846年5月27日-05:30|インド | |||<即位>テリガール王国マハラジャ「マナヘントラ・シャ」 (~19490801)
- 1846年6月1日-01:00|バチカン | |||<死去>第254代ローマ教皇「グレゴリウス16世」
- 1846年6月1日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル | |||<就任>アングラ・ラ・モイス 民政知事「Francisco de Menezes Lemos e Carvalho」 (~同年)
- 1846年6月1日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化3年5月8日|<廃藩>清水徳川家10万石「徳川齊疆」 紀州徳川家の家督相続、断絶
- 1846年6月1日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|弘化3年5月8日|<死去>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川齊順」 (46歳) =>弟「徳川齊疆」が継ぐ(=>嘉永2 (1849) 年3月27日、 死去)
- 1846年6月2日-09:30|オーストラリア | |||『メルボルン・アーガス』創刊/1848年『アーガス』となる
- 1846年6月5日-04:00|レユニオン/フランス | |||<就任>ブルボン島知事「Emmanuel Francois Joseph Graeb」 (~18481013)
- 1846年6月7日 06:00|コスタリカ | |||<就任>コスタリカ自由国暫定最高責任者「ホセ・マリア・アルファロ・サモラ」 (2回目~18470210)
- 1846年6月8日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート 議長「ヨハネス・ゲルハルト・ウス・ステファニス・ブロンクホルスト」 (3回目)

1850迄 (3058件)

- 1846年6月9日 00:00|ガナ/オランダ | |||<就任>オランダ 領コールド=コスト総督代行「ウィルム・ジヨージ・フレリック・デルクス」(1回目~18470710)
- 1846年6月12日-09:00|日本 | ||弘化3年5月19日|<死去>狩野養信(51歳)画家
- 1846年6月14日-01:00|フランス | ||フランス「北部鉄道」のターミナル駅として「パリ北駅」(10区)が開業/「パリ・アミアン・リール線」の起点となる
- 1846年6月14日-01:00|ベルギー | ||ベルギー-自由党が結成
- 1846年6月14日 00:00|ポルトガル | |||<就任>アンタル地区暫定民政知事「Valentim de Freitas Leal」(~10.7)
- 1846年6月14日 06:00|アメリカ | |||<就任>カリフォルニア共和国大統領「William Brown Ide」(~7.9)
- 1846年6月14日 06:00|アメリカ/メキシコ | |||ウィリアム・アイダに率いられるサラム地方の米国移民250人、カーニ軍侵攻に呼応し反乱/ソマに駐屯していたメキシコ軍を攻撃し排除
- 1846年6月15日-05:30|インド | |||<就任>ラタール国統治者(タル・サーヒブ)「カランシンジ 2世ウァシラジ」(~19240808没)
- 1846年6月15日 06:00|アメリカ/イギリス/カナダ | |||アメリカとイギリスの間にオレゴン協定が締結し、オレゴンを獲得/アメリカとカナダの国境線が画定
- 1846年6月16日-01:00|バチカン | |||<就任>第255代ローマ教皇「ピウス9世」(~18780207)
- 1846年6月16日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル | |||<就任>ポントデルガダ 民政知事「Andre Dias do Canto e Medeiros」(~10.10)
- 1846年6月16日-09:00|日本 | ||弘化3年5月23日|<死去>浦上春琴(68歳)画家
- 1846年6月17日 06:00|カナダ/イギリス | |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ウィリアム・ハンリー・ドレイパー」(4回目/カナダ 西部)「トウニ・ベンツァミン・パピノー」(1回目/カナダ 東部) (~18470528)
- 1846年6月18日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||アイダ、アルタ・カリフォルニアを領土として「カリフォルニア共和国」を樹立宣言
- 1846年6月19日 06:00|アメリカ | |||カートライトがルールを定め、最初の野球の試合がニュー・ジャージー州で行われる
- 1846年6月20日-09:30|オーストラリア | |||『モートン・ベイ・クリア』創刊/1861年『ブリスベン・クリア』となる
- 1846年6月22日 04:30|ベネチア/スペイン | |||スペインはベネチアの独立を認めた
- 1846年6月25日 00:00|イギリス | |||イギリスで、穀物法が廃止、自由貿易に転じる
- 1846年6月29日 00:00|イギリス | |||<辞任>イギリス連合王国第31代首相「ロバート・ピール」アイルランド問題で
- 1846年6月30日 00:00|イギリス | |||<就任>イギリス連合王国第32代首相「ジョン・ラッセル卿」ホイッグ党(1期目~18520221)
- 1846年7月-02:00|シリア/アラブ/トルコ | |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Musrafa Mazhar Pasha」(~1848.8)
- 1846年7月-02:00|キプロス/トルコ | |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「ハサン・パシャ」(2回目~1847年9月)
- 1846年7月5日 04:00|グレタダ/イギリス | |||<就任>グレタダ 副総督代行「フランス・イェルバートン・チェックリー」(1回目~12.10)
- 1846年7月5日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||海軍准将ジョンD. スポットの率いる米国艦隊、カリフォルニアに到達し首都モンテレーを占拠し、米領カリフォルニアを宣言/その後海兵隊がサンフランシスコ/ソマ/サッター砦を無血占領
- 1846年7月7日 06:00|アメリカ | |||カリフォルニアでアー・フラッグの反乱が起こる
- 1846年7月11日 00:00|アイルランド/イギリス | |||<就任>アイルランド 副卿「ヘスバウ白ジョン・ウィリアム・ホッソル」(~18470516没)
- 1846年7月12日-09:00|日本|京都府京都市|弘化3年閏5月19日|京都大火、四条道場金蓮寺境内より出火、北は錦小路/錦天神、南は綾小路、西は高倉辺までが焼失、仏光寺に及ぶ、東は寺町に及ぶ、10町余焼失
- 1846年7月15日-01:00|マルタ/イギリス | |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ハンリー・Balneavis」(~11.15)
- 1846年7月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス | |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督代理「ジョン・ロス」(~11.23)
- 1846年7月20日-09:00|日本/アメリカ|神奈川県横須賀市|弘化3年閏5月27日|アメリカの海軍提督ピットルが、開国を求めて軍艦2隻を率いて浦賀に来航し、通信通商を求めると幕府、長崎に行くよう返答
- 1846年7月28日 07:00|メキシコ | |||<就任>メキシコ合衆国大統領「ニコラス・ブラボ」(~8.4)
- 1846年7月29日-05:30|インド | |||<就任>ジョシ国統治者(デシュムク)「アムリット・ラオ2世オ・サーヒブ・ダフル」(~18920112没)
- 1846年7月29日-09:00|日本/フランス|長崎県長崎市|弘化3年6月7日|フランス軍艦、長崎に渡来
- 1846年7月30日 06:00|アメリカ | |||ホーク大統領、1846年関税法に署名
- 1846年8月 04:00|モントセラト/イギリス | |||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領代理「William Shiell」(2期目~1847年)
- 1846年8月2日 06:00|アメリカ | |||スティーヴン・カーニの西部軍、ニュー・メキシコからカリフォルニア一帯を占領
- 1846年8月3日-09:30|オーストラリア/イギリス | |||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「チャールズ・オーガスタス・フィッツロイ」(~18550128)
- 1846年8月5日 07:00|メキシコ | |||<就任>メキシコ合衆国大統領「セ・マリア・ノ・デ・サス・バルボサ」(1回目~12.24)
- 1846年8月6日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア | |||<就任>ノーフォーク島管理者「John Giles Price」(~18530118)
- 1846年8月6日 00:00|イギリス/アメリカ | |||英とのオレゴン協定でオレゴンの獲得、米英条約でカリフォルニアを領有
- 1846年8月6日 06:00|アメリカ | |||ホーク、独立国庫制度を復活する法案に署名
- 1846年8月8日-01:00|バチカン | |||<就任>バチカン枢機卿国務長官「トマゾ・パスクアレ・ジツツィ」(~18470705)
- 1846年8月10日 06:00|アメリカ | |||アメリカ議会、ミソアン協会を設立
- 1846年8月11日-09:00|日本 | ||弘化3年6月20日|<死去>欣子内親王(新清和院)(68歳)光格天皇の中宮
- 1846年8月18日 07:00|メキシコ/アメリカ | |||西部軍約4000はサンタフェに無血入城/ニュー・メキシコ州(東半部)がアメリカ領となったことを宣言
- 1846年8月18日-09:00|日本 | ||弘化3年6月27日|(<28日>弘化3年江戸、関東「丙午大水」)利根川の堤防が武蔵国本川俣村で決壊、その水が翌日、南足立郡から江戸市内に達する/同時に忍藩領内でも荒川筋など24か所が決壊、4万8000石余の田畑が壊滅/荒川筋では大久保村、宗岡村で決壊し79か所の田畑が水につかり壊滅、562軒が床上浸水/中川も氾濫して千住、小塚原、箕輪一帯に浸水/下野国では鬼怒川など諸河川が氾らんして堤防や用水堰などが決壊破損/奥州街道、例幣使道など主要な街道が崩壊、橋梁の流失98か所、田畑は25平方km余が浸水して壊滅/渡良瀬川も堤防が決壊するなど関東平野は水浸しとなった

1850迄 (3058件)

- 1846年8月19日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ暫定総督「Juan Bautista Vigil y Alarid」(~9月)
- 1846年8月19日-09:00|日本/デンマーク|長崎県長崎市|弘化3年6月28日|デンマーク軍艦、長崎に渡来
- 1846年8月20日-09:00|日本| ||弘化3年6月29日|<弘化3年江戸、関東「丙午大水」>荒川が決壊し本所、深川方面も一面浸水、下総古河城が水につかり城内の跳ね橋が崩落、住家倒壊166軒、同流失51軒、同床上浸水33軒、田畑浸水110か村47平方km余が壊滅
- 1846年8月21日 00:00|イギリス| |||<死去>2代モンテ侯・6代インフィント伯「ウィリアム・オブ・ライオン」
- 1846年8月21日 00:00|イギリス| |||<就任>3代モンテ侯・7代インフィント伯「ジェームズ・オブ・ライオン」(~18550703死去廃絶)
- 1846年8月22日-01:00|イタリア| |||<ベネチア共和国、イタリア連邦共和国へ正式に加盟
- 1846年8月22日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル民政知事「Rodrigo de Sousa Coutinho Teixeira de Andrada Barbosa」(~10.10)
- 1846年8月24日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・フォン・スッパ《喜歌劇「詩人と農夫」序曲》
- 1846年8月24日-09:00|日本|福岡県久留米市|弘化3年7月3日|<死去>筑後久留米藩21万石「有馬頼永」腎臓結核のため(25歳)⇒弟「有馬頼咸」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1846年8月26日-01:00|ドイツ| |||<初演>フェリックス・メンデルズゾーン《オトリオ「エリヤ」》
- 1846年8月27日 00:00|イギリス| |||<死去>11代ストララスモア=キング侯・伯「トマス・ライオン=ホーズ」
- 1846年8月27日 00:00|イギリス| |||<就任>12代ストララスモア=キング侯・伯「トマス・ライオン=ホーズ」先代の孫(~18650913死去)
- 1846年8月28日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア土地売却法、国王の承認を受ける
- 1846年8月28日-09:00|日本|大阪府高槻市|弘化3年7月7日|<死去>永井直与(62歳)前摂津高槻藩主
- 1846年8月29日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|弘化3年7月8日|<死去>北条氏喬(62歳)前河内狭山藩主
- 1846年8月29日-09:00|日本|京都府京都市|弘化3年7月8日|暴風雨、鴨川氾濫、三条・五条橋落ちる
- 1846年8月30日 00:00|セザール/フランス| |||<就任>フランス領セザール総督「グロモン伯爵アーネスト・ブルドン」(~18470823)
- 1846年8月30日-09:00|日本|東京都|弘化3年7月9日|<弘化3年江戸、関東「丙午大水」>中川が再び決壊し江戸の町は再び水浸
- 1846年9月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>アントニウス=オフリグスタット司令官・総督「ヨハネス・ゲルハルト・ウス・ステファニス・ブロンクホスト」(フォルクスラート会長~22日)
- 1846年9月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロブラー」(第3回)
- 1846年9月3日-01:00|フランス/イタリア| |||(2日~)気球のアルプス初横断/フランス、アルパンはマルセイユからトリノ付近までの飛行に成功
- 1846年9月8日-09:00|日本|福井県|弘化3年7月18日|<弘化3年秋台風>越前に古今未曾有の大風雨/福井藩領(32万石)では城門及び塀障大破数か所、土民(武士と町民)の家宅及び神社仏寺多く転倒し樹木倒れ大小の諸橋梁崩壊若しくは損傷/家中屋敷の倒潰及び大破1136軒、町家の倒潰226軒、在方(農家)の倒潰1371軒と合計2733軒、18人死亡/北部に隣接する丸岡藩領(5万石)では天守櫓鯨鯨一体吹き落とされ、城内の諸役所及び土蔵、高札場等大破、市郷(町と農村部)潰家合わせ52軒、潰寺一宇、死亡女2人/この他浦方(海岸部)の塩竈9か所の内潰9か所、塩浜(塩田)は高波にて残らず壊滅/東部内陸部の勝山藩領(2万2千石)では潰家63軒、同土蔵1棟、同物置32棟、同非人(部落民)小屋1軒、同神社6か所、死亡女1人/南部に隣接する鯖江藩領(5万石)では潰家325軒、死亡6人/勝山藩領の南部に隣接する大野藩領(4万石)では田畑の被害のほか潰家58軒などの被害
- 1846年9月10日 06:00|アメリカ| |||アメリカのエリアス・ハワーがミシシの二重縫い方式特許を得る
- 1846年9月10日-09:00|日本/アメリカ|神奈川県横須賀市|弘化3年7月20日|米国軍艦「コロンブス号」「ウインセンス号」浦賀に来航、司令官ビッドル通商を求める
- 1846年9月11日-09:30|オーストラリア| |||グレイト・サン・アントン・ウェスタン・レイルウェイ会社設立/後のシドニー・レイルウェイ会社
- 1846年9月14日 00:00|イギリス| |||<死去>5代アソル公・5代ティリバーデイン侯・8代トリバーデイン伯・5代ストラステ=ストラエーテル伯・2代ストレンジ伯「ジョン・マレー」
- 1846年9月14日 00:00|イギリス| |||<就任>6代アソル公・6代ティリバーデイン侯・9代トリバーデイン伯・6代ストラステ=ストラエーテル伯・3代ストレンジ伯「ジョージ・オーガスタス・フレデリック・ジョン・マレー」5代公の甥(~18640116死去)
- 1846年9月15日-05:45|ナパール| |||<就任>ナパール王国首相「ジャン・バハット・カルクワル」(1回目~18560801)
- 1846年9月15日-09:00|日本|福井県坂井市|弘化3年7月25日|丸岡城下で大火、谷町・富田町・新町170軒余焼失
- 1846年9月18日-05:30|インド| |||<就任>ナバ国ラジャ「バルプール・シン」(~18631109没)、摂政「ラニ・マイ・チャンド・カウル」(~1856年10月)
- 1846年9月18日 06:00|ベネチア/イギリス| |||<就任>ベネチア居留地管理者(ジャマカの知事に従属)「チャールズ・セント・ジョン・ファンコート」(2回目~1851年)
- 1846年9月22日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ライオンバーグ準州司令官・総督「アンソニー・ヘントリック・ポトギーター」(3度目~1849年)
- 1846年9月23日-01:00|フランス/ドイツ| |||ベルリン天文台のヨハン・ガレ(34)が、ユルバン・ルヴェリエ(35)の計算した位置に海王星を発見
- 1846年9月24日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||カリフォルニアについて、テキサスからザカリ・テイラー将軍の軍が侵入、モンテレーを占領しさらにアリゾナに進む。カーニ軍は、ザカリ軍支援のため南下。その後カリフォルニアに向かう
- 1846年9月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光26年8月05日|総戎庁を総衛營に改める(~1849)
- 1846年9月28日-05:30|インド| |||<就任>タンガール国統治者(マハラワ)「ウダイ・シン2世」(~18980213没)、摂政「マハラワット・タルパット・シン」(~1852年1月)
- 1846年9月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コカ・ムスタファ・レシット・パシャ」(1期目~18480429)
- 1846年9月28日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ウォルト・グレイヴ伯「ジョージ・エドワード・ウォルト・グレイヴ」
- 1846年9月28日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ウォルト・グレイヴ伯「ウィリアム・ウォルト・グレイヴ」先代の叔父(~18591024死去)

1850迄 (3058件)

- 1846年10月-02:00|ブルガリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ヴイデイン・ワリス(総督)「アガ・ヒュセイン・パシャ」(2度目~18490425)
- 1846年10月 06:00|アメリカ| |||ロスアンゼルスで米国支配に対する反乱. 守備隊は町を追われる
- 1846年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・グイデ・イ・ジヤンツ」 「コスタンツォ・ダミアニ」
- 1846年10月2日-09:00|日本| ||弘化3年8月12日|<死去>2代西川伊三郎(69歳)人形遣い
- 1846年10月6日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第16代首相「シヨアン・カルロス・グレゴリオ・トミンゲス・ビセンテ・フランス・コテ・サルタニャ・オリベ・イ・エ・ダウ」(2期目~18490618)
- 1846年10月6日 00:00|ポルトガル| |||パトゥリアで農民の反乱が始まる/ポルトガルの自立を恐れる英西の軍事干渉により鎮圧される/実権を握る憲章党のサルタニャは独裁政治を開始
- 1846年10月7日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Jose Silvestre Ribeiro」(1期目~18470430)
- 1846年10月8日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|弘化3年8月18日|<死去>豊後森藩12500石「久留島通嘉」(60歳)  
⇒三男「久留島通容」が継ぐ(⇒嘉永3年5月22日(18500701)、死去)
- 1846年10月10日-01:00|スペイン| |||スペイン女王イザベル2世が、従兄のフランスと結婚
- 1846年10月10日 00:00|イギリス| |||イギリスのW・ラッセルが海王星の衛星トリトンを発見
- 1846年10月10日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラ・ド・エロイス民政知事「Nicolau Anastacio de Bettencourt」(2期目~18480606)
- 1846年10月10日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ホル民政知事「Antonio Jose Vieira Santa Rita」(2期目~18470908)
- 1846年10月10日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ボンテ・ルガダ民政知事「Duarte Borges da Camara e Medeiros」(~18470727)
- 1846年10月11日-09:00|日本|新潟県上越市|弘化3年8月21日|<死去>榊原政養(49歳)前越後高田藩主
- 1846年10月13日-09:00|日本/イギリス|沖縄県|弘化3年8月23日|イギリス軍艦、琉球へ渡来
- 1846年10月16日 06:00|アメリカ| |||ウィリアム・モートンが、エーテル麻酔による手術を公開
- 1846年10月21日-05:30|インド| |||ラジャウリ国はジャムナ・カミールに併合
- 1846年10月24日-09:00|日本|香川県三豊市|弘化3年9月8日|多度津藩領三野郡大見村の弥谷寺で夜から翌朝にかけて火事発生. 本堂を焼失
- 1846年10月27日-09:00|日本|秋田県秋田市|弘化3年9月8日|<死去>出羽久保田藩205800石「佐竹義厚」(35歳)⇒11月4日、長男「佐竹義睦」が継ぐ(⇒安政4(1857)年7月1日、死去)
- 1846年11月 07:00|メキシコ/アメリカ| |||ニューメキシコから進軍したカーニーの部隊, アリゾナ州サン・スカでインディア人に襲撃され、重大な被害をこうむる
- 1846年11月1日-09:00|日本|千葉県成田市|弘化3年9月13日|<死去>下総高岡藩1万石「井上正域」(20歳)⇒弟「井上正和」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年3月28日、隠居)
- 1846年11月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光26年9月16日|丙午教難起きる(金大建神父、漢城の沙南基(李朝時代の死刑場の一つ)で教友20余名も共に処刑され殉教)
- 1846年11月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクストート議長「J. J. P. プリンズロー」(1回目)
- 1846年11月5日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《交響曲第2番ハ長調Op. 61》
- 1846年11月6日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍スループ「アルバニー」(1042t, ニュー・ヨーク海軍工廠で建造)
- 1846年11月9日-05:30|インド| |||<即位>ジャムナ・カミール国マハラジャ「ケラフ・シン」(~18560220)
- 1846年11月9日-09:00|日本|茨城県笠間市|弘化3年9月21日|<交替>常陸宍戸藩1万石「松平頼位」隠居⇒長男「松平頼徳」が継ぐ(⇒元治元(1864)年10月5日、天狗党の乱の鎮圧失敗を咎められ切腹、廃藩)
- 1846年11月11日-09:00|日本|群馬県高崎市|弘化3年9月23日|<交替>上野高崎藩82000石「松平輝充」隠居⇒養子「松平輝聴」が継ぐ(⇒万延元(1860)年7月2日、死去)
- 1846年11月16日-01:00|オーストリア/ポランド| |||クラク共和国が、オーストリアに併合される
- 1846年11月17日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ王「タラデ・イ・ミン」
- 1846年11月17日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ王「パガン・ミン」(~18530218)
- 1846年11月18日-09:00|日本|北海道函館市|弘化3年9月30日|<北海道恵山弘化3年の噴火>北海道渡島半島の東端にあり太平洋に突き出すようにそびえている標高618mの恵山水無沢火口で水蒸気噴火が起こり、多量の泥流が流れ東側のふもとにあるアイヌ人集落のトボツチを襲い集会所や民家2,30戸を埋没させた/死傷者が多く出たと伝えられている
- 1846年11月22日-09:00|日本|岡山県浅口市|弘化3年10月4日|<死去>岡山新田藩25000石「池田政善」⇒翌年7月、養子「池田政詮」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年3月15日、備前岡山藩を相続)
- 1846年11月23日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「パトリック・ロス卿」(~18500828死去)
- 1846年11月30日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ウィリアム・ネルソン・ハッチソン中佐」(~12.25)
- 1846年12月-05:30|インド| |||<就任>パンジャブ国摂政「ヘンリー・モンゴメリー・ローレンス」(~18480304)
- 1846年12月-01:00|フランス| |||<初演>ルイ・エクトル・ベルリオズ《歌劇「ファウストの劫罰」》
- 1846年12月 07:00|メキシコ| |||自由主義派によるクーデター. サタアをハナから呼び戻し大統領としメキシコ軍の指揮にあたらせる. サタアは激戦の末、いったんテイラー軍の撃退に成功
- 1846年12月8日-09:00|日本|富山県富山市|弘化3年10月20日|<交替>越中富山藩10万石「前田利保」隠居⇒六男「前田利友」が継ぐ(⇒嘉永6年12月20日(18540118)、死去)
- 1846年12月9日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「ウィリアム・レイド」(~1848.9)
- 1846年12月10日-08:00|マレーシア/イギリス/ブルネイ| |||ラブアン島がブルネイの属国によって英国に割譲された
- 1846年12月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクストート議長「ヨハネス・クリスティアン・クロッパ」(第1回~184

1850迄 (3058件)

71204)

- 1846年12月10日 04:00|ケレタダ/イギリス |||<就任>ケレタダ 副総督「カー・ヘイリー・ハミルトン」(~1853年)
- 1846年12月12日 05:00|パナマ/アメリカ/コロンビア |||ヌエバ・グレナダ 共和国(コロンビア)とアメリカ合衆国との間でマリノ=ピドドラ 条約、調印/アメリカ合衆国がヌエバ・グレナダ 共和国(コロンビア)から現在のパナマ共和国地帯パナマ地峡でのアメリカ合衆国の通行権と通商の承認を受ける
- 1846年12月15日-01:00|ドイツ |||<死去>ヘッセン=ホンブルク方伯「フィリップ」
- 1846年12月15日-01:00|ドイツ |||<就任>ヘッセン=ホンブルク方伯「グスタフ」(~18480908死去)
- 1846年12月17日-08:00|中国 |||香港ハッピー・バレー競馬場開場
- 1846年12月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|弘化3年11月3日|(~4日)<大坂弘化3年の大火「おちよぼ焼:天満焼」>子の刻(午前0時ごろ)、繁華街の曾根崎新地一丁目の貸席(お茶屋)に遊客から呼ばれた遊女のおちよぼが何かの恨みからか雪隠(トイレ)に放火、西風にあおられて東の方へと燃え広がると天満橋筋まで翌日の丑の刻(午前2時ごろ)までの26時間燃え続けた/焼失したのは家屋985軒、空き家335軒、土蔵25棟
- 1846年12月24日 07:00|メキシコ |||<就任>メキシコ合衆国暫定大統領「アントニオ・ロペス・デ・サンタアナ・イ・ペレス・デ・レボン」(4回目~18470916)、代行「ホセ・マリア・バレンティン・ゴメス・デ・ラウアラ・イ・マルチネス・フアリアス」(2回目~18470322)
- 1846年12月25日 04:00|バミューダ/イギリス |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「チャールズ・エリオット卿」(1期目~18520826)
- 1846年12月25日 07:00|メキシコ/アメリカ |||エル・ソテル・ルテ(現シウタ・ファレス)のメキシコ軍とドニファン部隊が、エル・ブラジートで遭遇戦/メキシコ軍敗走/ニューメキシコ全土が米軍により制圧される
- 1846年12月27日-05:30|インド |||<就任>ティルウ・イダムコトウ国ラジャ「マルタナ・ヴァルマ4世」(~18600818没)
- 1846年12月28日 06:00|アメリカ |||<加盟>アイオワ準州⇒アメリカ合衆国アイオワ州(29番目)
- 1847年-08:00|インドネシア |||<即位>ハンガラン君主「Cakraningrat9世」(~1862年)
- 1847年-07:00|タイ |||<就任>ソクラ知事(プーヤ・ウィチアキリ)「ブーソソ・ナ・ソクラ」(~1865年)
- 1847年-07:00|タイ |||<即位>チンマイ国チェットン朝国王「マホータラテート」(~1854年)
- 1847年-06:00|ブータン |||<就任>ブータン摂政「タシドルジ」(~1850年)
- 1847年-05:30|インド |||<就任>シエツプール国支配者(アサム・ウアラ)「スラック・ガンガ」(~1899年没)
- 1847年-05:30|インド |||<就任>ソネール国摂政「ラウ・クンテ・イチャ・テウイ」(~1855年)
- 1847年-05:30|インド |||<就任>タンタ国統治者(マハラ)「ジャラムシム・ナルシム」(~1859年)
- 1847年-05:30|インド |||<就任>パンカハハリ国統治者(ティウソ)「ウー・イ・エイ・ハド・ウルシン」(~1871年没)
- 1847年-05:00|パキスタン |||<就任>ギルギット国統治者「ヤシンのマリク・アマン・シャー」(~1848年)
- 1847年-04:30|アフガニスタン |||<即位>アムクイ汗国ハン「ス・フイー・カーン」(2回目)⇒「ガザン・フアル・カーン」(3回目~1869年)
- 1847年-04:00|アゼルバイジャン |||<即位>イリス・スルタン「ダニヤル・ベク」短期間再占領(2度目)
- 1847年-03:00|イラク/トルコ |||<就任>ハスラのムテツサリフ「サエック・ベイ」(~1849年)
- 1847年-03:00|カタル |||<即位>カタル・ハキム「シャイフ・ムハンマド・ヒン・サーニ」(~18781218死去)
- 1847年-03:00|イラク |||<即位>バハン首長「Abdollah Pashaj」(~1850年)
- 1847年-02:00|ウクライナ/ロシア |||<死去>ハリコフ・ホルタウ・ア=フェルニコフ総督「Knyaz' Nikolay Andreyevich Dolgorukov」
- 1847年-02:00|ウクライナ/ロシア |||<就任>ハリコフ・ホルタウ・ア=フェルニコフ総督「Sergey Aleksandrovich Kokoshkin」(~1856年)
- 1847年-01:00|ガボン/フランス |||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「アントレ・フ・リセット」(2回目~1848年)
- 1847年-01:00|ニジェール |||<就任>マラティ国統治者(サルキン・カツィナ)「タン・マデ・イ・タン・アグワキ」(~1850年)
- 1847年-01:00|フランス |||<即位>ギーズ公「アンリ」フランス王ルイ・フィリップの五男・オマル公アンリ・ド・ルアンの子(同年死去)
- 1847年 00:00|コートジボワール/フランス |||<就任>アシニ(ジョングイル砦)民間司令官「ト・テナル」(~18471126没)
- 1847年 00:00|コートジボワール/フランス |||<就任>グランバッサム(ヌール砦)民間司令官「アトル・ピジョン」(~1848年)
- 1847年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル |||<就任>ビサウ総督「カルロス・マキシリアノ・デ・ソウザ」(~1848年)
- 1847年 00:00|セネガル |||<就任>ワタ・ト・ロ統治者統治者(アルマ=ミ)「バ=バ・リリ」(4回目)⇒「マドゥ・ビラン・ワン」(4回目~12月)
- 1847年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル |||<就任>カーボベルデ 総督「統治評議会」(~18480626)
- 1847年 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス |||<就任>アンティグア 総督「ジェームズ・マコーレー・ヒギンソン」(~1850年)
- 1847年 04:00|モントセラト/イギリス |||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領「Edward Dacres Baynes」(2期目~1854年)
- 1847年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス |||<就任>バージン諸島主席「ジョン・アトル・マクレー卿」(~18510511死去)
- 1847年-08:00|中国 |||香港最古の寺院、文武廟創建
- 1847年1月1日-01:00|スイス |||<就任>スイス連合国会議長「アレクサンダー・ルートヴィヒ・ファンク」Rad(1期目~5.28)
- 1847年1月1日 06:00|ロシア |||<就任>ロシア共和国大統領代行「閣僚会議:カストル・アルブラト」(3回目)/フランスコ・フェレー」(~2.12)
- 1847年1月1日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス |||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島主任判事「Charles Christian3世」(~12.31)
- 1847年1月3日-05:30|インド |||<就任>ホパール国摂政「シカデル・ヘガム」(~18600430)
- 1847年1月4日-09:00|日本|北海道函館市|弘化3年11月18日|<噴火>恵山、噴火の泥流で犠牲者多数
- 1847年1月4日-08:00|中国 |||清・道光26年11月18日|中国人留学生3人がアメリカ人宣教師に伴われて留学生として渡米/中国初の留学生になる
- 1847年1月5日 06:00|アメリカ/メキシコ |||ニューメキシコ州オアサでフエロ・インディアノとカトリック信者による反乱/ベント州知事に襲撃され暗殺される/サンタフェの駐屯部隊はヘンドレイ大尉の率いる小隊を送り鎮圧
- 1847年1月7日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化3年11月21日|<大相撲>弘化3年11月場所[江戸本所回向院](10日間

1850迄 (3058件)

)幕内優勝:(東前8)紅葉川,6勝1敗1分2休

- 1847年1月10日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||ストックンの海兵とカーニの部隊,リサンガ・フリエルとラサの戦いでメキシコ人反乱軍を撃破しロスアンゼルスを奪還
- 1847年1月11日-05:30|インド| |||<就任>シヒ国統治者(王)「シホ・シン」(~18621208)
- 1847年1月13日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パ・ラタイン代行「ジェルジ・マイラト・セクリ」(1回目~11.12)
- 1847年1月13日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||カエンガ 条約調印,カリフォルニアでの戦いを終了
- 1847年1月14日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 副総督代行「ロバート・T・クラクストン」⇒副総督「ロバート・ジェームス・マッキントッシュ」(~1850年)
- 1847年1月17日-09:00|日本|長崎県大村市|弘化3年12月|<交替>肥前大村藩24973石「大村純顕」隠居⇒翌年2月21日弟「大村純熙」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1847年1月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「フレデリック・ハットン」(~18511014)
- 1847年1月20日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「Diego Bautista Garcia de Urbaneja y Sturdy」PL(~3.1)
- 1847年1月26日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Leandro Jose da Costa」(3期目~9.30)
- 1847年1月27日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ 植民地総督「ヘンリー・エルトレット・ホッティンジャー卿」(~12.1)
- 1847年1月28日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Carlos Martinez de Irujo」穏和党(~3.28)
- 1847年1月29日-09:00|日本|愛知県刈谷市|弘化3年11月|<死去>三河刈谷藩23000石「土井利祐」(26歳)⇒翌年3月、養子「土井利善」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年7月19日、隠居)
- 1847年1月30日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州総督「エドワード・ジェームス・ブルース、キンカーティン」(~18541219)
- 1847年2月 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントフィアコ 総督「チャールズ・エドワード・グレイ卿」(~1853年10月)
- 1847年2月 06:00|アメリカ/メキシコ| |||第三軍がAlexander Doniphan大佐に率いられ,ニューメキシコからメキシコ領内に侵入.ラス・クルセス,シウダ・ファレスでメキシコ軍を撃破.チワワ州のサラムト河畔での会戦ではメキシコ軍を撃滅
- 1847年2月3日-05:30|インド| |||<即位>ラト国マハラジャ「ロウト・ラ・シン」(~19480528)
- 1847年2月3日-01:00|ドイツ| |||プロシヤ連合州会が招集される
- 1847年2月3日-09:00|日本|兵庫県丹波市|弘化3年12月18日|<死去>丹波柏原藩2万石「織田信貞」(44歳)⇒翌年2月26日、養子「織田信敬」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年7月25日、死去)
- 1847年2月6日 00:00|イギリス| |||イギリスの天文学者ジョン・ハインドが彗星C/1847C1(ハインド 彗星)発見
- 1847年2月7日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「國務長官評議会:シャルル・ニコラ・セリニー・アルトゥアン・ベルトラン・アレクシス・ホルジ・ア・デ・ユビ・ギ・アン・レオン・テートル/アルフォンソ・ロシエル」(~3.2)
- 1847年2月7日-09:00|日本| ||弘化3年12月22日|<死去>朝山清常(64歳)歌人、治部少輔
- 1847年2月9日 10:00|ポルトガール/フランス| |||死子の女王がフランスの保護領化を受諾
- 1847年2月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスト 議長「ヨハネス・クリスティアン・クロッパ」(2回目)
- 1847年2月10日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ国暫定大統領「ホセ・マリア・アルファロ・ザモラ」(~5.8)
- 1847年2月11日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ノサンバランド公「ヒュー・パーシー」
- 1847年2月11日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ノサンバランド公「アルジャーノン・パーシー」パーシー伯(~18650212死去)
- 1847年2月12日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>西オーストラリア植民地総督代行「フレデリック・アーウィン」(~18480811)
- 1847年2月12日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領「フアン・ホセ・フェルナンデス・リント・イ・セラヤ」(~18520201)
- 1847年2月13日-05:30|インド| |||<就任>アワド 国ラジヤ(パド・シャー・エ・アワド、シャー・エ・ザマン)「ナセル・アド・ディン・アワド・アル・マンズール・モハマト・ワジエト・アリ・シャー」(~18560207)
- 1847年2月14日-09:00|日本|青森県八戸市|弘化3年12月29日|<死去>南部信真(67歳)前陸奥八戸藩主
- 1847年2月15日-09:00|日本| ||弘化4年|<刊行>栗原柳庵「兵家紀聞」
- 1847年2月15日-09:00|日本| ||弘化4年1月|<出版>磯野文齋「長崎土産」
- 1847年2月15日-09:00|日本| ||弘化4年1月|<出版>歌川国盛「浮世画手本」
- 1847年2月15日-09:00|日本| ||弘化4年1月|<出版>葛飾北斎の女応為「女重宝記」
- 1847年2月15日-09:00|日本| ||弘化4年1月|<出版>静斎英一「地口絵手本」
- 1847年2月22日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪スループ「アレグニ」(1020t, Stackhouseで建造)
- 1847年2月23日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||(22日~)サンタアナ軍,北部から侵入したティラとウールの合同軍とブエナビスタ農場で決戦/メキシコ軍が大敗
- 1847年2月27日 05:00|ハイチ| |||<死去>ハイチ共和国大統領「ジャン・バティスト・リシェ」病死
- 1847年3月-03:00|エトリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国マツワ総督「イスマイル・ハッキ・パシャ」(~1848年3月)
- 1847年3月1日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領「セルゲオ・モカス」(1期目~18510120) PC
- 1847年3月2日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「ファスティン・エリ・スルーク」(~18490826)
- 1847年3月10日-09:00|日本| ||弘化4年1月24日|<死去>初代本松齋一鯨(不明)華道家
- 1847年3月12日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスト 議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロワラ」(第4回)
- 1847年3月13日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア國務院議長・閣僚委員会委員長「ウァシリ・ウァシリウイッチ・レウァンソフ伯爵」(18480112まで代行~18481005)
- 1847年3月14日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ウエルティ《歌劇「マクベス」》
- 1847年3月16日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスト 議長「ヨハネス・クリスティアン・クロッパ」(第3回)

1850迄 (3058件)

- 1847年3月21日 06:00|グアテマラ| |||グアテマラ、みずからを独立した共和国であると宣言
- 1847年3月21日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アントニオ・ロペス・デ・サンタ・アナ」(~4. 2)
- 1847年3月23日-05:30|インド| |||<即位>デウス国マハラジャ「クリシュナジ・ラオ3世・ブアル・アハ・サーヒブ」(~19480528)、摂政「マハラニ・プラムバイ」(2回目~19480528)
- 1847年3月28日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Joaquin Francisco Pacheco」穏和党(~9. 12)
- 1847年3月28日-09:00|日本|静岡県浜松市|弘化4年2月12日|<死去>遠江浜松藩6万石「井上正春」(43歳)⇒4月22日、四男「井上正直」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年9月23日、上総鶴舞藩6万石に転封、領地は駿河駿府藩に併合され廃藩)
- 1847年3月29日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||スコット軍、ベラクルスを陥落。メキシコ市に向け進軍開始
- 1847年3月30日-05:30|インド| |||<就任>コホ・ビハル国摂政「ハジエントラ・ナヤン」(2回目~1857年)
- 1847年3月30日-09:00|日本|熊本県下益城郡美里町|弘化4年2月14日|肥後の緑川に、日本最大の石造単アーチ橋、霊台橋が完成
- 1847年3月30日-09:00|日本|三重県鳥羽市|弘化4年2月12日|<死去>稲垣長剛(41歳)前志摩鳥羽藩主
- 1847年3月31日-05:30|インド| |||<即位>コルハープル国マハラジャ「シャハジ3世・チャトラパティ」(~19490301)
- 1847年4月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>ジャバル・シャマル首長「タル・ブン・アブド・ラ・アル・ラシッド」(~18680311)
- 1847年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シローモ・ゴジ」ト・メニク・アントニオ・バルトロティ
- 1847年4月1日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島州総司令官「Segundo Ulibarri」(~11. 14)
- 1847年4月1日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役代行「ミゲル・ラモン・モリス」(~6日)
- 1847年4月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ペドロ・マリア・アヤ・イ・デ・アルバレス」(~5. 19)
- 1847年4月3日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光27年2月18日|イギリスが広東省の虎門砲台を占領
- 1847年4月6日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役「ホセ・デ・ラ・クルス・ゲレロ・デ・アルコス・イ・モリーナ」(~18490101)
- 1847年4月7日-09:30|オーストラリア| |||ウィリアム・ヘイカー、シドニーで『ハブス・オウ・ザ・ヒープル』を創刊
- 1847年4月10日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領グリーンランド・ニコスト総督代行「ラスムス・エミール・シュミット」(~18500220)
- 1847年4月15日-07:00|ベトナム/フランス| |||フランス軍艦「ローレル」とビクトリウスがダナンへ入港しダナン港に停泊中のベトナム軍艦を砲撃し5隻を撃沈
- 1847年4月17日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「チャールズ・ロジャース・ネズビット」(3回目~18480123)
- 1847年4月18日 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガンビア総督代行「トーマス・ルイス・イングラム」(4回目~12. 21)
- 1847年4月18日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||スコット軍、ベラクルスからシタ・メヒコにつながるセコルト山で、メキシコ軍と衝突/メキシコ軍は米軍の砲火の前に敗走
- 1847年4月19日-05:30|スリナム/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督代行「ジェームズ・エマソン・テネット」(~5. 29)
- 1847年4月20日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島州知事「Ignacio Peraza de Ayala y del Hoyo-Solorzano」(1期目~5. 22)
- 1847年4月22日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリリア・ワリス(総督)「ラキブ・パシヤ」(~18490913)
- 1847年4月23日-09:00|日本|学習院|弘化4年3月9日|京都御所建春門前に公家の学問所京都学習所が開設。学習院の起源
- 1847年4月24日-09:00|日本|栃木県大田原市|弘化4年3月10日|<交替>下野大田原藩11400石「大田原愛清」隠居⇒次男「大田原広清」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年4月12日、死去)
- 1847年4月25日 00:00|イギリス| |||<死去>7代アーガイル公「ジョン・ダグラス・ヘンリー・エドワード・キャンベル」
- 1847年4月25日 00:00|イギリス| |||<就任>8代アーガイル公「ジョージ・ジョン・ダグラス・キャンベル」(~19000424死去)
- 1847年4月29日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスト 議長「フランス・シュッテ」(第1回)
- 1847年4月30日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「カール」
- 1847年4月30日-01:00|ポーランド| |||<就任>チェシ公「アルブレヒト」(~18950218死去)
- 1847年4月30日 00:00|ポルトガル| |||<就任>アンチアル地区民政知事「Luis de Ornelas e Vasconcelos」政府委員会議長(~5月)
- 1847年5月 00:00|ポルトガル| |||<就任>アンチアル地区民政知事「Francisco Correia Heredia」政府委員会議長(~6. 26)
- 1847年5月1日 06:00|アメリカ| |||スミニオン協会が正式に設立される
- 1847年5月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスト 暫定議長「ヨハネス・クリスティアン・クロッパ」(第4回)
- 1847年5月5日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化4年3月21日|<大相撲>弘化4年3月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東小結)小柳, 6勝1敗1分2休
- 1847年5月8日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ国大統領「ホセ・マリア・カストロ・イ・マドリズ」(1回目、18480831まで暫定~18491116)
- 1847年5月8日-09:00|日本|長野県松本市|弘化4年3月24日|<善光寺大地震>参拝者などを含め死者16000人/虚空蔵山が崩れて犀川をせき止め上流は湖となった
- 1847年5月9日-09:00|日本|東京都|弘化4年3月25日|<死去>国学者・小山田与清(65歳)
- 1847年5月12日-05:45|ネパール| |||<即位>ネパール国王「スレンドラ・ビクラム・シャー・デーウァ」(~18810517)
- 1847年5月12日-05:45|ネパール| |||<廃位>ネパール国王「スレンドラ・ビクラム・シャー」王妃とともに宰相ジャング・バハドゥール・クンワール(ジャング・バハドゥール・ラナに改名)にインドに追放される
- 1847年5月12日 10:00|ポルトガリア/フランス| |||<就任>フランス領地アニア知事兼ツイン諸島国王弁務官(18480624~共和国弁務官)「Charles Francois Lavaud」(~18490628)

1850迄 (3058件)

- 1847年5月13日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州暫定総督「トミンゴス・フォルカト・デ・ウァル」(~18511022)
- 1847年5月13日-09:00|日本|新潟県上越市|弘化4年3月29日|越後頸城郡(現在の新潟県上越市高田付近:高田平野東縁断層)を震源とする地震(M6)死者20人以上
- 1847年5月14日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクストadt 暫定議長「J. J. P. Prinsloo」(2回目)
- 1847年5月15日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||フエラ陥落. メキシコ市は孤立状態になる
- 1847年5月15日-09:00|日本| ||弘化4年4月|<出版>溪斎英泉「神事行燈」五編
- 1847年5月15日-09:00|日本|東京都台東区|弘化4年春|このころ江戸の、河原崎芝居狂言で虫拳・狐拳(藤八拳)・虎拳が流行、酒の席の余興として広がる
- 1847年5月16日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ヘスペラ伯「ジョン・ウィリアム・ホッソル」
- 1847年5月16日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ヘスペラ伯「ジョン・ジョージ・ブラッソル」(~18800128死去)
- 1847年5月16日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「ヘンリー・ラブ・シェール」(~26日)
- 1847年5月16日 05:00|エクアドル| |||カカエリが死亡。カカエリは死の直前までラモン・カカエリの特使として南米各国を訪問
- 1847年5月17日-05:30|インド| |||<即位>トリプラーナ国マハラジャ「クリット・ウイクラマ・キョール・マニヤ」(~19491015)、摂政「マハリニ・カンチャン・パハパティ・マハデウ・イ・サヒバ」(~19491015)
- 1847年5月20日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アントニオ・ロペス・サンタ・アナ」(~9. 15)
- 1847年5月20日-09:00|日本|東京都|弘化4年4月6日|<死去>5代岩井半四郎(72歳)歌舞伎役者
- 1847年5月22日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州知事「Bartolome Velazquez Gaztelu y Angulo」(~18480219)
- 1847年5月22日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣代行「マヌエル・アルマス・フランコ」(2回目~7. 20)
- 1847年5月26日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「クレントン伯爵ジョージ・ウィリアム・フレデリック・ウイリアム」(~18520310)
- 1847年5月27日-09:00|日本|滋賀県大津市|弘化4年4月13日|<交替>近江膳所藩6万石「本多康禎」隠居⇒長男「本多康融」が継ぐ(⇒安政3(1856)年4月7日、隠居)
- 1847年5月27日-09:00|日本|長野県松本市|弘化4年4月13日|犀川決壊、大洪水が起こる/流出810戸、浸泥2135戸、死者100余人
- 1847年5月28日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・ウルリッヒ・オクセンバイン」Rad(1期目~11. 5)
- 1847年5月28日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ヘンリー・シャウット」(カナダ西部)「トウニ・ベソジャ・ミン・パヒノ」(2回目/カナダ東部)」(~18480311)
- 1847年5月29日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン第9代総督「トリントン伯爵ジョージ・ヒンガ」(~18501018)
- 1847年5月29日-09:00|日本|東京都江東区|弘化4年4月15日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間堂百射」、石川泉之助(11歳)が96本(総矢数100中)を記録
- 1847年5月29日-09:00|日本|東京都江東区|弘化4年4月15日|江戸深川三十三間堂通矢「四十間堂百射」、石川泉之助(11歳)が100本(総矢数100中)を記録。完全記録
- 1847年5月30日-09:00|日本|栃木県大田原市|弘化4年4月16日|<死去>大田原愛清(50歳)前下野大田原藩主
- 1847年5月30日-09:00|日本|長崎県島原市|弘化4年4月16日|<死去>肥前島原藩65000石「松平忠誠」病死(24歳)⇒弟「松平忠精」が継ぐ(⇒安政6(1859)年6月28日、死去)
- 1847年6月-09:30|オーストラリア| |||ロズストンの医師、オーストラリアで初めて麻酔による手術を実行
- 1847年6月6日 00:00|イギリス| |||ロンドンで共産主義者同盟が創立
- 1847年6月8日 00:00|イギリス| |||イギリスで工場法が成立し、繊維工場では女性と13歳から18歳の年少労働者の1日の労働時間が10時間以内に制限される
- 1847年6月9日-05:30|インド| |||<即位>ジョートプル国マハラジャ「ハント・シン」(19490330)
- 1847年6月10日-09:00|日本|岡山県浅口市|弘化4年4月27日|<死去>池田政善(38歳)備中鴨方藩主⇒7月、養子・政詮が継ぐ
- 1847年6月13日-09:00|日本| ||弘化4年5月|<出版>小田切春江「名区小景」初編
- 1847年6月15日-09:00|日本|熊本県天草市|弘化4年5月3日|肥後天草に百姓一揆起こる
- 1847年6月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクストadt 議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロウラー」(第5回)
- 1847年6月19日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化4年5月7日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川慶壽」(25歳)⇒養子「徳川昌丸」が継ぐ(⇒同年8月20日、2歳で死去)
- 1847年6月21日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクストadt 議長「ヨハネス・ファン・レンゼブルク」
- 1847年6月22日-09:00|日本|群馬県高崎市|弘化4年5月10日|<死去>上野吉井藩1万石「松平信任」(22歳)⇒養子「松平信発」が継ぐ(⇒元治2(1865)年3月26日、隠居)
- 1847年6月24日 03:00|ブラジル| |||自由黒人(ムラト)のエステ・Pimenta, リオ州のコーヒー農園「Vassouras」で蜂起
- 1847年6月25日-09:30|オーストラリア| |||<市制>メルボルン、シティとなる
- 1847年6月26日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Jose Silvestre Ribeiro」(2期目~18480617)
- 1847年6月27日 00:00|イギリス| |||おもりの降下によって回した羽根車で水をかき廻し熱の仕事量を測定したジュールの実験の結果が、オックスフォードの学会で発表
- 1847年7月-05:00|カナダ/イギリス| |||キルギス内陸部汗国カンが廃止され、キルギス内陸部は暫定評議会によって統治される
- 1847年7月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリシア州政府大統領代理「Leopold Graf Lazansky-Freiherr von Bukowa」(~8. 1)
- 1847年7月-01:00|フランス/イラン| |||イランがフランスと友好通商条約を締結



1850迄 (3058件)

- 1847年8月15日-05:00|パキスタン/イギリス| |||イギリスはインド・ミルバルをパキスタンに編入
- 1847年8月19日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||スコット軍、首都南西9マイルのサン・アウグスティンに到着。サン・アンの率いるメキシコ軍主力と対決。2日間の戦闘の後メキシコ軍は敗退
- 1847年8月20日-09:00|日本|千葉県長生郡一宮町|弘化4年7月10日|<死去>加納久儔(51歳)前上総一宮藩主
- 1847年8月22日-05:30|インド| |||<就任>ジャムカデイ国ラジャ「パラシュラム・ラオ2世パトワラン・ハグ・サーヒブ・パトワラン」(~19480308)
- 1847年8月23日-05:30|インド| |||<就任>コホ・ヒール国ラジャ「ナレンドラ・ナヤン」(~18630806没)
- 1847年8月24日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ジャン＝フランソワ・カイユ」(~9.7)
- 1847年8月26日-05:30|インド| |||ポハール国がインドに加盟
- 1847年8月26日-09:00|日本| |弘化4年7月16日|<死去>岩崎美隆(44歳)歌人、国学者
- 1847年8月27日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|弘化4年7月17日|<死去>鳥取西館新田藩2万石「池田定保」(43歳)⇒養子「池田清直」が継ぐ(⇒安政5(1858)年8月6日、死去)
- 1847年8月28日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「カララス子爵ヌニル・アルベス・フランコ」(~190.20)
- 1847年9月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「イスマイル・アテイル・ハシヤ」(~1848年)
- 1847年9月1日-01:00|ドイツ| |||ドイツのジーマンス社が創立される
- 1847年9月2日-09:00|日本|茨城県土浦市|弘化4年7月23日|<死去>土屋彦直(50歳)前常陸土浦藩主、元寺社奉行
- 1847年9月7日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ラントル・アドルフ・ジヨゼフ・ベルタン・デュシャト」(1度目~11月)
- 1847年9月8日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガルの民政知事代理「Jose Cupertino da Fonseca e Brito」(~12.20)
- 1847年9月8日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガルの民政知事「Antonio Borges da Camara Medeiros」(~18490125)
- 1847年9月8日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||モリノテルレイの戦い。メキシコ軍は敗退
- 1847年9月11日 06:00|アメリカ| |||米ビッツバーグでステイブソン・フォスター作詞作曲の歌曲「おおザンナ」を初演
- 1847年9月12日-03:00|エチオピア| |||<即位>シエラ王「ハイレ・メルコット」(~18551109没)
- 1847年9月12日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Florencio Garcia Goyena」穏和党(~10.4)
- 1847年9月13日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アルクサンダー・シューマン《ピアノ三重奏曲第1番ニ短調Op. 63》
- 1847年9月13日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||チャプultepecでアメリカ軍は勝利/シウダ・レオンを見下ろす丘を確保。チャプultepec防衛にあたった士官学校学生は全員玉碎
- 1847年9月14日-05:30|インド/パキスタン| |||サルタラト国、マハダル国がパキスタンに加盟
- 1847年9月14日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||アメリカ・メキシコ戦争、アメリカ軍がメキシコシティを占領/メキシコ政府はケタロに移転。サン・アンは首都陥落の責めを負い辞職
- 1847年9月15日-05:30|インド/パキスタン| |||ジュナガト国がパキスタンへ加盟
- 1847年9月17日-02:00|ギリシャ| |||<死去>ギリシャ王国首相(閣僚評議会議長)「イオニス・ニコラウ・コレティス」
- 1847年9月17日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ王国首相(閣僚評議会議長)「キリアコス・キトリス・フォティウ・ツァウエラス」(~18480320)
- 1847年9月18日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ストラフォード伯「ジョン・ベンク」(~18600603死去)
- 1847年9月19日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第22代首相「フランソワ・ビエール・キヨム・キゾー」オルリアニスト(~18480223)
- 1847年9月19日-09:00|日本|群馬県沼田市|弘化4年8月10日|<死去>上野沼田藩35000石「土岐頼寧」(22歳)⇒養子「土岐頼之」が継ぐ(10月2日襲封⇒慶応3(1867)年4月16日、隠居)
- 1847年9月22日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ヌニル・ホセ・テラペーニャ・イ・ベニャ」(1回目~11.12)
- 1847年9月25日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|弘化4年8月16日|<交替>豊後日出藩25000石「木下俊敦」隠居⇒次男「木下俊方」が継ぐ(⇒嘉永7(1854)年7月2日、死去)
- 1847年9月27日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「オマール公爵アンリ・ウジエス・フィリップ・ルイ・オルリアン」(~18480224)
- 1847年9月29日-09:00|日本|鹿児島県|弘化4年8月20日|薩摩藩、砲術館を設置
- 1847年9月29日-09:00|日本|東京都千代田区|弘化4年8月20日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川昌丸」(2歳)⇒9月1日、養子「徳川慶喜」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年8月20日、徳川宗家相続)
- 1847年9月30日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「Carlos Augusto de Morais e Almeida」(~11.22死去)
- 1847年10月-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ総督「リチャード・オフェラル」(~18510513)
- 1847年10月 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ウォンカフォン統治者「ステイブソン・カラ・モトウ」(~1860年)
- 1847年10月1日-05:30|インド| |||サルタラト国がインドに編入
- 1847年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルベリ」「ピエージョ・マルテリ」
- 1847年10月1日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国の女性天文学者マリア・ミッチェルが彗星C/1847T1(ミッチェル彗星)発見
- 1847年10月4日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Ramon Maria Narvaez」穏和党(~18491019)
- 1847年10月7日-05:30|インド| |||<就任>ライガール国ラジャ「ラリット・シン」(~19480101)
- 1847年10月7日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリラ暫定総督「Antonio Lopez de Mendoza」(~同年)
- 1847年10月11日-09:00|日本|東京都|弘化4年9月3日|<死去>2代三笑亭可楽(不明)落語家
- 1847年10月12日-03:00|エチオピア| |||<死去>シエラ王「サレ・セラシエ」
- 1847年10月16日-05:30|インド| |||<就任>マラルコトラ国支配者(ナワブ)「モハマト・イフティカル・アリ・カーン」(~19480715)

1850迄 (3058件)

- 1847年10月20日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「ニコラウ・ペレイラ・デ・カンパ・ス・ウエルゲイロ」(~11.18)
- 1847年10月22日-08:00|マレーシア| |||<就任>マレーシア国摂政「トゥンク・ムハンマド・サト・ビン・トゥンク・アブドゥラ」(~18540313)
- 1847年10月22日-05:30|インド| |||マハタール国がインドに統合
- 1847年10月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケテン公「Henry」
- 1847年10月24日-05:30|インド/パキスタン| |||ポチ国をパキスタンが占領
- 1847年10月25日-09:00|日本|沖縄県|弘化4年9月17日|<死去>尚育(35歳)琉球王
- 1847年10月26日-09:00|日本|大分県臼杵市|弘化4年9月18日|<死去>稲葉雍通(72歳)元豊後臼杵藩主
- 1847年10月27日-05:30|インド| |||ラダック国・ジヤムル・ガミル統治者がインドに帰属
- 1847年10月28日-09:00|日本|島根県浜田市|弘化4年9月20日|<死去>石見浜田藩61000石「松平武成」(23歳)⇒11月29日、従弟「松平武聰」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年3月26日、飛び地の美作鶴田藩28000石に移転)
- 1847年10月28日-09:00|日本|栃木県足利市|弘化4年9月20日|<死去>下野足利藩11000石「戸田忠禄」(51歳)⇒婿養子「戸田忠文」が継ぐ(⇒安政3(1856)年8月16日、死去)
- 1847年11月-05:30|インド| |||<就任>ジャムカントイ国摂政「ウイッタル・パント・アプテクリシュナジ・ハラル・ジヨシ」(~1848年)
- 1847年11月 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「オーギュスト・ローラン・フランソワ・ホーダン」(1回目~18480501)
- 1847年11月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「L. J. エラスムス」(~4日)
- 1847年11月4日-01:00|ドイツ| |||メンデルゾーン死去/38歳(誕生:18090203)。ドイツの作曲家
- 1847年11月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>コインブラ公「アウグスト」(~18890926死去)マリア2世の五男
- 1847年11月4日-07:00|ベトナム| |||越南・紹治7年9月27日|<死去>阮朝(大南)第3代皇帝「憲祖紹治帝」40歳
- 1847年11月4日-07:00|ベトナム| |||越南・紹治7年9月27日|<即位>阮朝(大南)第4代皇帝「翼宗嗣徳帝」(~18830719死去53歳)
- 1847年11月5日-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ラジャ「カイラシュチャンドラ・モハンティ・アザド・ニルギリ」(~19480101・大統領、反乱中)
- 1847年11月5日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合暫定国会議長「ヨハン・ルドルフ・シュナイター」Rad(~12.2)
- 1847年11月6日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|弘化4年9月29日|<死去>但馬豊岡藩15000石「京極高行」(54歳)⇒長男「京極高厚」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1847年11月8日-08:00|中国| |||旧曆10月|広州黄竹村でイギリス人と村民の衝突死傷事件がおこる
- 1847年11月9日-05:30|インド| |||ジユナガド国をインドが占領(~19490220)
- 1847年11月12日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラグ「シュテファン・フランツ・エルツェルツォーク・フォン・エステルライヒ」(~18480925)
- 1847年11月12日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国暫定大統領「ペドロ・マリア・アナ・イ・デ・アルバレス」(~18480108)
- 1847年11月14日-05:30|インド| |||サルタール国をインドが統治(~19490220)
- 1847年11月14日-05:30|インド| |||ニルギリ国をインドが占領(~19480101)
- 1847年11月14日 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリブ諸島州総司令官「Francisco Javier de Ezpeleta」(~18501121)
- 1847年11月18日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「マヌエル・アルマス・ブランコ」(~18480307)
- 1847年11月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン選帝侯「ウイヘルム2世」
- 1847年11月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン選帝侯「フリードリヒ・ウイヘルム1世」ウイヘルム2世の息子(~18660920解任、ヘッセン選帝侯領はプロシヤ王国に併合され、最終的に消滅)
- 1847年11月20日-09:00|日本|京都府京都市|弘化4年10月13日|<死去>鷹司祺子(37歳)鷹司政熙の娘、仁孝天皇の皇太后
- 1847年11月22日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ総督「Carlos Augusto de Morais e Almeida」
- 1847年11月22日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「政府評議会」(~18480720)
- 1847年11月23日-05:30|インド| |||<就任>ビジャール国ラジャ「ハム・プラタップ・シン」(~18661002)
- 1847年11月25日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《ピアノ三重奏曲第1番ニ短調Op. 63》
- 1847年11月25日 00:00|イギリス/カナダ/アメリカ| |||カナダのモントリオール・ランス鉄道が開通
- 1847年11月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ジュゼッペ・フォルツァーノ・フランチェスコ・ウエルティ《歌劇「イエルサム」》
- 1847年11月26日-09:00|日本|山形県山形市|弘化4年10月19日|<死去>秋元久朝(56歳)前出羽山形藩主
- 1847年11月29日-01:00|スイス| |||(~1021)ザンダーブント戦争で自由派カントンが軍事的に勝利
- 1847年11月30日-09:00|日本|岩手県下閉伊郡田野畑村|弘化4年10月23日|<南部三閉伊一揆遠野強訴>(~12月5日)南部藩浜岩泉村牛切の牛方弥五兵衛総指揮の下に農民たちは海岸地域から狼退治を名目に、鉄砲・槍を持って一揆に立ち上った
- 1847年12月-01:00|アルジェリア/フランス| |||アブドが降伏し、フランスがアルジェリア征服を完了
- 1847年12月 00:00|イギリス| |||<刊行>エミリー・ブロンテ「嵐が丘」
- 1847年12月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地総督「ヘンリー・ハー・ジョージ・ウェイクリン・スミス卿」(~18520331)
- 1847年12月2日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・ウルリッヒ・オクセンバイン」Rad(2期目~18480531)
- 1847年12月9日-09:00|日本|東京都|弘化4年11月2日|<死去>3代中村芝翫(38歳)歌舞伎役者
- 1847年12月11日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メヨ総督「Manuel Arcaya」(~1848年)
- 1847年12月12日-01:00|ドイツ| |||ドイツベルリンに電機機器メーカー「シーメンス」設立
- 1847年12月12日-09:00|日本|東京都|弘化4年11月5日|江戸、寄席の入り口に景品を置き席中でくじ引きなどをす

1850迄 (3058件)

ることが禁止

- 1847年12月15日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヤン・ファン・シュッテ」(2回目~16日)
- 1847年12月15日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「レウス伯Juan Prim de Prats y Gonzalez」(~18480912)
- 1847年12月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||クイーン・アデレード・ランド地区をイギリス領カラリアとしてケープ植民地に併合
- 1847年12月17日-01:00|イタリヤ| |||<死去>パルマ公「マリア・ルイーザ」56歳
- 1847年12月17日-01:00|イタリヤ| |||<即位>パルマ公「カルロ2世ルイジ」(~18490517~18830416死去84歳)
- 1847年12月17日-01:00|イタリヤ| |||ルッカ、トスカーナ大公国に併合
- 1847年12月18日-05:30|インド| |||<就任>ジャオラ国支配者(ナワブ)「モハマト・ウスマン・アリ・カーン」(~19480528)
- 1847年12月18日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「Richard More O'Ferrall卿」(~1851114)
- 1847年12月18日-01:00|モナコ/フランス| |||<就任>モナコ総督・國務院議長代行「アドリアン・マリー・テレスポア・メサン」(~26日)
- 1847年12月19日-09:00|日本| ||弘化4年11月12日|<死去>菊岡検校(56歳)音楽家
- 1847年12月20日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガルの民政知事「Antonio Jose Vieira Santa Rita」(3期目~18480606)
- 1847年12月21日 00:00|カンベア/イギリス| |||<就任>イギリス王領カンベア総督「リチャード・グレイブス・マクト」(1回目~18510811)
- 1847年12月23日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領代行「イグナシオ・ギラルテ・モレル」(~18480102)
- 1847年12月23日 04:00|ボリビア| |||<退任>ボリビア共和国大統領「バシビアン」マヌエル・イシドロ・ロペス・イ・ヒメネス少佐の反乱により政権維持を断念し国外逃亡
- 1847年12月27日-01:00|モナコ/フランス| |||<就任>モナコ暫定総督・國務院議長「アントワーヌ・アレクサンドル・ル・ベラント」(~1855年)
- 1847年12月28日-05:30|インド| |||<死去>パロタ国統治者(マハラジャ・ゲークワール)「サヤジ・ラオ2世ゲークワール」
- 1847年12月28日-05:30|インド| |||<即位>パロタ国統治者(マハラジャ・ゲークワール)「カンパット・ラオ・ゲークワール」(~18561119没)
- 1847年12月30日-09:00|日本|大阪府豊中市|弘化4年11月23日|<交替>摂津麻田藩1万石「青木重竜」隠居⇒弟「青木一興」が継ぐ(⇒嘉永2年8月10日(18490926)、死去)
- 1847年12月30日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|弘化4年11月23日|<交替>備中足守藩25000石「木下利愛」隠居⇒次男「木下利恭」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)還)
- 1847年12月31日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化4年11月24日|<大相撲>弘化4年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東小結)小柳, 8勝1敗1休
- 1848年-07:00|タイ| |||<就任>ラムフーン国主(チャオ)「チャイランカフサイン・ソファクン」(~1871年)
- 1848年-07:00|ラオス| |||<即位>シェンクアーン王「ポー」ノイの息子、シャムとベトナムの家臣として復元(~1865年)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>オルコ国ラジャ「ハミル・シン」(~1865年)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>カールガ 国統治者(ターケル)「トク・シン」(~1852年)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>ジャムカネイ国摂政「ウイニヤク・クリシュナット・ハンテ・イット」(~1852年12月)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>タロク 国統治者(ターケル・サーヒブ)「ハルシット・シン」(~4. 15)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>チャン・バカル 国統治者(ハイヤ)「ジャンジット・シン・テオ」(~1865年)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>ナカール 国ラジャ「ビジェ・シン」(~1857年没)
- 1848年-05:30|インド| |||<就任>ハデー 国統治者(テサイ・シュリ)「シヨラワルシム」(~1875年)
- 1848年-05:30|インド| |||<即位>ハト国マハラジャ「ヒラウアジユラ・シン・テオ」(~1866年8月没)
- 1848年-05:30|インド| |||アルワル国をインドが統治(~3. 18)
- 1848年-05:00|パキスタン/イギリス| |||ギルギットがジャムム・カシミールに併合される
- 1848年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン(カーブル)首相(ワズール・イ・アサム)「コラム・ヘイタル・カーン」(~1855年)
- 1848年-04:00|UAE| |||<死去>アジュマン首長「Sheikh Abdelaziz bin Rashid Al Nuaimi」
- 1848年-04:00|UAE| |||<即位>アジュマン首長「Sheikh Humaid bin Rashid2世 Al Nuaimi」(2期目~1872年死去)
- 1848年-03:00|ウガンダ| |||<死去>ブニョロキタ王「Nyabongo2世 Mugenyi」
- 1848年-03:00|ソマリア| |||<即位>ケレディ・スルタン「Ahmed Yusuf」(~1878年)
- 1848年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ブニョロキタ王「Olimi5世 Rwakabale」(~1852年死去)
- 1848年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルムタキル・ムハンマド11世」アルマンスール・アリ1世の孫(~18491211死去)
- 1848年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>ラシディ王朝アミール「Talal bin Abdullah」(~1868年)
- 1848年-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「アブドゥル・ラティフ」(~18500802)
- 1848年-02:00|ザンビア| |||<就任>ジエレンゴニ首長(インコシ・ヤ・マコシ)「チクシム・ヘゼニ1世」建国(~19000921没)
- 1848年-01:00|カメルーン| |||<死去>ボナンジヨ王国国王「ベル1世ヘベ・ベル」
- 1848年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督(北アフリカ総司令部総督)「Antonio Ros de Olano」(~1850年)
- 1848年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス＝ゲラ侯「ハインリヒ62世」(~18540619死去)
- 1848年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝アルテンブルク公「ゲオルク」(~18530803死去)
- 1848年-01:00|カメルーン| |||<即位>ボナンジヨ王国国王「ベル2世ロフ・ヘベ」(~1858年没)
- 1848年-01:00|ドイツ| |||<廃位>ザクセン＝アルテンブルク公「ヨゼフ」
- 1848年 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>アシニー(ジョイングイル砦)民間司令官「フロチャート」(~1849年)
- 1848年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュ(ビサウ配下)総督「ルサ・サビエル・ド・クラト」(2回目~1849年頃)
- 1848年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督「カエターノ・ルサ・ノゾリーニ」(3回目~1850年)
- 1848年 00:00|モロッコ| |||<就任>モロッコ大宰相「アル・ムフタル・アル・ジャマイ」(~1853年)
- 1848年 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島副知事「Jacobus Jarman, Jr.」(~1850221)

1850迄 (3058件)

- 1848年 04:00|バルバドス/グレナダ/セントビンセント/セントルシア/トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス・ウインドワード諸島総督「William MacBean George Colebrooke」(~1856年)
- 1848年 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督「George Rennie中佐」(~1855年)
- 1848年1月-05:30|インド| |||<就任>トク国支配者(ナワブ)「ハーフェス・モハマト・イスマイル・アリ・カーン」(~3.25)
- 1848年1月1日-05:30|インド| |||アスガル国、アスマリク国、カラハンティ国、カンパラ国、ガンツール国、ケオンツアル国、ソネール国、ダスハラ国、タルチャー国、ティギリア国、テンカカル国、ナガール国、ナルシンプル国、ニルギリ国、バウト国、パトナ国、バムラ国、バランバ国、パルハラ国、ヒントル国、村イ国、ライラクル国、ランブル国がインドのオリッサ州に合併
- 1848年1月1日-05:30|インド| |||ウタール国、カワル国、カンカ国、チャンバカール国、ナガオン国がインドの中部州(⇒19500126、マディヤプラデッシュ州)に合併
- 1848年1月1日-05:30|インド| |||カイカール国、コリア国、サクティ国、サンカール国、ジャシュフル国、スルグジャ国、チュイカタン国、バスター国、ライカール国が中部州に合併(19500126~20001101、マディヤプラデッシュ州⇒20001101、チャッティスガル州)
- 1848年1月1日 00:00|イギリス/ジャマイカ/ニカラガ| |||イギリス軍、サンファン・デル・ヌテに上陸。現地のニカラガ政府守備隊を追放しふたたび占領/グレイタクと改称/ミスキート王の領地とし自治権を認めさせる
- 1848年1月1日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島主任判事「George Adams」(~12.31)
- 1848年1月2日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国暫定大統領「ホセ・ミゲル・デ・ペラスコ・フランコ」(4回目~6日)
- 1848年1月3日 00:00|リベリア| |||<就任>リベリア共和国大統領「ジョセフ・ジェンクス・ロバート」(1回目~18560107)
- 1848年1月6日-09:30|オーストラリア| |||『デイ・オブ・イッチェ・ポスト』、オーストラリア最初の外国語新聞「アデレード」で創刊
- 1848年1月6日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国暫定大統領「マニエル・イストロ・ロベルス・フレス」(1回目~18日)
- 1848年1月6日-09:00|日本| |||弘化4年12月|<出版>歌川国英「諸国道中たび鏡」
- 1848年1月8日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「マニエル・ホセ・デ・ラ・ペーニャ・ペーニャ」(2回目、18480515まで代行、その後暫定~6.3)
- 1848年1月9日-09:00|日本|岩手県下閉伊郡田野畑村|弘化4年12月4日|<南部三閉伊一揆遠野強訴>南部藩遠野早瀬川原において一揆の代表弥五兵衛は、不信極まる盛岡藩南部土佐を相手とせず、遠野家老新田小十郎に、集会の要求を願書で提出/御用金の免除、大豆・塩の買い上げ免除、いままでの定役と年貢以外の新税の免除などを要求/盛岡藩は、これらの要求のほとんどを認めざるを得なかった
- 1848年1月11日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「チャールズ・ヘンリー・ダーリング」(~1852年)
- 1848年1月12日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド総督(イギリス東インド会社)「ジェームス・アンドリュー・ブルームフィールド」(~18560228)
- 1848年1月12日-01:00|イタリア| |||シリア島のバルモで、革命が起こる/両シリア国王フェルディナント2世は憲法発布を承認
- 1848年1月12日 00:00|イギリス| |||<死去>10代マリ伯「フランス・ステュアート」
- 1848年1月12日 00:00|イギリス| |||<就任>11代マリ伯「フランス・ステュアート」先代の息子(~18590506死去)
- 1848年1月17日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ホウイス伯「エドワード・ハーバート」
- 1848年1月17日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ホウイス伯「エドワード・ジェームス・ハーバート」(~18910507死去)
- 1848年1月17日-09:00|日本|東京都大田区|弘化4年12月12日|大森村の三浦屋田中藤左衛門が、火入れをした上等の乾海苔を青緑色に焼き上げた焼き海苔を始める
- 1848年1月18日-01:00|ドイツ| |||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《弦楽四重奏曲第3番イ長調Op. 41-3》
- 1848年1月18日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「ホセ・ミゲル・デ・ペラスコ・フランコ」(5回目、9.12まで暫定~12.6)
- 1848年1月19日-05:30|インド| |||タン国がインドのボンベイ(⇒19600501、グジャラート州)に併合される
- 1848年1月20日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王(オレンボーク朝)兼シュレースヴィヒ=ホルシュタイン公「クリスチャン8世」兼ザクセン=ラウエンブルク公「クリスティアン1世」61歳(誕生17860908)
- 1848年1月20日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王・シュレースヴィヒ=ホルシュタイン公「フレデリク7世」兼ザクセン=ラウエンブルク公「フリドリヒ2世」クリスチャン8世とシャルロッテ・フリーデリケ・ツェーメレンブルクの次男(~18631115死去55歳)
- 1848年1月21日-05:30|インド| |||<即位>モルガイ国マハラジャ「マハントラシツ・ラクデイルジ」(~2.15)
- 1848年1月21日-01:00|イタリア| |||バルモで革命が起こる
- 1848年1月23日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「ジョージ・ベンクレスト・マシュー」(2回目~18490303)
- 1848年1月24日 04:30|ベネチア| |||デオモカス大統領、軍の力により議会を解散させる/一連の騒動により議員4人を含む11人が殺害される
- 1848年1月24日 06:00|アメリカ| |||ジェームス・マッシュル、カリフォルニア州サクラメントの近郊サッター・クリークの製材所附近で金を発見、ゴールドラッシュを迎える
- 1848年1月27日 03:00|スリナム/オランダ| |||オランダ領ギアナ植民地がキュラソー島とその属領から分離される
- 1848年1月27日 04:00|アルバ/シント・マルテン/キュラソー/BES諸島| |||<就任>オランダ領シント・マルテン総督「Rutgers Hermanus E sser」(~12.20死去)
- 1848年1月27日 04:00|BES諸島| |||<就任>サバ島副知事「Edward Beaks, Jr.」(~1862年)
- 1848年1月27日 04:00|アルバ/シント・マルテン/キュラソー/BES諸島| |||キュラソー植民地に従属するオランダ諸島をシント・マルテンの名前で統一(⇒19480920、オランダ領アンティルに改名)
- 1848年1月29日-01:00|イタリア| |||ナポリ王フェルディナント2世が憲法を認可
- 1848年1月31日-05:30|インド| |||<就任>アンガル国ラジャ「ロクナス・シン」(~9.16)
- 1848年2月-05:30|インド| |||ブラトル国をインドが統治(~1948年3月)
- 1848年2月 00:00|セネガル| |||<就任>ファクトー統治者(アルマミ)「ママトゥ・ビラン・ワン」(5回目~5月)
- 1848年2月 04:00|トミニカ共和国| |||サンタ、経済状況の悪化により退陣を迫られエルセバの牧場に引きこもる
- 1848年2月1日-05:30|インド| |||セライクラ国、ハリサン国はインドのオリッサ州に合併(⇒19480518、ビハール州に移管)

1850迄 (3058件)

- 1848年2月1日-05:30|インド | ||マライ国がインド の中部州(⇒19500126、マデヤ・プラデーシュ州)に合併
- 1848年2月1日-01:00|バチカン | ||<就任>バチカン枢機卿國務長官「ジュゼッペ・ボフォンディ」(~3.10)
- 1848年2月1日 06:00|エルサルバドル | ||<就任>エルサルバドル共和国大統領代行「ホセ・トマス・メニェイ・メネデス」(~3日)
- 1848年2月2日-01:00|スペイン | ||<就任>スペイン領メウラ総督「Ignacio Chacon del Valle」(~1850年)
- 1848年2月2日 07:00|メキシコ/アメリカ | ||アメリカ・メキシコ戦争終結/グアタヘルベ・イタルコ条約が締結され、リウグランデ川が国境とされた/メキシコはアメリカにカフォルニア、ニューメキシコ地方を割譲
- 1848年2月2日-09:00|日本|東京都|弘化4年12月28日|幕府が、府内の銀貨の蔵匿を禁じる
- 1848年2月3日-02:00|南アフリカ/イギリス | ||<設立>オレンジ川主権国家(イギリス統治下~18540223、ケープ植民地に併合)
- 1848年2月3日 06:00|エルサルバドル | ||<就任>エルサルバドル共和国大統領代行「ホセ・フェリックス・キロス・サンチェス」(1回目~7日)
- 1848年2月5日-08:00|中国/アメリカ | ||清・道光28年|上海アメリカ租界成立
- 1848年2月5日-07:00|ベトナム | ||越南・嗣徳1年|越南・嗣徳と改元(-1883)
- 1848年2月5日-09:00|日本 | ||弘化5年1月|<出版>葛飾北斎「絵本彩色通」二冊
- 1848年2月6日-01:00|スロベニア/オーストリア | ||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライハツ州知事「レオポルト・ヴェルザー・グラーフ・フォン・ヴェルザー・ハイム」(~18491231)
- 1848年2月7日 06:00|エルサルバドル | ||<就任>エルサルバドル共和国大統領「トメオ・バスコネロス・ビデス・イラトロン・デ・ゲバラ」(1回目~18500201)
- 1848年2月8日 06:00|ニカラガア/イギリス | ||サンファンテルノル(グレイタウンに改名)は英国に押収され、モスクトに与えられる
- 1848年2月9日-05:30|インド | ||<就任>ワタガム国統治者(ターケル)「ラジ・シムジ」(~1893年没)
- 1848年2月15日-05:30|インド | ||<就任>ハンスタ国統治者(ラジャ・マハラル)「デイク・ウイレント・ラジジ・インド・ラジジ」(~19480610)
- 1848年2月15日-05:30|インド | ||アマルナガル国、ウァデーア国、ウァアラ国、ウァンカナル国、ウァイルフル国、キラスラ国、コッタ・サンガニ国、コンダール国、ザイハート国、ジエツプール国、ジャスタン国、ジャファラハート国、セラ国、チュダ国、トウランゴトウ国、トール国、バウナガル国、バジヤナ国、パティ国、ピルカ国、ホルバントナル国、マリア国、マリ国、モルウイ国、ラタール国、ラティ国、リムティ国、ワトワン国はインド のサウラシュトラ州に合併
- 1848年2月15日-05:30|インド | ||ナワナガル国、ハリナ国はインド のサウラシュトラ州(⇒19600501、グジャラート州)に合併
- 1848年2月15日-05:30|インド | ||ラジコト国はインド のサウラシュトラ州(19561101~19600501、ボンバイ⇒19600501、グジャラート州)に合併
- 1848年2月19日 06:00|アメリカ | ||アメリカで世界初のスイートコーンの缶詰が発売される/メイン州ポートランドのネイサン・ウィンストンが販売
- 1848年2月20日 05:00|キューバ/スペイン | ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「アルコイ伯爵フェデリコ・ロンカリ・イ・セルティ」(~18501111)
- 1848年2月21日-12:00|ニューゼーランド | ||マオリ族が和平案を受諾し、第1次アングロ・マオリ戦争が終結
- 1848年2月22日-01:00|フランス | ||フランス、二月革命起る/パリの抗議デモ、バリエード、市街戦開始
- 1848年2月23日-05:30|インド | ||ハンガナッル国がインド のマトラスに合併
- 1848年2月23日-05:30|インド | ||ロル国がインド の東パルンジャブ州に合併(⇒19561101、パルンジャブ州)
- 1848年2月23日-01:00|フランス | ||<就任>フランス王国第23代首相「ルイ・マティウ・モレ」オルアナスト(未組閣~24日)
- 1848年2月23日 06:00|アメリカ | ||<死去>アメリカ合衆国第6代大統領J. Q. アダムス/80歳(誕生17670711)
- 1848年2月23日 18:00|フランス | ||夜、パリの「キャブ・シーヌ街」(現在の2,9区付近)で、デモ隊と正規軍の衝突が起き、数十人の死傷者が発生
- 1848年2月24日-01:00|フランス | ||<1848年のフランス革命1848(二月革命)>パリの民衆、「市庁舎」(4区)やフランス王ルイ・フィリップ1世が住む「チュイルリー宮殿」(1区)を占拠
- 1848年2月24日-01:00|フランス | ||<就任>フランス王国第24代首相「アドルフ・ティエール」オルアナスト(未組閣~同日)
- 1848年2月24日-01:00|アルジェリア/フランス | ||<就任>フランス領アルジェリア総督「ルイ・ウジエヌ・カウアイニヤック」(~4.29)
- 1848年2月24日 00:00|イギリス | ||ロンドンでカール・マルクスとフリードリヒ・エンゲルスの書籍「共産党宣言」発行
- 1848年2月24日 11:00|フランス | ||<1848年のフランス革命1848(二月革命)>正午過ぎにルイ・フィリップ1世が退位/ルイ・フィリップ1世、ルイ・フィリップの子オマル公、フランソワ・ギゾー、パリを去りイギリスに亡命/1830年以來の「七月王政」が崩壊、第2共和制が成立
- 1848年2月24日 18:00|フランス | ||夜<就任>フランス共和国第二共和政臨時政府主席「ジャック=シャルル・デュボントール」(~5.9)
- 1848年2月25日-05:30|インド | ||サルダラド国、ジュナガド国、マハタル国がインド へ加盟
- 1848年2月25日-01:00|フランス | ||フランス産業資本家の「共和主義者」と少数の「社会主義者」による「臨時政府」により、「第二共和政」(~1852.12)が宣言される
- 1848年2月26日-05:30|インド | ||<即位>カチ国統治者(マハラジャティラージ・ミルザ・マハラオ)「マツンジ」(~6.1)
- 1848年2月27日-01:00|フランス | ||フランスで社会主義者のルイ・ブランらの主張により、パリや大都市に失業者を救済するための「国立作業場」が設置される
- 1848年2月28日-01:00|フランス | ||フランス、労働問題の研究や立法を目的とした労働委員会が設置される
- 1848年2月28日-01:00|ドイツ | ||マルクス・エンゲルスが「共産党宣言」を発表
- 1848年3月-05:30|インド | ||<就任>パルンジャブ 国摂政「フレデリック・カリー」(~18490329)
- 1848年3月-05:30|インド | ||コルハール国をインド が統治(~1949年2月)
- 1848年3月-03:00|エトリア/トルコ | ||<就任>オスマン帝国マツワ総督「オマル・アガ」
- 1848年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ | ||<就任>ダマスカス・ワリス「Halil Kamili Pasha」(~8月)
- 1848年3月-01:00|北マケドニア/トルコ | ||<就任>ウスクブ・ワリス(総督)「チェルケス・ハーフィズ・メフメト・ハシヤ」(~1850年9月)兼マナステイ

1850迄 (3058件)

ル・リス(総督) (~1850年5月)

- 1848年3月2日-02:00|エジプト/スーダン | |||<就任>ムハンマド・アリー朝エジプト総督(ワリー)「イブラヒム・パシャ」(~11.10死去)
- 1848年3月2日-02:00|エジプト | |||<即位>エジプト国王「Muhammad Ali」
- 1848年3月2日-01:00|アルジェリア/フランス | |||フランスがアルジェリアに3県を置き、同化政策を開始
- 1848年3月2日-01:00|フランス | |||フランス臨時政府が、労働時間制限と労働下請制廃止を布告
- 1848年3月3日-05:30|インド | |||ドゥジャナ国はインドの東パシヤ州に合併(19500126~19661101、パシヤ州⇒19661101、ハリヤナ州)
- 1848年3月3日-05:30|インド | |||プドゥッコッタ国はインドのマドラスに合併(⇒19690114、タミルナドゥ州)
- 1848年3月3日 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州市民知事「Bartolome Cifra」(~28日)
- 1848年3月5日-01:00|フランス | |||フランス選挙制度を定めた「政令」が出される(21歳以上の男子普通選挙で、有権者は約900万人)
- 1848年3月5日-08:00|中国 | |||清・道光28年2月|江蘇の青浦でイギリス人宣教師と水夫が衝突事件をおこす
- 1848年3月8日-05:30|インド | |||アウド国、アラルコト国、クランドワ=ジュニア部、クランドワ国、サウアンディ国、カヌール国、サンガリ国、ジャンゾラ国、ジョス国、ファルタン国、ボール国、ミラジ国、ミラジ=ジュニア国はインドのボンベイに合併(⇒19600501、マハラシュトラ州)
- 1848年3月8日-05:30|インド | |||ジャムカント国はインドのボンベイに合併(⇒19561101、マイソール州⇒19731101、カナタ州に改名)
- 1848年3月8日-05:30|インド | |||ムドナ国、ワディ国はインドのボンベイに合併
- 1848年3月8日-05:30|インド | |||ラムナガル国はインドのボンベイに合併(⇒19561101、カナタ州)
- 1848年3月8日 03:00|ブラジル | |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「マエジウ・ペレイラ・アルメイダ・トリス」(~5.31)
- 1848年3月10日-01:00|パチカン | |||<就任>パチカン枢機卿國務長官「ジヤコモ・アントネリ」(1回目~5.4)
- 1848年3月11日-01:00|チェコ | |||チェコ人がブハラで立ち上がる
- 1848年3月11日 06:00|カナタ/イギリス | |||<就任>イギリス領カナタ州共同首相「ロート・ホルトウイン(2回目/カナタ西部)」 「ルイ・イット・ラフォンテーヌ(2回目/カナタ東部)」(~18511028)
- 1848年3月11日 06:00|カナタ | |||カナタ植民地の議会選挙で、ロート・ホルトウイン(44)の改革主義者たちが圧勝
- 1848年3月11日-09:00|日本|東京都墨田区|弘化5年2月7日|<大相撲>弘化5年1月場所[江戸本所回向院](1.16~10日間)幕内優勝:(西前5)荒熊,7勝1敗1分1休
- 1848年3月12日-01:00|ドイツ/オーストリア | |||<就任>ドイツ連邦議会大統領特使(フランクフルト=アム=マイン)「フランツ=グラーフ=フォン=コロト=ヴァルゼー」(~5.14)
- 1848年3月13日-01:00|オーストリア | |||<就任>オーストリア帝国首相代行「カール=ホロウス=グラーフ=フォン=インザ=ギー」(~20日)
- 1848年3月13日-01:00|オーストリア | |||ウィーンで暴動(3月革命)(翌日メッテルニヒ英へ亡命)
- 1848年3月15日-01:00|ハンガリー | |||ハンガリーのヘシュトで、独立内閣を求めて市民と農民が反乱を起こす
- 1848年3月15日-01:00|イタリア | |||ローマに議会制が成立
- 1848年3月17日-01:00|ハンガリー | |||<就任>ハンガリー政府閣僚評議会議長(首相)「ラヨシュ=グラーフ=バツチャーニ=ネメトウイヴァーリ」(~10.8)
- 1848年3月18日-05:30|インド | |||アルワル国、カラウリ国、ドルポール国、パラトル国はインドのマツヤに合併(⇒19490515、ラジャスタン州)
- 1848年3月18日-01:00|イタリア | |||<就任>サルデーニャ王国首相「Gesare Balbo」(~7.27)
- 1848年3月18日-01:00|イタリア | |||ミラノにオーストリアの支配者に対して革命が起る(「ミラノの五日間」)
- 1848年3月19日-01:00|ドイツ | |||<就任>プロシヤ王国首相「アドルフ=ハインリヒ=フォン=アルニム=ホイツェンブルク」(~29日)
- 1848年3月19日-01:00|ドイツ | |||ベルリンの市街戦の結果、国王が降伏
- 1848年3月20日-02:00|ギリシャ | |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「ゲオルギオス=アントニア=クツウリアス」(~10.27)
- 1848年3月20日-01:00|オーストリア | |||<就任>オーストリア首相「フランツ=アントン=グラーフ=コウラト=リブシュタインスキー」(~4.18)
- 1848年3月20日-01:00|ドイツ/オーストリア | |||<即位>バイエルン国王「マクシミリアン2世」ルートヴィヒ1世の息子(~18640310)
- 1848年3月20日-01:00|ドイツ/オーストリア | |||<退位>バイエルン国王「ルートヴィヒ1世」愛人の1人ローラ=モンテスとのスキャンダルにより革命で
- 1848年3月20日-01:00|ポーランド | |||ポーランドでポーランド国民委員会による革命蜂起
- 1848年3月21日-02:00|ウクライナ/ポーランド | |||カリヤでポーランドが反乱(~11.2)
- 1848年3月21日-01:00|デンマーク | |||デンマーク国王フレデリック7世が、絶対王政の終焉を宣言
- 1848年3月21日-08:00|中国/イギリス | |||<就任>第3代香港総督「サー=サミュエル=ジョージ=ボナム」(~18540413)
- 1848年3月22日-01:00|デンマーク | |||<就任>デンマーク王国首相「モルケ=ティル=ブレーゲンツ=グエト=伯爵アダム=ヴァイルヘルム」(~18520127)
- 1848年3月22日-01:00|イタリア | |||ヴェネツィア共和国が独立を宣言
- 1848年3月23日-01:00|クロアチア | |||<就任>クロアチア=ハン=首席=総督=司令官「ヨゼフ=グラーフ=イェラチッチ」(~18590519)
- 1848年3月23日-01:00|モナコ | |||<就任>モナコ摂政「シャル=オル=グマリヤルディ(管理者=将軍)」(~18560620)
- 1848年3月23日-01:00|オーストリア/イタリア | |||イタリア、サルデーニャ国王カロー=アルベルトがオーストリアに宣戦布告
- 1848年3月23日-01:00|イタリア | |||タニエ=レ=マンのヴェネツ革命により、ヴェネツ共和国(サン=マルコ共和国)樹立
- 1848年3月25日-05:30|インド | |||キジャンガル国、クジャルガル国、コタ国、シャブラ国、ジャラワール国、タンガール=ポール国、トク国、パルタガール国、パンスワラ国、ブンディ国はインドのラジャスタン州に合併
- 1848年3月25日-01:00|ガボン/フランス | |||<就任>ガボン=ギニア湾入植地司令官「アドルフ=アレクサンダー=スルトー」(~同年)
- 1848年3月25日-01:00|イタリア | |||サルデーニャ国王カロー=アルベルトが4万5千の国軍を率いてロンバルディアに攻め込む/モナ

公フランチェスコ4世は国外に逃げる

- 1848年3月25日-09:00|日本|東京都|弘化5年2月21日|江戸、寺子屋師匠等、弟子を連れて花見に行く際、道化た格好で通行することが禁じられる
- 1848年3月25日-09:00|日本|栃木県大田原市|弘化5年2月21日|<交替>下野黒羽藩2万石「大関増儀」隠居⇒次男の「大関増昭」(~安政3年2月25日(18560331)、死去)
- 1848年3月26日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国首相「ゲリット・グラーフ・シュメルヘーニク」(~5. 17)
- 1848年3月26日-01:00|スペイン| |||マドリッドでナルバエス独裁に反対する蜂起
- 1848年3月26日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|弘化5年2月22日|<交替>出羽本荘藩2万石「六郷政恒」隠居⇒次男「六郷政殷」が継ぐ(⇒文久元(1861)年3月14日、死去)
- 1848年3月27日-02:00|ルーマニア/モルダヴィア| |||モルダヴィアの首都ヤシで革命委員会が結成
- 1848年3月27日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事代理「Claude Rostoland」(2期目~6. 3)
- 1848年3月28日 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリブ諸島州知事「Juan Saez de Arroyal」(~18491228)
- 1848年3月29日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「ルトルフ・カンフ・ハウゼン」(~6. 25)
- 1848年3月30日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「カール・ルートヴィヒ・グラーフ・フィッケルモン」(4. 18まで代行~5. 4)
- 1848年4月1日-05:30|インド| |||<即位>シンド国統治者マハラジャ「ラーズ・ビール・シン」(~7. 15)
- 1848年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・コッジ」 「マリノ・マルベリ」
- 1848年4月1日-09:00|日本| ||嘉永1年2月28日|「嘉永」に改元
- 1848年4月2日-01:00|フランス| |||ペルナル・フーコとアルマン・フィゾーが最初の銀板写真「ダゲレタイプ」に成功
- 1848年4月3日-01:00|モザンビーク| |||マントガビエモンテ・サルデーニャによって占領された
- 1848年4月4日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<死去>マリアナ諸島知事「Gregorio Santa Maria」
- 1848年4月4日-05:30|インド| |||アジヤガル国、アリプラ国、ルカ国、カウリル国、ガウリル国、コティ国、シヤリ国、ソハル国、ダティア国、チャルプル国、ナゴト国、パンナ国、ビジャワール国、ベリ国、マイル国、ルガシ国、レウ国はインドのウディヤ・プラーデシュ州(⇒19561101、マディヤ・プラーデシュ州)に合併
- 1848年4月4日-05:30|インド| |||カニヤタナ国はインドのウディヤ・プラーデシュ州に合併(⇒19500126、マディヤ・プラーデシュ州) ⇒19561101、マディヤ・プラーデシュ州)
- 1848年4月4日-05:30|インド| |||カムタラジャウラ国、サムタル国、サリ国、ジグニ国、タラオン国、チャルリ国、トウルワイ国、トリ・ファテプル国、ナイガワン=ハイ国、パール国、パイヤウタ国、パルナ国、パルテオ国、パンカハハリ国、ビシナ国、ビハト国はウディヤ・プラーデシュ州に合併(⇒19500126、ウタル・プラーデシュ州に移管)
- 1848年4月4日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロウラー」(第6回)
- 1848年4月5日-05:30|インド| |||<就任>サタ国最高統治者(ラジャ・チャトラパティ)「ウエンガジ・ホワ・サーヒブ」(~18490501)
- 1848年4月5日-05:30|インド/イギリス| |||サタ国は英領インドに併合(ボンベイの一部として)
- 1848年4月7日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事代理「Felix Calvo y Noriega」(~9. 8)
- 1848年4月7日-05:30|インド| |||ハタティア国はインドの東パシヤ・プラーデシュ州に合併
- 1848年4月7日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ヘンリ・ミン・チリー・キャンベル・ハイン」(~18491124)
- 1848年4月7日 00:00|ガンビア/カナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「ヘンリ・ミン・チリー・キャンベル・ハイン」(~18491124)
- 1848年4月8日-01:00|イタリア| |||<死去>イタリアの作曲家ドニゼッティ/50歳(誕生17971129)
- 1848年4月9日-01:00|デンマーク| |||デンマークとシュレースヴィヒ-ホルシュタインとの3年戦争が開始
- 1848年4月9日-09:00|日本|静岡県静岡市|嘉永1年3月6日|<死去>松平信友(52歳)前駿河小島藩主
- 1848年4月12日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン公爵領管理者「ヨハン・ミヒエル・マンツィンガー」(~18610403)
- 1848年4月12日-01:00|ドイツ| |||<分離>ドイツ連邦:ルシタイン公国⇒シュレースヴィヒ公国
- 1848年4月14日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリツァ州知事「Aleksander Konstanty Batowski」(~11. 2)
- 1848年4月15日-05:30|インド| |||クタル国、ケナル国、クマルサイ国、クオタル国、サンクリ国、ジュバル国、シルム国、スケト国、ダコティ国、ダミ国、クロック国、チャンバ国、バガット国、バガール国、バシヤル国、バシ国、バルサン国、ベジヤ国、マフロク国、マンガル国はインドのヒマチャル・プラーデシュ州に合併
- 1848年4月16日 05:00|ハイチ| |||スルークの指示により、ポルト・フランス市民の大虐殺
- 1848年4月18日-05:30|インド| |||ウダール国はインドのラジャスタン州に合併
- 1848年4月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ヨハネス・ヘルマナス・グロウラー」(第7回~21日)
- 1848年4月20日-09:00|日本|千葉県富津市|嘉永1年3月17日|<死去>上総飯野藩2万石「保科正丞」(48歳)⇒三男「保科正益」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1848年4月24日-01:00|フランス| |||(23日~)フランス「憲法制定国民議会」の「普通選挙(四月普通選挙)」が行われ、880人の議員が選出/ル・ブランが落選するなど社会主義者は敗北/ブルジョワ共和派が勝利し、「共和政府」の保守化が始まる
- 1848年4月24日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|嘉永1年3月21日|<交替>備中庭瀬藩2万石「板倉勝貞」隠居⇒養子「板倉勝成」が継ぐ(⇒同年6月25日、28歳で死去)
- 1848年4月25日-01:00|オーストリア| |||オーストリアで欽定憲法が公布される
- 1848年4月25日 00:00|アイルランド| |||グラハムが9番目の小惑星メイス発見
- 1848年4月27日-01:00|フランス| |||仏、第二共和制の下で植民地における奴隷制廃止
- 1848年4月29日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「イブラヒム・サリム・ハシヤ」(~8. 12)
- 1848年4月29日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「ニコラ・アンヌ・テオドール・シャンガルニエ」(~9. 9)

1850迄 (3058件)

- 1848年4月29日-01:00|バチカン/イタリア| |||イタリア革命に加担していた教皇ピウス9世が回勅を発して戦線離脱を宣言/教皇軍、解放運動から離脱
- 1848年5月 06:00|アメリカ| |||アソシエイト・プレス(AP)が誕生
- 1848年5月1日-05:30|インド| |||マデアイ国はインドのヒマチャル・プラデーシュ州に合併
- 1848年5月1日-01:00|セルビア| |||カロヴィッツでセルビア人議会が開催、セルビア人宣言を採択
- 1848年5月1日 00:00|セザール/フランス| |||<就任>フランス領セザール総督代行「アントン・アドルフ・ジヨゼフ・ベルタン・デュ」(2度目~1. 23)
- 1848年5月2日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||プロイセンが、シュレスウィヒ・ホルシュタインをめぐってデンマークに侵攻
- 1848年5月4日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相代行「フランツ・ヨーゼフ・フォン・ヘーネストルフ」(~7. 9)
- 1848年5月4日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿國務長官「ルイジ・ファッキ」⇒「アントニオ・フランチェスコ・オリオリ」(~8. 6)
- 1848年5月5日-05:45|ネーデル| |||<就任>ネーデル王国首相代行「クリシュナ・バハドール・ラナ」(~18560801)
- 1848年5月6日-01:00|オーストリア/イタリア| |||サン・マルチアの会戦/サルディニア軍がヴェローナからオーストリア軍を駆逐しようと戦いを挑む
- 1848年5月8日-09:00|日本|愛媛県今治市|嘉永1年4月6日|今治城大手門完成
- 1848年5月9日-01:00|フランス| |||<就任>フランス共和国第二共和政臨時政府行政権委員会議長「フランソワ・アラゴ」(~6. 24)
- 1848年5月11日-01:00|オーストリア| |||オーストリアがクラクフの反乱を鎮圧
- 1848年5月11日-01:00|オーストリア/ポーランド| |||オーストリア、クラクフ共和国のポーランド編入を承認する。ポーランドの国境線が確定
- 1848年5月14日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<就任>ドイツ連邦議会大統領特使(フランクフルト・アム・メイン)「アントン・フォン・シュマーリング」(~7. 12)
- 1848年5月15日-01:00|フランス| |||パリで「ポーランド支援デモ」を行った「共和派」民衆クラブや「リュクサンブール派」の労働者たちが暴徒化/民衆が「議会」に乱入して「臨時政府」樹立を宣言/政府は、国民衛兵を使って鎮圧し、アルベール、ブランキ、バルベスらのリーダーを逮捕
- 1848年5月17日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国首相「ダーク・トナー・クルティウス」(~18490604)
- 1848年5月18日-05:30|インド/イギリス| |||シ軍とイギリス東インド会社軍が再び衝突し第2次シ戦争おこる
- 1848年5月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ連邦制憲議会議長(フランクフルト・アム・メイン)「フリードリヒ・ラング」(~19日)
- 1848年5月18日-01:00|ドイツ| |||フランクフルトでドイツ憲法制定にむけ国民会議を開催
- 1848年5月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ連邦制憲議会議長(フランクフルト・アム・メイン)「ハインリッヒ・ヴィルヘルム・アウグスト・フライル・フォン・ゲルン」(~7. 12)
- 1848年5月20日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督代行「ウィリアム・ウォーカー」(1回目~18490212)
- 1848年5月20日 04:00|キューバ/オランダ| |||キューバはオランダ領アンティルに従属(~20101010)
- 1848年5月26日-09:00|日本|東京都|嘉永1年4月24日|江戸で日食が観測される
- 1848年5月27日-09:00|日本|茨城県古河市|嘉永1年4月25日|<交替>下総古河藩8万石「土井利位」隠居⇒養子「土井利亨」が継ぐ(⇒同年8月24日、死去)
- 1848年5月28日-05:30|インド| |||アリアージュール国、インダール国、カティワラ国、キルチール国、クルワイ国、ケワリエル国、シマウ国、シャイナ国、ジャハラ国、ジャブア国、ジョット国、ダール国、デウス国、ナルシガル国、バソタ国、バルニ国、ヒンドラ国、マソール国、ラジガル国、ララム国がインドのマディヤ・プラデーシュに合併(⇒19561101、マディヤ・プラデーシュ州)
- 1848年5月29日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ウイコンシン準州(以前の北西部領土より)⇒アメリカ合衆国ウイコンシン州(30番目)
- 1848年5月30日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||グアダルハラ・イタルコ 講和条約が発効
- 1848年5月31日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議議長「アレクサンダー・ルートヴィヒ・ファンク」Rad(2期目~11. 20)
- 1848年5月31日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「フランシスコ・デ・ホーラス・ザ・エ・メロ」(2回目~8. 18)
- 1848年6月 00:00|イギリス| |||イギリスが第二次北極探検隊を派遣
- 1848年6月 04:00|BES諸島| |||<就任>ホーネル副知事「Jan Schotborgh Claaszoon」(~18540401)
- 1848年6月1日-05:30|インド| |||カッチ国はインドのカッチ州として統合(⇒19500126、カッチ州)
- 1848年6月1日-01:00|ドイツ| |||ケルンでマルクス・エンゲルスが編集する新ライン新聞が創刊
- 1848年6月1日-09:00|日本|沖縄県|嘉永1年5月|<即位>琉球王「尚泰」尚育王の第二子(最後の琉球王)
- 1848年6月1日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|嘉永1年5月|<交替>大和高取藩25000石「植村家教」隠居⇒弟「植村家貴」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年2月23日、死去)
- 1848年6月2日-01:00|チェコ| |||プラハでスラブ諸民族によるスラブ人会議が開催
- 1848年6月3日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Francois Auguste Perrinon」(~11月)
- 1848年6月3日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「ホセ・ホアキン・アントニオ・フロレンシオ・デ・エレラ・イ・リカルトス」(2回目~18510115)
- 1848年6月3日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永1年5月3日|<解任>老中「青山忠良」
- 1848年6月4日-09:00|日本|東京都江東区|嘉永1年5月4日|江戸深川三十三間堂通矢「五十五間堂千射」、吉田元吉(14歳)が787本(総矢数1000中)を記録
- 1848年6月5日 04:00|グアドルプ/フランス| |||<就任>グアドルプ知事「Alexandre Gatine」(~10. 12)
- 1848年6月6日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラト・ロイス民政知事「Antonio Jose Vieira Santa Rita」(~18490908)
- 1848年6月6日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル民政知事「Nicolau Anastacio de Bettencourt」(1期目~18490908)
- 1848年6月10日-05:30|インド| |||アンパリアラ国、イタル国、ウアラスタ国、ウイジャナガル国、カンパイ国、サチン国、サンジエリ国、サント国、

1850迄 (3058件)

- ジャバル国、ジャンゴダ国、シロヒ国、スガナ国、タト国、ダランポール国、チョウウアイポール国、バダルク国、バランノール国、ハランポル国、ハリア国、ハンスタ国、マルポール国、マンサ国、モハンポール国、ラジビプラ国、ラタンポール国、ラサン国、ルハダ国、ワオ国、ワタガム国はインドによりボンベイに併合される(⇒1960年、グジャラト州)
- 1848年6月10日-09:00|日本|福島県白河市|嘉永1年5月10日|<交替>陸奥白川藩10万石「阿部正備」隠居⇒養子「阿部正定」が継ぐ(⇒同年8月25日、病死)
- 1848年6月11日-05:30|インド| ||<就任>アウトル国統治者(ハンツ・フレイニティ)「シュリニガアスラオ・ハラシラム・アナ・サヒブ」(~19010926没)
- 1848年6月11日-01:00|ハンガリー| ||フカストで市民蜂起が始まる
- 1848年6月12日 07:00|メキシコ/アメリカ| ||米軍、メキシコシティから撤退
- 1848年6月14日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「ミトホ・リット・材フィット2世(臨時政府議長)」(1回目~28日)
- 1848年6月16日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン大公「ルートヴィヒ2世」
- 1848年6月16日-01:00|ドイツ| ||<即位>ヘッセン大公「ルートヴィヒ3世」ルートヴィヒ2世の息子(~18770613死去)
- 1848年6月17日-01:00|オーストリア/チェコ| ||オーストリア軍がブダペストの反乱を鎮圧
- 1848年6月17日 00:00|ポルトガル| ||<就任>フンチアル地区暫定民政知事「Servulo Drumond de Meneses」(~18490724)
- 1848年6月22日-01:00|フランス| ||パリで、国立作業場の閉鎖に反対して労働者が蜂起し、軍隊と市街戦になる
- 1848年6月25日-01:00|オーストリア| ||<就任>オーストリア摂政「ヨハン・エルツベルグ・フォン・オステルライヒ」(~12. 2)
- 1848年6月25日-01:00|ドイツ| ||<就任>プロシヤ王国首相「ルトルフ・フォン・アウエルスヴァルト」(~9. 21)
- 1848年6月26日-01:00|フランス| ||(24日~)フランス「議会」から全権力を委任された共和派の将軍(国防相)ルイ・ウジェーヌ・カフエニャックの指揮下、パリに「戒厳令」を布き正規軍の軍事作戦によって「反乱」が鎮圧される/軍隊に追われた労働者が逃げ込んだのがモンマルトルの地下採石場/労働者は約4,000人の死者を出した上、逮捕者約1万5千人、そのうちの約500人は植民地のアルジェリアに流刑となり、「社会主義者」が後退
- 1848年6月26日 01:00|カホベルデ/ポルトガル| ||<就任>カホベルデ総督「ジョアン・フォンテス・ペレイラ・メロ」(2回目~18510823)
- 1848年6月27日-05:30|インド| ||シヤープラ国がアジメルおよび英領インドから分離
- 1848年6月27日-09:00|日本|兵庫県姫路市|嘉永1年5月27日|<死去>酒井忠実(70歳)前播磨姫路藩主
- 1848年6月28日-01:00|フランス| ||<就任>フランス国政府主席「ルイ・ウジェーヌ・カフエニャック」(~12. 20)
- 1848年6月29日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「ミトホ・リット・材フィット2世(暫定政府大統領)」(2回目~7. 28)
- 1848年7月-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ガリシア州知事代理「Agenor Romuald Onufry Graf Goluchowski z Goluchowa」(~8. 8)
- 1848年7月-02:00|ルーマニア/ロシア/トルコ| ||ロシア軍とオスマン帝国軍がモルダヴィアに侵攻(~1851年4月)
- 1848年7月 00:00|セネガル| ||<就任>フタト・ロ統治者統治者(アルマミ)「シハウエヒ・リー」(1回目~10月)
- 1848年7月1日-05:30|インド| ||ジヤムニア、ニムケラ、パタリ国、ムハンマドガル国、ラジガル国がマデヤ・ハラト(建国後)に合併(⇒19561101、マデヤ・ハラト=シ州)
- 1848年7月1日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|嘉永1年6月|オランダ医師から伝来した牛痘漿(天然痘ワクチン)の試種に、楢林宗建が成功
- 1848年7月2日 04:00|英領ヴァージン諸島| ||デンマーク領ヴァージン諸島で奴隷の反乱
- 1848年7月4日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの小説家・政治家フランソワ・ルネ・ド・シャトブリアン(1768-、79歳)「アタリ・ルネ」などの作品
- 1848年7月5日-09:00|日本|京都府京都市|嘉永1年6月5日|京都大雨洪水、鴨川・宇治川氾濫、醍醐で山崩れ、笠取で土砂災害
- 1848年7月6日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督「ジョージ・Rennie」(~18551104)
- 1848年7月8日-05:30|インド| ||<即位>コチン国統治者(マハラジャ・ガングダラ・コウイラティ・カリカ)「ラマヴァルマ18世」(~19490701)
- 1848年7月8日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| ||<就任>セントクリストファー総督代理「Frederik von Oxholm」(~11. 27)
- 1848年7月8日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Hans Hendrik Berg」(1期目~12. 1)
- 1848年7月8日-09:00|日本|沖縄県|嘉永1年6月8日|<即位>琉球国王「尚泰」(⇒明治5(1872)年9月14日琉球藩王~1879年廃藩)
- 1848年7月8日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永1年6月8日|<死去>徳川齊匡(70歳)前田安徳川家当主
- 1848年7月9日-01:00|オーストリア| ||<就任>オーストリア首相代行「アントン・フライヘル・フォン・ブルムフェルト」(~18日)
- 1848年7月9日-01:00|ルクセンブルグ| ||ルクセンブルグで自由主義的憲法が認可
- 1848年7月10日 06:00|アメリカ/コロンビア| ||ヒトラーヌ・マリーノ条約にもとづき、米国との平和、友好、航海、通商条約改定
- 1848年7月10日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永1年6月10日|<死去>徳川家祥(家定)正室任子
- 1848年7月12日-05:30|インド| ||<就任>ハンガリー国統治者(ナポ)「フサイン・アリ・カーン」(2回目~1848年)
- 1848年7月12日-01:00|ドイツ| ||<就任>ドイツ帝国暫定中央当局「ヨハン・エルツベルグ・フォン・オステルライヒ(帝国牧師)」(~18491220)
- 1848年7月12日-01:00|フランス/メキシコ| ||フランスがメキシコに宣戦布告
- 1848年7月12日 00:00|イギリス| ||<就任>ドイツ連邦元首「ヨハン・フォン・エスターライヒ大公」(~18491220)
- 1848年7月13日-09:00|日本|岩手県盛岡市|嘉永1年6月13日|<交替>陸奥盛岡藩20万石「南部利済」隠居⇒長男「南部利義」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年9月26日、隠居)
- 1848年7月13日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|嘉永1年6月13日|<死去>因幡鳥取藩32万石「池田慶行」(17歳)⇒養子「池田慶栄」が継ぐ(⇒嘉永3年5月23日(18500702)、死去)

1850迄 (3058件)

- 1848年7月15日-05:30|インド | |||カプラー国、カシア国、ジント国、ナハ国、ナカール国、パティアラ国、ファリットコト国、マラルコト国がインドのパティアラおよび東部パンジヤブ州連合(⇒19561101、パンジヤブ州)に合併
- 1848年7月18日-01:00|オーストリア | |||<就任>オーストリア首相「ヨハン・フィリップ・フライヘル・フォン・グエーゼンベルク=アンブリンゲン」(~11.21)
- 1848年7月20日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル | |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Jose Caetano Rene Vimont Pessoa」(~18490630死去)
- 1848年7月23日 00:00|イギリス/アイルランド | |||ウィリアム・スミス・オブ・ライエン率いる若いアイルランド人の反乱(~29日)
- 1848年7月25日-01:00|オーストリア/イタリア | |||ビエモンテ軍がクストザでオーストリア軍に敗退/カルロ・アルベルト王はいったんミラノへ撤退するが守りきれずとみて更に退却を続ける
- 1848年7月25日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|嘉永1年6月25日|<死去>備中庭瀬藩2万石「板倉勝成」(28歳)⇒10月8日、養子「板倉勝全」が継ぐ(⇒安政5(1858)年2月19日、隠居)
- 1848年7月27日-01:00|イタリア | |||<就任>サルデーニャ王国首相「Gabrio Casati」(~8.15)
- 1848年7月29日 00:00|アイルランド | |||アイルランドで青年アイルランド党が武装蜂起するが失敗
- 1848年7月30日-09:00|日本 | |||嘉永1年7月|<出版>一立斎広重「艸筆画譜」
- 1848年7月31日-09:00|日本|茨城県古河市|嘉永1年7月2日|<死去>土井利位(60歳)前下総古河藩主、元寺社奉行・大坂城代・京都所司代・老中首座
- 1848年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Halil Kamil Pasha」(~9月)
- 1848年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>オスマン・ワリス「Osman Nuri Pasha」(~1849.9)
- 1848年8月 04:00|トミニカ共和国 | |||マニエル・ヒメス軍事相担当大臣を次期大統領に選出
- 1848年8月1日-08:00|マレーシア/イギリス | |||<設立>イギリス植民地ラファン
- 1848年8月1日-01:00|ルクセンブルグ | |||<就任>ルクセンブルグ行政長官会議議長「カスパー・ルネオット・ルイグ・ナスト・ラ・フォンテーヌ」(~12.2)
- 1848年8月2日-09:30|オーストラリア/イギリス | |||<就任>南オーストラリア植民地総督「ヘンリー・ヤング」(~18541220)
- 1848年8月3日-01:00|カボーン/フランス | |||<就任>カボーン・ギニア湾入植地司令官「ウージェーヌ・ジャン・アンティオネ・デ・パール」(~同年)
- 1848年8月4日 04:00|トミニカ共和国 | |||<就任>トミニカ共和国大統領「国務長官評議会:フェリックス・メルセリオ・モンターニョ/トミニョ・デ・ラ・ロジャ・アングロ・セルマリア・カミロ・フェレル/マニエル・セルヒメス・ゴンザレス」(~9.8)
- 1848年8月5日-01:00|ドイツ | |||<就任>ドイツ帝国閣僚評議会議長「カール・フリードリヒ・ヴィルヘルム・エミヒ・ライニンゲン」(9.5から暫定~9.16)
- 1848年8月6日-01:00|パチン | |||<就任>パチン枢機卿国務長官「ジョアンニ・ソリア・チェロニ」(~11.29)
- 1848年8月6日-01:00|オーストリア/イタリア | |||オーストリア軍がビエモンテ軍を撃破し、ミラノを再び占領
- 1848年8月7日-01:00|スウェーデン | |||<死去>スウェーデンの化学者イェンス・ベリツェリウス(17790820~)元素や化合物をラテン語の頭文字をつかって表すことを考案
- 1848年8月7日-09:00|日本|愛媛県西条市|嘉永1年7月9日|<死去>松平頼啓(65歳)前伊予西条藩主
- 1848年8月8日-02:00|ウクライナ/ロシア | |||<就任>カザン州知事「Wenzeslaw Ritter von Zaleski」(~18490131死去)
- 1848年8月8日-09:00|日本|高知県高知市|嘉永1年7月10日|<死去>土佐藩20万2600石「山内豊熙」(34歳)⇒9月6日、養子「山内豊惇」が継ぐ(~9月18日、25歳で死去)
- 1848年8月9日-01:00|オーストリア/イタリア | |||サラスコの休戦条約が結ばれる
- 1848年8月9日 06:00|アメリカ | |||ホイッグ党左派、民主党ニューヨーク支部の奴隷制反対派(ハーンバーナー派)、地方の奴隷制反対の民主党員(自由土地民主党)が自由土地党を結成
- 1848年8月12日-09:30|オーストラリア/イギリス | |||<就任>西オーストラリア植民地総督「チャールズ・フィッツジェラルド」(~18550722)
- 1848年8月12日-02:00|トルコ | |||<就任>オスマン帝国大宰相「コカムスタファ・レシト・パシャ」(2期目~18520126)
- 1848年8月12日 00:00|イギリス | |||<死去>スティーブンソン/67歳(誕生17810609)蒸気機関車を実用化したイギリスの発明家
- 1848年8月13日-01:00|オーストリア/ハンガリー | |||ハンガリー軍がウイラゴシュの戦いでオーストリア軍に敗北
- 1848年8月14日 06:00|アメリカ | |||<発足>アメリカ、コロラド準州設立
- 1848年8月15日-01:00|イタリア | |||<就任>サルデーニャ王国首相「Gesare Alfieri di Sostegno」(~10.11)
- 1848年8月16日 06:00|グアテマラ | |||<辞任>グアテマラ共和国大統領「ラファエル・カレラ」民衆蜂起とロス・アルトスの脱退の動きに直面
- 1848年8月16日 06:00|グアテマラ | |||<就任>グアテマラ共和国暫定大統領「ファン・アントニオ・マルティネス・マルティネス」(~11.28)
- 1848年8月17日-01:00|アンゴラ/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「アドリアン・カシオタ・シルヴェイラ・ピント」(~18510826)
- 1848年8月17日 06:00|アメリカ | |||<就役>アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「セント・ローレンス」(1726t,ゴスポート造船所で建造)
- 1848年8月18日-09:00|韓国/朝鮮 | |||<就任>朝鮮国領議政「鄭元容」(~18501107)
- 1848年8月18日 03:00|ブラジル | |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「ソザ・フランコ子爵ペルナルト・デ・ソザ・フランコ」(~9.29)
- 1848年8月20日-09:00|日本|東京都|嘉永1年7月22日|<死去>溪斎英泉(59歳)浮世絵師
- 1848年8月21日 00:00|リベリア/イギリス | |||リベリア共和国が英国によって承認された(18490801に批准)
- 1848年8月22日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル | |||<就任>ティモール知事「アントニオ・オラホ・モンテイロ・トレス」(~18510324)
- 1848年8月23日-01:00|ドイツ | |||ベルリンで第1回ドイツ労働者会議が開催
- 1848年8月26日-01:00|デンマーク/ドイツ | |||プロイセンとデンマークが、シュレスウィヒ・ホルシュタイン問題でマルメー条約を結び、戦争が終結
- 1848年8月27日-01:00|ドイツ | |||<就任>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「カール・アントン」(~18850602死去)
- 1848年8月30日 06:00|コスタリカ | |||セルマリア・カストロ大統領、国旗・国歌を制定するとともに、国名を「コスタリカ自由独立共

1850迄 (3058件)

和国」と宣言

- 1848年8月31日-05:30|インド| |||<就任>シヤアラハート国・ジャンゾラ国支配者(ナワブ)「イブラヒム・カン3世」(~18790128没)
- 1848年8月31日-01:00|オーストリア| |||ウィーンでヨハン・シュトラウス1世の行進曲「ラテツキ行進曲」初演
- 1848年8月31日 00:00|イギリス| |||ロンドンの「デイリー・ニュース」に天気予報が掲載
- 1848年9月-03:00|サウジアラビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ヒジャース 総督「メフメド・ハジフ・パシャ」(~1850年5月)
- 1848年9月-02:00|ルーマニア/ロシア/トルコ| |||ロシア軍とオスマン帝国軍がワラキアに侵攻(~1851年4月)
- 1848年9月1日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イブラヒム・パシャ」(~11.10没)
- 1848年9月5日-03:30|イラン| |||<死去>カジャール朝シャー「モハンマド・カジャール」38歳(誕生1810年)
- 1848年9月8日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Pablo Perez」(~18550516)
- 1848年9月8日-01:00|ベナン| |||<死去>アジヤチエ・イェのフォン王国国王「メイ」
- 1848年9月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=ホンブルク方伯「グスタフ」
- 1848年9月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=ホンブルク方伯「フェルディナント」(~18660324死去, 家系が断絶し本家のヘッセン大公国領に回収されたが、その直後にプロシヤ王国が自領に併合)
- 1848年9月8日-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤチエ・イェのフォン王国国王「リジ」(~18640203没)
- 1848年9月8日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国大統領「マヌエル・ホセ・ヒメネス・ゴンザレス」(~18490529)
- 1848年9月8日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「ウィリアム・MacBean ショー・C olebrooke」(~1856.1)
- 1848年9月9日-09:30|オーストラリア| |||西オーストラリアのオーガスタス・チャールズ・グレゴリー、新牧草地を求めて探検に出発/マチソン川に到達/鉛を発見
- 1848年9月9日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「シャロン男爵ウイアラ」(~18501022)
- 1848年9月9日-01:00|オーストリア| |||オーストリアで農民解放令が発布
- 1848年9月12日-01:00|スイス| |||スイスの連邦国家が誕生、新連邦憲法を制定
- 1848年9月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「ラペス 工侯爵Juan Gonzalez de la Pezuela y Ceballos」(~18510423)
- 1848年9月12日-09:00|日本|東京都|嘉永1年8月15日|幕府が、府下の商家が銭貸を貯蔵して利益を得ることを禁じる
- 1848年9月13日-03:30|イラン| |||<即位>カジャール朝シャー「ナセル・アッディーン・カジャール」(~18960501没)
- 1848年9月13日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「コンスタンティン・イェルダチエ・カンタダノ」(~18490616)
- 1848年9月14日-09:00|日本|岡山県岡山市|嘉永1年8月17日|<死去>板倉勝資(60歳)前備中庭瀬藩主
- 1848年9月16日-05:30|インド/イギリス| |||アングロ国は英領インドに併合
- 1848年9月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ帝国暫定閣僚評議会議長「アントン・リッター・フォン・シュマーリング」(~12.17)
- 1848年9月16日-01:00|ハンガリー| |||ハンガリー国防委員会が成立
- 1848年9月16日-01:00|ドイツ| |||フランクフルト国民議会議長マルメの和約を逆転承認
- 1848年9月17日-05:30|インド| |||ハイデラバード国をインドが軍事占領(~1949年12月)
- 1848年9月18日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||フランクフルト市民が市街戦を展開するが、オーストリア・プロシヤ軍に粉砕される
- 1848年9月18日-09:00|日本|奈良県大和郡山田市|嘉永1年8月21日|<死去>大和国郡山藩15万1200石「柳沢保興」(34歳)⇒三男「柳沢保申」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1848年9月19日-01:00|フランス| |||フランス議会で「アルジェリア農業植民地設立法」が成立/パリの「生活困窮者」の排除という治安策/「陸軍省」がその実施にあたり、「移民」の募集を始める
- 1848年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ラスダウ伯「ヘンリー・スタンリー・マンク」廃絶
- 1848年9月20日 06:00|アメリカ| |||アメリカ科学振興協会、ペンシルバニア州に創設(科学雑誌「サイエンス」の出版元)
- 1848年9月20日-09:00|日本|大阪府松原市|嘉永1年8月23日|<交替>河内丹南藩1万石「高木正明」隠居⇒養子「高木正坦」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1848年9月21日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「エルスト・フォン・フエル」(~11.1)
- 1848年9月21日-01:00|ドイツ| |||バーデンで2回目の共和主義者が蜂起
- 1848年9月21日-09:00|日本|茨城県古河市|嘉永1年8月24日|<死去>下総古河藩8万石「土井利亨」(37歳)⇒11月8日、養子「土井利則」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年4月5日、隠居)
- 1848年9月22日-09:00|日本|福島県白河市|嘉永1年8月25日|<死去>陸奥白川藩10万石「阿部正定」病死⇒養子「阿部正耆」が継ぐ(⇒元治元(1864)年3月2日、死去)
- 1848年9月25日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン代行「ジェルジ・マイラート・セケリ」(2回目~18490414)
- 1848年9月29日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「オリヴァー子爵ペドロ・デ・アラウジョ・リマ」(1回目~10.6)
- 1848年10月-01:00|ドイツ| |||<解任>ロイス=シュライツ侯「Heinrich62世」
- 1848年10月-01:00|クロアチア/オーストリア| |||<就任>オーストリアの文民軍事総督「フランツ・ルートヴィヒ・フライヘル・フォン・ヴェルデン」(~11月)
- 1848年10月1日-01:00|ドイツ| |||<解任>ロイス=ローベンスシュタイン=エーベルスドルフ侯「Heinrich72世」ロイス=シュライツ侯へ
- 1848年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・ベネデット・ベルツァイ」「ピエトロ・リギ」
- 1848年10月1日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|嘉永1年9月5日|<死去>下野烏山藩3万石「大久保忠保」(58歳)⇒三男「大久保忠美」が継ぐ(⇒元治元(1864)年8月20日、死去)
- 1848年10月2日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア最初の夕刊紙、『デイリー・ニュース・アンド・イヴニング・クロニクル』創刊
- 1848年10月3日-09:00|日本|長野県下高井郡山ノ内町|嘉永1年9月7日|松代藩沓野村(志賀高原附近)で、佐久間象山の山林開発事業に反対して百数十人の農民が強訴

1850迄 (3058件)

- 1848年10月6日-01:00|オーストリア| ||ウイーン十月革命が勃発/暴徒と化した民衆が陸軍省に押し掛け、ラウフル伯爵(68)を殺害
- 1848年10月6日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「イホライ子爵ホキン・ホ・ド・リゲストロス」(1回目~18491008)
- 1848年10月6日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|嘉永1年9月10日|<交替>播磨三日月藩15000石「森長国」隠居⇒次男「森俊滋」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1848年10月7日 00:00|イギリス| ||<死去>カール伯「ジョージ・ハワード」
- 1848年10月7日 00:00|イギリス| ||<就任>カール伯「ジョージ・ウィリアム・フレデリック・ハワード」6代伯の長男(~18641205死去)
- 1848年10月7日-09:00|日本| ||嘉永1年9月11日|<死去>八重崎検校(73歳)音楽家
- 1848年10月8日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国国防委員会委員長「ラホス・コシュト・ウァルデア・イ・エス・コスファルバイ」(~18490414)
- 1848年10月10日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|嘉永1年9月14日|<交替>肥前鹿島藩25000石「鍋島直賢」隠居⇒養子「鍋島直彬」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月25日、版籍奉還)
- 1848年10月11日-01:00|イタリア| ||<就任>サルデーニャ王国首相「Ettore Perrone di San Martino」(~12.16)
- 1848年10月12日-05:30|インド| ||ビラプール国はインドのビラプール州となる
- 1848年10月12日 04:00|グアドループ/フランス| ||<就任>グアドループ知事「Jacques Amedee Philippe Fieron」(1期目~18490414)
- 1848年10月13日-04:00|リュニオン/フランス| ||<就任>リュニオン知事「Joseph Napoleon Sarda Garriga」(~18500307)
- 1848年10月14日-09:00|日本|高知県高知市|嘉永1年9月18日|<死去>土佐藩20万2600石「山内豊惇」(25歳)⇒12月27日、従弟の「山内豊信(容堂)」が継ぐ(~安政6(1859)年2月26日、隠居)
- 1848年10月15日-05:30|インド| ||<就任>タンタ国統治者(マハラ)「プーリタイジ・シムジ・ハ・ウ・ア・ニシムジ」(~19481106)
- 1848年10月18日-02:00|ルーマニア/オーストリア| ||<就任>トランシルヴァニアのオーストリア軍司令官「アントン・フライヘル・フォン・フナー」(~18490311)
- 1848年10月20日-03:30|イラン| ||<就任>ペルシャ大宰相「ミルザ・タギ・カーン・ファラハニ」(~18511113)
- 1848年10月25日-01:00|イタリア| ||<初演>ジュゼッペ・フォルツェニー・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「海賊」》
- 1848年10月27日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「コンスタンティノス・ミハイル・カリス」(2回目~18491224)
- 1848年10月28日-01:00|スペイン| ||スペイン最初の鉄道が、バルセロナマド間に開設される
- 1848年10月30日-01:00|オーストリア/ハンガリー| ||ウイーン革命救援のハンガリー軍がシエウエヒャトで敗北
- 1848年10月31日-01:00|オーストリア| ||反革命軍がウイーンを占領
- 1848年11月1日-01:00|ドイツ| ||<就任>イゼンブルク＝ビューディンゲン侯「エルスト・カジミール2世」(~18610216死去)
- 1848年11月1日-09:00|日本|和歌山県新宮市|嘉永1年10月6日|<死去>水野忠啓(54歳)前紀伊新宮藩主、紀州藩家老
- 1848年11月2日-01:00|ドイツ| ||<就任>プロシヤ王国首相「フリートリヒ・ヴィルヘルム・フォン・ブランデンブルク」(~18501106)
- 1848年11月2日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|嘉永1年10月7日|<交替>下総多古藩12000石「松平勝権」隠居⇒長男「松平勝行」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年12月19日、2000石減封され1万石)
- 1848年11月4日 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「Armand Joseph Bruat」(~1851.6)
- 1848年11月6日-05:30|インド| ||タンタ国はインドのボンバイに合併
- 1848年11月7日 03:00|ブラジル| ||ブラジルのペルナンブコで反中央集権派が反乱
- 1848年11月7日 06:00|アメリカ| ||アメリカ大統領選挙でザカリー・テイラー将軍を選出
- 1848年11月9日-05:30|インド| ||マルバニ国をインドが統治(~19490101)
- 1848年11月10日-02:00|エジプト/トルコ| ||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「イブラヒム・パシヤ」
- 1848年11月10日-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ムハンマド・アリ・パシヤ」(2度目~18490802)
- 1848年11月12日-01:00|スイス| ||スイス連邦制度を採択
- 1848年11月12日-01:00|フランス| ||フランス「第二共和国憲法1848」公布/人民主権、一院制、男子普通選挙、任期4年の大統領制/アルジェリアの3地方をフランス本土並みの「県」として、知事を置くこととし、各県は植民者によって選出する代議士を「国民議会」に出すことになる/植民地奴隷制度を正式に廃止
- 1848年11月12日-09:00|日本|滋賀県大津市|嘉永1年10月17日|<死去>本多康禎(62歳)前近江膳所藩主
- 1848年11月13日-04:00|ロシア| ||<就任>全ロシア国務院議長・閣僚委員会委員長「アレクサンドル・イワノビッチ・フェルニシェフ王子」(~18560417)
- 1848年11月13日-09:00|日本|大阪府大阪市|嘉永1年10月18日|<就任>大坂城代「内藤紀伊守信親」(~嘉永3.9.1)
- 1848年11月13日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永1年10月18日|<就任>老中「久世廣周」(~安政5年10月27日)
- 1848年11月13日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永1年10月18日|<就任>老中「松平忠優」(~安政2年8月4日)
- 1848年11月14日-02:00|ルーマニア| ||<就任>トランシルヴァニア総督「イル・グロ・ニコ・ヒドゥーギ」(政府首脳)(1回目~12.22)
- 1848年11月15日-01:00|ドイツ| ||プロシヤで新内閣不信任案を表明した制憲議会を軍隊が閉鎖
- 1848年11月17日 03:00|ブラジル| ||ペルナンブコのカヨーラ農場でフライエロと国家防衛隊(GN)が武力衝突
- 1848年11月17日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|嘉永1年10月22日|<死去>山城淀藩102000石「稲葉正誼」(22歳)⇒11月24日、養子「稲葉正邦」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1848年11月20日-05:30|インド/パキスタン| ||ボンチ国はインドとパキスタンに分断
- 1848年11月20日-01:00|スイス| ||<就任>スイス連邦大統領「ジョナス・フラー」Rad(1期目~18491231)
- 1848年11月20日-01:00|スイス| ||スイス連邦憲法発効(9.12、採択)
- 1848年11月21日-01:00|ジブラルタル/イギリス| ||<就任>ギリシャ領ジブラルタル知事「Sir Robert William Gardiner」(~18

1850迄 (3058件)

550726)

- 1848年11月21日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「フェリックス・フュルスト・ツー・シュヴァルツェンベルク」(~18520405)
- 1848年11月21日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国首相(大臣会議議長)「ジェイク・デ・ケンペナル」リベラル派(~18491101)
- 1848年11月21日 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス| |||<就任>タークス・カイコス諸島評議会議長「Frederick Henry Alexander Forth」(~1854年)
- 1848年11月23日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「オーギュスト・ローラン・フランソワ・ボータン」(2回目~1850年8月)
- 1848年11月26日-09:00|日本| ||嘉永1年11月|<出版>葛飾戴斗「花鳥画伝」
- 1848年11月27日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Peder Hansen」(~18510624)
- 1848年11月28日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ共和国暫定大統領「ホセ・ペルナルド・エスコバル」(~18490103没)
- 1848年11月29日-01:00|パチカン| |||<就任>パチカン枢機卿國務長官「ジヤコモ・アントネリ」(2回目~18761106)
- 1848年11月30日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「ホリウト(殉教者)」》
- 1848年12月-09:30|オーストリア| |||フランス・カンカム、エドワード・ホークハリー、『ヒーポルス・アドヴァイト』を創刊
- 1848年12月-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「エティエンヌ・シャル・デ・ジャネル」(~1849年)
- 1848年12月-01:00|クアチア| |||<就任>タマリア王国総督・司令官「ヨゼフ・グラーフ・イェラッハ」(~18590520)
- 1848年12月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Frederik von Oxholm」(2回目~18521007)
- 1848年12月1日-09:00|日本|東京都|嘉永1年11月6日|<死去>曲亭馬琴(滝沢馬琴)(82歳、明和4(1767)0609生)作家/南総里見八犬伝の著者
- 1848年12月2日-01:00|ルクセンブルク| |||<就任>ルクセンブルク行政長官会議議長「ジャン・ジヤック・マドレーヌ・ウィルマー」(~18530922)
- 1848年12月2日-01:00|オーストリア/チェコ/ハンガリー/クアチア/イタリア/フランス| |||<即位>オーストリア皇帝・クアチア王「フランツ・ヨーゼフ1世」兼ホヘンツォレルン王「フランティシク・ヨゼフ1世」兼ハンガリー王国(ハプスブルグ=ロタリングア朝)国王「フェルツ・ヨーゼフ1世」兼アルトワ伯「Franz Joseph」フェルディナント1世の弟フランツ・カール大公の息子(~19161121死去86歳)兼ロンバルド=ヴェネチア王「フランチェスコ・ジュゼッペ1世」(~18661012)
- 1848年12月2日-01:00|オーストリア/チェコ/ハンガリー/クアチア/イタリア| |||<廃位>オーストリア皇帝・ホヘンツォレルン王「フェルディナント1世」
- 1848年12月2日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|嘉永1年11月7日|<死去>片桐貞信(47歳)前大和小泉藩主
- 1848年12月3日-08:00|台湾| |||台湾、彰化地震(M7.0)死者約2021人
- 1848年12月5日-01:00|ドイツ| |||プロシヤ国民議会在解散し、欽定憲法が発布される
- 1848年12月5日-09:00|日本|広島県安芸郡海田町|嘉永1年11月10日|安芸郡海田市より出火、同郡奥海田村へ類焼、焼死者3人、怪我人1人、焼失町家118軒(竈数189軒)、焼失土蔵17か所
- 1848年12月6日 04:00|ポルビア| |||<就任>ポルビア共和国大統領「マヌエル・イシドロ・ベルス・フメス」(2回目、18500815まで暫定~18550815)
- 1848年12月6日-09:00|日本| ||嘉永1年11月11日|<死去>海野幸典(55歳)国学者、歌人
- 1848年12月11日-01:00|フランス| |||(10日~)フランス「大統領選挙」が行われ、亡命先のイギリスから帰国したルイ・フィリップ1世(ルイ・フィリップ1世の弟ルイの子、のちのルイ・フィリップ3世)が、74%の得票で「フランス共和国」初代大統領に就任(~1852年)/大統領選挙で有力視されていたマルティヌとカウエンヤックを破る
- 1848年12月12日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル総督「サー・ロバート・ガードナー」(~18550726)
- 1848年12月13日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||オーストリアがハンガリー侵略
- 1848年12月16日-01:00|イタリア| |||<就任>サルデーニャ王国首相「Vincenzo Gioberti」(~18490221)
- 1848年12月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ帝国閣僚評議会議長「ハインリヒ・ヴィルヘルム・アウグスト・フライヘル・フォン・ゲーケルン」(18490321から暫定~18490516)
- 1848年12月17日-09:00|日本|岡山県真庭市|嘉永1年11月22日|<交替>美作勝山藩23000石「三浦義次」隠居⇒養子「三浦朗次」が継ぐ(⇒安政7(1860)年2月21日、27歳で死去)
- 1848年12月18日-09:00|日本| ||嘉永1年11月23日|<死去>細木瑞枝(69歳)土佐新居村の村役人、歌人
- 1848年12月19日 00:00|イギリス| |||<死去>エミリー・ブロンテ/30歳(誕生18180730)「嵐が丘」のイギリスの女流作家
- 1848年12月20日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「フランス第二共和政大統領シャルル・ルイ・ナポレオン・ボナパルト」(~1852年)
- 1848年12月20日-01:00|フランス| |||<就任>フランス共和国第二共和政初代大統領「ルイ・ナポレオン・ボナパルト」(~18521202、帝政に移行)
- 1848年12月20日-01:00|フランス| |||<就任>フランス共和国第二共和政第27代首相「オレオン・パロ」オルリアニスト(~18491031)
- 1848年12月20日 04:00|アルバ/シント・マルテン/キュラソー/BES諸島| |||<死去>オランダ領アンティル総督「Rutgers Hermanus Esser」
- 1848年12月20日 04:00|アルバ/シント・マルテン/キュラソー/BES諸島| |||<就任>オランダ領アンティル総督代理「Jonkheer Isaac Johannes Rammelman Elsevier, Jr.」(⇒18490514総督~18540428)
- 1848年12月30日 00:00|イギリス| |||<死去>5代オックスフォード伯=モートマー伯「エドワード・ハーレー」
- 1848年12月30日 00:00|イギリス| |||<就任>6代オックスフォード伯=モートマー伯「アルフレッド・ハーレー」(~18530119死去断絶)
- 1849年-08:00|マレーシア| |||<就任>ナニグ統治者(オランダ・ジャバ・セリ・ラジャ・マレー)「ダト・アイダス・ヒン・ガム」(~1870年)
- 1849年-07:00|タイ| |||<即位>ラーマン王国ラジャ「Tuan Nik Ulu/Tuan Kundur」(~1867年)
- 1849年-05:30|インド| |||<死去>カラウリ国マハラジャ「フラタッパ・ハル」

1850迄 (3058件)

- 1849年-05:30|インド| |||<就任>アジヤカール国ラジャ「マヒパット・シン」(~18530622没)
- 1849年-05:30|インド| |||<就任>サンバルプール国ラジャ「ムキヤン・テウ・イ・ラニ」(~12.31)
- 1849年-05:30|インド| |||<就任>ハンダ国支配者(ナワブ)「アリ・バ・ハート・ウル2世」(~1858年11月)
- 1849年-05:30|インド| |||<就任>ハンナ国ラジャ「ニルパット・シン」(~1869年)
- 1849年-05:30|インド| |||<就任>マフロク国統治者(タークル)「ダリフ・チャント」(~1880年没)
- 1849年-05:30|インド| |||<就任>ルハダ国統治者(ラジャ・マハラ)「タルパット・シン」(~1851年没)
- 1849年-05:30|インド| |||<即位>カラウリ国マハラジャ「ナルン・ハル」(~18520710没)
- 1849年-05:30|インド/イギリス| |||シハ国はイギリス領インドに併合(ハンジャブ州の一部、19480415からはヒマチャル・プラーデシュ州)/ジャイトプル国イギリス領インド(北西部州の一部)に併合
- 1849年-05:00|パキスタン| |||<就任>スワット「世俗的」国家アミール・シャリアト「サイト・アクバル・シャー」建国(~18570501没)
- 1849年-04:30|アフガニスタン| |||カムをアフガニスタンに併合
- 1849年-04:00|UAE| |||<就任>イギリスのシャルジャ在住土着代理人「Muhammad bin Mulla」(~1850年)
- 1849年-03:30|イラン| |||ペルシャ軍がカレ王朝の首都バンゴールを占領
- 1849年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッカリフ「キブ・メフト・アガ」(~同年)⇒「アジズ・アガ」(~1850年)
- 1849年-03:00|ハレーン| |||<即位>ハレーンキム「Shaikh Muhammad bin Khalifah Al Khalifa」(~1868年)
- 1849年-02:00|モザンビーク| |||<就任>カランガ統治者(マンボ)「カルサ」(~1868年)
- 1849年-02:00|モザンビーク| |||<即位>アンゴシェ・スルタン国スルタン「ハサニ・ウスフ」(~1861年)
- 1849年 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>グランバッサム(ヌール砦)民間司令官「ジャン・ジュール・シャルル・ブーレー」(~1850年)
- 1849年 00:00|トゴ| |||<就任>ケニガハ統治者(フィオ)「エウエ・タンク・アガ・ノン1世」(~1852年1月)
- 1849年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>シェンジ首長「トマス・スティーブン・カーカー」(~18710815)
- 1849年 00:00|フェロ諸島/デンマーク| |||<就任>フェロ諸島知事(トスハウ)「Carl Emil Dahlerup」(~1862年)
- 1849年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領代行「マエル・マリア・テアス」(1回目)⇒大統領「トマス・デ・エレラ」(4回目)
- 1849年1月-09:30|オーストラリア| |||メルボルンの西北約160キロに位置する、グレンモア牧場で、チャップマン少年により1,000グラム以上の金が発見
- 1849年1月-05:30|インド/イギリス| |||ハガット国はイギリス領インドの一部(~1861年)
- 1849年1月 00:00|セネガル| |||<就任>ファクトロ統治者統治者(アルマミ)「ママト・ウ・ビラン・ワン」(6回目~1850年9月)
- 1849年1月1日-05:30|インド| |||ムルハニ国はインドのオリッサ州に合併
- 1849年1月1日-01:00|スイス| |||スイスで郵便制度が統一される
- 1849年1月1日 06:00|ニカラグア| |||<就任>ニカラグア独立共和国最高取締役代行「ベルナルド・トリビオ・テレン・フラド」(~3.8)
- 1849年1月1日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ビトケアン諸島主任判事「Simon Young」(~12.31)
- 1849年1月3日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ共和国暫定大統領「セ・マリアノ・デ・ハス・バルデス」(~18511106)
- 1849年1月4日-09:00|日本|長野県飯田市|嘉永1年12月10日|<死去>堀親しげ(63歳)前信濃飯田藩主、元寺社奉行・若年寄・側用人・老中
- 1849年1月5日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「ヒヤンテ・マリー・ト・ラント・ト・カラ」(~18500614)
- 1849年1月5日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||オーストリアがブダ[オフェン]とペスト占領
- 1849年1月7日-01:00|フランス| |||サンサンスの「ハナネラ」が初演
- 1849年1月10日 00:00|イギリス| |||<死去>タルボット伯「チャールズ・フェットウインド・フェットウインド」=タルボット
- 1849年1月10日 00:00|イギリス| |||<就任>タルボット伯「ヘンリー・ジョン・フェットウインド」=タルボット先代の子(~18680604死去)
- 1849年1月12日-09:00|日本|東京都墨田区|嘉永1年12月18日|<大相撲>嘉永1年11月場所[江戸本所回向院](11.23~10日間)幕内優勝:(東小結)小柳,7勝1敗1分1休
- 1849年1月23日 06:00|アメリカ| |||世界初の女医「エリザベス・ブラックウェル」が医学博士号を取得
- 1849年1月24日-09:00|日本| ||嘉永2年1月|<出版>「北斎漫画」十三・十四の二編
- 1849年1月24日-08:00|中国| ||清・道光29年1月|イギリス人の広東入城に対する抵抗運動がおこる
- 1849年1月25日 01:00|アズレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントデルガダ民政知事「Pedro da Costa de Sousa de Mac edo」(~7.4)
- 1849年1月27日-01:00|イタリア| |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥーニ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「レニヤノの戦い」》
- 1849年1月29日-01:00|フランス| |||ルイ・フィリップが、軍事力で憲法制定議会を解散
- 1849年1月31日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールドコースト副総督「ジェームズ・コールマン・フィッツハトリック」(1回目~18500113)
- 1849年2月1日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリシア国チーフ「Agenor Romuald Onufry Graf Goluchowski z Goluchowa」(~18501009)
- 1849年2月1日 00:00|イギリス| |||<死去>5代バッキンガムシャー伯「ジョージ・ロバート・ホバート・ハムデン」
- 1849年2月1日 00:00|イギリス| |||<就任>6代バッキンガムシャー伯「オーガスタス・エドワード・ホバート・ハムデン」(~18851029死去)
- 1849年2月9日-01:00|イタリア| |||ジュゼッペ・マッツィーニがローマ共和国の成立を宣言
- 1849年2月12日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ギアナ総督「ヘンリー・ハークリー」(~18530511)
- 1849年2月12日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永2年1月20日|幕府紅葉山文庫を修復
- 1849年2月17日-05:30|インド| |||<就任>ジャヤサルミル国統治者(マハラル)「ギルダール・シン」(~3.30)
- 1849年2月18日-01:00|イタリア| |||フィレンツェに共和国が樹立される/逃亡したトスカナ大公は罷免される
- 1849年2月20日-05:30|インド| |||サルダール国、ジュナガド国、マハダール国はインドのサターシュトラ州に併合
- 1849年2月21日-01:00|イタリア| |||<就任>サルデーニャ王国首相「Agostino Chiodo」(~3.27)
- 1849年2月23日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国七月王政第23(24)代閣僚評議会議長「ルイ・マティウ・モレ」オルアナリスト(~24日)

1850迄 (3058件)

- 1849年2月23日-09:00|日本|山口県萩市|嘉永2年2月|長州藩校「明輪館」萩・江向に移転新築
- 1849年2月26日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|嘉永2年2月4日|宇和島藩領松溪村で大火、79軒を焼く
- 1849年3月 03:00|ブラジル| ||フレイロの組織した2千の都市貧民、2月革命の影響を受け、大地主支配に反対する共和革命の旗をかかげ、武装してレフィ市内に突入、市街戦のすえ壊滅
- 1849年3月 05:00|ハイチ| ||スルウク、第一回目のドミカ侵攻、サント・ミンゴまで達せずに失敗
- 1849年3月2日-09:00|日本|兵庫県姫路市|嘉永2年2月8日|<交替>播磨林田藩1万石「建部政醇」隠居⇒長男「建部政和」が継ぐ(⇒文久3(1863)年2月2日、31歳で死去)
- 1849年3月3日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>バハマ植民地総督「ジョン・ケレオリ」(~18530729没)
- 1849年3月3日 06:00|アメリカ| ||<発足>アメリカ、ミネソタ準州設立
- 1849年3月3日 06:00|アメリカ| ||ホーク大統領、内務省創立法案に署名
- 1849年3月4日-01:00|オーストリア| ||オーストリアで保守的欽定憲法が発布される
- 1849年3月5日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ合衆国第12代大統領「ザカリー・テラー」ホイッグ党(~18500709)
- 1849年3月6日-09:00|日本|福島県伊達市|嘉永2年2月12日|<死去>陸奥下手渡藩1万石「立花種温」(39歳)⇒従弟「立花種恭」が継ぐ(明治元(1868)年9月、藩庁を三池に移転)
- 1849年3月7日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ジェイクブ・デ・クレルク」(1回目~8日)
- 1849年3月8日-02:00|ウクライナ/オーストリア| ||オーストリア王領をブコヴィナ公国として分離
- 1849年3月8日 06:00|ニカラガ| ||<就任>ニカラガ独立共和国最高取締役代行「ジョセフ・ベニート・ロリス・イ・サントバル」(~4.1)
- 1849年3月9日-01:00|ドイツ| ||<初演>カール・オットー・エレンフリート・ニコライ《歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」》
- 1849年3月9日-09:00|日本| ||嘉永2年2月15日|幕府奥医師・表医師に、外科・眼科以外は蘭学を用いることを禁じる
- 1849年3月11日-08:00|中国| ||<創建>香港セント・ジョンズ教会
- 1849年3月11日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| ||<就任>ハンガリー軍トランシルヴァニア司令官「ヨゼフ・ザカリアシュ・ベム」(~7.21)
- 1849年3月12日-09:00|日本| ||嘉永2年2月18日|<死去>井上正鉄(60歳)禊教の開祖
- 1849年3月17日-01:00|オランダ/ルクセンブルグ| ||<死去>ネーデルラント王国国王「ウィレム2世(ギヨーム2世)」兼ルクセンブルク大公「ギヨーム2世」56歳
- 1849年3月17日-01:00|オランダ/ルクセンブルグ| ||<即位>ネーデルラント王国国王「ウィレム3世」兼ルクセンブルク大公「ギヨーム3世」ウィレム2世の長男(~18901123死去73歳)
- 1849年3月17日-09:00|日本|学習院|嘉永2年2月23日|京都学習所を学習院と改称
- 1849年3月19日 03:00|ブラジル| ||エスピリト・サント州サンホセ・ド・ス・ケイマドスで奴隷の反乱、首謀者5人が処刑される
- 1849年3月20日-05:30|インド| ||<就任>バングラデシュ国統治者(ナワブ)「グラム・モハメド・アリ・カン2世」(~18681007没)
- 1849年3月23日-01:00|イタリア| ||<退位>サルデーニャ国王「カルロ・アルベルト」
- 1849年3月23日-01:00|オーストリア/イタリア| ||オーストリア軍がノヴァーラに猛攻撃をかける/カルロ・アルベルトの王国軍は壊滅
- 1849年3月24日-01:00|イタリア| ||<即位>サルデーニャ国王「ヴィットリオ・エマヌエーレ2世」カルロ・アルベルトの子
- 1849年3月26日-05:30|インド/イギリス| ||シカ軍がイギリス軍に降伏し、第2次シカ戦争が終結
- 1849年3月27日-01:00|イタリア| ||<就任>サルデーニャ王国首相「Claudio Gabriele de Launay」(~5.7)
- 1849年3月27日-01:00|ドイツ| ||フランクフルト国民会議が、ドイツ国憲法の制定と、帝国選挙法を議決
- 1849年3月28日-01:00|ルウェー| ||ルウェーの無産主義者トラーネによって北欧初の労働組合が設立
- 1849年3月28日-01:00|ドイツ| ||フランクフルト国民議会が、プロイセン王フリードリヒ・ヴィルヘルム4世をドイツ皇帝に選出
- 1849年3月30日-05:30|インド| ||ジャイサルミル国、ジャイプール国、ジョードプル国、ヒカネル国、ラ国はインドのラジャスタン州に合併
- 1849年3月30日 00:00|イギリス/インド| ||第2次シカ戦争で勝利したイギリスが、パンジャーブ地方を併合する/シカ王国は消滅
- 1849年3月30日-09:00|日本|京都府京丹後市|嘉永2年3月7日|<交替>丹後峰山藩11100石「京極高景」隠居⇒長男「京極高富」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年5月28日、隠居)
- 1849年4月-05:30|インド| ||<就任>ファリドコト国ラジャ「ワシム・シン」(~18740422没)
- 1849年4月 04:00|ドミカ共和国/ハイチ| ||ハイチ、スルウク、第一回目のドミカ侵攻/サンタは、兵を率いLasCarrerasでハイチ軍を迎え撃ち、これを撃退
- 1849年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「トメニコ・マリア・ベルグツピ」|「ピエール・マッテオ・ベルティ」
- 1849年4月1日 00:00|イギリス/インド| ||サントウル国はインドのマドラス州に合併
- 1849年4月1日 05:00|コロンビア| ||<就任>新グラナダ大統領「ホセ・ヒラリオ・ロペス」自由党(~18530401)
- 1849年4月1日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガ| ||<就任>ヌエバ・グラナダ共和国大統領「ホセ・イラリオ・ロペス・バルデス」(~18530401)
- 1849年4月1日 06:00|ニカラガ| ||<就任>ニカラガ独立共和国最高取締役「ルベルト・ミリス・アラズ」(~18510401)
- 1849年4月2日 00:00|イギリス/インド| ||ムガル帝国とのシカ戦争に勝利したイギリスがカシミールを併合
- 1849年4月3日-05:30|インド| ||<就任>トリプラー国ラジャ「イシャチャント・ラマニヤ」(~18620731没)
- 1849年4月4日-01:00|クワチア| ||フィウマはリカとしてクワチアに併合された(18611108確認)
- 1849年4月4日 03:00|ブラジル| ||ペルナンブコ州Agua Pretaでフレイロ454人が投降
- 1849年4月6日-08:00|中国| ||清の道光29年3月14日|上海にフランス租界が設立される
- 1849年4月8日-05:30|インド/イギリス| ||パンジャーブ国がイギリス領インドに編入される
- 1849年4月8日-09:00|日本|岡山県岡山市|嘉永2年3月16日|<死去>板倉勝貞(49歳)前備中庭瀬藩主
- 1849年4月10日 06:00|アメリカ| ||アメリカでウォルター・ハントが安全ピンの特許を取得

1850迄 (3058件)

- 1849年4月11日-01:00|イタリヤ| ||ルッカ、反革命暴動
- 1849年4月14日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国執政官「ラヨシュ・コシュト・ウト・ヴァルト・エス・コストファルバイ」(~8.11)臨時革命政府が樹立される/ハンガリー議会がオーストリアからの独立を宣言
- 1849年4月14日-01:00|ドイツ| ||ドイツ諸国がドイツ帝国憲法を承認
- 1849年4月14日 04:00|グアドループ/フランス| ||<就任>グアドループ 暫定知事「Jean Jacques Louis Fabvre」(~12.12)
- 1849年4月19日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|嘉永2年3月27日|<死去>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川齊彊」(30歳)⇒閏4月2日、養子「徳川慶福」が継ぐ(⇒安政5(1858)年6月20日、将軍「家定」の世子となり辞任)
- 1849年4月20日-02:00|ブルガリア| ||ブルガリアでヴイェン反乱
- 1849年4月22日-09:00|日本|東京都墨田区|嘉永2年3月30日|<大相撲>嘉永2年2月場所[江戸本所回向院](3.2~10日間)幕内優勝:(西前8)階ヶ嶽,7勝1敗2休
- 1849年4月24日-01:00|イタリヤ/フランス| ||フランス政府が「ローマ共和国」が「イタリア」に海軍を上陸させローマの共和政府に降伏を呼びかけた
- 1849年4月29日-09:00|日本|愛知県名古屋市|嘉永2年4月7日|<死去>尾張藩61万9500石「徳川慶臧」天然痘のため(14歳)⇒6月4日、養子「徳川慶勝」が継ぐ(⇒安政5(1858)年7月5日、隠居)
- 1849年4月30日-01:00|イタリヤ/フランス| ||イタリヤ義勇兵が「リパブリカ」軍はフランス軍を打ち破り、ナポリ軍をも撃破
- 1849年5月-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国「ヴイェン」(総督)「メザルザート・メフメト・シヤエティン・パシャ」(~1850年9月)
- 1849年5月1日-05:30|インド| ||サターラ藩王国は廃絶
- 1849年5月2日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国閣僚評議会議長(首相)「ヘルラン・セメル・セムレイ」デブレツェンで反乱(~8.11)
- 1849年5月3日-01:00|ドイツ| ||ドイツ帝国憲法を擁護する「レステンの蜂起
- 1849年5月5日-04:00|モリシャス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「トマス・フランチャート」(~21日)
- 1849年5月7日-01:00|イタリヤ| ||<就任>サルデーニャ王国首相「Massimo D'Azeglio」(~1852.11.04)
- 1849年5月7日-01:00|オーストリア/イタリヤ| ||オーストリア軍が、ローマ共和国に侵攻
- 1849年5月8日 03:00|大西洋| ||世界最初の国際的ヨットレースが大西洋上で開催
- 1849年5月10日-09:00|日本|東京都台東区|嘉永2年4月18日|<死去>葛飾北斎(90歳、宝暦10(1760)0923生)浮世絵師/ヨーロッパの印象画壇にも影響を与えた
- 1849年5月13日-01:00|フランス| ||フランス「立法議会」選挙/750議席中、右派の「秩序派(秩序党)」が450議席で圧勝/左派連合体「山岳派」は210議席、「穏健共和派」は約70議席
- 1849年5月15日-01:00|イタリヤ| ||ナポリ軍が、シチリア島のパレルモを占領
- 1849年5月16日-01:00|ドイツ| ||<就任>ドイツ帝国暫定閣僚評議会議長「マクシミリアン・カール・フリードリヒ・ヴィルヘルム・グラーヴェル」(~6.3)
- 1849年5月16日-01:00|オーストリア/イタリヤ| ||オーストリア軍が「ローマ」を陥落させる
- 1849年5月16日-09:00|日本|静岡県掛川市|嘉永2年4月24日|<死去>3代尾上菊五郎、掛川宿芝居興行中に病死(66歳、天明4(1784)年生)歌舞伎役者
- 1849年5月17日-01:00|イタリヤ| ||<即位>「サルマ公」カロ3世(~1854.03.27死去31歳)
- 1849年5月21日-04:00|モリシャス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「ヘンリー・ルイス・スウィーティング」(~6.8)
- 1849年5月23日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスタート 議長「アントン・ヴァルヘルム・ヤコブ・スプレトウス」(~25日)
- 1849年5月23日 00:00|イギリス| ||<死去>4代メイトー伯「ジョン・ボーク」
- 1849年5月23日 00:00|イギリス| ||<就任>5代メイトー伯「ロバート・ボーク」(~1867.08.12死去)
- 1849年5月25日-01:00|オーストリア/イタリヤ| ||オーストリア軍がフィレンツェに侵攻
- 1849年5月26日-01:00|ドイツ| ||<就任>エルフト連合大統領「プロシア王フリードリヒ・ヴィルヘルム4世」(~1851.11.29)
- 1849年5月26日-01:00|ドイツ| ||プロシヤ、ザクセン、ハノーファーの三王同盟エルフト連合が成立
- 1849年5月27日-01:00|イタリヤ| ||「ジュゼッペ・ガリバルディ」の共和国軍がナポリに侵入
- 1849年5月27日 00:00|イギリス| ||<死去>9代セント・オールバンス公「ウィリアム・オーブリー・ド・ヴィアー・ボークレーク」
- 1849年5月27日 00:00|イギリス| ||<就任>10代セント・オールバンス公「ウィリアム・アメリウス・オーブリー・ド・ヴィアー・ボークレーク」(~1898.05.10死去)
- 1849年5月27日-09:00|日本|岡山県高梁市|嘉永2年閏4月6日|<交替>備中松山藩5万石「板倉勝職」隠居⇒婿養子「板倉勝静」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年1月29日、隠居)
- 1849年5月29日-09:00|日本/イギリス| ||嘉永2年閏4月8日|イギリス軍艦「リナー」号、浦賀、下田に来航し測量を行う/伊豆代官・江川英龍、退去を命じる
- 1849年5月30日 04:00|ドミニカ共和国| ||<就任>ドミニカ共和国大統領(共和国最高責任者)「ペドロ・サンタ・ファミリアス」(2回目~9.23)
- 1849年6月-03:00|イタリヤ/トルコ| ||<就任>「パガタット」のワリス「ムル・アブドゥル・カリム「アフディ」パシャ」(~1850年12月)
- 1849年6月3日-01:00|ドイツ| ||<就任>ドイツ帝国閣僚評議会議長「アウグスト・ルトヴィヒ・フリッツ・フォン・ゼイン・ウイトゲンシュタイン・ヘルブルク」(~12.20)
- 1849年6月3日-01:00|イタリヤ/フランス| ||フランス軍の砲撃により形勢は逆転しローマは開城し市街戦になる
- 1849年6月4日-01:00|オランダ| ||<就任>オランダ王国首相「ジヤコフ・マテウス・デ・ケンペナル」(~11.1)
- 1849年6月5日-01:00|デンマーク| ||デンマークで憲法が制定

1850迄 (3058件)

- 1849年6月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ帝国暫定中央当局「ドイツ帝国摂政(シュトゥットガルト、反乱中):ヘーター・フランツ・ヨーゼフ・ラウナー(ハーテン)(大統領)/アウグスト・クリストフ・カール・フォークト(ヘッセン・ダルムシュタット)/アウグスト・ハインリッヒ・サイモン(プロイセン)/フリードリヒ・シュレー(バイエルン州)/アウグスト・ハインリッヒ・ベックハヤ(ヴュルテンベルク)」(~18日)
- 1849年6月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>フランクフルト国民議会議がシュトゥットガルトに移る(残骸議会)
- 1849年6月7日-09:00|日本/イギリス| 静岡県下田市| 嘉永2年閏4月17日| イギリス軍艦マリナー号、下田から退去
- 1849年6月8日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官「ジョージ・ウィリアム・アンダーソン卿」(~18510108)
- 1849年6月15日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ合衆国第11代大統領「ジェームズ・ノックス・ポーク」53歳
- 1849年6月16日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「バルブ・デ・イミトリ・ビベスク=シュティルバ」(1回目~18531017)
- 1849年6月16日-01:00|フランス| |||<六月事件>フランス左派共和派「山岳派」はローマへの軍派遣に抗議しパリケド戦までエスカレートするが鎮圧され、指導者が亡命するなど、「山岳派」の議員団は崩壊、「秩序派」が議会の主導権を握る(共和主義者なき共和国)
- 1849年6月17日-01:00|ハンガリー/ロシア| |||オーストリアを代表してロシアが侵略を始める
- 1849年6月18日-01:00|ドイツ| |||ドイツ連邦軍がハーテンなどの憲法擁護蜂起を鎮圧、「残骸議会」を武力で解散させる
- 1849年6月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第17代首相「アントニオ・ペルナルト・ダ・コスタ・カブラル」(~18510426)
- 1849年6月20日-05:30|インド| |||<就任>ジャムナ・カミール国摂政「カラン・シン」(~19521117)
- 1849年6月20日-09:00|日本| || 嘉永2年5月| <出版>一立斎広重「東海道名所図会」
- 1849年6月22日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督領主「クリスト・アレクサンドル・ギカ」(1回目~18531018)
- 1849年6月24日-01:00|タイシエリア/イギリス| |||ヒアワ湾(タイシエリア南東部)をイギリス保護領宣言
- 1849年6月26日 00:00|イギリス| |||英、航海条例廃止
- 1849年6月28日 10:00|ポルネシア/フランス| |||<就任>ポルネシア海軍細分化指揮上級海軍士官兼ソエ諸島共和国弁務官「Charles Francois Lavaud」(~1850年)
- 1849年6月30日-01:00|タイシエリア/イギリス| |||<就任>ヒアワ湾英国領事「ジョン・Beecroft」(~18540610死去)
- 1849年6月30日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ総督「Jose Caetano Rene Vimont Pessoa」
- 1849年7月1日-05:30|インド| |||<就任>ランプール国首席弁務官「ジョー・キース」(~12.1)
- 1849年7月1日-05:30|インド| |||ティルガッタムコト国がインドに合併(トラヴァンコール・コーチン州に合併⇒19561101よりケララ州)
- 1849年7月3日-01:00|イタリア/フランス| |||大統領ルイ・ナポレオン(ナポレオン1世の弟ルイの子、のちのナポレオン3世)率いるフランス軍、「ローマ共和国」を降伏させ占領
- 1849年7月3日-01:00|デンマーク/米領ヴァージン諸島| |||デンマーク領西インド諸島で奴隷制度が廃止
- 1849年7月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントデルガダ民政知事代理「Eusebio Dias Pocas Falcao」(1回目~18510503)
- 1849年7月5日 04:00|トミニカ共和国| |||議会、サンの依頼を受けサンチアゴ・エスパイヤを大統領に選出/エスパイヤは就任を固辞
- 1849年7月12日-01:00|オーストリア| |||(~25日)オーストリア-イタリア戦争(第一次イタリア独立戦争)で、オーストリア陸軍のフランツ・ウハティウスが考案した10kgの重さの風船爆弾200発がベネチアの攻撃に使用されたが、効果は小さかった
- 1849年7月16日-01:00|フランス| |||フランス、新出版法が制定され、検閲が復活
- 1849年7月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍フリゲイト「プリンストン」(1046t)チャールズ・タウン海軍工廠にて解体
- 1849年7月19日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||ジェームズ・リトル中尉率いる王立工兵隊を率いるブリック・リック・ハート・ダートがブリンストワート島で難破し、乗船していた63隻のうち10隻だけが生き残り、後にゾウザラハンターによって救助された
- 1849年7月21日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ロシア軍トランシルヴァニア司令官「アレクサンドル・ニコラエウ・イチ・グラーフ・ライダース」(~8.26)
- 1849年7月24日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Jose Silvestre Ribeiro」(3回目~18521228)
- 1849年7月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光29年6月6日| <死去>李氏朝鮮国王「憲宗」昌徳宮で(1827年~)/大王大妃、垂簾聴政
- 1849年7月28日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国摂政「女王ミョンギョン」(2回目~1852年1月)
- 1849年7月28日-01:00|イタリア/フランス| |||<退位>サルデーニャ王カルロ・アルベルト→<即位>サルデーニャ王(サヴォイア朝)兼サヴォイア公ガットリオ・エマヌエーレ2世[カルロ・アルベルトとマリア・テレサ・ダズブルゴニスカーナの息子](~18610317)
- 1849年7月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光29年6月9日| <即位>李氏朝鮮国王「哲宗」英祖の唯一の血を継ぐ孫(~18640116死去)
- 1849年7月28日-09:00|日本| 北海道| 嘉永2年6月9日| <交替>蝦夷松前藩1万石「松前昌広」隠居⇒養子「松前崇広」が継ぐ(⇒慶応2年4月25日(18660609)、死去)
- 1849年7月31日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリーの詩人ペーティフィ戦死(18230101~)
- 1849年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Mustafa Zarif Pasha」(~1850.10)
- 1849年8月1日-05:30|インド| |||テリガール国がインドに合併(ウッタル・プラデシュ州と合併しテリガール地区⇒19500126、ウッタル・プラデシュ州)
- 1849年8月1日-02:00|ボツワナ/イギリス| |||イギリスの伝道師デヴィッド・リビングストン(36)が、ヨーロッパ人として初めてカラハリ砂漠にあるカミ湖を発見
- 1849年8月1日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍支援艦「マチュセツ」(1168t)陸軍省が購入したR. B. Forbesの汽

1850迄 (3058件)

船をマ・アイランド海軍工廠にて海軍に移管

- 1849年8月2日-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「ムハンマド・アリ・パシャ」
- 1849年8月2日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「アッパ・ス・ヒルミ・パシャ」(~18540713没)
- 1849年8月5日 00:00|ギニア/フランス| |||<制定>フランス保護領ギニア(18590226までコレに従属、その後18821012までセガール総督による直接統治)
- 1849年8月6日-01:00|オーストリア/イタリア| |||サルデーニャ国王ヴィットリオ・エマヌエーレ2世がオーストリアとミラノ平和協定を締結
- 1849年8月10日-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「ジャン＝オーギュスト・マルタン」(~1850年)
- 1849年8月11日-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス保護領マヨット総督「スタニスラス・フォルツウット・リヴェット」(~18510613)
- 1849年8月11日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国執政官「アルトゥール・ゲルゲイ・ゲルゴイ・エズト・ロシ」(アトでの市民および軍事当局代行)」(~13日)
- 1849年8月12日-01:00|フランス| |||パリに「リヨン鉄道」の「リヨン駅」(12区)が開業/建築家マリュス・トクトワールの設計による
- 1849年8月13日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<即位>ハンガリー王「フェレンツ・ヨーゼフ1世」(2回目/18670708戴冠~19161121)
- 1849年8月13日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||ハンガリー革命軍がウイロウ・シュの戦いでオーストリアに決定的敗北を喫し無条件降伏
- 1849年8月15日 04:30|ベネチア| |||パイスがふたたび決起するが敗れ、マホ・アハホで停戦協定が結ばれる。モカスはこの協定を事実上無視。パイスを捕らえムナの監獄に送る
- 1849年8月15日-09:00|日本| ||嘉永2年6月27日|<死去>菊池五山(81歳)漢詩人
- 1849年8月16日-01:00|オーストリア/ハンガリー| |||オーストリアがハンガリーの支配にハイナウ将軍を任命
- 1849年8月17日-09:00|日本|佐賀県|嘉永2年6月29日|佐賀藩医榎林宗建、わが国初の種痘(世界初の感染症予防ワクチン)接種実験に成功
- 1849年8月18日 04:00|トミニカ共和国| |||第二回目の投票が行われ、国会議長のパイスが大統領に選出される
- 1849年8月18日 00:00|ポルトガル/中国| ||清・道光29年7月|マオのポルトガル総督アマラルがマオを占領
- 1849年8月22日-01:00|イタリア/オーストリア| |||ヴェネチア共和国、オーストリアに降伏し滅亡
- 1849年8月24日-09:00|日本|石川県加賀市|嘉永2年7月7日|<死去>加賀大聖寺藩7万石「前田利平」(27歳)⇒養子「前田利義」が継ぐ(⇒安政2(1855)年4月20日、死去)
- 1849年8月25日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ライズ ショーンズ」(~10. 26)
- 1849年8月25日 00:00|イギリス| |||<昇格>10代ダラムジーン伯「ジェイムズ・アントニー・ブライアン・ラムゼイ」⇒初代ダラムジーン侯(~18601219死去廃絶)
- 1849年8月26日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア民政・軍事トランシルヴァニア総督「ルートヴィヒ・フライヘル・フォン・ウオルグムート」(~18510418没)
- 1849年8月26日-01:00|オーストリア/イタリア| |||オーストリア皇子ジジス・モントがヴェネツィアを占領、ヴェネチア共和国が降伏し、崩壊
- 1849年8月26日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||ハンガリーのムカチ要塞が降伏
- 1849年8月26日 05:00|ハイチ| |||<即位>ハイチ帝国皇帝「ファウストン1世」(~18590115)
- 1849年8月26日 06:00|ミシシッピ/アメリカ| |||米国の百万長者、コネルリウス・バンデルビルトの経営する「アメリカン・アトランティック・パシフィック・キャナル・カンパニー」設立。米政府の後援を受けバンデルビルトとミシシッピ政府のあいだに運河建設協定調印
- 1849年8月28日-01:00|ドイツ| |||<初演>フランク・リスト《交響詩「タツノ、悲劇と勝利」》
- 1849年8月28日-09:00|日本|広島県|嘉永2年7月11日|(10日~)広島、暴風雨・洪水・高潮、城下の大半浸水。流出倒壊家屋645軒、損家8701軒
- 1849年8月28日-09:00|日本|山口県下関市|嘉永2年7月11日|<死去>長門清末藩1万石「毛利元承」(17歳)⇒翌年3月5日、養子「毛利元純」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月25日、版籍奉還)
- 1849年9月-05:30|インド| |||<就任>インド王国上級摂政「ラム・ラオ」(~1852年)
- 1849年9月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Damat Mehmed Said Pasha」(~1851年)
- 1849年9月2日-01:00|フランス| |||フランスのフロンワ・アルバンがフランスのマレユからイタリアのトリノまでの気球での飛行に成功
- 1849年9月5日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||ハンガリーのピーターヴァルディン要塞が降伏
- 1849年9月5日-09:00|日本|長崎県長崎市|嘉永2年7月19日|蘭方医・榎林宗建らが長崎出島で日本初の種痘を実施
- 1849年9月8日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラ・ド・エロイス民政知事「Nicolau Anastacio de Betten court」(3期目~18510603)
- 1849年9月8日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>パルタ民政知事「Francisco Maria de Freitas Jacome」(~12. 26)
- 1849年9月10日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェールズ公・初代ダブリン伯「アルバート・エドワード王子」(~19010122、エドワード7世として連合王国国王に即位、爵位は王領に統合)
- 1849年9月10日-09:00|日本|長崎県長崎市|嘉永2年7月24日|長崎江戸町阿蘭陀通詞会所に伝習所兼種痘所がおかれ、モークが吉雄圭斎、柴田方庵に実地指導
- 1849年9月12日-05:30|インド| |||コホ・ヒール国がインドに合併(ケチ・ベール州⇒19500101西ベンガル州の一部)
- 1849年9月13日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・タニア・ワリス(総督)「アムド・セッパシャ」(1回目~18520916)
- 1849年9月13日-09:00|日本|愛知県豊橋市|嘉永2年7月27日|<死去>三河吉田藩7万石「松平信璋」(23歳)⇒11月15日、養子「松平信古」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1849年9月16日-09:00|日本|青森県弘前市|嘉永2年7月30日|<死去>津軽親足(62歳)前陸奥黒石藩主
- 1849年9月19日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルスラート議長「ヤコブ・デ・クレルク」(第2回)
- 1849年9月24日 04:00|トミニカ共和国| |||<就任>トミニカ共和国大統領「フエンテチュラ・パイス・メンデス」(1回目~18530215)

1850迄 (3058件)

- 1849年9月25日-01:00|オーストリア| ||<死去>ヨハン・シュトラウス(父)/45歳(誕生18040314)作曲家でワルツの父といわれた
- 1849年9月26日-09:00|日本|大阪府豊中市|嘉永2年8月10日|<死去>摂津麻田藩1万石「青木一興」(28歳)⇒10月2日、養子「青木一威」が継ぐ(⇒安政3(1856)年8月20日、29歳で死去)
- 1849年9月27日-01:00|ハンガリー/オーストリア| ||ハンガリーのコモン要塞が降伏
- 1849年10月 00:00|イギリス/ホンジュラス| ||英国、フォンセカ湾に浮かぶティグレ島を占領
- 1849年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスト・ブラスキ」(マリノ・ロンフェルニニ)
- 1849年10月6日-01:00|オーストリア/ハンガリー| ||オーストリアのハイナウ将軍が皇帝フランツ・ヨーゼフの名のもとにハンガリー反乱の首謀者たち10人を処刑
- 1849年10月7日 06:00|アメリカ| ||<死去>エドワード・アラン・ホーガ、泥酔してのたれ死ぬ/40歳(誕生18090119)推理小説で名高い作家
- 1849年10月8日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「モンテアルカレ男爵・子爵ルイ・ダ・コスタ・カルヴァリョ」(~18520511)
- 1849年10月9日-09:00|日本|岡山県高梁市|嘉永2年8月23日|<死去>板倉勝職(47歳)前備中松山藩主
- 1849年10月10日-09:30|オーストリア| ||シトニー・レイルウェイ会社(シトニー鉄道会社)の創設、植民地最初の鉄道、シトニーとゴールハーン間の鉄道建設を開始
- 1849年10月14日-02:00|ルーマニア| ||<即位>モルダヴィア公「グレゴレ・アレクサンドル・ギルギカ」(1期目~1853.6)
- 1849年10月14日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| ||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官「Prosper Benony Brulsley」(~18500703)
- 1849年10月15日-05:30|インド| ||トリパラ国がインドに合併(トリパラ州);マニポール国がインドに合併(マニポール州)
- 1849年10月15日 05:00|エカドール| ||<辞任>エカドール国大統領「ビセンテ・ラモン・ロカ」反乱が拡大するなか
- 1849年10月15日 05:00|エカドール| ||<就任>エカドール国暫定大統領「マヌエル・デ・アスカヒ」(1回目~18501207)
- 1849年10月16日-09:00|日本| ||嘉永2年9月|<出版>葛飾戴斗「花鳥画伝」二編
- 1849年10月17日-01:00|ポーランド| ||<死去>ポーランドの作曲家フレデリック・フランツ・ショパン、結核により/39歳(誕生:18100301)
- 1849年10月19日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Serafin Maria de Sotto」穏和党(~10.20)
- 1849年10月19日-01:00|トイット| ||ザケンが三王同盟から脱退
- 1849年10月20日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Ramon Maria Narvaez」穏和党(~18510114)
- 1849年10月20日-09:00|日本| ||嘉永2年9月5日|幕府、一般の人の富士登山を厳禁する旨を通達
- 1849年10月25日-01:00|オーストリア/ハンガリー| ||この日までに、ラヨシュ・バチャーニ首相らジプサル人要人100人以上が処刑される/ハンガリー人はこの後、フランツ・ヨーゼフを恨むようになる
- 1849年10月26日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ロート・エリセ」(1期目~11.9)
- 1849年10月27日-09:00|日本|茨城県筑西市|嘉永2年9月12日|<死去>常陸下館藩2万石「石川総貨」(31歳)⇒長男「石川総管」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1849年10月30日 00:00|イギリス| ||<死去>4代アルバートル伯「ウィリアム・チャールズ・ケッセル」
- 1849年10月30日 00:00|イギリス| ||<就任>5代アルバートル伯「オーガスタス・フレデリック・ケッセル」先代の息子(~18510315死去)
- 1849年10月31日-01:00|フランス| ||<就任>フランス共和国第二共和政首相「オーレル伯爵アルフォンス・アンリ」オルアナスト(~18510410)
- 1849年11月1日-01:00|オランダ| ||<就任>オランダ王国首相「ヨハン・ルトルフ・トルベック」(1回目~18530419)
- 1849年11月10日-01:00|モザコ| ||マントとロヴリュスはサルデーニャ・ピエモンテに併合
- 1849年11月10日-09:00|日本|岩手県盛岡市|嘉永2年9月26日|<交替>陸奥盛岡藩20万石「南部利義」隠居⇒弟「南部利剛」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年12月7日、隠居)
- 1849年11月11日-01:00|スペイン/フィリピン| ||フィリピンで先住民の姓をスペイン化する総督令
- 1849年11月15日-08:00|中国| ||清・道光29年10月|湖南で天地会の李元初の反乱がおこる
- 1849年11月16日 06:00|コスタリカ| ||<就任>コスタリカ共和国大統領代行「ルイス・ミゲル・モラ・ポラス」(~26日)
- 1849年11月24日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ノーマン・ウィリアム・マクドナルド」(2期目~18521012)
- 1849年11月24日 00:00|ガボン/ナシエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「ノーマン・ウィリアム・マクドナルド」(2度目⇒18500113イギリス王領シエラレオネ植民地総督~18521012)
- 1849年11月26日 06:00|コスタリカ| ||<就任>コスタリカ共和国大統領「ファン・ラファエル・モラ・ポラス」(12.30まで代行~18590814)
- 1849年12月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスタート暫定議長「ヒート・エルンスト・クルガー」(第1回~12日)
- 1849年12月7日-01:00|トイット| ||<死去>ホーエンツォレルン=ヘンゲン侯「Constantine」
- 1849年12月7日 03:00|ブラジル| ||エスピリト・サント州Queimadosで、とらわれていた奴隷が、蜂起とともに集団脱走
- 1849年12月8日-01:00|チエコ| ||<就任>モラヴィア総督「レオポルト・ザンスキー・フライヘル・フォン・ブコウァ伯爵」(~18600801)
- 1849年12月8日-01:00|イタリヤ| ||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「ルイザ・ミラ」》
- 1849年12月10日 00:00|イギリス| ||<死去>3代カーナヴァン伯「ヘンリー・ジョン・ジョージ・ハーバート」
- 1849年12月10日 00:00|イギリス| ||<就任>4代カーナヴァン伯「ヘンリー・ハーバート・モリニュー・ハーバート」先代の息子(~18900628死去)
- 1849年12月10日-09:00|日本|秋田県秋田市|嘉永2年10月26日|<交替>久保田新田藩(2)2万石「佐竹義純」隠居⇒養子「佐竹義核」が継ぐ(⇒安政4(1857)年7月20日、佐竹宗家久保田藩の家督相続)
- 1849年12月11日-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アルムタワキル・ムハンマド 11世」
- 1849年12月11日-03:00|イェメン| ||<復位>ラッシー朝イマム「アルムスール・アリ2世」(3期目~1850年)

1850迄 (3058件)

- 1849年12月12日 00:00|サントメ・プリンシペ /ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Leandro Jose da Costa」(4期目~18510309)
- 1849年12月12日 04:00|グアドループ /フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Jacques Amedee Philippe Fieron」(2期目~18511101)
- 1849年12月17日 00:00|イギリス| |||ロンドン帽子屋ホーラーが世界初山高帽子製作
- 1849年12月17日-09:00|日本|東京都|嘉永2年11月3日|<死去>松本錦升(六代目・幸四郎)32
- 1849年12月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ帝国暫定中央当局「連邦中央委員会(オーストリア皇帝とプロシヤ王を代表):カール・フリードリヒ・キューベック・フライヘル・フォン・キューバウ(オーストリア)/カール・フライヘル・フォン・シェーンハルス(オーストリア)/カール・グィヘルム・フォン・ヘッティヒャー(プロシヤ)/ヨゼフ・マリア・フォン・ラトウィッツ(18500331まで)(プロシヤ)/エトウアルト・フォン・ビュッカー(プロシヤ)(18500119から18500331まで)」(~18500501)
- 1849年12月20日 10:00|ハワイ/アメリカ| |||アメリカ、ハワイ諸島と条約締結
- 1849年12月21日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|嘉永2年11月7日|緒方洪庵・日野葛民、古手町に除痘館を設立。京都の日野鼎哉と笠原白翁の手で種痘開始
- 1849年12月21日-09:00|日本/アメリカ|沖縄県|嘉永2年11月7日|英船が那覇に来航して貿易を要求。中山府が拒絶する
- 1849年12月24日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「アントニオ・ゲオルギオウ・クリス」(~18540528)
- 1849年12月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝フィリップ＝スタール方伯「エルンスト・コンスタンティン」
- 1849年12月25日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝フィリップ＝スタール方伯「カール2世」(~1866年退任、宗主のヘッセン選帝侯領がプロシヤ王国に併合されるに伴い、消滅)
- 1849年12月26日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督代理「Antonio Maria Blanco」(~18500729)
- 1849年12月27日-09:00|日本|東京都墨田区|嘉永2年11月13日|<大相撲>嘉永2年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前5)階ヶ嶽,7勝0敗1無勝負2休
- 1849年12月28日 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリブ諸島州市民知事「Ignacio Peraza de Ayala y del Hoyo-Solorzano」(2期目~1850.1)
- 1849年12月28日-09:00|日本|香川県さぬき市|嘉永2年11月14日|高松藩領志度浦大火。350戸延焼
- 1849年12月28日-09:00|日本|奈良県奈良市|嘉永2年11月14日|<交替>大和柳生藩1万石「柳生俊章」隠居⇒養子「柳生俊能」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年9月13日、21歳で死去)
- 1849年12月29日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル民政知事「Joaquim Jose Pereira da Silveira e So usa」(~18510603)
- 1849年12月31日-05:30|インド/イギリス| |||サハール国はイギリス領インドに併合(ベングールの一部として、1862年から中央州)
- 1849年12月31日-09:00|日本|岡山県真庭市|嘉永2年11月17日|<死去>三浦毘次(71歳)前美作勝山藩主
- 1850年-13:30|キリバス| |||<就任>アヘンマ首長(UEA)「ハ イテウ」(~1878年)
- 1850年-08:00|モンゴル| |||<就任>化身ラマ「アワンジイグ・アワンジイグ・ユハベレンジヤムツ(シエフ・ツタンパ7世)」(~1868年没)
- 1850年-08:00|マレーシア| |||<就任>スガ イウジ ヨン統治者(ウンタン・ルルク・スガ イウジ ヨン)「ダトゥク・センテン」(~1873年没)
- 1850年-08:00|インドネシア| |||<即位>デリスルタン「Sultan Osman Perkasa Alam Shah」(~1858年)
- 1850年-07:00|タイ| |||<就任>ランハン国主(チャオ)「ウオヤンナラン」(~1873年)
- 1850年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>チャンパサク王「タイ総督ブワ」(~1853年没)
- 1850年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「ワンチュキギャル」(~同年)⇒「ジグメ・ナルグ」(~1852年)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>シャイナ国ラジャ「ドゥール・シン」(~18951011没)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>トウシヤナ国支配者(ナワブ)「ハサン・アリ・カーン」(~1867年没)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>ヒジナ国統治者(デイクン)「ムクド・シン」(~1909年没)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>ヒラフル国ラジャ「ヒラ・チャンド」(~1882年没)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>マイナル国統治者(タークル)「モハン・プ ラサド」(~1852年没)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>マニフル国ラジャ「デベントラシン」(3か月)⇒「チャンドラキルティシン」(2回目~1886年5月)
- 1850年-05:30|インド| |||<就任>モハフル国統治者(タークル)「ト ラツインジ」(~1875年)
- 1850年-05:00|パキスタン| |||<死去>バルティスタン国王「マフムド・シャー」
- 1850年-04:30|アフガニスタン| |||サル・イ・フルがアフガニスタンに組み込まれた(~1863年)
- 1850年-04:00|UAE| |||<就任>イギリスのシャルジャ在住土着代理人「Ahmad bin Mulla Husain」(~1866年)
- 1850年-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「Abd al-Latif Pasha」(~1851.1)
- 1850年-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「アブド・アル＝ラティフ・ハシヤ」(~1851年1月)
- 1850年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスのラリス「ミルラン・マスケ・ハシヤ」(~1852年)
- 1850年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブソコラ統治者(オムバイト)「キナン」(~1860年)
- 1850年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブンヤ統治者(オムカマ)「ルム2世」(~1860年頃)
- 1850年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国皇帝「ヨハネ3世テレキギヨルギス」(3度目~1851年)
- 1850年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「al-Abbas2世」(3箇月間)⇒「Ghalib」(1期目~1852年)
- 1850年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<死去>グウェシエ王国ムワミ・グウェシエ「クウェシエ6世ビチンガ」
- 1850年-02:00|ブルンジ| |||<死去>ブルンジ 王国国王「ンタレ4世ルカンスワルカシバ」
- 1850年-02:00|ザンビア| |||<就任>カシムバ 統治者(ムワカシムバ)「カシムバ5世カフンバ・ムウォンガ1世ムワマ」(~1854年没)
- 1850年-02:00|モザンビーク| |||<就任>キタンゴニア首長「アリ・アムシ・ヘリ」(~1873年)
- 1850年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>グウェシエ王国ムワミ・グウェシエ「クウェシエ7世カクウェンターレ」(~1860年)
- 1850年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>バニャルワナ 王国ムワミ「カベコ(ツチ族)」

1850迄 (3058件)

- 1850年-02:00|ブルンジ | |||<即位>ブルンジ 王国国王「ムウヰジ 4世キ 殊」(~19080821没)
- 1850年-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン領地暫定総督(北アフリカ総司令部総督)「Trinidad Balboa」(~同年)
- 1850年-01:00|ニジェール | |||<就任>マラーイ国統治者(サルキン・カツイ)「タン・ハウ・タン・アグ ワラキ」(~1851年)
- 1850年-01:00|カメルーン | |||<即位>レイ・ブーバ・スルタン国スルタン(1864年からブーバ・ニッタ)「ブーバ・ジロム」(~1899年没)
- 1850年 00:00|コートジボワール/フランス | |||<就任>アシエ(ジョイント)ル砦 民間司令官「ルメル」(~1851年)
- 1850年 00:00|シエラレオネ | |||<就任>エニ首長「イリスカリ」(~1870年代)⇒「ハンバ・ファラ」(~1921年)
- 1850年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル | |||<就任>ビサウ総督代行「ニコラス・モンテロ・デ・マセド」(~1851年)
- 1850年 00:00|マリ | |||<即位>トゥーケル帝国皇帝「Omar Saidou Tall」(~1864年死去)
- 1850年 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス | |||<就任>アンティグア総督「ロバート・ジェームズ・マッキントッシュ」(~1855年)
- 1850年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス | |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 副総督「エドワード・ヘイト・ラモント・ヘイ」(~1855年)
- 1850年 05:00|パナマ | |||<就任>パナマ大統領「ホセ・デ・ハルテ・イ・イ オレワラ」(2回目~1851年)
- 1850年 06:00|エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス | |||エルサルバドルのハスコンセロス大統領, 中米連合の再建をはかりホンジュラスと連合しグアテマラに侵入するがカレラにやぶれる
- 1850年1月1日-09:30|オーストラリア | |||ニューサウスウェルス 最初の糊付け切手、1、2、3ペンスの切手、「シドニー・ユニオン・シリーズ」発行
- 1850年1月1日-01:00|スロベニア/オーストリア | |||<就任>オーストリア領スロベニア知事「グスタフ・イグナツ・グラーフ・フォリンスキー・フライヘル・フォン・レトスケ」(~18601114)
- 1850年1月1日-01:00|スイス | |||<就任>スイス連邦大統領「ダニエル・アンリ・ド・レイ」Rad(~12. 31)
- 1850年1月1日-01:00|チェコ/オーストリア | |||上シルジア公国と下シルジア公国、ホヘミア、モラヴィアはオーストリアの別個王領地
- 1850年1月1日-01:00|セルビア/ハンガリー | |||ヴオイヴォディナはセルビアのヴオイヴォヴォド・シツプ とトマス・アールのパナテのオーストリア王冠領の一部としてハンガリーから分離
- 1850年1月1日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス | |||<就任>イギリス領ビトケアン諸島主任判事「アサー・Quintal2世」(2期目~12. 31)
- 1850年1月2日-09:00|日本|茨城県牛久市|嘉永2年11月19日|<死去>常陸牛久藩1万石「山口弘毅」(41歳)⇒12月18日、弟「山口弘敏」が継ぐ(⇒文久2(1862)年6月14日、死去)
- 1850年1月3日-09:30|オーストラリア | |||ヴイクトリア、ヴイクトリア女王をデザインした、1、2、3ペンスの切手を発行
- 1850年1月5日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永2年11月22日|徳川家祥(家定)、一条英子と結婚
- 1850年1月8日 03:00|ブラジル | |||Queimados蜂起の指導者ジョエオ、絞首刑となる
- 1850年1月12日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>トランスヴァール・フォルクスト 議長「W. C. スワート」(~30日)
- 1850年1月13日 00:00|カナダ/イギリス | |||<就任>イギリス領ゴールドコースト総督「ウィリアム・ウィニエット卿」(2回目~12. 4)
- 1850年1月21日 10:00|日本|香川県綾歌郡宇多津町|嘉永2年12月9日|夜、鶴足郡宇多津村で火事発生。30軒焼失
- 1850年1月25日-05:30|インド | |||マソール国がインドに合併(マソール州)
- 1850年1月26日-05:30|インド | |||ハイデラバード 国がインドへ加盟(ハイデラバード 州)
- 1850年1月31日-01:00|ドイツ | |||国王は上からの恩恵として欽定憲法を発布
- 1850年1月31日 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州市民知事「Antonio Halleg」(1期目~8. 29)
- 1850年1月31日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|嘉永2年12月19日|<減封>下総多古藩12000石「松平勝行」⇒1万石(⇒慶応4(1868)年2月、姓を改め「久松勝行」)
- 1850年2月-05:30|インド/イギリス | |||南シッキムとダージリンが英領インドに併合される
- 1850年2月 00:00|イギリス/中国 | |||ハルビンとアムール汽船(大英輪船公司)が上海-ロンドン間定期航路運行開始
- 1850年2月1日-01:00|フランス/イギリス | |||ドーヴァー海峡に海底ケーブルが開通
- 1850年2月1日 06:00|エルサルバドル | |||<就任>エルサルバドル共和国大統領代行「ホセ・フェリックス・キロス・サンチェス」(2回目~4日)
- 1850年2月4日 06:00|エルサルバドル | |||<就任>エルサルバドル共和国大統領「トマス・ハスコンセロス・ビデス・イ・ラトロン・デ・ゲバラ」(2回目~18510301)
- 1850年2月4日 10:00|日本|香川県坂出市|嘉永2年12月23日|夜、阿野郡北坂出村で火事発生。13軒全焼
- 1850年2月6日-01:00|ドイツ | |||プロイセン王フリードリヒ・ヴィルヘルム4世が欽定憲法に宣誓
- 1850年2月9日-09:00|日本 | |||嘉永2年12月28日|幕府、異船防禦命を出す/外国船への薪水給与令を厳しくする
- 1850年2月12日-05:30|インド | |||<就任>ハシャル国ラジャ「シャムシャー・シン」(~19140804没)
- 1850年2月12日-09:00|日本 | |||嘉永3年1月|<出版>葛飾戴斗「万職図考」
- 1850年2月12日-09:00|日本 | |||嘉永3年1月|<出版>葛飾北斎「絵本和漢堂」
- 1850年2月12日-09:00|日本 | |||嘉永3年1月|<出版>溪斎英泉と一立斎広重「名所発句集」
- 1850年2月13日-09:00|日本 | |||嘉永3年1月2日|<死去>大倉笠山(66歳) 画家
- 1850年2月20日 00:00|カナダ/デンマーク | |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「エドヴァルト・ジェイムズ・アールト・カステンセン」(3回目~3. 30/名目上は8. 17まで)
- 1850年2月23日-01:00|ドイツ | |||ハノーファーが三王同盟から離脱し、ハインリッヒ、ザクセン、エルテンベルクと四王同盟を結ぶ
- 1850年2月25日-08:00|中国 | |||清・道光30年1月14日|<死去>清8代皇帝「宣宗(道光帝)」(誕生1782年)
- 1850年3月-09:30|オーストラリア | |||ウィリアム・キャンベル、ヴイクトリアのクルーズで金を発見
- 1850年3月1日-09:00|日本 | |||嘉永3年1月18日|<死去>5代式守伊之助(不明) 大相撲立行司
- 1850年3月3日-09:00|日本|埼玉県川越市|嘉永3年1月20日|<死去>武蔵国川越藩1万石「松平齊典」(54歳)⇒「松平典則」が継ぐ(⇒嘉永7(1854)年8月13日、隠居)
- 1850年3月8日-08:00|中国 | |||清・道光30年1月25日|<即位>清皇帝「文宗咸豊帝」(~18610822)
- 1850年3月9日-04:00|レユニオン/フランス | |||<就任>レユニオン知事「Marie Bon Ezechiel Barolet de Puligny」(~18510214)

1850迄 (3058件)

- )
- 1850年3月12日-01:00|ドイツ| |||<併合>ドイツ連邦:ホーエンツォレルン・ヘンゲン侯国、ホーエンツォレルン・ジグマリンゲン侯国⇒プロシヤ王国
- 1850年3月15日-04:00|ロシア| |||<初演>ミハイル・イヴァノヴィチ・グリンカ《幻想曲「カマリンスカヤ」》
- 1850年3月15日-02:00|ロシア| |||<就任>ロシア及び北西部の地方総督「イリヤ・ガブリロヴィチ・ビビコフ」(~18551210)
- )
- 1850年3月15日-01:00|フランス| |||フランス議会の「秩序派」、聖職者証明で教師への就任を可能とする「ファル法」を可決/再びカトリックと教育が結合され、「共和派」の教師が教職を追われるようになる/カトリック勢力の巻き返して、以後カトリックの公教育への浸透がすすむ
- 1850年3月18日 01:00|日本|東京都千代田区|嘉永3年2月5日|<江戸麹町嘉永3年の大火>巳刻(午前10時) 麹町五丁目の炭團屋より出火, 同所(麹町)五丁目より一丁目まで, 隼町, 平河町, 山本町, 谷町(麹町周辺の町), 定火消し御役屋敷(半蔵御門前火消屋敷), 京極侯, 明石侯, 三宅侯, 大村侯, 鳥居侯, 山王門前町屋, 内藤侯, 井伊侯, 細川侯等の御屋敷類焼, 黒田侯, 内藤侯, 九鬼侯, 丹羽侯, 柳沢侯より外桜田へ飛び京極侯, 木下侯, 相良侯, 御勘定奉行御役屋敷, 加藤侯, 朽木侯, 兼房町, 和泉町, 備前町, 伏見町, 鍛冶町(新橋周辺の町), 愛宕山本社二王門額堂, 末社別當所未寺, 同所麓東西大小名屋敷一圓, 眞福寺, 天徳寺, 同門前青松寺へ焼込, 増上寺は院支院数字焼け, 神明社濱の大久保侯より金杉橋, 松平因州侯下屋敷, 其外柴井町, 宇田川町, 神明町, 三島町, 七軒町, 中門前, 片門前, 濱松町, 新網町, 湊町, 西應寺町, 同朋町, 濱町, 金杉一丁目より五丁目の町屋一圓(増上寺周辺の町), 圓珠院, 王傳院, 安楽寺, 傳覺寺其外此邊の寺院類焼し, 芝橋際迄濱手に至り, 夜戌下刻(21時) 鎮火/諸侯の藩邸52宇, 小名92宇, 町院19宇の餘, 町数57町
- 1850年3月20日 10:00|フランス| |||<就任>フランス海軍細分化指揮上級海軍士官兼ソエ諸島共和国弁務官「Louis Adolphe Bonard」(~1852年)
- 1850年3月30日 00:00|デンマーク/イギリス| |||デンマーク領ゴールト=コースト, イギリスにより占領され売却
- 1850年3月31日 00:00|イギリス| |||<死去>5代マルクス・フィールド 伯「トマス・パーク」
- 1850年3月31日 00:00|イギリス| |||<就任>6代マルクス・フィールド 伯「トマス・パーク」(~18960724死去)
- 1850年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ウインチェンツォ・アンジェリ」「コスタンツォ・ダミアニ」
- 1850年4月6日-09:00|日本|東京都中央区|嘉永3年2月24日|吉原揚場町の寄席で曲独楽の興行中, 大入りのため二階が落ち, 死傷者が出る
- 1850年4月7日-09:00|日本| ||嘉永3年2月25日|<死去>黒住宗忠(71歳) 黒住教の開祖
- 1850年4月12日-01:00|バチカン| |||ピオ9世ローマに戻り, 教皇領が回復
- 1850年4月16日 00:00|イギリス| |||<死去>マリ・タッソー/89歳(誕生17601201) 蠟人形師. タッソー夫人博物館のもととなる陳列館を作った
- 1850年4月17日-09:00|日本| ||嘉永3年3月6日|<死去>三好想山(不明) 随筆家, 尾張藩士
- 1850年4月18日-09:00|日本|香川県丸亀市|嘉永3年3月7日|<交替>讃岐丸亀藩51512石「京極高朗」隠居⇒婿養子「京極高徹」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日, 版籍奉還)
- 1850年4月19日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ナタール州特別委員「ベンジヤミン・チー・キャンベル・パイン」(第1回~18550303)
- 1850年4月19日 00:00|イギリス/パナマ/アメリカ| |||アメリカとイギリスがパナマの中立化でクレトン=ブル条約を締結
- 1850年4月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||中央アメリカにおけるアメリカ, イギリスの利害の調停を目的としクレトン=ブル条約締結
- 1850年4月21日-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル長官代行「ウィリアム・フォート」(1度目~7月)
- 1850年4月22日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|嘉永3年3月11日|<死去>因幡鹿奴藩3万石「池田仲律」(46歳)⇒三男「池田仲建」が継ぐ(⇒元治1年6月27日(18640730), 自害)
- 1850年4月23日 00:00|イギリス| |||<死去>ウィリアム・ワズワース/80歳(誕生17700407) イギリスのロマン派詩人
- 1850年4月27日 01:00|日本|京都府京都市|嘉永3年3月16日|白山通樋口(下京)より出火, 50町ほど焼失
- 1850年4月30日-09:00|日本|千葉県君津市|嘉永3年3月19日|<死去>黒田直侯(58歳) 前上総久留里藩主
- 1850年5月-03:30|イラン| |||イランのサンジャーンでバブ教徒の反乱がおこる
- 1850年5月-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国イェメン・ウオリス(総督)「Mustafa Sabri Pasha」(~1851.3)
- 1850年5月-03:00|サウジアラビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ヒジャーズ 総督「アガ・アブドゥルアジズ・パシャ」(~1852年7月)
- 1850年5月-01:00|北マケドニア/トルコ| |||<就任>マヌステル・ウリス(総督)「ハヤスリ・イスマイル・パシャ」(~1851年4月)
- 1850年5月 04:30|ベネチア| |||モガス, パイスを国外に追放し独裁政治を開始
- 1850年5月1日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<就任>ドイツ連邦議会大統領特使(フランクフルト=アム=マイン)「フリートリヒ=ゲラー=フォン=トウエン=ホーエンシュタイン」(~18521101)
- 1850年5月1日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ連邦元首「フランツ=ヨーゼフ1世(オーストリア皇帝)」(~18660824)
- 1850年5月4日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド 総督代行「プラトン=ワレフ=カソフスキー」(1回目~18510112)
- )
- 1850年5月6日-09:00|日本|東京都墨田区|嘉永3年3月25日|<大相撲>嘉永3年3月場所[江戸本所回向院](10日間) 幕内優勝:(東関脇)小柳, 6勝0敗2分2休
- 1850年5月9日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの化学者・物理学者ゲイ=リュサック(17781206~) 絶対零度の概念, 気体の体積と温度の関係を発見した
- 1850年5月10日-09:00|日本|茨城県笠間市|嘉永3年3月29日|<死去>常陸笠間藩8万石「牧野貞久」(16歳)⇒翌年4月, 養子「牧野貞直」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月5日, 隠居)
- 1850年5月11日-09:00|日本|愛知県名古屋市|嘉永3年3月30日|<死去>徳川齊朝, 化膿性炎症のため(58歳) 前尾張

1850迄 (3058件)

藩主

- 1850年5月12日-09:00|日本|佐賀県小城市|嘉永3年4月|<交替>肥前小城藩73000石「鍋島直堯」隠居⇒長男「鍋島直亮」が継ぐ(⇒元治元(1864)年2月27日、36歳で死去)
- 1850年5月16日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ暫定総督「Louis Eugene Maissin」(~18510106死去)
- 1850年5月19日-01:00|スペイン/キューバ/アメリカ| ||<カハとケンタッキー出身の米人雇い兵6百名からなる侵攻部隊、カデナスに上陸(司令官はアブドゥラ・ベ・ゴンサレス将軍)。街の制圧には成功/スペイン軍の反撃に遭い撤退
- 1850年5月20日-09:00|日本|東京都|嘉永3年4月9日|<死去>魚屋北溪(71歳)浮世絵師(葛飾北斎の高弟)
- 1850年5月22日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア・ヘルツェゴビナ総督「フェルクス・ハフィス・メフメト・パシャ」(~11.16)
- 1850年5月24日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの女流作家ジェーン・ホーター(誕生1776年)
- 1850年5月26日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート 議長「W. イム・ヘンドリック・ヤコブ・スゾーン」(第1回~28日)
- 1850年5月27日 01:00|日本|京都府京都市|嘉永3年4月16日|麩屋町万寿寺上ル失火、西南の強風にあおられ数ヶ町焼亡。北は仏光寺、南は万寿寺、東は高瀬川、西は富小路を焼く/20町余が罹災、京中の木材価格が高騰
- 1850年5月28日-01:00|フランス/イギリス| ||トーヴァーとカレーの間に海底ケーブルが敷設される
- 1850年5月31日-01:00|フランス| ||フランス、普通選挙法が廃止され、急進的労働者が選挙権を失うような新しい選挙法が制定される
- 1850年6月-05:30|インド| ||<就任>シムル国ラジャ「ラーグ・ヒル・プーラシ」(~18560620没)
- 1850年6月-03:30|イラン| ||イランのネイースでパーサー教徒の反乱
- 1850年6月 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド 総督「トラン・伯爵ヨハン・デイト」(~18600802)
- 1850年6月 06:00|アメリカ| ||テキサス州で南部連合帰属問題を巡ってクーデターが勃発。テキサスは連邦を脱退し中立を宣言
- 1850年6月9日-01:00|フランス| ||フランス、政治的結社の集いが禁止され、共和政支持者が弾圧される
- 1850年6月11日 00:00|イギリス| ||<就任>初代コッツナム伯「チャールズ・クリストファー・ヘピス」(~18510429死去)
- 1850年6月14日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド 暫定総督「ロマン・ルイ・マリ・マリス」(1回目~18510106)
- 1850年6月19日-05:30|インド| ||<就任>サティ国ラジャ「ランジット・シン」(~1875年)
- 1850年6月19日-09:00|日本|熊本県人吉市|嘉永3年5月10日|<死去>相良頼之(53歳)前肥後人吉藩主
- 1850年6月24日 04:00|米領ギブソン諸島/デンマーク| ||<就任>セントコア総督「Hans Ditmar Frederik Feddersen」(~18550427)
- 1850年6月25日-01:00|ドイツ| ||<初演>ロベルト・アレクサンダー・シューマン《歌劇「ゲノエーファ」》
- 1850年7月-04:00|セイシェル/イギリス| ||<就任>イギリス領セイシェル長官「ロバート・ウィリアム・キート」(~18521123)
- 1850年7月1日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|嘉永3年5月22日|<死去>豊後森藩12500石「久留島通容」(40歳)⇒長男「久留島通明」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年2月16日、隠居)
- 1850年7月2日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||デンマークとプロシヤの間に平和条約が成立
- 1850年7月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|嘉永3年5月23日|<死去>因幡鳥取藩32万石「池田慶栄」(17歳)⇒養子「池田慶徳」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月2日、3万石加増)
- 1850年7月3日 03:00|サンピエール島/ミロン島/フランス| ||<就任>サンピエール島・ミロン島司令官「Jacques Francois Gervais」(1期目~18551010)
- 1850年7月8日 00:00|イギリス| ||<死去>ケンブリッジ公「アドルフ」
- 1850年7月8日 00:00|イギリス| ||<就任>ケンブリッジ公「ジョージ」アドルフの唯一の息子(~19040317死去)
- 1850年7月9日 06:00|アメリカ| ||<死去>アメリカ合衆国第12代大統領「ザカリー・テラー」65歳(誕生17841124)
- 1850年7月9日-08:00|中国| ||清・道光30年6月|上海でノース・チャイナ・ヘラルド 紙が創刊
- 1850年7月9日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|嘉永3年6月1日|<死去>本多忠敬(58歳)前播磨山崎藩主
- 1850年7月9日-09:00|日本|広島県|嘉永3年6月1日|<嘉永3年山陽瀬戸内暴風雨・高潮災害>大雨により、安芸国の太田川が決壊して広島城下のほとんどが軒端近くまで浸水
- 1850年7月10日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ合衆国第13代大統領「ミラード・フィルモア」ホイッグ党(~18530303)
- 1850年7月11日-09:00|日本|岡山県|嘉永3年6月3日|<嘉永3年山陽瀬戸内暴風雨・高潮災害>備中国では夜に東高梁川の堤防が決壊、周囲の村々の民家から倉敷代官陣屋内までも水が入り死者多数
- 1850年7月14日-09:00|日本|愛知県名古屋市|嘉永3年6月6日|<死去>画人・宋紫崗(70歳)
- 1850年7月15日-01:00|フランス| ||フランス大統領「ルイ・フィリップ3世」、法令により、労働者の「相互扶助会」の保護策として、市町村が会議場所を無償で提供するなどの支援を受ける「官許扶助会」の制度を制定
- 1850年7月16日-01:00|フランス| ||フランスで新出版法が施行され検閲が復活し、出版の自由が制限される
- 1850年7月19日-09:00|日本|岡山県倉敷市|嘉永3年6月11日|<死去>備中岡田藩10343石「伊東長寛」(87歳)⇒嫡孫「伊東長裕」が継ぐ(⇒万延元(1860)年8月14日、死去)
- 1850年7月29日-08:00|フィリピン/スペイン| ||<就任>スペイン領フィリピン総督「アントニオ・デ・ウルビストン」(~18531220)
- 1850年7月30日 03:00|ブラジル| ||パラ州で民衆暴動。英艦「コレラント」号が奴隷船を捕獲したことに抗議し、要塞を攻撃
- 1850年8月-01:00|北マドニア/トルコ| ||<就任>ウスク・クリス(総督)「ハヤリ・イスマイル・パシャ」(~1851年4月)
- 1850年8月 00:00|セネガル/フランス| ||<就任>フランス領セネガル総督代行「ピエール・オギュスト・ウヰエヌ・オーモン」(~10.11)
- 1850年8月1日-09:00|日本|東京都千代田区|嘉永3年6月24日|<死去>徳川家祥(家定)正室英子
- 1850年8月2日-01:00|デンマーク/イギリス| ||ロンドンで、イギリス、フランス、ロシア、スウェーデン、デンマークがシュレスウィヒ・ホルシュタイン問題に関する条約が結ばれ、デンマークが領土保全の保障を得る
- 1850年8月3日-02:00|キプロス/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「ハサン・ハフス」(~1851年)

1850迄 (3058件)

- 1850年8月5日-09:30|オーストラリア| ||オーストラリア植民地政府法成立/ウイクトリア植民地の分離/ウイクトリア、ウァンティームズラント、南オーストラリア植民地における公選制・任命制議会設置/植民地による憲法起草許可/2院制議会規定/連邦形成許可など
- 1850年8月8日-09:00|日本| ||嘉永3年7月|<出版>一立斎広重「草筆画譜」及び「絵本江戸土産」初編より四編
- 1850年8月8日-09:00|日本|福井県鯖江市|嘉永3年7月|鯖江藩、心学舎謙光舎(謙亨舎)を創設
- 1850年8月18日-01:00|フランス| ||<死去>フランス「写実主義」の小説家オノレ・ド・バルザック/51歳(誕生17990520)/「人間喜劇」(約90編の小説群の総称、神を主人公にしたダンテの「神曲」を意識して、人間を主人公とした。「喜劇」は「ハッピー・エンド」の劇)の意)・「ゴリ翁さん」・「従妹ベット」などの作品を残す
- 1850年8月20日-04:00|セイシェル/イギリス| ||<就任>イギリス領セイシェル長官代行「ウィリアム・フォート」(2度目~同年)
- 1850年8月20日-09:00|日本| ||嘉永3年7月13日|<死去>4代六郷新三郎(不明)歌舞伎離子方
- 1850年8月24日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「W・イルム・ヘンドリック・ヤコブ・スゾーン」(第2回)
- 1850年8月24日 06:00|アメリカ/ハワイ| ||アメリカ合衆国がハワイ独立を承認
- 1850年8月26日-01:00|フランス| ||<死去>モンパンス公「ルイ・フィリップ」[17731006生]76歳
- 1850年8月26日-01:00|フランス| ||<即位>モンパンス公「Philippe d'Orleans」ハリエリ伯(~18940908死去)
- 1850年8月28日-01:00|ドイツ| ||<初演>ウイヘルム・リヒルト・ワグナー《歌劇「ローエングリン」》
- 1850年8月28日-01:00|フランス/イギリス| ||ブレット兄弟がトパーとカレーを結ぶトパー海峡横断ケーブルを敷設
- 1850年8月28日-01:00|ドイツ| ||ワグナーの楽劇「ローエングリン」がリストの指揮で初演
- 1850年8月28日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<死去>イギリス領セントヘレナ総督「ハトリック・ロウ卿」
- 1850年8月28日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>イギリス領セントヘレナ総督代理「ロート・クラーク」(~18510718)
- 1850年8月29日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州知事「Manuel Rafael de Vargas」(~18510223)
- 1850年8月29日-09:00|日本| ||嘉永3年7月22日|<嘉永3年東海暴風雨・高潮災害>(21日~)伊勢から尾張、三河、美濃、遠江、駿河と東海地方6カ国の農地の被害は合計100万石
- 1850年9月-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国ウイェイン・ワリス(総督)「アリ・レザ・ハシヤ」(~1851年10月)
- 1850年9月 00:00|セネガル| ||<就任>ファタ・ト・ロ統治者統治者(アルマミ)「アルファ・サイア・ワン」(~18510111没)
- 1850年9月4日 03:00|ブラジル| ||イギリスの圧力下で、奴隷船を海賊行為と認める「エドヒョケイロ法」成立
- 1850年9月5日 03:00|ブラジル| ||リオ・ネグロ流域、ブラジル領を宣言され、パラ州に編入される
- 1850年9月9日 06:00|アメリカ| ||<加盟>直接のメキシコ割譲地⇒アメリカ合衆国カリフォルニア州(31番目)
- 1850年9月9日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、奴隷州と自由州に関する妥協法案が議会を通過
- 1850年9月9日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、フィルモア大統領、準州設置法案、ニュー・メキシコ準州設置法案に署名
- 1850年9月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「(ゴネリス)ホトギーター」(第1回)
- 1850年9月12日-09:00|日本|大分県別府市|嘉永3年8月7日|豊後の別府町で米屋のうちこわしが起こる
- 1850年9月12日-09:00|日本|広島県|嘉永3年8月7日|<嘉永3年山陽瀬戸内暴風雨・高潮災害>暴風雨によって洪水や高潮が起こり、広島藩領だけでも6月の災害とあわせ60人死亡、家屋全壊・流失4425軒、同損壊3558軒、社寺破損134カ所、田畑の損害29万8000石に及ぶ大災害
- 1850年9月12日-08:00|中国| ||清・道光30年8月7日|中国・四川省、西昌地震M7.5、死者23860人
- 1850年9月15日-09:00|日本|愛知県|嘉永3年8月10日|<嘉永3年東海暴風雨・高潮災害>(3日~)尾張、三河両国が襲われ、両国の河川のほとんどが洪水を起こし農地に大きな被害
- 1850年9月17日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メヨ総督「Jose Eustaquio de Castro y Mendez」(~1854年)
- 1850年9月17日-01:00|オーストリア| ||<初演>フランツ・ベーター・シュベルト《弦楽五重奏曲ハ長調》
- 1850年9月18日 03:00|ブラジル| ||土地法成立。土地の購入に限度額を制定する一方、共有地の所有関係を「近代化」し、大地主の土地獲得に道を開く。同時に海外移民を呼び寄せる武器となる
- 1850年9月18日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、フィルモア大統領、自由州へ逃亡する奴隷を取り締まる逃亡奴隷法に署名
- 1850年9月20日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、フィルモア大統領、コロンビア特別区で奴隷売買を禁止する法案に署名
- 1850年9月23日-07:00|ロシア| ||<死去>ルアンパーン王国国王「スカソム」
- 1850年9月23日-07:00|ロシア| ||<即位>ルアンパーン王国国王「チャクマン」(~18681001退位)
- 1850年9月26日-09:00|日本|長崎県平戸市|嘉永3年8月21日|<交替>平戸新田藩1万石「松浦皓」隠居⇒次男「松浦脩」が継ぐ(⇒明治2(1869)年、植松藩に改名⇒明治3(1870)年9月、本家の平戸藩と合併廃藩)
- 1850年9月29日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|嘉永3年8月24日|博徒・国定忠治、関東取締出役に逮捕される
- 1850年10月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドリア(総督)「Kibrisli Mehmed Pasha」(~1851.9)
- 1850年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バティスト・ボネリ」(マリノ・ベルティ)
- 1850年10月1日-01:00|オーストリア| ||オーストリアでシトニー大学設置法成立
- 1850年10月6日-09:00|日本| ||嘉永3年9月|<初演>歌舞伎「播州皿屋敷」[補綴・三代目、瀬川如臈]中村座
- 1850年10月6日-09:00|日本| ||嘉永3年9月|勝麟太郎(28歳)、赤坂田町中通に西洋兵式の蘭学塾「氷解塾」開く
- 1850年10月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|嘉永3年9月1日|<就任>大坂城代「土屋采女正寅直」(~安政5.11.26)
- 1850年10月6日-09:00|日本|京都府京都市|嘉永3年9月1日|<就任>京都所司代「内藤信親」(⇒1851(嘉永4年12月21日))
- 1850年10月8日-09:00|日本|愛知県弥富市|嘉永3年9月3日|<嘉永3年東海暴風雨・高潮災害>(2日~)暴風雨で、伊勢湾に高潮を起こし河内郡八穂新田の堤防が決壊して海水がー帯に侵入
- 1850年10月9日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ガリシア知事「Agenor Romuald Onufry Graf Goluchowski z Gojuchowa」(1期目~1859.8)
- 1850年10月11日 00:00|セネガル/フランス| ||<就任>フランス領セネガル総督「オーギュスト・レオ・ド・ポロット」(~18530522)

1850迄 (3058件)

- 1850年10月11日-09:00|日本|広島県広島市|嘉永3年9月6日|<死去>儒学者「坂井虎山」病没 (53)
- 1850年10月12日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪船ゲイト「サラック」(2100t, ホーツマ海軍工廠で建造)
- 1850年10月14日 03:00|ブラジル| |||ブラジルで奴隷貿易禁止法が公布
- 1850年10月16日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール司令長官「アントニー・ヴァン・デル・ワール」(1期目~18510115)
- 1850年10月16日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「(コーリス)ボトキータ」(2回目)
- 1850年10月18日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督代行「チャールズ・ジャスティン・マッカーシー」(1度目~11.27)
- 1850年10月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|嘉永3年9月13日|<死去>大和柳生藩1万石「柳生俊能」(21歳)⇒11月5日、養子「柳生俊順」が継ぐ(⇒文久2(1862)年7月24日、27歳で死去)
- 1850年10月19日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「ウィリアム・ザラント」(1回目~18510108)
- 1850年10月22日-01:00|アルゼンチン/フランス| |||<就任>フランス領アルゼンチン総督「ド・フォル伯爵アルフォン・アンリ」(~18510510)
- 1850年10月24日-01:00|ルクセンブルク| |||<就任>ルクセンブルク大公国摂政「ヘンリー王子」(~18790113)
- 1850年10月25日 06:00|アメリカ| |||米反奴隷制運動に対抗してサウスカロライナ州で南部権利協会設立
- 1850年10月28日-09:00|日本| ||嘉永3年9月23日|<死去>岡本花亭(84歳)勘定奉行、漢詩人
- 1850年10月29日-09:00|日本|大阪府岸和田市|嘉永3年9月24日|<死去>和泉岸和田藩53000石「岡部長和」(44歳)⇒弟「岡部長発」が継ぐ(⇒安政2(1855)年2月4日、22歳で死去)
- 1850年11月-09:30|オーストリア| |||オーストリア最初の労働組合、石工協会がメルボルンで設立
- 1850年11月4日-04:00|ロシア/中国| |||清朝とロシアが北京条約を締結する。沿海州がロシア領になる
- 1850年11月4日-09:00|日本|奈良県葛城市|嘉永3年10月|<交替>大和新庄藩1万石「永井直養」隠居⇒養子「永井直幹」が継ぐ(⇒文久3(1863)年8月19日、隠居)
- 1850年11月4日-08:00|中国| ||清・道光30年10月|洪秀全の率いる貧農や手工業者が広西で蜂起し、太平天国の乱が勃発
- 1850年11月4日-09:00|日本|滋賀県彦根市|嘉永3年10月1日|<死去>近江彦根藩30万石「井伊直亮」(57歳)元大老⇒弟「井伊直弼」が継ぐ(⇒万延元(1860)年3月3日、暗殺される)
- 1850年11月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「趙寅永」(~18510107)
- 1850年11月11日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ホセ・グティエレス・デ・ラ・コンチャ・イ・イコエン」(1回目~18520416)
- 1850年11月16日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア・ヘルツェゴビナ総督「ハイレティン・パシヤ」(~18520308)
- 1850年11月16日-01:00|イタリア| |||<初演>ジュゼッペ・フォルツェーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「ステッフェリア」》
- 1850年11月19日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|嘉永3年10月16日|<死去>六郷政恒(40歳)前出羽本荘藩主
- 1850年11月19日-09:00|日本|岐阜県海津市|嘉永3年10月16日|<交替>美濃高須藩3万石「松平義建」隠居⇒五男「松平義比」が継ぐ(⇒安政5(1858)年8月、宗家尾張藩を相続、「徳川茂徳」と改名)
- 1850年11月24日-09:00|日本|島根県安来市|嘉永3年10月21日|<死去>出雲広瀬藩3万石「松平直寛」(68歳)⇒長男「松平直諒」が継ぐ(⇒文久元(1861)年9月5日、死去)
- 1850年11月27日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン第10代総督「ジョージ・ウィリアム・アンダーソン」(~18550118)
- 1850年11月27日-09:00|日本|東京都文京区|嘉永3年10月24日|湯島に大砲鋳造所が完成
- 1850年11月29日-01:00|オーストリア/チエコ/ドイツ| |||オーストリアとプロシヤの間に、オムツ協約が結ばれ、ドイツ統一が挫折
- 1850年12月-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダットのワリス「ヨスガトリ・マフムド・ウエイシ・バシヤ」(~1851年11月)
- 1850年12月3日-09:00|日本|東京都港区|嘉永3年10月30日|<死去>高野長英。蛮社の獄で投獄後、火事のため脱獄。その後各地を転々とした後、偽名で潜伏していたが正体が露見し、捕縛の際に捕り方に殴打され、護送中に死亡(47歳、1804年5月5日生)医者、蘭学者
- 1850年12月4日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領ノースコート副総督「ジェームズ・ハナマン」(~18511014)
- 1850年12月8日 05:00|エクトル| |||<就任>エクトル国暫定大統領(⇒18510226大統領)「ティエコ・ノボア」(~18510912)
- 1850年12月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>トランスヴァール・フォルクスラート議長「ペトルス・フランス・ヤコブ・プレトリウス」
- 1850年12月12日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン領カナリア諸島州総司令官「Antonio Ordonez y Villanueva」(~1852.5)
- 1850年12月14日-09:00|日本|愛知県田原市|嘉永3年11月11日|<交替>三河田原藩12000石「三宅康直」隠居⇒娘婿「三宅康保」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1850年12月15日-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>ガボン・ギニア湾入植地司令官「アレクシス・エドゥアル・ウイニオン」(1回目~1853年)
- 1850年12月18日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<就任>シマラ州軍事総督および民事行政官「セルゲイ・カウリロフ・イチ・チリヤエフ」(~1857年)
- 1850年12月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「オットー・テオドール・フォン・ムントフェル」(~18581106)
- 1850年12月20日 06:00|アメリカ| |||サウスカロライナ、連邦脱退を宣言し、州都チャーlestonの連邦兵器廠を占拠。抵抗する連邦軍兵士と交戦
- 1850年12月24日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪船ゲイト「サスケハナ」(3824t, フィラデルフィア海軍工廠で建造)
- 1850年12月26日-09:00|日本|千葉県木更津市|嘉永3年11月23日|<陣屋移転>上総貝淵藩1万石「林忠旭」⇒上総津西藩1万石(⇒嘉永7(1854)年4月27日、隠居)
- 1850年12月28日-09:30|オーストリア| |||シトニーの『エンパイア』紙の創刊/ヘンリー・パークスが所有者兼編集者